

埋蔵文化財 二千年

奈良県出土墨書刻書土器・文字瓦集成 下



奈良県出土墨書刻書土器・文字瓦集成 下

凡 例

- 1 本集成は、奈良県内で出土した墨書土器、刻書土器、文字瓦など、木簡・金文を除く出土文字資料（以下、墨書土器等）を集成したものである。一部伝世品を含む。記号などを刻書ないしへら描きしたもの、近世近代および時期不明の遺物は頁数の関係から原則として除いた。
- 2 本集成は、奈良文化財研究所（以下、奈文研）が所蔵する報告書等を対象とし、それらを総めくりすることで対象となる資料を抽出し作成したものである。当初 2016 年 3 月までに刊行された報告書等を対象としたが、適宜その後の公表資料も補った。なお、2016 年 3 月までに刊行された奈良県内の発掘調査報告書は 2992 冊確認されており（2018 年 3 月に集計した参考値）、このうち奈文研が所蔵する報告書等は 2709 冊である。所蔵率は 9 割余りで、遺漏も大いに予想される。諸賢のご教示により、随時情報を加筆し、増補に努める所存である。
- 3 本集成に掲載した項目は、No.、积文、遺跡名、出土遺構、器質、器種等、記銘部、種類、時期、調査主体/報告書、遺物番号、掲載頁、所在地、備考である。掲載にあたり、主に頁数削減を目的として略称を用いることを旨としている。適宜類推されたい。

No. : 本集成における通し番号を入力した。ただし、积文、器質・器種・記銘部などが同じ個体が 2 点以上出土している場合、1 行にまとめ備考にその点数を記した。

积文 : 原則として出典の記載に従う。異体字の類は常用漢字に改めたものがある。複数の報告書に掲載されている場合は、最新の积文などふさわしいものを採用し、参照すべき情報を備考欄に注記した。

□ 积読不能な文字で、文字数のわかるものを示す。

□□ 积読不能な文字で、文字数のわからないものを示す。

/ 改行を示す。

〔カ〕 残画から文字を推定した場合、□の後ろに示す。

「 」 異筆を示す。異筆が数種ある場合は、「 」(1)、「 」(2)とした。

= 表示できない文字を示し、() 内に可能な限りその字形を示す。

記号 (記号)として報告書に翻刻された形状を示し、表示できない場合は(記号) =として、()内に可能な限り形状を記した。

遺跡名 : 遺跡名を記す。

掲載順は市町村コードに準拠し、宮、京、寺院、その他の順に排列した。

平城宮跡、藤原宮跡は調査次数を記し、次数不明のものは地区名などを記した。

平城京跡、藤原京跡は次数と条坊呼称を記した。条坊呼称は、左京一条二坊三坪を左 1・2・3、右京三条二坊一・二坪を右 3・2・1,2のごとく略した。

出土遺構 : 遺構記号と遺構番号を示した。遺構の性格や層位に関する情報は省略した場合がある。

器質 : 土師器、須恵器、軒丸瓦、軒平瓦、丸瓦、平瓦など

器種等 : 杯、皿など、型式番号などを記した。

記銘部 : 底外、体外など

種類 : 墨書、朱書、刻書、刻印など。報告書の記載を尊重し、刻書、篋書、へら描き、篋描き、針書などは必ずしも統一していない。

時期 : 報告書の記載にしたがい、飛鳥Ⅰ、平城宮土器Ⅰなどを記したほか、8世紀前半は8前、8世紀は8cなど適宜略して記した。

調査主体/報告書 : 機関名は、奈良国立文化財研究所、奈良文化財研究所は奈文研、奈良県立橿原考古学研究所は橿考研、教育委員会は教委など、いずれも略称を用いた。典拠となる刊行物は、報告書名は機関名略称＋西暦、論文・著書名は著者姓＋西暦で示し、同一年に複数の刊行物がある場合はa・b・c・・・として区別した。

遺物番号 : 出典の遺物番号を記す。奈文研『平城宮出土墨書土器集成』Ⅰ～Ⅲ(1983～2003年)の墨書土器番号は、これのみにみえるものは、平宮Ⅰ 0001のごとく示し、別の報告書等にも記載のあるものは備考欄に墨書土器番号を記した。

掲載頁 : 実測図、表記載の頁数、図表番号を記す。

所在地 : 遺跡のある市町村名を記した。

備考 : 特記事項などがある場合記す。なお、上記の項目のうち、欄に収まりきれない情報を記したことがある。

なお、以上に掲載したデータは、原則として報告書等にもとづくが、一部体裁を整えた部分がある。

- 4 実見した資料のなかには、所蔵機関のお許しを得て釈文などを改めたもの、報告書未掲載の情報を加えたもの、未公表資料を掲載したものがある。ご厚意にお礼申し上げる。これらは備考欄に【釈文変更】【加筆】【未公表】などと明記した。
- 5 本書の作成は、都城発掘調査部考古第二研究室の協力のもと、飛鳥・藤原地区史料研究室が担当した。資料集成とデータ入力は、山本崇のほか、金玄耿(現大韓民国ソウル大学、2018年度まで)、岡島陽子(京都大学等非常勤講師)、久葉智代(総合研究大学院大学国際日本文化研究センター、2019年度まで)、浅野咲(立命館大学大学院、2019年度まで)、櫻井智(京都大学大学院)が行った。作成に際して、奈文研の石田由紀子・石橋茂登・今井晃樹・岩戸晶子・大林潤・尾野善裕(現京都国立博物館)・栗山雅夫・高妻洋成・神野恵・清野孝之・玉田芳英・中村一郎・箱崎和久・福嶋啓人・道上祥武・森川実・山崎健・渡辺晃宏(現奈良大学)、竹内亮・藤間温子(客員研究員)、稲田登志子・乾陽子・玉木学恵・増田朋子、明日香村教育委員会(現奈良大学)の相原嘉之氏、橿原市教育委員会の竹田政敬氏、香芝市教育委員会の山下隆次氏(当時)・西垣遼氏、桜井市教育委員会の丹羽恵二氏、佐藤直子氏のご協力を得た。なお、本集成は、平成28年度～令和元年度科学研究費補助金基盤研究(A)(研究代表者吉川真司。課題番号16H01945)の成果の一部であり、研究終了段階の2020年3月、関係者に配布した山本崇編「奈良県出土墨書・刻書土器、文字瓦等集成(稿)20200327版」に、科学研究費補助金基盤研究(C)(研究代表者・山本崇。課題番号17K03087)・同基盤研究(C)(研究代表者・竹内亮。課題番号20K00960)の成果の一部により、大幅な補訂を加えたものである。
- 6 表紙写真は、藤原京左京六条三坊出土「香山」墨書土器集合(藤原宮第47・50次調査)を用いた。
- 7 本集成は、『埋蔵文化財ニュース』として2分冊で刊行する。上巻には、平城宮跡・平城京跡(寺院を除く)出土資料を、下巻には平城京内寺院および県内市町村の出土資料を収録した。下巻巻末には、本集成上下に収録した資料の出典に加え、掲載をみあわせた資料に関わる報告書等も、あわせて掲載した。
- 8 本集成は、山本が編集した。

奈良県出土墨書刻書土器・文字瓦集成 下
平城京内寺院、県内市町村出土資料

NO.	釈文	遺跡名	出土遺構	器質	器種等	記銘部	種類	時期
6541	東	松林苑跡4次	築地3	軒平瓦		凹	へら書	721-745
6542	東	松林苑跡9次	築地	軒平瓦	6664G	凹	へら書	平城宮軒瓦Ⅱ期
6543	東		築地	軒平瓦	6689	凹	へら書	平城宮軒瓦Ⅲ期
6544	東		築地	軒平瓦	6664G	凹	へら書	
6545 -6549	東		築地	軒平or平瓦		凹	へら書	
6550	(墨書)	大安寺旧境内77-1次	溝	土器			墨書	
6551	(墨書)	大安寺旧境内77-3次	SK88	土器			墨書	奈良末-平安初
6552	福德		SK88	土器			墨書	奈良末-平安初
6553	三/三	大安寺旧境内		土器			墨書	
6554	東			土器			墨書	
6555	大安寺			土器			刻書	
6556	女			土器			墨書	
6557	□□/所□			土器			墨書	
6558	寺			土器			墨書	
6559	一			土器			墨書	
6560	□[私カ]	大安寺旧境内DA19次	SD01	灰釉	椀	底外	墨書	9後-10初
6561	大二三井	大安寺旧境内DA22次	SE01枠内	土師器	杯A	底外	墨書	8後
6562	(記号)= (格子状の記号)		SE01枠内	土師器	皿C	底外	墨書	8後
6563	大二(刻書)/大二三井		SE01枠内	土師器	皿A	底外	墨書刻書	8後
6564	□		SE01枠内	土師器	杯or皿	底外	墨書	8c
6565	□		SE01枠内	須恵器	杯A	底外	墨書	8後
6566	□□[大二カ]		SE01枠内	須恵器	杯A	底外	墨書	8後
6567	□古		SE01枠内	須恵器	杯B	底外	墨書	8後
6568	寺		SE01枠内	須恵器	杯or皿	底外	墨書	8c
6569	□□		SE01枠内	須恵器	蓋	頂内	墨書	8後
6570	大二		SE01枠内	須恵器	鉢A	体外	墨書	8後
6571	大二		SE01	土師器	皿B	底外	線刻	奈良中
6572	申/□	大安寺旧境内DA28次	遺物包含層	土師器	皿A	底外	墨書	9末-10初
6573	□/世/世		遺物包含層	土師器	杯or皿	底外	墨書	9末-10初
6574	□[聞カ]		遺物包含層	須恵器	杯C	底外	墨書	8後-末
6575	全		遺物包含層	須恵器	杯or皿	底外	墨書	8c
6576	□[家カ]		遺物包含層	須恵器	杯蓋	頂外	墨書	8c
6577	所(異体字カ)	大安寺旧境内DA30次	遺物包含層	土師器	杯or皿	底外	墨書	8c
6578	□		遺物包含層	灰釉	椀	底外	墨書	9後-10初
6579	大□	大安寺旧境内DA43次	SK02	須恵器	杯A	底外	墨書	8c
6580	大寺/大寺		SK02	土師器	杯A	底内	線刻	奈良末頃
6581	本/左	大安寺旧境内DA44次	周壕内遺物堆積層	須恵器	杯B	底外	墨書	8末-9初
6582	阿/繩(異体字)		周壕内遺物堆積層	須恵器	杯B	底外	墨書	8末-9初
6583	□[一カ]		周壕内遺物堆積層	須恵器	杯B	底外	墨書	8末-9初
6584	大□		周壕内遺物堆積層	須恵器	杯B	底外	墨書	8末-9初
6585	□		周壕内遺物堆積層	須恵器	皿C	底外	墨書	8末-9初
6586	□(筆ならしカ)		周壕内遺物堆積層	須恵器	杯蓋	頂外	墨書	8末-9初
6587	櫻/取/人□/此墨		周壕内遺物堆積層	須恵器	蓋	頂外	墨書	8末-9初
6588	□		周壕内遺物堆積層	須恵器	蓋	頂外	墨書	8末-9初
6589	□		周壕内遺物堆積層	須恵器	鉢A	体-底外	墨書	8中-9c
6590	(墨画)人の戯書		周壕内遺物堆積層	須恵器	杯B	底外	墨書	
6591	(墨画)(水鳥の絵)		周壕内遺物堆積層	須恵器	蓋	外	墨書	
6592	(絵)= (幾何学模様)		周壕内遺物堆積層	須恵器	蓋	外	墨書	
6593	(絵カ)		周壕内遺物堆積層	土師器	杯or皿	底外	墨書	
6594	石二	大安寺旧境内DA53次	周壕内遺物堆積層	土師器	杯A	口縁外	墨書	8末-9初
6595	□□(筆ならしカ)		周壕内遺物堆積層	土師器	杯C	口縁底内	墨書	8末-9初
6596	〈内〉道/□□(筆ならしカ)/ 〈外〉鷹□□[麻カ]呂/□□□□		周壕内遺物堆積層	土師器	皿B	底内外	墨書	8末-9初
6597	□麻呂		周壕内遺物堆積層	土師器	杯or皿	底内	墨書	8末-9初
6598	□[人カ]		周壕内遺物堆積層	土師器	杯or皿	底外	墨書	8末-9初
6599	□		周壕内遺物堆積層	土師器	杯or皿	底内	墨書	8後-9初
6600	□		周壕内遺物堆積層	土師器	杯or皿	底外	墨書	8後-9初
6601	〈内〉(記号カ)□□□□ 〈外〉(記号カ)□		周壕内遺物堆積層	土師器	杯or皿	底内外	墨書	8後-9初
6602	(記号カ)□□□□		周壕内遺物堆積層	土師器	杯or皿	底外	墨書	8後-9初
6603	□(筆ならし)		周壕内遺物堆積層	土師器	杯or皿	底内	墨書	8中-末
6604	〈内〉間□ □〈外〉間□		周壕内遺物堆積層	土師器	杯or皿	底内外	墨書	8後-9初
6605	□[器カ]		周壕内遺物堆積層	土師器	杯or皿	底内外	墨書	8末-9初
6606	器(異体字)		周壕内遺物堆積層	土師器	杯or皿	底外	墨書	9初-前
6607	□		周壕内遺物堆積層	土師器	杯or皿	底内	墨書	8c
6608	大子		周壕内遺物堆積層	土師器	杯or皿	底外	墨書	8後-9初
6609	田		周壕内遺物堆積層	土師器	杯or皿	底外	墨書	8末-9初
6610	□		周壕内遺物堆積層	土師器	杯or皿	底外	墨書	8末-9初
6611	九千		周壕内遺物堆積層	土師器	杯or皿	底外	墨書	8末-9初
6612	〈内〉□(筆ならしカ) 〈外〉□(筆ならしカ)		周壕内遺物堆積層	土師器	杯or皿or杯蓋	底or頂内外	墨書	8末-9初
6613	□□		周壕内遺物堆積層	土師器	鉢C	底外	墨書	8c
6614	宮		周壕内遺物堆積層	須恵器	杯A	底外	墨書	8末-9初
6615	浄/□		周壕内遺物堆積層	須恵器	杯A	底外	墨書	8末-9初
6616	□		周壕内遺物堆積層	須恵器	杯A	底外	墨書	8末-9初
6617	□		周壕内遺物堆積層	須恵器	杯A	底外	墨書	8末-9初
6618	大		周壕内遺物堆積層	須恵器	杯A	底外	墨書	9初-前
6619	富(異体字)		周壕内遺物堆積層	須恵器	杯A	底外	墨書	9初-前
6620	二□[坏カ]		周壕内遺物堆積層	須恵器	杯A	底外	墨書	8末-9初
6621	□		周壕内遺物堆積層	須恵器	杯B	底外	墨書	8末-9初
6622	□(筆ならし)		周壕内遺物堆積層	須恵器	杯B	口縁内	墨書	9初-前
6623	□		周壕内遺物堆積層	須恵器	杯B	底外	墨書	8末-9初
6624	□[家カ]		周壕内遺物堆積層	須恵器	杯B	底外	墨書	8末-9初

調査主体/報告書	遺物番号	掲載頁	所在地	備考
檀考研/県1990a	第79図-1	(本文)p31・91,(図)p89,図版75左下	奈良市	平城宮軒瓦編年第二期/南延長部東端付近
檀考研/県1990a	第79図-2	(本文)p38・91,(図)p89	奈良市	
檀考研/県1990a	第79図-3	(本文)p38・91,(図)p89,図版79下	奈良市	
檀考研/県1990a	第79図-4	(本文)p38・91,(図)p89	奈良市	
檀考研/県1990a	第79図-5-9	(本文)p38・91,(図)p89	奈良市	計5点
檀考研/県1978d		(本文)p96	奈良市	
檀考研/県1978d	図版5-2	(本文)p102,図版5	奈良市	図版に2点掲載(うち1点はNo.6552)
檀考研/博1987	127	(図版)p7	奈良市	初出県1978d(図版5-2)の写真的うち1点)
檀考研/博1987	123	(図版)p6	奈良市	
檀考研/博1987	124	(図版)p6	奈良市	
檀考研/博1987	125	(図版)p7	奈良市	【加筆】「刻書」
檀考研/博1987	128	(図版)p7	奈良市	
檀考研/博1987	129	(図版)p7	奈良市	
檀考研/博1987	130	(図版)p7	奈良市	
檀考研/博1987	131	(図版)p7	奈良市	
奈良市/教委2002a	1028	(表)p39	奈良市	(調査掲載)教委1985/七条条間路北側溝/墨付着
奈良市/教委2002a	1001	(表)p39,写真図版8	奈良市	(調査掲載)教委1986b/檀考研博1987-126
奈良市/教委2002a	1002	(表)p39,図版8,写真図版8	奈良市	(調査掲載)教委1986b
奈良市/教委2002a	1003	(表)p39,図版8	奈良市	刻書の上から墨書/(調査掲載)教委1986b
奈良市/教委2002a	1004	(表)p39	奈良市	(調査掲載)教委1986b
奈良市/教委2002a	1005	(表)p39	奈良市	(調査掲載)教委1986b
奈良市/教委2002a	1006	(表)p39	奈良市	(調査掲載)教委1986b
奈良市/教委2002a	1007	(表)p39	奈良市	(調査掲載)教委1986b
奈良市/教委2002a	1008	(表)p39	奈良市	(調査掲載)教委1986b
奈良市/教委2002a	1009	(表)p39	奈良市	転用硯/(調査掲載)教委1986b
奈良市/教委2002a	1010	(表)p39	奈良市	(調査掲載)教委1986b
奈良市/教委1986b	16	(本文)p41・43,(図)p42,図版30	奈良市	
奈良市/教委2002a	963	(表)p37	奈良市	(調査掲載)教委1987
奈良市/教委2002a	964	(表)p37	奈良市	(調査掲載)教委1987
奈良市/教委2002a	965	(表)p37	奈良市	(調査掲載)教委1987
奈良市/教委2002a	966	(表)p37	奈良市	(調査掲載)教委1987
奈良市/教委2002a	967	(表)p37	奈良市	転用硯/(調査掲載)教委1987
奈良市/教委2002a	969	(表)p38	奈良市	(調査掲載)教委1988
奈良市/教委2002a	970	(表)p39	奈良市	(調査掲載)教委1988
奈良市/教委2002a	1011	(表)p39	奈良市	(調査掲載)教委1991
奈良市/教委1991	5	(本文・図)p99	奈良市	
奈良市/教委2002a	1029	(表)p39	奈良市	杉山古墳周壕/(調査掲載)教委1997b
奈良市/教委2002a	1030	(表)p39	奈良市	杉山古墳周壕/(調査掲載)教委1997b
奈良市/教委2002a	1031	(表)p39	奈良市	杉山古墳周壕/(調査掲載)教委1997b/墨付着
奈良市/教委2002a	1032	(表)p40	奈良市	杉山古墳周壕/(調査掲載)教委1997b
奈良市/教委2002a	1033	(表)p40	奈良市	杉山古墳周壕/(調査掲載)教委1997b
奈良市/教委2002a	1034	(表)p40	奈良市	転用硯/杉山古墳周壕/(調査掲載)教委1997b
奈良市/教委2002a	1035	(表)p40,図版8,写真図版8	奈良市	転用硯/杉山古墳周壕/(調査掲載)教委1997b
奈良市/教委2002a	1036	(表)p40	奈良市	転用硯/杉山古墳周壕/(調査掲載)教委1997b
奈良市/教委2002a	1037	(表)p40	奈良市	転用硯/杉山古墳周壕/(調査掲載)教委1997b
奈良市/教委1997b	図185-515	(本文)p241,(図)p238,(表)p240,図版133	奈良市	杉山古墳周壕
奈良市/教委1997b	図185-519	(本文)p241,(図)p238,(表)p240	奈良市	杉山古墳周壕
奈良市/教委1997b	図185-522	(本文)p241,(図)p238,(表)p240,図版133	奈良市	杉山古墳周壕
奈良市/教委1997b	図186-540	(本文)p241,(図)p239,(表)p240	奈良市	杉山古墳周壕
奈良市/教委2002a	1038	(表)p40,図版8,写真図版8	奈良市	杉山古墳周壕/(調査掲載)教委1997b
奈良市/教委2002a	1039	(表)p40	奈良市	杉山古墳周壕/(調査掲載)教委1997b
奈良市/教委2002a	1040	(表)p40	奈良市	杉山古墳周壕/(調査掲載)教委1997b/漆付着
奈良市/教委2002a	1041	(表)p40	奈良市	杉山古墳周壕/(調査掲載)教委1997b
奈良市/教委2002a	1042	(表)p40	奈良市	杉山古墳周壕/(調査掲載)教委1997b
奈良市/教委2002a	1043	(表)p40	奈良市	杉山古墳周壕/(調査掲載)教委1997b
奈良市/教委2002a	1044	(表)p40	奈良市	杉山古墳周壕/(調査掲載)教委1997b
奈良市/教委2002a	1045	(表)p40	奈良市	杉山古墳周壕/(調査掲載)教委1997b
奈良市/教委2002a	1046	(表)p40	奈良市	杉山古墳周壕/(調査掲載)教委1997b
奈良市/教委2002a	1047	(表)p40	奈良市	杉山古墳周壕/(調査掲載)教委1997b
奈良市/教委2002a	1048	(表)p40	奈良市	杉山古墳周壕/(調査掲載)教委1997b
奈良市/教委2002a	1049	(表)p40	奈良市	杉山古墳周壕/(調査掲載)教委1997b
奈良市/教委2002a	1050	(表)p40	奈良市	杉山古墳周壕/(調査掲載)教委1997b
奈良市/教委2002a	1051	(表)p40	奈良市	杉山古墳周壕/(調査掲載)教委1997b
奈良市/教委2002a	1052	(表)p40,写真図版8	奈良市	杉山古墳周壕/(調査掲載)教委1997b
奈良市/教委2002a	1053	(表)p40	奈良市	杉山古墳周壕/(調査掲載)教委1997b/墨付着
奈良市/教委2002a	1054	(表)p40	奈良市	杉山古墳周壕/(調査掲載)教委1997b/墨付着
奈良市/教委2002a	1055	(表)p40,写真図版8	奈良市	転用硯/杉山古墳周壕/(調査掲載)教委1997b
奈良市/教委2002a	1056	(表)p40	奈良市	杉山古墳周壕/(調査掲載)教委1997b
奈良市/教委2002a	1057	(表)p40	奈良市	杉山古墳周壕/(調査掲載)教委1997b
奈良市/教委2002a	1058	(表)p40,写真図版8	奈良市	杉山古墳周壕/(調査掲載)教委1997b
奈良市/教委2002a	1059	(表)p40,写真図版8	奈良市	杉山古墳周壕/(調査掲載)教委1997b
奈良市/教委2002a	1060	(表)p40	奈良市	杉山古墳周壕/(調査掲載)教委1997b
奈良市/教委2002a	1061	(表)p40	奈良市	杉山古墳周壕/(調査掲載)教委1997b
奈良市/教委2002a	1062	(表)p40	奈良市	杉山古墳周壕/(調査掲載)教委1997b/墨付着
奈良市/教委2002a	1063	(表)p41,写真図版8	奈良市	杉山古墳周壕/(調査掲載)教委1997b/墨付着
奈良市/教委2002a	1064	(表)p41	奈良市	転用硯/杉山古墳周壕/(調査掲載)教委1997b
奈良市/教委2002a	1065	(表)p41	奈良市	杉山古墳周壕/(調査掲載)教委1997b
奈良市/教委2002a	1066	(表)p41	奈良市	杉山古墳周壕/(調査掲載)教委1997b/墨付着
奈良市/教委2002a	1067	(表)p41	奈良市	杉山古墳周壕/(調査掲載)教委1997b
奈良市/教委2002a	1068	(表)p41	奈良市	杉山古墳周壕/(調査掲載)教委1997b

NO.	釈文	遺跡名	出土遺構	器質	器種等	記銘部	種類	時期		
6625	□□〔道カ〕	大安寺旧境内DA53次	周壕内遺物堆積層	須恵器	杯B	底内	墨書	8末-9初		
6626	山田		周壕内遺物堆積層	須恵器	杯B	底外	墨書	8末-9初		
6627	〈内〉太夫大/□□ 〈外〉□□		周壕内遺物堆積層	須恵器	杯B	底内外	墨書	8末-9初		
6628	□		周壕内遺物堆積層	須恵器	杯B	底外	墨書	9初-前		
6629	十□		周壕内遺物堆積層	須恵器	杯C	底外	墨書	8後-9初		
6630	叡		周壕内遺物堆積層	須恵器	皿C	底外	墨書	8末-9初		
6631	□		周壕内遺物堆積層	須恵器	杯Aor皿AorC	底外	墨書	8末-9初		
6632	□		周壕内遺物堆積層	須恵器	杯Aor皿A	底外	墨書	8末-9初		
6633	□〔日または(記号)カ〕		周壕内遺物堆積層	須恵器	杯Aor皿A	底外	墨書	8c		
6634	□福(異体字)		周壕内遺物堆積層	須恵器	杯or皿	底外	墨書	8c		
6635	□〔十または(記号)十カ〕		周壕内遺物堆積層	須恵器	杯or皿	底外	墨書	8c		
6636	□		周壕内遺物堆積層	須恵器	杯or皿or蓋	底or頂内	墨書	8c		
6637	□		周壕内遺物堆積層	須恵器	杯or皿or蓋	底or頂外	墨書	8c		
6638	口		周壕内遺物堆積層	須恵器	杯蓋	頂外	墨書	8末-9初		
6639	□〔千カ〕		周壕内遺物堆積層	須恵器	杯蓋	頂外	墨書	8末-9初		
6640	厨		周壕内遺物堆積層	須恵器	蓋	頂外	墨書	8末-9初		
6641	有		周壕内遺物堆積層	須恵器	蓋	頂内	墨書	8c		
6642	□〔筆ならしカ〕		周壕内遺物堆積層	須恵器	蓋	頂内	墨書	8末-9初		
6643	〈内〉□器(異体字) 〈外〉□□		周壕内遺物堆積層	須恵器	蓋	頂内外	墨書	8後		
6644	□		周壕内遺物堆積層	須恵器	蓋	頂外	墨書	8c		
6645	〈内〉及大/及□ 〈外〉十番(異体字)		周壕内遺物堆積層	須恵器	蓋	頂内外	墨書	8末-9初		
6646	□		周壕内遺物堆積層	須恵器	蓋	頂内	墨書	8末-9初		
6647	三宅		周壕内遺物堆積層	須恵器	蓋	鈕	墨書	8末-9初		
6648	□		周壕内遺物堆積層	須恵器	蓋	頂内	墨書	8c		
6649	(記号カ)□(墨画あり)		周壕内遺物堆積層	須恵器	壺H	底外	墨書	8後-9初		
6650	□〔重カ〕/□		周壕内遺物堆積層	灰釉	椀	底外	墨書	9前-中		
6651	□□		遺物包含層	須恵器	杯A	底外	墨書	8末-9初		
6652	□〔父または女カ〕		遺物包含層	須恵器	蓋	頂外	墨書	8c		
6653	□		遺物包含層	灰釉	椀	底外	墨書	9中-後		
6654	大寺		大安寺旧境内DA57次	SE02枠内	須恵器	皿C	底外	墨書	8末-9初	
6655	大安寺左右酒			SE02枠内	須恵器	杯or皿	底外	墨書	8末-9初	
6656	寺			SE02枠内	須恵器	蓋	頂内	墨書	8末-9初	
6657	寺			SE02	土師器	皿A	底外	墨書	8末-9初	
6658	寺東			SE02	須恵器	杯B	底外	墨書	8末-9初	
6659	大安寺			SE02	須恵器	皿C	底外	墨書	8末-9初	
6660	大家			SE02	須恵器	皿C	底外	墨書	8末-9初	
6661	夜□/□〔家カ〕			SE02	須恵器	蓋	頂外	墨書	8末-9初	
6662	□〔筆ならしカ〕			SE02	須恵器	蓋	頂外	墨書	8末-9初	
6663	□			大安寺旧境内DA64次	SD03	須恵器	蓋	頂内	墨書	8c
6664	□				SE02枠内	土師器	杯or皿	底外	墨書	8c
6665	□				SE02枠内	土師器	杯or皿	底外	墨書	8中
6666	寺				SE02枠内	土師器	椀A	底外	墨書	8後
6667	維		SE02枠内		須恵器	杯A	底外	墨書	8後	
6668	□		SE02枠内		須恵器	杯A	底外	墨書	8c	
6669	東院		SE02枠内		須恵器	杯B	底外	墨書	8後	
6670	光(異体字)		SE02枠内		須恵器	杯B	底外	墨書	8後	
6671	□		SE02枠内		須恵器	杯Aor皿AorC	底外	墨書	8後	
6672	□家		SE02枠内		須恵器	杯Aor皿AorC	底外	墨書	8c	
6673	□□/□〔舞カ〕		SE02枠内		須恵器	杯or皿	底外	墨書	8c	
6674	□		SE02枠内		須恵器	杯or皿	底内	墨書	8c	
6675	□〔大カ〕寺		SE02枠内		須恵器	蓋	頂内	墨書	8後	
6676	□〔寺カ〕		SE02枠内		須恵器	蓋	頂内	墨書	8c	
6677	寺		SE02枠内		須恵器	蓋	頂内	墨書	8c	
6678	大□〔安カ〕		SE02枠内		須恵器	鉢A	体外	墨書	8中	
6679	東院器		大安寺旧境内DA70次		SX01	須恵器	皿B	口縁外	墨書	8c
6680	□安寺				丸瓦		凸	ヘラ描		
6681	□十		大安寺旧境内DA72次	SD01	須恵器	杯A	底外	墨書	8後-9初	
6682	□〔七カ〕			SD01	須恵器	杯Aor皿A	底外	墨書	8c	
6683	□〔硯カ〕			SD01	須恵器	杯Bor皿B	底外	墨書	8c	
6684	難波			SD01	須恵器	杯or皿	底外	墨書	8c	
6685	豊寺			SD01	須恵器	杯or皿	底外	墨書	8c	
6686	□〔善または膳カ〕			SD01	須恵器	杯or皿	底外	墨書	8c	
6687	□			SD01	須恵器	杯or皿	底外	墨書	8c	
6688	〈内〉□/ 〈外〉□所飲	SD01		須恵器	杯or皿	底内外	墨書	8c		
6689	雅	SD01		須恵器	蓋	頂外	墨書	8c		
6690	□沙弥麻呂/□	SD01		須恵器	蓋	頂外	墨書	8c		
6691	□〔井または(記号)井〕	SD01		須恵器	蓋	頂外	墨書	8後		
6692	□〔長カ〕/木/□	SD01		須恵器	蓋	頂外	墨書	8c		
6693	飯依□〔女カ〕	SD01		須恵器	蓋	縁部内	墨書	8後-9初		
6694	車	遺物包含層		須恵器	杯Aor皿A	底外	墨書	8c		
6695	□長	遺物包含層		須恵器	杯or皿	底外	墨書	8c		
6696	□	遺物包含層		須恵器	杯or皿	底外	墨書	8c		
6697	□□〔筆ならしカ〕	遺物包含層		須恵器	杯or皿	口縁内	墨書	8c		
6698	〈下〉□〔僧カ〕/□ 〈上〉□	遺物包含層		須恵器	蓋	頂内	墨書	8c		
6699	□□	遺物包含層		須恵器	蓋	頂外	墨書	8c		
6700	〈体〉道 〈底〉(記号)㊦	SK05		須恵器	壺Mカ	体・底外	墨書	9c		
6701	廿(異体字)	大安寺旧境内DA84次	SD01	土師器	椀Cカ	底外	墨書	8c		
6702	(墨書)		大安寺旧境内DA106次	SD04	土師器			墨書	8末-10初	
6703	(墨書)			SX06	土師器			墨書	8末-10初	
6704	(墨書)			SX06	須恵器			墨書	8末-10初	
6705	(墨書)			SX06	灰釉			墨書	8末-10初	
6706	(判読不能)			大安寺旧境内DA128次	灰黄色粘質土	土師器	杯or皿	底外	墨書	10c

NO.	釈文	遺跡名	出土遺構	器質	器種等	記銘部	種類	時期	
6707	「我」「□」「□」	薬師寺S39年度東僧房北方	SK047	土師器	杯カ	底外	墨書	8c	
6708	「月」「月」「□」「月カ」「日」「日」		SK047	須恵器	杯B I 蓋	頂外	墨書	8前	
6709	文		SK047	土師器	杯カ	頂外	墨書	8c	
6710	□		SK047	土師器	杯カ	底外	墨書	8c	
6711	依		SK047	須恵器	鉢A	体外	墨書	8c	
6712	□〔秋カ〕	薬師寺S49年度西僧房	床面	灰釉	皿	底外	墨書	9c	
6713	飯□		包含層	黒色土器A	杯B	底外	墨書	9-10c	
6714	□□〔秀カ〕		焼土	白色土器	皿	底内	へラ描	10c	
6715	三寶/人足	薬師寺S52年度	井戸	土器	甕		墨書	奈良中頃	
6716	朝集師	薬師寺S52年度東僧房	SE037	土師器	皿A I	底外	墨書	平城宮 I	
6717	〈外〉「事」「風」「楽」「非」 〈内〉「罪」「證」「東」「羅」「如」		SE037	土師器	皿A I	底内外	墨書	8前	
6718	(人面の墨画)		SE037	土師器	杯カ	底外	墨書	8c	
6719	(戯画カ)	薬師寺S52年度	PB42包含層	土師器	皿A	底外	墨書	11c-	
6720	「奈戸」「□」「日カ」		PB42包含層	土師器	甕	体外	墨書	8前	
6721	(梵字)	薬師寺123-18次西面大垣		瓦器			墨書	13末-14c	
6722	(記号) = (「井」状の線)	薬師寺東僧房跡		黒色土器A	皿	底外	線刻		
6723	瑚□瑚玖	薬師寺西僧房	中世溝	石製品	砥石様	側	線刻	8-9c	
6724	□□□〔客供カ〕所	薬師寺	HL31土坑	土師器	皿A I	底外	墨書	8後	
6725	□〔女カ〕開		JL33南北溝	須恵器	杯B II 蓋	頂外	墨書	8中	
6726	東		HM40土坑	土師器	杯カ	底外	墨書線刻	8c	
6727	真□		HM40土坑	土師器	高杯	脚柱部内	墨書	8前	
6728	「徳」「□」「□」		HM40土坑	須恵器	杯B III 蓋	徳	墨書	8後	
6729	薬寺		HM40土坑	土師器	杯カ	底外	墨書	8c	
6730	□〔毛カ〕		HM40土坑	須恵器	杯B II 蓋	頂外	墨書	8後	
6731	「得」「□」「□」		HM40土坑	土師器	皿A II	底外	墨書	8c	
6732	「□」「□」		HM40土坑	須恵器	皿C I	底外	墨書	8後	
6733	「□」「□」「□」		HM40土坑	土師器	皿A I	底外	墨書	8-9c	
6734	□		HM40土坑	須恵器	皿C	底外	墨書	8c?	
6735	「□」「□」「□」		HM40土坑	土師器	杯カ	底内	墨書	8c?	
6736	「□」「□」「□」「□」「□」		HM40土坑	土師器	杯カ	底内	墨書	8c?	
6737	□〔寺カ〕		HM40土坑	土師器	皿A I	底内	墨書	8後	
6738	□		HM39土坑	須恵器	杯B II	底外	墨書	8-9c	
6739	招		HM39土坑	土師器	皿A II	底外	墨書	8-9c	
6740	□		HK30土坑	須恵器	鉢D	体外	墨書	8-9c	
6741	□□□□		HK30土坑	土師器	杯カ	底外	墨書	8c	
6742	吉		HL43土坑	土師器	杯カ	底外	墨書	8c?	
6743	井		HL43土坑	土師器	杯カ	底外	線刻	8後	
6744	三/九		HK32土坑	土師器	杯カ	底内	墨書	8-9c	
6745	「□〔覆カ〕」「□」「□」		HK32土坑	土師器	杯B蓋	頂内外	墨書	8-9c	
6746	□〔ハカ〕		HM31・32土坑	土師器	杯A	底外	墨書	9-10c	
6747	田□		HK30土坑	須恵器	杯A	底外	墨書	8c	
6748	賞一		HK50包含層	灰釉	椀	底外	墨書	9c	
6749	須方		H区包含層	土師器	椀A	底外	墨書	8c?	
6750	□〔継カ〕		LJ14包含層	土師器	皿A	底外	墨書	11c-	
6751	唐院		GL22溝	黒色土器B	椀	底外	へラ描	10c	
6752	十		HM38土坑	土師器	皿A I	底外	墨書	8後	
6753	大□〔荷カ〕□			軒丸瓦		丸瓦部凸	墨書	奈良	
6754	(馬の絵)(絵の下に1文字)			平瓦		凹	墨書		
6755	大大前/倭□□/倭倭(横4本縦1本の直線)			平瓦		凸	墨書		
6756	(人面)			平瓦			墨書		
6757	上		薬師寺223-3次宝積院	SG20	白磁	椀IV1	底	墨書	12c
6758	(文字)		薬師寺263次講堂		平瓦			文字瓦	
6759	七九六十三/四九卅□〔六カ〕□/□/九□□	薬師寺474次境内	包含層	丸瓦		凸	墨書	奈良	
6760	十	薬師寺475次休ヶ岡八幡宮	遺物包含層	須恵器	杯B III	底外	墨書	平城宮土器II	
6761	十		遺物包含層	須恵器	杯A	底外	墨書	平城宮土器II	
6762	大	薬師寺旧境内293-8次	SD2710	土師器	杯A	底外	墨書	奈良前	
6763	(文字)	薬師寺旧境内338次		平瓦					
6764	ヲウエイ十四子ン十一月十八日/ヒコ次郎/ 吉重	薬師寺東院堂		平瓦				応永14(1407)	
6765	今作男瓦	元興寺		丸瓦		凸中央	線刻	飛鳥末-奈良後	
6766	康野年			丸瓦		凸下端近	線刻		
6767	田			丸瓦		下端	線刻		
6768	今堂			軒平瓦		凸中央	線刻	創建時よりやや降る	
6769	山田			軒平瓦		凸	線刻	同上	
6770	山			軒平瓦		凸	線刻	同上	
6771	成			平瓦		凸	線刻		
6772	田β			軒平瓦		頸	線刻	創建時	
6773	田			平瓦		不明	線刻		
6775	田β			平瓦		凸中央	線刻	創建時	
6777	大			平瓦		凸下端中央	線刻		
6780									
6781	□命(ママ)/康永元□〔年カ〕/八月廿三日/酉時他界		元興寺極楽坊境内S35-36年度	包蔵塚	瓦質	蔵骨器	腹部	墨書	康永元(1342)
6782	〈腹部〉応永五年七月廿□□(無)カニカ /□□□(無)阿弥陀□(仏)/□カ カ/□□(妙カ)房/カカ□(内底部)□無阿弥 陀仏カニカニ□□(無)南無〜(ママ)カカカ (ママ)カ		元興寺極楽坊境内		瓦質	蔵骨器	腹・内底	墨書	応永5(1398)

調査主体/報告書	遺物番号	掲載頁	所在地	備考
奈文研/1987c	PL.118表-3	(表)PL.118表,(図版)PL.118	奈良市	
奈文研/1987c	PL.118表-4	(表)PL.118表	奈良市	
奈文研/1987c	PL.118表-5	(表)PL.118表,(図版)PL.118	奈良市	
奈文研/1987c	PL.118表-6	(表)PL.118表	奈良市	
奈文研/1987c	PL.118表-7	(表)PL.118表	奈良市	
奈文研/1987c	PL.118表-34	(表)PL.118表	奈良市	
奈文研/1987c	PL.118表-36	(表)PL.118表,(図版)PL.118	奈良市	
奈文研/1987c	PL.118表-35	(表)PL.118表,(図版)PL.118	奈良市	
奈文研/1978d		(本文)p43	奈良市	西小子房・十字廊両地区/あるいは別個体カ
奈文研/1987c	262	(本文)p160	奈良市	初出1978d/1978dは「長集使」につくる
奈文研/1987c	PL.117表-1	(表)PL.117表,(図版)PL.117	奈良市	初出1978d
奈文研/1987c	PL.117表-14	(表)PL.117表,(図版)PL.117	奈良市	
奈文研/1987c	PL.117表-38	(表)PL.117表,(図版)PL.117	奈良市	
奈文研/1987c	PL.118表-2	(表)PL.118表,(図版)PL.118	奈良市	初出1978d
奈文研/1981e		(本文)p47	奈良市	
奈文研/1987c	181	(本文)p156	奈良市	線刻は焼成後
奈文研/1987c	PL120-1, Fig.82-1	(本文)p180,(図版)PL.120	奈良市	
奈文研/1987c	PL.117表-27	(表)PL.117表,(図版)PL.117	奈良市	
奈文研/1987c	PL.118表-8	(表)PL.118表	奈良市	
奈文研/1987c	PL.118表-9	(表)PL.118表,(図版)PL.118	奈良市	
奈文研/1987c	PL.118表-10	(表)PL.118表	奈良市	
奈文研/1987c	PL.118表-11	(表)PL.118表,(図版)PL.118	奈良市	
奈文研/1987c	PL.118表-12	(表)PL.118表,(図版)PL.118	奈良市	
奈文研/1987c	PL.118表-13	(表)PL.118表	奈良市	
奈文研/1987c	PL.118表-15	(表)PL.118表,(図版)PL.118	奈良市	
奈文研/1987c	PL.118表-16	(表)PL.118表	奈良市	
奈文研/1987c	PL.118表-17	(表)PL.118表	奈良市	
奈文研/1987c	PL.118表-18	(表)PL.118表	奈良市	
奈文研/1987c	PL.118表-19	(表)PL.118表	奈良市	
奈文研/1987c	PL.118表-20	(表)PL.118表	奈良市	
奈文研/1987c	PL.118表-21	(表)PL.118表,(図版)PL.118	奈良市	
奈文研/1987c	PL.118表-22	(表)PL.118表	奈良市	
奈文研/1987c	PL.118表-23	(表)PL.118表,(図版)PL.118	奈良市	
奈文研/1987c	PL.118表-24	(表)PL.118表	奈良市	
奈文研/1987c	PL.118表-25	(表)PL.118表	奈良市	
奈文研/1987c	PL.118表-26	(表)PL.118表,(図版)PL.118	奈良市	
奈文研/1987c	PL.118表-28	(表)PL.118表,(図版)PL.118	奈良市	
奈文研/1987c	PL.118表-29	(表)PL.118表,(図版)PL.118	奈良市	
奈文研/1987c	PL.118表-30	(表)PL.118表,(図版)PL.118	奈良市	
奈文研/1987c	PL.118表-31	(表)PL.118表	奈良市	
奈文研/1987c	PL.118表-32	(表)PL.118表	奈良市	
奈文研/1987c	PL.118表-33	(表)PL.118表,(図版)PL.118	奈良市	
奈文研/1987c	PL.118表-39	(表)PL.118表,(図版)PL.118	奈良市	
奈文研/1987c	PL.118表-40	(表)PL.118表,(図版)PL.118	奈良市	
奈文研/1987c	PL.118表-41	(表)PL.118表,(図版)PL.118	奈良市	
奈文研/1987c	PL.118表-42	(表)PL.118表	奈良市	
奈文研/1987c	PL.105-3, Fig.33-31	(本文)p85・148,(図)p84,(図版)PL.105	奈良市	線鋸歯文珠文縁複弁7弁蓮華文/p148による
奈文研/1987c	PL.105-4	(本文)p148,(図版)PL.105	奈良市	
奈文研/1987c	PL.105-1	(本文)p148,(図版)PL.105	奈良市	「倭」は「倭」か
奈文研/1987c	PL.105-2	(本文)p148,(図版)PL.105	奈良市	縦位縄叩目痕上
奈文研/1992b		(本文)p126	奈良市	
奈文研/1996b		(表)p75	奈良市	
奈文研/2011b		(本文・図)p194	奈良市	
奈文研/2011b	図252-30	(本文)p197,(図)p198	奈良市	
奈文研/2011b	図252-31	(本文)p197,(図)p198	奈良市	
奈文研/1999b	図74-2	(本文)p68,(図)p69	奈良市	
奈文研/2002d		(表)p129	奈良市	
/土井1956		(本文)p220	奈良市	
研究所/元興寺1974	図版20-82	(本文)p40,図版20	奈良市	元興寺仏教民俗資料研究所
研究所/元興寺1974	図版20-83	(本文)p40,図版20	奈良市	元興寺仏教民俗資料研究所
研究所/元興寺1974	図版20-84	(本文)p40,図版20	奈良市	元興寺仏教民俗資料研究所
研究所/元興寺1974	図版20-85	(本文)p40,図版20	奈良市	元興寺仏教民俗資料研究所
研究所/元興寺1974	図版20-86	(本文)p40,図版20	奈良市	元興寺仏教民俗資料研究所
研究所/元興寺1974	図版20-87	(本文)p40,図版20	奈良市	元興寺仏教民俗資料研究所
研究所/元興寺1974	図版20-88	(本文)p40・41,図版20	奈良市	元興寺仏教民俗資料研究所
研究所/元興寺1974	図版20-89・90	(本文)p41,図版20	奈良市	計2点/元興寺仏教民俗資料研究所
研究所/元興寺1974	図版21-91	(本文)p41,図版21	奈良市	元興寺仏教民俗資料研究所
研究所/元興寺1974	図版21-92-94	(本文)p41,図版21	奈良市	計3点/元興寺仏教民俗資料研究所
研究所/元興寺1974	図版21-95-97	(本文)p41,図版21	奈良市	計3点/元興寺仏教民俗資料研究所
元興寺/中公美術1976	2,羽21	(本文)p49,(図版)原色1,(図)p51,(表)p85	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	3,羽33	(本文)p49,(図版・図)p1,(表)p85	奈良市	羽釜形蔵骨器/梵字は〈腹部〉五大種子と阿弥陀名号〈内底部〉五大種子と阿弥陀名号など

NO.	釈文	遺跡名	出土遺構	器質	器種等	記銘部	種類	時期
6783	〈頸部〉寛正(ママ)二年五月廿日/南無阿弥陀 仏/南無□□□阿弥陀仏(腹部)南無 阿弥陀仏(以下名号七か所)	元興寺極楽坊境内		瓦質	蔵骨器	頸・腹	墨書	寛正2(1461)
6784	〈頸部〉南無阿弥陀仏/南無阿弥陀仏/□ □(腹部)南無阿弥陀仏/寛正□□(三カ)六月 十□			瓦質	蔵骨器	頸・腹	墨書	寛正3(1462)
6785	〈頸部〉南無阿弥陀仏(以下名号三か所)〈腹 部〉寛正四年□□二日/妙真房尊□			瓦質	蔵骨器	頸・腹	墨書	寛正4(1463)
6786	〈頸部〉寛正五年四月五日/光明遍照 十方 世界/念仏生(ママ)衆 撰(ママ)取不捨(腹部) 善阿□/南□□(無阿弥陀仏)(以 下名号六か所)			瓦質	蔵骨器	頸・腹	墨書	寛正5(1464)
6787	〈頸部〉取不捨(ママ)取不捨(腹部)□□(南カ) □□□(仏カ)〈腹部〉□□			瓦質	蔵骨器	頸・腹	墨書	
6788	〈頸部〉南無阿弥陀仏/南無阿弥陀仏/□ [善カ] 阿弥□□(陀カ)〈腹部〉南□□(無 阿弥陀仏)(以下南字のみ三か所確認)			瓦質	蔵骨器	頸・腹	墨書	
6789	〈上段〉□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□			瓦質	蔵骨器	腹部	墨書	
6790	〈頸部〉南無阿弥陀仏—(スミビ)(以下名号二 か所のみ確認)〈内底部〉□(口で囲む)/□/□ □□□□□□□□			瓦質	蔵骨器	頸・内底	墨書	
6791	〈頸部〉南無阿弥陀仏(以下名号二か所)〈腹 部〉南無阿弥陀仏(以下名号三か所)/□□三 法□□□			瓦質	蔵骨器	頸・腹	墨書	
6792	□□□□(南無阿)弥陀仏			瓦質	蔵骨器	頸	墨書	
6793	□□阿弥陀仏			瓦質	蔵骨器	頸	墨書	
6794	取(利/□)/□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□			瓦質	蔵骨器	腹	墨書	
6795	南無阿弥陀仏(以下名号二か所)			瓦質	蔵骨器	腹	墨書	
6796	〈頸部〉南無阿弥陀仏(以下名号二か所)〈腹 部〉南無阿弥陀仏(以下名号二か所)			瓦質	蔵骨器	頸・腹	墨書	
6797	〈頸部〉□□□□(光明遍照十方世界 念仏)衆生攝(ママ)不捨(腹部)南無阿 弥陀仏(以下名号一か所のみ確認)			瓦質	蔵骨器	頸・腹	墨書	
6798	〈腹底部〉□□□□(光明)遍照/□□(十)方世界/南 無阿弥陀□□/念仏衆生/□□(攝)取□□□□(不捨) 〈内底部〉妙阿			瓦質	蔵骨器	腹底・内 底	墨書	
6799	〈頸部〉南無阿弥陀仏□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□			瓦質	蔵骨器	頸・腹	墨書	
6800	〈頸部〉南無阿弥陀仏(以下名号二か所)〈腹 部〉南無阿弥陀仏(以下名号二か所)			瓦質	蔵骨器	頸・腹	墨書	
6801	やう□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□ なむあ□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□			瓦質	蔵骨器	腹	墨書	
6802	〈頸部〉實阿弥陀仏/南無阿弥陀仏/南無阿弥 陀仏(腹部)南無阿弥陀仏(以下名号五か 所)〈内底部〉□□			瓦質	蔵骨器	頸・腹・内 底	墨書	
6803	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□			瓦質	蔵骨器	頸	墨書	
6804	南□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□			瓦質	蔵骨器	腹	墨書	
6805	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□			瓦質	蔵骨器	頸	墨書	
6806	〈腹部〉南無阿弥陀仏(以下名号五か所)〈内 底部〉□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□			瓦質	蔵骨器	腹・内底	墨書	
6807	〈頸部〉南無阿弥陀仏(以下名号三か所)〈腹 部〉光明□□□□(遍照)十□□(方)世(界脱カ)念仏 衆生/撰(ママ)□□□□(取不捨)□□□□□□			瓦質	蔵骨器	頸・腹	墨書	
6808	(墨書)			瓦質	蔵骨器	腹	墨書	
6809	南無阿弥陀仏/取(利/□)□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□			瓦質	蔵骨器	頸	墨書	
6810	十二月十九日/□妙房/□年九年(ママ)/光明 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□			瓦質	蔵骨器	腹	墨書	
6811	〈頸部〉南無阿弥陀仏/□□□□□□□□□□ 南無阿弥陀仏(以下名号二か所のみ確認)			瓦質	蔵骨器	頸・腹	墨書	
6812	□□□□(南無阿)弥陀仏			瓦質	蔵骨器	頸	墨書	
6813	〈頸部〉□□□□諸行無常□□□□□□□□□□ 南無阿弥陀仏(以下名号二か所のみ確認)			瓦質	蔵骨器	頸・腹	墨書	
6814	〈頸部〉南無阿弥陀仏—(スミビ)(以下名号2か所) 〈内底部〉□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□			瓦質	蔵骨器	頸・内底	墨書	
6815	〈頸部〉南無阿弥陀仏/南無阿弥陀仏/□ □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□			瓦質	蔵骨器	頸・腹	墨書	
6816	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□			瓦質	蔵骨器	頸	墨書	
6817	〈頸部〉□□□□志脩(修カ)淨真院/南無□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□			瓦質	蔵骨器	頸・腹	墨書	
6818	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□			瓦質	蔵骨器	頸	墨書	
6819	南無阿弥陀仏(以下名号五か所)			瓦質	蔵骨器	頸	墨書	
6820	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□			瓦質	蔵骨器	頸	墨書	
6821	南無□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□			瓦質	蔵骨器	腹	墨書	
6822	南□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□			瓦質	蔵骨器	腹	墨書	
6823	南無□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□			瓦質	蔵骨器	頸	墨書	
6824	□□□□(南)無阿弥陀仏/南無□□□□□□□□□□			瓦質	蔵骨器	頸	墨書	

調査主体/報告書	遺物番号	掲載頁	所在地	備考
元興寺/中公美術1976	4,羽29	(本文)p49・50,(図版)p2-3,(図)p51,(表)p85	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	5,羽19	(本文)p50,(図)p51,(表)p85	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	6,羽30	(本文)p50,(図版)p4,(図)p51,(表)p85	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	7,羽32	(本文)p50・52,(図版)p5,(図)p51,(表)p85	奈良市	羽釜形蔵骨器/梵字は阿弥陀の種子など
元興寺/中公美術1976	8,羽51	(本文)p52,(図版)p6,(図)p53,(表)p86	奈良市	羽釜形蔵骨器/梵字は〈頸部〉五大種子・阿弥陀三尊種子など
元興寺/中公美術1976	12,羽48	(本文)p52,(図版)p8,(図)p53,(表)p86	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	14,羽9	(本文)p52・54,(図版)p9,(図)p53,(表)p85	奈良市	羽釜形蔵骨器/梵字は光明真言と大日如来法身真言
元興寺/中公美術1976	19,羽49	(本文)p54,(図版)p11,(図)p56,(表)p86	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	25,羽25	(本文)p54,(図版)p14,(図)p57,(表)p86	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	29,羽41	(本文)p55,(図)p57,(表)p86	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	31,羽104	(本文)p55,(図版)p15,(図)p58,(表)p87	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	32,羽42	(本文)p55,(図版)p17,(図)p58,(表)p86	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	33,羽66	(本文)p55,(図版)p16,(図)p58,(表)p86	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	37,羽61	(本文)p55,(図版)p19,(図)p58,(表)p86	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	39,羽40	(本文)p55,(図版)p20,(図)p59,(表)p86	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	41,羽46	(本文)p55,(図版)p21,(図)p59,(表)p86	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	42,羽12	(本文)p55,(図版)p21,(図)p59,(表)p85	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	43,羽53	(本文)p55,(図版)p22,(図)p59,(表)p86	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	46,羽122	(本文)p60,(図版)p23,(図)p61,(表)p85	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	61,羽55	(本文)p64,(図版)p26,(図)p65,(表)p86	奈良市	羽釜形蔵骨器/腹部阿弥陀名号のうち1返は「實阿旃陀佛」
元興寺/中公美術1976	62,羽106	(本文)p64,(図版)p27,(図)p65(表)p87		
元興寺/中公美術1976	羽4	(表)p85	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	羽10	(表)p85	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	羽11	(表)p85	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	羽18	(表)p85	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	羽20	(表)p85	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	羽28	(表)p85・86	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	羽34	(表)p85	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	羽39	(表)p86	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	羽41	(表)p86	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	羽44	(表)p86	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	羽49	(表)p86	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	羽60	(表)p86	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	羽62	(表)p86	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	羽63	(表)p86	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	羽64	(表)p86	奈良市	羽釜形蔵骨器/梵字は地藏真言の一部
元興寺/中公美術1976	羽65	(表)p86	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	羽67	(表)p87	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	羽68	(表)p87	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	羽69	(表)p87	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	羽70	(表)p87	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	羽72	(表)p87	奈良市	羽釜形蔵骨器

NO.	釈文	遺跡名	出土遺構	器質	器種等	記銘部	種類	時期	
6825	□ □/□□(南無)阿弥陀仏/□(大)永 子八年	元興寺極楽坊境内		瓦質	蔵骨器	腹	墨書	大永8(1528)	
6826	〈腹部〉□ □弥陀□/□(文)安五年(戊辰)/ □ /表/ □五日 〈内底部〉□(力)			瓦質	蔵骨器	腹・内底	墨書	文安5(1448)	
6827	□/□ □弥陀仏/ □正月□(閏カ)□(晦カ) 日			瓦質	蔵骨器	腹	墨書		
6828	永□(禄カ)三年ミ/(ママ)□			瓦質	蔵骨器	腹	墨書	永禄3(1560)	
6829	永享七□(年)/□月廿九日			瓦質	蔵骨器	腹	墨書	永享7(1435)	
6830	□四月十□(六カ)□			瓦質	蔵骨器	腹	墨書		
6831	□十二日/□			瓦質	蔵骨器	腹	墨書		
6832	□ □弥陀□/□□(無)阿弥陀□/□ 〔ウカ〕〔ウカ〕 / □年/ □□(月)□ □(廿二カ)日			瓦質	蔵骨器	腹	墨書		
6833	□未□(時)□			瓦質	蔵骨器	腹	墨書		
6834	□四年□			瓦質	蔵骨器	腹	墨書		
6835	□(年カ)〈辛/巳〉□			瓦質	蔵骨器	腹	墨書		
6836	□□(智カ)房/□□(力)森/□弥陀仏/ □森/□下日/□永廿三□(年カ)/ □/□無阿弥□(陀仏)/□森(時計周 りに放射状に記す)			瓦質	蔵骨器	腹	墨書		
6837	□成□/□法□(界)/□国□			瓦質	蔵骨器	腹	墨書		
6838	宗春□			瓦質	蔵骨器	腹	墨書		
6839	□□(念)仏衆□(生)/□(攝)取不□(捨)/□ 〔阿カ〕□〔施カ〕			瓦質	蔵骨器	腹	墨書		
6840	森/□(理)/□(界)/□(持カ)/□			瓦質	蔵骨器	腹	墨書		
6841	草□ /悉□ /一□			瓦質	蔵骨器	腹	墨書		
6842	□阿弥陀仏□(森)			瓦質	蔵骨器	腹	墨書		
6843	□(二カ)□(月カ)/□□(仏カ)土□ /□ □			瓦質	蔵骨器	腹	墨書		
6844	□(理)/□(持)/□(理)			瓦質	蔵骨器	内底	墨書		
6845	□(南カ)無阿□ /□ □			瓦質	蔵骨器	内底	墨書		
6846	□(持カ)表□			瓦質	蔵骨器	腹	墨書		
6847	□(持カ)/□(持カ)/持			瓦質	蔵骨器	腹	墨書		
6848	〈腹部〉森 〈内底部〉森			瓦質	蔵骨器	腹・内底	墨書		
6849	□(持カ)□/森□/□□			瓦質	蔵骨器	頸	墨書		
6850	森(□/□(持カ))/森/□			瓦質	蔵骨器	腹	墨書		
6851	□/森□ /□(南カ)			瓦質	蔵骨器	腹	墨書		
6852	□/五□			瓦質	蔵骨器	腹	墨書		
6853	方□			瓦質	蔵骨器	腹	墨書		
6854	光明			瓦質	蔵骨器	腹	墨書		
6855	□靈位			瓦質	蔵骨器	腹	墨書		
6856	□ □(施カ) □(施カ)一(スミ) □			瓦質	蔵骨器	頸	墨書		
6857	南無□			瓦質	蔵骨器	頸	墨書		
6858	南無阿□ □			瓦質	蔵骨器	頸	墨書		
6859	森□			瓦質	蔵骨器	腹	墨書		
6860	□諸行□滅法/生滅滅已寂□			瓦質	蔵骨器	頸	墨書		
6861	□八月廿□			瓦質	蔵骨器	頸	墨書		
6862	□ □/南無阿□			瓦質	蔵骨器	腹	墨書		
6863	妙□□			瓦質	蔵骨器	腹	墨書		
6864	森□			瓦質	蔵骨器	頸	墨書		
6865	森□			瓦質	蔵骨器	頸	墨書		
6866	□(梵字)/□(梵字)			瓦質	蔵骨器	頸	墨書		
6867	南□(無)阿□			瓦質	蔵骨器	頸	墨書		
6868	□(南カ) □			瓦質	蔵骨器	腹	墨書		
6869	南□			瓦質	蔵骨器	腹	墨書		
6870	南□ □(無阿弥)陀仏			瓦質	蔵骨器	頸	墨書		
6871	□仏			瓦質	蔵骨器	頸	墨書		
6872	南無阿弥陀□			瓦質	蔵骨器	頸	墨書		
6873	□/□/森/□			瓦質	蔵骨器	頸	墨書		
6874	□ (梵字カ)			瓦質	蔵骨器	頸	墨書		
6875 ~7205	(墨書破片)				瓦質	蔵骨器	腹	墨書	
7206	(梵字)				瓦質	火消壺形 蔵骨器	内底	墨書	
7207	(光明真言)				瓦質	骨壺	外	墨書	
7208	森				瓦質	骨壺	外	墨書	
7209	宗□				土師質	骨壺	内	墨書	
7210	秋				瓦質	骨壺		墨書	
7211	□宗				瓦質	骨壺		墨書	
7212	(阿弥陀名号)				土器	鼎形	底	墨書	
7213	仏				土師質	小皿	内	墨書	
7214	極楽堂		元興寺極楽坊		雁振瓦			ヘラ書	
7215	極楽坊 一遍/応永十八年六月			東門	雁振瓦		裏	ヘラ書	応永18 (1411)
7216	閨/(草花の文様)		元興寺旧境内東北隅	SE001	土師器	皿	底外	墨書カ	12後カ
7217	□		元興寺旧境内GG5次	SE04	土師器	皿	底外	墨書	15前頃
7218	□□/□十月/□六月		元興寺旧境内GG6次	土坑埋土	土師器	皿	底外	墨書	13前後
7219	□不□(廻カ)□/□(十カ)□ □(筆ならしカ)		元興寺旧境内GG7次	SK01	須恵器	杯B蓋	頂外	墨書	8後-9初
7220	今(異体字)			SK01	須恵器	蓋	頂外	墨書	8後
7221	□屋			SK04	土師器	杯A	底外	墨書	8後-9初

調査主体/報告書	遺物番号	掲載頁	所在地	備考
元興寺/中公美術1976	羽73	(表)p87	奈良市	羽釜形蔵骨器腹部破片
元興寺/中公美術1976	羽74	(表)p88	奈良市	羽釜形蔵骨器腹部破片
元興寺/中公美術1976	羽75	(表)p88	奈良市	羽釜形蔵骨器腹部破片
元興寺/中公美術1976	羽76	(表)p88	奈良市	羽釜形蔵骨器腹部破片
元興寺/中公美術1976	羽77	(表)p88	奈良市	羽釜形蔵骨器腹部破片
元興寺/中公美術1976	羽78	(表)p88	奈良市	羽釜形蔵骨器腹部破片
元興寺/中公美術1976	羽79	(表)p88	奈良市	羽釜形蔵骨器腹部破片
元興寺/中公美術1976	羽80	(表)p88	奈良市	羽釜形蔵骨器腹部破片
元興寺/中公美術1976	羽81	(表)p88	奈良市	羽釜形蔵骨器腹部破片
元興寺/中公美術1976	羽82	(表)p88	奈良市	羽釜形蔵骨器腹部破片
元興寺/中公美術1976	羽83	(表)p88	奈良市	羽釜形蔵骨器腹部破片
元興寺/中公美術1976	羽84	(表)p88	奈良市	羽釜形蔵骨器腹部破片/胴部から底部に向かって四方から墨書/底部中央に梵字を記す
元興寺/中公美術1976	羽85	(表)p88	奈良市	羽釜形蔵骨器腹部破片
元興寺/中公美術1976	羽86	(表)p88	奈良市	羽釜形蔵骨器腹部破片
元興寺/中公美術1976	羽87	(表)p88	奈良市	羽釜形蔵骨器腹部破片
元興寺/中公美術1976	羽88	(表)p88	奈良市	羽釜形蔵骨器腹部破片
元興寺/中公美術1976	羽89	(表)p88	奈良市	羽釜形蔵骨器腹部破片
元興寺/中公美術1976	羽90	(表)p88	奈良市	羽釜形蔵骨器腹部破片
元興寺/中公美術1976	羽91	(表)p88	奈良市	羽釜形蔵骨器腹部破片
元興寺/中公美術1976	羽92	(表)p88	奈良市	羽釜形蔵骨器腹部破片
元興寺/中公美術1976	羽93	(表)p88	奈良市	羽釜形蔵骨器腹部破片
元興寺/中公美術1976	羽94	(表)p88	奈良市	羽釜形蔵骨器腹部破片
元興寺/中公美術1976	羽95	(表)p89	奈良市	羽釜形蔵骨器腹部破片
元興寺/中公美術1976	羽96	(表)p89	奈良市	羽釜形蔵骨器腹部破片
元興寺/中公美術1976	羽97	(表)p89	奈良市	羽釜形蔵骨器腹部破片/梵字は光明真言カ
元興寺/中公美術1976	羽98	(表)p89	奈良市	羽釜形蔵骨器腹部破片
元興寺/中公美術1976	羽99	(表)p89	奈良市	羽釜形蔵骨器腹部破片
元興寺/中公美術1976	羽100	(表)p89	奈良市	羽釜形蔵骨器腹部破片
元興寺/中公美術1976	羽101	(表)p89	奈良市	羽釜形蔵骨器腹部破片
元興寺/中公美術1976	羽102	(表)p89	奈良市	羽釜形蔵骨器腹部破片
元興寺/中公美術1976	羽103	(表)p89	奈良市	羽釜形蔵骨器腹部破片
元興寺/中公美術1976	羽105	(表)p87	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	羽107	(表)p87	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	羽108	(表)p87	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	羽109	(表)p87	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	羽110	(表)p87	奈良市	羽釜形蔵骨器/大般涅槃経
元興寺/中公美術1976	羽111	(表)p87	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	羽112	(表)p87	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	羽113	(表)p87	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	羽114	(表)p87	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	羽115	(表)p87	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	羽116	(表)p87	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	羽117	(表)p87	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	羽118	(表)p87	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	羽119	(表)p87	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	羽120	(表)p87	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	羽121	(表)p87	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	羽122	(表)p87	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	羽123	(表)p87	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976	羽124	(表)p87	奈良市	羽釜形蔵骨器
元興寺/中公美術1976		(表)p89	奈良市	六字名号破片101点/墨書銘不明211点/梵字19点
元興寺/中公美術1976	80.火5	(本文)p67,(図版)p33,(図)p69,(表)p89	奈良市	火消壺形蔵骨器/(内部底面)胎蔵界曼荼羅中台八葉院の種子(内部周囲)光明真言を逆位で底部より口縁部に向かって右廻りに墨書
元興寺/中公美術1976	133.有孔1	(本文)p78,(図版)p65,(図)p79	奈良市	小型有孔骨壺
元興寺/中公美術1976	134.有孔2	(本文)p78,(図版)p65,(図)p79	奈良市	小型有孔骨壺
元興寺/中公美術1976	139.小壺1	(本文・図)p80	奈良市	小型壺形骨壺
元興寺/中公美術1976	(不明)	(本文)p80	奈良市	小型壺形骨壺
元興寺/中公美術1976	(不明)	(本文)p80	奈良市	小型壺形骨壺
元興寺/中公美術1976	146.鼎1	(本文)p82,(図版)p70,(図)p83	奈良市	鼎形土器
元興寺/中公美術1976	149.小皿3	(本文)p82,(図版)p70,(図)p83	奈良市	
/土井1956		(本文)p225	奈良市	
/土井1956		(本文)p225	奈良市	
檀考研/県1977a	図6-4	(本文)p85,(図)p84・6,図版4	奈良市	
奈良市/教委1986b	34	(本文・図)p22	奈良市	
奈良市/教委1987		(本文・図)p56	奈良市	
奈良市/教委2002a	1098	(表)p42	奈良市	転用硯/(調査掲載)教委1987
奈良市/教委2002a	1099	(表)p42	奈良市	転用硯/(調査掲載)教委1987
奈良市/教委2002a	1100	(表)p42,図版8	奈良市	(調査掲載)教委1987

NO.	釈文	遺跡名	出土遺構	器質	器種等	記銘部	種類	時期	
7222 ・7223	□	元興寺旧境内GG29次	SG03	土師器	杯B	底外	墨書	9後-10初	
7224	□		SG03	土師器	杯or皿	底外	墨書	9後-10初	
7225	(記号カ)□		SG03	土師器	杯or皿	底外	墨書	9後-10初	
7226	□(十または(記号)+)	元興寺旧境内GG34次	SX11	須恵器	壺H	頸内	墨書	8中	
7227	〈内〉一 〈外〉一	元興寺旧境内GG48次	SK15	土師器	皿	口縁内外	墨書	15後頃	
7228	〈内〉三 〈外〉三		SK15	土師器	皿	口縁内外	墨書	15後頃	
7229	〈内〉四 〈外〉四		SK15	土師器	皿	口縁内外	墨書	15後頃	
7230	〈内〉五 〈外〉五		SK15	土師器	皿	口縁内外	墨書	15後頃	
7231	〈内〉七 〈外〉七		SK15	土師器	皿	口縁内外	墨書	15後頃	
7232	〈内〉八 〈外〉八		SK15	土師器	皿	口縁内外	墨書	15後頃	
7233	〈内〉九 〈外〉九		SK15	土師器	皿	口縁内外	墨書	15後頃	
7234	〈内〉九 〈外〉九		SK15	土師器	皿	口縁内外	墨書	15後頃	
7235	(墨書)		元興寺	1トレ S-110	土師器	皿		墨書	古代-
7236	〈凸面〉請国(花押) 〈凹面〉(判読不能文字 タタキ)			2トレ 遺構外	平瓦		凹凸	タタキ	中世
7237	〈内〉東金堂 〈外〉(記号)×	興福寺食堂	包含層	黒色土器	椀	底内外	針書籠描	奈良	
7238	〈内〉(人面の墨画) 〈外〉(人面の墨画)	興福寺325次中金堂		土師器	皿	内外	墨書	鎌倉	
7239	講堂	興福寺458次南大門		平瓦			文字叩き	中世	
7240	(線刻)	興福寺516次西室		磚			線刻		
7241	□□(進幾カ)国/応永廿二年(乙/未)八月 十二日	興福寺東金堂		平瓦		表	へら書	応永22 (1415)	
7242	応永廿(乙/未)二年/五月			軒平瓦		表	へら書	応永22 (1415)	
7243	市宅	興福寺旧境内450次	SK9225	黒色土器A		底外	墨書	10前	
7244	興福寺講堂	興福寺旧境内553次		平瓦		凸			
7245	(墨画)(鳥の絵)	興福寺旧境内	攪乱土	土師器	小皿		墨書		
7246	(判読不能)		井戸SK10	土器				墨書	奈良後
7247	(墨書)		溝(1)	須恵器	杯	底外	墨書	8末	
7248	(墨書)		土坑(5)	土師器		内		墨書	
7249	(墨書)		井戸(19)	土師器	皿	底内	墨書	12中頃-後	
7250	□ヲト		土坑(7)上層	土師器	皿	外	墨書	13中頃	
7251	〈外〉二□/□(俱カ) 〈内〉□(僧カ)/□		土坑(7)上層	土師器	皿	外・内	墨書	13中頃	
7252	(墨書)		土坑(7)上層	土師器	皿	底外	墨書	13中頃	
7253	(墨書)		土坑(7)上層	土師器	蓋	外	墨書	13中頃	
7254	(花の模様)		土坑(7)上層	土師器	皿	底	墨書	13中頃	
7255	〈外〉一 二 三 四 五 〈内〉三月/六月□/八月大/十一月大		土坑(7)下層	土師器	皿	外・内	墨書	13中頃	
7256	(墨書)		土坑(7)下層	土師器		外・内	墨書	13中頃	
7257	(流水文)		土坑(13)	土師器			墨書	13中頃-後	
7258	(習書状の「長」ほかの墨書あり)		井戸(15)	土師器	皿		墨書	13c	
7259	上□		土坑(17)	陶器		底	墨書	13中頃-後	
7260	(墨書)		土坑(32)	土師器	皿	外・内	墨書	13後	
7261	(墨書)		興福寺跡名勝奈良公園	SK09 1-13層	須恵器	杯B蓋	内カ	墨書	8後
7262	罐王□			SK02 1-2層	須恵器	蓋	口縁内	墨書	8後-末
7263	(記号)=			SK02 10-16層	須恵器	杯A	底外	墨書	8後-末
7264	(墨書)			SK02 7層	須恵器	杯A		墨書	8後-末
7265	浄来			SE08 31層上面	須恵器	杯B	底外	墨書	8末-9初
7266	文始			SE08 31層上面	須恵器	杯B	底外	墨書	8末-9初
7267	(墨書)			SE17 2層	土師器	杯A		墨書	9中頃-後
7268	(墨書)			SE17 2層	須恵器	杯B	底外	墨書刻書	9中頃-後
7269	十朝□/×(刻書)			SE17 2層	須恵器	杯B	底外	墨書刻書	9中頃-後
7270	真			SE17 2層最下層	須恵器	杯A	底外	墨書	9中頃-後
7271	(墨書)			SE17 2層	須恵器	杯A	底	墨書	9中頃-後
7272	(墨書)	SE17 3層		須恵器	杯	底	墨書	9中頃-後	
7273	(墨書)	SE17 2層		須恵器	皿	底	墨書	9中頃-後	
7274	(墨書)	SE17 1層		灰釉	段皿	底外	墨書	9中頃-後	
7275	(判読不能)	SE17 1層		灰釉	皿	底外	墨書	9中頃-後	
7276	□印	SE17 1層		灰釉	皿	底外	墨書	9中頃-後	
7277	(記号)=	SE34 5層		須恵器	杯A	底外	墨書	9後-10前	
7278	(判読不能)	SE34 1層		灰釉	皿	底外	墨書	9後-10前	
7279	□邊屋盤/(記号)×	SE30 24層		土師器	皿	底外	墨書	10中頃	
7280	(墨書)	SE30 15-16層		灰釉	椀	底外	墨書	10中頃	
7281	□/鏡禪別	SE27 16層		灰釉	椀	底外	墨書	11前	
7282	(墨書)	SE03 9層		土師器	皿	底外	墨書	11後-12前	
7283	(墨書)	SE03 1-3層		土師器	皿	底内	墨書	11後-12前	
7284	(墨書)	SE03 9層		土師器	皿	底外	墨書	11後-12前	
7285	(墨書)	SE03 1-3層		土師器	皿		墨書	11後-12前	
7286	(墨書)	SE03 1層		土師器	皿		墨書	11後-12前	
7287	(墨書)	SE03 2層		土師器	皿		墨書	11後-12前	
7288	(墨書)	SE03 8-10層		土師器	皿		墨書	11後-12前	
7289	(墨書)	SE03 11層		土師器	皿		墨書	11後-12前	
7290	(墨書)	SE03 12層		土師器	皿		墨書	11後-12前	
7291	(墨書)	SE03 9層	須恵器	皿カ	口縁内外	墨書	11後-12前		
7292	(墨書)	SE01 1-5層上面	土師器	皿	口縁内外	墨書	11後-12前		
7293	(植物の絵)	SE23 1-2層	土師器	皿	底外	刻書	12前		
7294	(墨書)	SK33 3-5層	土師器	皿	底内外	墨書	12中頃-後		
7295	(墨書)	SE11 7-14層	土師器	皿	底外カ	墨書	12前		
7296	廣大	旧一乗院宸殿	宸殿下土壇	硯	陶硯	裏側	籠描		
7297	(墨画)(天秤を担いだ人物の絵)	一乗院跡350次	SE8490	土師器		底外	墨書		
7298	〈内〉(怖い形相の人面の墨画) 〈外〉(墨書)		SE8445	土師器	皿	底内外	墨書		

調査主体/報告書	遺物番号	掲載頁	所在地	備考
奈良市/教委2002a	1101・1102	(表)p42	奈良市	計2点/(調査掲載)教委1991
奈良市/教委2002a	1103	(表)p42	奈良市	(調査掲載)教委1991
奈良市/教委2002a	1104	(表)p42	奈良市	(調査掲載)教委1991
奈良市/教委2002a	1105	(表)p42	奈良市	(調査掲載)教委1992b
奈良市/教委2001		(本文)p112	奈良市	奈良Ⅳ期前半/奈良町遺跡
奈良市/教委2001		(本文)p112	奈良市	奈良Ⅳ期前半/奈良町遺跡
奈良市/教委2001		(本文)p112	奈良市	奈良Ⅳ期前半/奈良町遺跡
奈良市/教委2001		(本文)p112	奈良市	奈良Ⅳ期前半/奈良町遺跡
奈良市/教委2001		(本文)p112	奈良市	奈良Ⅳ期前半/奈良町遺跡
奈良市/教委2001		(本文)p112	奈良市	奈良Ⅳ期前半/奈良町遺跡
奈良市/教委2001		(本文)p112	奈良市	奈良Ⅳ期前半/奈良町遺跡
奈良市/教委2001		(本文)p112	奈良市	奈良Ⅳ期前半/奈良町遺跡
調査会/2002		(表)p66	奈良市	元興寺境内遺跡調査会
調査会/2002	Fig.029-3	(本文)p46,(図)p45,Pl.26	奈良市	元興寺境内遺跡調査会
奈文研/1959	PL.37-159	(本文)p21,(図版)PL.37	奈良市	西軒廊階段西側地山直上包含層出土
奈文研/2002c	19	(本文・図)p27	奈良市	2002dにも記載
奈文研/2010b	46	(本文)p20,(図)p21	奈良市	
奈文研/2014b		(表)p187	奈良市	
/土井1956	其一	(本文)p228	奈良市	平瓦完形,長さ一尺二寸五分、巾八寸余,表面中央右より一行へら書陰刻
/土井1956	其二	(本文)p228	奈良市	軒平瓦,長さ一尺二寸四分、巾九寸余,上隅一部欠,表面中央に二行へら書
奈文研/2009	図187-1	(本文・図)p151	奈良市	
奈文研/2016b	図235-6	(本文・図)p199	奈良市	
橿考研/県1979a		(本文)p220	奈良市	
橿考研/県1990e		(本文)p187	奈良市	全部で約10点出土
橿考研/県2003i	図7-5	(図・表)p13	奈良市	
橿考研/県2003i	図16-1020	(図・表)p18,図版61	奈良市	
橿考研/県2003i	図18-1023	(表)p20,(図)p21,図版62	奈良市	
橿考研/県2003i	図35-1014	(図)p48,(表)p53,図版61	奈良市	
橿考研/県2003i	図35-1015	(図)p48,(表)p53,図版61	奈良市	
橿考研/県2003i	図35-1017	(図)p48,(表)p53,図版61	奈良市	牧や枚のような文字
橿考研/県2003i	図35-1018	(図)p48,(表)p53,図版61	奈良市	
橿考研/県2003i	図35-1021	(図)p48,(表)p53,図版62	奈良市	
橿考研/県2003i	図39-1016	(図)p56,(表)p59,図版61	奈良市	
橿考研/県2003i	図39-1240	(図)p56,(表)p59	奈良市	
橿考研/県2003i	図48-1022	(図)p72,(表)p74,図版62	奈良市	
橿考研/県2003i	図51-1019	(本文)p74,(図)p75,(表)p76,図版61	奈良市	「長」を多数習書
橿考研/県2003i	図55-1239	(図)p79,(表)p80	奈良市	
橿考研/県2003i	図63-1241	(表)p86,(図)p87	奈良市	
橿考研/県2017a	3	(本文)p58,72-74,(図)p59,73	奈良市	(表)p97,(図版)PL.66
橿考研/県2017a	22	(本文)p61,72-74,(図)p60,73	奈良市	(表)p97,(図版)PL.65
橿考研/県2017a	27	(本文)p61,72-74,(図)p60,73	奈良市	(表)p97,(図版)PL.65
橿考研/県2017a	32	(本文)p61	奈良市	(表)p98,(図版)PL.65
橿考研/県2017a	49	(本文)p61,72-74,(図)p61,73	奈良市	(表)p98,(図版)PL.65
橿考研/県2017a	50	(本文)p61,72-74,(図)p61,73	奈良市	(表)p98,(図版)PL.65
橿考研/県2017a	57	(本文)p61・62	奈良市	(表)p99,(図版)PL.67
橿考研/県2017a	64	(本文)p61・62,72-74,(図)p62,73	奈良市	(表)p99,(図版)PL.58
橿考研/県2017a	65	(本文)p61・62,72-74,(図)p62,73	奈良市	(表)p99,(図版)PL.68
橿考研/県2017a	66	(本文)p61・62,72-74,(図)p73	奈良市	(表)p99,(図版)PL.67
橿考研/県2017a	67	(本文)p61・62	奈良市	(表)p99,(図版)PL.67
橿考研/県2017a	68	(本文)p61・62	奈良市	(表)p99,(図版)PL.67
橿考研/県2017a	69	(本文)p61・62	奈良市	(表)p99,(図版)PL.67
橿考研/県2017a	71	(本文)p61・62,72-74,(図)p62,73	奈良市	(表)p99,(図版)PL.67
橿考研/県2017a	72	(本文)p61・62,72-74,(図)p62,73	奈良市	(表)p99,(図版)PL.67
橿考研/県2017a	73	(本文)p61・62,72-74,(図)p62,73	奈良市	(表)p99,(図版)PL.67
橿考研/県2017a	89	(本文)p62,72-74,(図)p63,73	奈良市	(表)p100,(図版)PL.68
橿考研/県2017a	98	(本文)p62,72-74,(図)p63,73	奈良市	(表)p100,(図版)PL.68
橿考研/県2017a	112	(本文)p62,72-74,(図)p64,73	奈良市	(表)p101,(図版)PL.68
橿考研/県2017a	120	(本文)p62,72-74,(図)p64,73	奈良市	(表)p101,(図版)PL.68
橿考研/県2017a	128	(本文)p63,72-74,(図)p64,73	奈良市	(表)p101,(図版)PL.69
橿考研/県2017a	138	(本文)p64・66,72-74,(図)p65,73	奈良市	(表)p102,(図版)PL.66
橿考研/県2017a	139	(本文)p64・66,72-74,(図)p65,73	奈良市	(表)p102,(図版)PL.66
橿考研/県2017a	140	(本文)p64・66,72-74,(図)p65,73	奈良市	(表)p102,(図版)PL.66
橿考研/県2017a	159	(本文)p64・66	奈良市	(表)p103,(図版)PL.66
橿考研/県2017a	160	(本文)p64・66	奈良市	(表)p103,(図版)PL.66
橿考研/県2017a	161	(本文)p64・66	奈良市	(表)p103,(図版)PL.66
橿考研/県2017a	162	(本文)p64・66	奈良市	(表)p103,(図版)PL.66
橿考研/県2017a	163	(本文)p64・66	奈良市	(表)p103,(図版)PL.66
橿考研/県2017a	164	(本文)p64・66	奈良市	(表)p103,(図版)PL.66
橿考研/県2017a	171	(本文)p64・66	奈良市	(表)p103,(図版)PL.66
橿考研/県2017a	183	(本文)p66・72・74,(図)p67,73	奈良市	(表)p103,(図版)PL.68
橿考研/県2017a	232	(本文)p66・68,(図)p68,73	奈良市	(表)p105,(図版)PL.69
橿考研/県2017a	262	(本文)p69・72・74,(図)p70・73	奈良市	(表)p106,(図版)PL.69
橿考研/県2017a	291	(本文)p69	奈良市	(表)p107,(図版)PL.69
委員会/一乘院1964	第22図-4	(本文)p57・58,(図)p58,(図版)第231図	奈良市	旧一乘院遺構発掘調査委員会/奈文研2007bにも記載
奈文研/2003e	図164-7	(本文・図)p167	奈良市	
奈文研/2003e	図164-11	(本文・図)p167	奈良市	

NO.	釈文	遺跡名	出土遺構	器質	器種等	記銘部	種類	時期
7299	(「御」の習書)	一乘院跡350次	SE8445	土師器	皿	底外	墨書	
7300	(判読不能な文字の習書)			土器			墨書	
7301	(戯画)	旧大乘院庭園365次北区	SK8569	土師器	皿	底外	針描	室町
7302	(墨書2行)	春日大社奈良朝築地遺構	C I 区	土師器	皿	内	墨書	13頃
7303	(蓮の花)	春日大社境内		須恵器			刻書	
7304	「貫順法/□寫三箇年/□一筆」千(十カ)之間□字三」	春日大社本宮神社		平瓦カ		凸面	型押	平安-室町
7305	大	東大寺法華堂		平瓦	I 類	凹面	へら書	奈良
7313	□□□	東大寺二月堂仏餉屋	I 期ベース上砂礫層	須恵器	杯	底外	墨書	8末-9前
7314	造寺		I 期ベース上砂礫層	須恵器	杯	底外	墨書	8末-9前
7315	□〔勅カ〕□		I 期ベース上砂礫層	須恵器	杯	底外	墨書	8末-9前
7316	□〔南カ〕		I 期ベース上砂礫層	須恵器	杯	底外	墨書	8末-9前
7317	□		I 期ベース上砂礫層	須恵器	杯	底外	墨書	8末-9前
7318	中□		I 期ベース上砂礫層	須恵器	杯	底外	墨書	8末-9前
7319	東寺		I 期ベース上砂礫層	須恵器	杯	底外	墨書	8末-9前
7320	東一		I 期ベース上砂礫層	須恵器	杯	底外	墨書	8末-9前
7321	二□		I 期ベース上砂礫層	須恵器	杯	底外	墨書	8末-9前
7322	上院		I 期ベース上砂礫層	須恵器	杯蓋	天井外	墨書	8末-9前
7323	□〔北カ〕		I 期ベース上砂礫層	土師器	皿	底外	墨書	8末-9前
7324	正□〔女カ〕		I 期ベース上砂礫層	土師器	杯	底外	墨書	8末-9前
7325	(墨書)		I 期ベース上砂礫層	須恵器	皿	底外	墨書	8末-9前
7326	東大		I 期ベース上砂礫層	須恵器	皿	底外	墨書	8末-9前
7327	東		I 期ベース上砂礫層	須恵器	杯	底外	墨書	8末-9前
7328	繼		I 期ベース上砂礫層	土師器	杯	底外	墨書	8末-9前
7329	上□		I 期ベース上砂礫層	須恵器	杯	底外	墨書	8末-9前
7330	大同		I 期ベース上砂礫層	土師器	杯	体外	墨書	8末-9前
7331	(墨書)		I 期ベース上砂礫層	須恵器	杯	底外	墨書	8末-9前
7332	東大寺		SD01下層	須恵器	皿C	底外	墨書	8前-9前
7333	□	東大寺9次		須恵器カ	杯	体外	墨書	
7334	銅長			須恵器	杯	底外	墨書	
7335	山口			須恵器	杯	体外	墨書	
7336	(βほか判読不能)	東大寺16次三社池1次	4トレV層灰砂	土師器	皿	外	墨書	(11c中心,以降も含む)
7337	(判読不能)	東大寺24次	SD01埋土下層	須恵器			墨書	8後-10頃
7338	(習書)	東大寺37次	石溝埋土	須恵器	杯蓋	上	墨書	
7339	矢(他に墨痕あり)		石溝埋土	須恵器	杯蓋	上	墨書	
7340	本	東大寺旧境内40次	褐色土下層	白釉	椀	底	墨書	中世
7341	旧		SD02	白釉		底	墨書	中世
7342	(記号)☆	東大寺旧境内42次	黒褐色砂礫層	灰釉	杯	底外	墨書	奈良-平安
7343	山	東大寺旧境内61次	SG02埋土	平瓦		凹広端寄	へら描	平安
7344	長(裏文字)	東大寺旧境内92次	SP-09	瓦			刻書	
7345	(判読不能)	東大寺旧境内111次	SE6190-6層	土師器	皿	底外	墨書	13c
7346	山		SE6190 4層	平瓦		凹	刻書	
7347	山		SE6190 5層	平瓦		凹	刻書	
7348	□(文字や文様とは判読不能)	東大寺旧境内123次	I 区SX7001 7C層	軒平瓦	609B	凸	へら描	平安
7349	塩(墨書)塩(線刻)	東大寺防災5次 9406区	地山上	土師器	杯or皿	底外	墨書線刻	平城宮Ⅲ期頃
7350	(判読不能)	東大寺防災8次 9716区	SD26埋土	須恵器	杯A	底外	墨書	
7351	(習書カ)	東大寺防災9次 9812区	SX02埋土	須恵器	壺	体外	墨書	平城Ⅱ-Ⅲ
7352	菓		SX02埋土	須恵器	皿B I	底外	墨書	平城Ⅱ-Ⅲ
7353	(墨書・17字以上あり。判読不能)	東大寺防災		瓦		凹カ	墨書	鎌倉
7354	和泉國			瓦		凹カ	墨書	鎌倉
7355	(墨書)			瓦			墨書	鎌倉
7356	(墨書)			瓦			墨書	鎌倉
7357	(墨書)			瓦			墨書	鎌倉
7358	建久伍	東大寺鐘楼岡浄土堂跡地		瓦		凸カ	へら書	建久5(1194)
7359	奉	東大寺食殿		瓦			へら書	古代
7360	奉	東大寺大仏殿廻廊南		瓦			へら書	古代
7361	奉	東大寺	不明	瓦		狭端側	へら書	古代
7362	(釈読未)	東大寺東塔院跡	1区北門北東北雨落溝	鬼瓦		左脚	へら書	中世
7363	花厳会小仏供料(記号)=(縦五本に横線で五十)本上座威儀師覚仁調進之/永暦二年三月九日	東大寺		土器	高杯	円台裏	墨書	永暦2(1161)
7364	僧春慶/建久六年正月廿七日	東大寺転害門		平瓦		表	墨書	建久6(1195)
7365	東大寺/南大門/住物/正中貳年/六月卅日	東大寺南大門		丸瓦		水切	陰刻	正中2(1325)
7366	戒堂院聖僧供養盤天平勝宝七歳七月十日□〔九〕日/東大寺	正倉院伝世品(南八)	磁皿甲第11号	二彩	平鉢	底外	墨書	勝宝7(755)
7367	戒堂院聖僧供養□〔盤〕□/東大寺		磁皿乙第1号	二彩	平鉢	底外	墨書	勝宝7(755)
7368	□□□〔戒堂院〕聖僧供養盤□		磁皿甲第12号	二彩	平鉢	底外	墨書	勝宝7(755)
7369	弘仁二年九月十八日/定八斤七兩(小)	正倉院伝世品(北一〇四)		須恵器	戒塩壺	蓋内	墨書	弘仁2(811)
7370	治葛	正倉院伝世品(北一〇五)		須恵器	治葛壺	蓋表	墨書	奈良
7371	弘仁二年九月/定十四斤一兩(小)/并壺	正倉院伝世品(北一〇六)		須恵器	壺	蓋内	墨書	弘仁2(811)
7372	訓 国/黒万呂	正倉院伝世品(南八)	磁皿丙第1号	三彩	椀	底外	墨書	古代
7373	(墨書)	正倉院伝世品	磁皿甲第13号	二彩	大平鉢	底裏	墨書	奈良
7374	致印		磁鉢乙第9号	緑釉	鉢	内	墨書	奈良
7375	致印		磁鉢丙第3号	二彩	鉢	口縁	墨書	奈良
7376	(外側)内(刻印)〈底裏〉(墨書)		薬器破片第3号	須恵器	椀	外側・底	刻印墨書	奈良
7377	内(刻印)/黄□(墨書)		薬器破片第4号	須恵器	椀蓋	裏	刻印墨書	奈良
7378	壇	法華寺123-4次西南隅	SG04	須恵器	鉢A	外	墨書	奈良後
7379	(文字)	法華寺旧境内215-15次		軒丸瓦			文字瓦	

調査主体/報告書	遺物番号	掲載頁	所在地	備考
奈文研/2003e	図164-17	(本文・図)p167	奈良市	
奈文研/2003e		(本文)p167	奈良市	数点
奈文研/2018a	438	(本文)p212,(図版)PL.118	奈良市	初出2004b
委員会/春日顕彰会1977	第12図-3	(本文)p27,(図)第12図・第44図	奈良市	築地発掘委員会
榎考研/博2016		(本文・図版)p28	奈良市	
奈良県/奈良博2018	83-⑧	(本文)p307・308,図版p108	奈良市	瓦片2片/春日大社保管/初出県1948(本文)p23, (図)p22第17図,図版第8/4字目「書カ」9字目「付カ」
奈良県/1972d		(本文)p43・44,(表)p48,(図)p59第22図	奈良市	計8点
奈良県/1984c	第28図-8	(本文)p65・69,(図)p72,(図版)第194図	奈良市	
奈良県/1984c	第28図-9	(本文)p65・69,(図)p72,(図版)第194図	奈良市	榎考研博2000-p42
奈良県/1984c	第28図-11	(本文)p65・69,(図)p72,(図版)第194図	奈良市	榎考研博2000-p42では「勅」[「経カ」]
奈良県/1984c	第29図-12	(本文)p65・69,(図)p73,(図版)第195図	奈良市	榎考研博2000-p42
奈良県/1984c	第29図-13	(本文)p65・69,(図)p73,(図版)第194図	奈良市	榎考研博2000-p42では「房」
奈良県/1984c	第29図-14	(本文)p65・69,(図)p73,(図版)第194図	奈良市	
奈良県/1984c	第29図-15	(本文)p65・69,(図)p73,(図版)第194図	奈良市	榎考研博2000-p42
奈良県/1984c	第29図-16	(本文)p65・69,(図)p73,(図版)第194図	奈良市	榎考研博2000-p42
奈良県/1984c	第29図-17	(本文)p65・69,(図)p73,(図版)第194図	奈良市	
奈良県/1984c	第29図-18	(本文)p66・69,(図)p73,(図版)第195図	奈良市	榎考研博2000-p42
奈良県/1984c	第29図-19	(本文)p67・69,(図)p73,(図版)第195図	奈良市	榎考研博2000-p42では「北」
奈良県/1984c	第29図-20	(本文)p67・69,(図)p73,(図版)第195図	奈良市	榎考研博2000-p42では「正安」
奈良県/1984c	第29図-21	(本文)p69,(図)p73,(図版)第195図	奈良市	
奈良県/1984c	第29図-22	(本文)p69,(図)p73,(図版)第194図	奈良市	榎考研博2000-p42
奈良県/1984c	第194図-201	(本文)p69,(図版)第194図	奈良市	
奈良県/1984c	第195図-202	(本文)p69,(図版)第195図	奈良市	榎考研博2000-p42
奈良県/1984c	第195図-203	(本文)p69,(図版)第195図	奈良市	榎考研博2000-p42
奈良県/1984c	第195図-204	(本文)p69,(図版)第195図	奈良市	榎考研博2000-p42
奈良県/1984c	第28図-10	(本文)p65,(図)p72	奈良市	
奈良県/栄原ほか2016	図5-1	(本文)p448,(図)p447	奈良市	
榎考研/東大寺2000	Fig.72-951	(本文)p139,(図)p138	奈良市	
榎考研/東大寺2000	Fig.72-952	(本文)p139,(図)p138	奈良市	
榎考研/東大寺2000	Fig.72-953	(本文)p139,(図)p138	奈良市	
榎考研/県1996a	図25-61	(本文)p35,(図)p32,(表)p84,(図版)PL.15	奈良市	
榎考研/東大寺2000	Fig.82-1105	(本文)p164,(図)p163	奈良市	
榎考研/東大寺2000		(本文)p100・101	奈良市	裏面転用硯
榎考研/東大寺2000		(本文)p100・101	奈良市	
榎考研/県1994b	第10図-17	(本文)p17,(図)p18	奈良市	
榎考研/県1994b	第10図-22	(本文)p17,(図)p18	奈良市	
榎考研/県1995a	第5図-2	(本文)p5,(図)p8	奈良市	東大寺塔頭地蔵院
榎考研/県1998d	第11図-57	(本文)p16,(図)p14	奈良市	「漢字として認識して良いかは再考を要する」
榎考研/県2002e	第27図-23	(本文)p49,(図)p48	奈良市	
榎考研/県2011k	図24-27	(本文)p34・35,(図)p34,(図版)PL.19	奈良市	
榎考研/県2011k	図34-1	(本文)p52,(図)p53,(図版)PL.30	奈良市	
榎考研/県2011k	図34-2	(本文)p52,(図)p53,(図版)PL.30	奈良市	
榎考研/県2011k	図33-18	(本文)p51,(図)p50,(図版)PL.29	奈良市	
榎考研/東大寺2000	Fig.158-1541	(本文)p303,(図)p304,(図版)PL.145	奈良市	
榎考研/東大寺2000	Fig.78-1054	(本文・図)p157	奈良市	
榎考研/東大寺2000	Fig.136-1410	(本文)p259,(図)p260	奈良市	
榎考研/東大寺2000	Fig.136-1417	(本文・図)p260	奈良市	転用硯
榎考研/東大寺2000	PL.170-1890	(本文)p421,(図版)PL.170	奈良市	
榎考研/東大寺2000	PL.170-1891	(本文)p421,(図版)PL.170	奈良市	本文が番号1981とするのは1891の誤りカ
榎考研/東大寺2000	PL.170-1892	(本文)p421,(図版)PL.170	奈良市	
榎考研/東大寺2000	PL.170-1893	(本文)p421,(図版)PL.170	奈良市	
榎考研/東大寺2000	PL.170-1894	(本文)p421,(図版)PL.170	奈良市	
榎考研/東大寺2000	PL.170-1895	(本文)p421,(図版)PL.170	奈良市	へう書は焼成前
榎考研/東大寺2000	Fig.200-1827	(本文)p412,(図)p413	奈良市	C種
榎考研/東大寺2000	Fig.200-1828	(本文)p412,(図)p413	奈良市	D種/中南門附近
榎考研/東大寺2000	Fig.200-1829	(本文)p414,(図)p413	奈良市	E種
調査団/東大寺2020	図40-4・5	(本文)p55,(図)p54	奈良市	史跡東大寺旧境内発掘調査団(東大寺・奈文研・榎考研)
/土井1956		(本文)p49	奈良市	
/土井1956		(本文)p55	奈良市	長さ一尺四寸七分、巾一尺五分—一尺一寸七分
/土井1956		(本文)p154・155	奈良市	
/松嶋1978	第1編271-(1)	(本文)p84,(図版)図版57	奈良市	正倉院1971(図版8・27・63・64・167,本文14)
/松嶋1978	第1編271-(2)	(本文)p84	奈良市	正倉院1971(図版9・71・72・169,本文17)
/松嶋1978	第1編271-(3)	(本文)p84	奈良市	正倉院1971(図版65・66・67・168,本文15)
/松嶋1978	第1編394	(本文)p145	奈良市	正倉院1971(図版32・143・173,本文63)
/松嶋1978	第2編16	(本文)p164	奈良市	正倉院1971(図版33・144・174,本文64)
/松嶋1978	第2編18	(本文)p164	奈良市	正倉院1971(図版145・146・175,本文65)
/松嶋1978	第2編266	(本文)p262	奈良市	正倉院1971(図版20・29・115・116・170,本文48)
/正倉院1971	本文16	(本文)p28,(図版)68-70	奈良市	
/正倉院1971	本文40	(本文)p37,(図)p89,(図版)102-104・171	奈良市	墨書は江戸
/正倉院1971	本文45	(本文)p39,(図)p90,(図版)17・110・172	奈良市	
/正倉院1971	本文72第三号	(本文)p50・51,(図版)図版160・165	奈良市	
/正倉院1971	本文72第四号	(本文)p50・51,(図版)160・164・176	奈良市	
奈文研/1981e		(本文)p45	奈良市	
奈文研/1991d		(表)p130	奈良市	

NO.	釈文	遺跡名	出土遺構	器質	器種等	記銘部	種類	時期
7380 ・7381	(墨書)	法華寺旧境内357次	土坑	土器			墨書	
7382	(墨書)		包含層	土器			墨書	
7383	八千□□□	法華寺旧境内419次	SD9157	丸瓦		凹側取り部分	へら書	室町後
7384	(記号) = (雷文状)		SD9157	土管		外	刻印	室町後
7385	宮寺	法華寺旧境内504次	SP10287	須恵器	杯Aor皿A	底外	墨書	奈良
7386	坏		SP10287	須恵器	杯B	底外	墨書	奈良
7387	条十八	法華寺旧境内532次		磚	緑釉水波文	下	へら描	奈良
7388	九			磚	緑釉水波文	下	へら描	奈良
7389	卅			磚	緑釉水波文	下	へら描	奈良
7390	八			磚	緑釉水波文	下	へら描	奈良
7391	七条冊	法華寺旧境内547次	SK10935	磚	緑釉水波文	下	へら書	奈良
7392	(番付カ)	法華寺庭園618次		磚	緑釉水波文	下	線刻	奈良
7393	一条	法華寺旧境内		磚	水波文			
7394	十三条十	伝法華寺旧境内		磚	緑釉水波文	裏面		
7395	(被り物を付けた男性像の墨画)	法華寺阿弥陀浄土院312次	SG7700	須恵器	杯A	底外	墨書	奈良
7396	施米 賀	法華寺		平瓦	緑釉瓦	凹	墨書	
7397	永享八年四月一日/ほけ寺西タウ/ケンチエンノ□□□/タヘニカイノ□□イ/ナムアマブツ	法華寺	本堂	平瓦		表	へら書	永享8(1436)
7398	文明九年		本堂	丸瓦		裏	陰刻	文明9(1477)
7399	文明九/三月		本堂	丸瓦		裏	陰刻	文明9(1477)
7400	(記号)	新薬師寺旧境内SY2次	土壙SK07	白磁	皿	高台内	墨書	16後
7401 ・7402	□/□(表裏に数字を墨書)		土壙SK07	土師器	小皿	内外	墨書	16後
7403	□(数字を墨書)		土壙SK07	土師器	小皿	内外	墨書	16後
7404	八	新薬師寺旧境内		平瓦		凹広端寄	刻書	
7405	(記号カ)□	菅原寺旧境内KK4次	SE13	土師器	高杯	杯外	墨書	8末
7406	(人面の落書)	唐招提寺講堂基壇下		須恵器	杯蓋	天井外	墨書	平安
7407	麗			黒色土器	椀	底外	針書	平安
7408	(判読不能)	唐招提寺講堂屋根		平瓦		凸左上	針書	奈良
7409	硯□	唐招提寺	4-5区SD11	須恵器	杯蓋	外	墨書	平城宮土器II-III
7410	寺		4-5区SD11	須恵器	杯B I	底外	墨書	平城宮土器II-III
7411	大衆□		4-5区SD11	須恵器	杯	底	墨書	平城宮土器II-III
7412	□		4-5区SD11	須恵器			墨書	平城宮土器II-III
7413	衆□		4-5区SD11	須恵器	杯	底外	墨書	平城宮土器II-III
7414	〈内〉招提 〈外〉仏仏仏		4-5区SD11	須恵器	杯	底内外	墨書	平城宮土器II-III
7415	壬(ほか)		4-5区SD11	土師器	皿A		墨書	平城宮土器II-III
7416	(絵カ)		4-5区SD11	土師器			墨書	平城宮土器II-III
7417	(墨書)		4-5区SD11	土師器			墨書	平城宮土器II-III
7418	招提寺		4-5区SD11	土師器		底外	墨書	平城宮土器II-III
7419	□		4-5区SD11	土師器	皿C	底外	墨書	平城宮土器II-III
7420	(墨痕)		4-5区SD11	土師器			墨書	平城宮土器II-III
7421	□		4-5区SD11	土師器			墨書	平城宮土器II-III
7422	(墨痕)		4-5区SD11	須恵器			墨書	平城宮土器II-III
7423	(墨痕)		4-5区SD11	土師器	皿		墨書	平城宮土器II-III
7424 ・7425	(墨痕)		4-5区SD11	土師器			墨書	平城宮土器II-III
7426	□		3-3(表3-1)区7層	須恵器			墨書	平城VIor長岡京期
7427	□[大カ]衆		3-3(表3-1)区7層	須恵器	杯蓋	頂	墨書	平城VIor長岡京期
7428	二合半		3-3区7層	須恵器	椀	底外	墨書	8中-後
7429	招提寺		3-3区7層	須恵器	杯	底外	墨書	平城VIor長岡京期
7430	大衆		3-3区7層	土師器	皿	底外	墨書	平城VIor長岡京期
7431	□		3-3区6層	須恵器	杯	底外	墨書	奈良後力
7432	(墨痕)		3-3区6層	須恵器	杯蓋	頂外	墨書	奈良後力
7433	□		3-3区6層	須恵器			墨書	奈良後-13前頃
7434	□[宛カ]		3-3区6層	須恵器	杯	底外	墨書	奈良後力
7435	(墨痕)		3-3区6層	須恵器	壺		墨書	奈良後-13前頃
7436	□		3-3区6層	土師器	杯		墨書	
7437	□		3-3区6層	土師器	杯		墨書	
7438	□		3-3区6層	土師器			墨書	
7439	佛所		3-3区6層	土師器	杯	底外	墨書	

調査主体/報告書	遺物番号	掲載頁	所在地	備考
奈文研/2004b		(本文)p168	奈良市	計2点/SK8536・SK8537・SK8538・SK8540のいずれかから出土
奈文研/2004b		(本文)p168	奈良市	
奈文研/2008		(本文・図)p146,(表)p147	奈良市	
奈文研/2008		(本文・図)p146,(表)p147	奈良市	
奈文研/2013	図260-3	(本文・図)p207	奈良市	
奈文研/2013	図260-4	(本文・図)p207	奈良市	
奈文研/2015		(本文)p58・59,188,(図)p190図265	奈良市	釈文はp188による
奈文研/2015		(本文)p58・59,188	奈良市	
奈文研/2015		(本文)p58・59,188	奈良市	
奈文研/2015		(本文)p58・59,188	奈良市	
奈文研/2016b	図197-12	(本文)p177,(図)p178	奈良市	
奈文研/2020	図217	(本文)p173,(図)p172	奈良市	
/奈文研2015		(本文)p59	奈良市	
/帝室博物館1937			奈良市	(所蔵)東博/奈文研2015(本文)p59
奈文研/2000b	図68-1	(本文)p60,(図)p61	奈良市	
奈文研/2000b	図67	(本文)p60,(図版)p61	奈良市	
/土井1956		(本文)p242・243	奈良市	昭和二七・九・二〇本堂解体修理中に発見,長さ一尺五分、巾上七寸五分、同下八寸一分五厘,銘文は表面にへら書
/土井1956	其一	(本文)p299	奈良市	昭和二七年四月解体修理中発見,丸瓦完形二枚あり,いずれも長さ一尺二寸七分,裏面中央に陰刻
/土井1956	其二	(本文)p299	奈良市	昭和二七年四月解体修理中発見
奈良市/教委1989	28	(本文)p84,(図)p83	奈良市	
奈良市/教委1989	31・32	(本文)p84,(図)p83	奈良市	計2点
奈良市/教委1989	33	(本文)p84,(図)p83	奈良市	
奈良教大/2012		(本文)p63	奈良市	
奈良市/教委2002a	1106	(表)p42	奈良市	(調査掲載)教委2001
奈良県/1972a	第28図-58	(本文)p71,(図)p69,(図版)第483図	奈良市	転用規
奈良県/1972a	第27図-11	(本文)p70,(図)p68,(図版)第489図	奈良市	
奈良県/1972a	第478図	(本文)p67,(図版)第478図	奈良市	製瓦時の針書
檀考研/唐招提寺1995	Fig.9-48	(本文)p64・93,(図)p65,(表)p95,(図版)PL.51	奈良市	初出県1993b/表では45に該当/内面転用規
檀考研/唐招提寺1995	Fig.9-52	(本文)p64・93,(図)p65,(表)p95,(図版)PL.51	奈良市	初出県1993b
檀考研/唐招提寺1995	Fig.9-53	(本文)p93,(図)p65,(表)p65,(図版)PL.51	奈良市	器種・記銘部位は初出県1993bによる
檀考研/唐招提寺1995	Fig.9-54	(図)p65,(表)p95,(図版)PL.51	奈良市	初出県1993b
檀考研/唐招提寺1995	Fig.9-55	(本文)p93,(図)p65,(表)p95,(図版)PL.51	奈良市	初出県1993b
檀考研/唐招提寺1995	Fig.9-56	(本文)p93・94,(図)p65,(表)p95,(図版)PL.51	奈良市	初出県1993b
檀考研/唐招提寺1995	Fig.10-83	(本文)p67,(図)p66,(表)p95,(図版)PL.51	奈良市	初出県1993b
檀考研/唐招提寺1995	Fig.10-84	(図)p66,(表)p95	奈良市	初出県1993b
檀考研/唐招提寺1995	Fig.10-85	(図)p66,(表)p95,(図版)PL.51	奈良市	初出県1993b
檀考研/唐招提寺1995	Fig.10-86	(図)p66,(表)p95,(図版)PL.51	奈良市	初出県1993b
檀考研/唐招提寺1995	Fig.10-87	(本文)p67,(図)p66,(表)p95,(図版)PL.51	奈良市	初出県1993b
檀考研/唐招提寺1995	Fig.10-88	(図)p66,(表)p95	奈良市	初出県1993b
檀考研/唐招提寺1995	Fig.10-89	(図)p66,(表)p95,(図版)PL.51	奈良市	初出県1993b
檀考研/唐招提寺1995		(表)p95	奈良市	初出県1993b
檀考研/唐招提寺1995		(表)p95	奈良市	初出県1993b
檀考研/唐招提寺1995		(表)p95	奈良市	計2点/初出県1993b
檀考研/唐招提寺1995	Fig.12-115	(図)p70,(表)p95,(図版)PL.51	奈良市	
檀考研/唐招提寺1995	Fig.12-116	(本文)p69・93・94,(図)p70,(表)p95,(図版)PL.51	奈良市	p94で119とするのは誤り
檀考研/唐招提寺1995	Fig.12-117	(本文)p69・93・94,(図)p70,(表)p95,(図版)PL.51	奈良市	初出県1993b
檀考研/唐招提寺1995	Fig.12-118	(本文)p69・93・94,(図)p70,(表)p95,(図版)PL.52	奈良市	初出県1993b
檀考研/唐招提寺1995	Fig.12-119	(本文)p69・93・94,(図)p70,(表)p95,(図版)PL.52	奈良市	p94で116とするのは誤り
檀考研/唐招提寺1995	Fig.13-138	(本文)p71,(図)p72,(表)p95,(図版)PL.52	奈良市	
檀考研/唐招提寺1995	Fig.13-139	(本文)p71,(図)p72,(表)p95	奈良市	初出県1993b/内面転用規
檀考研/唐招提寺1995	Fig.13-141	(本文)p71,(図)p72,(表)p95,(図版)PL.52	奈良市	
檀考研/唐招提寺1995	Fig.13-142	(本文)p71・93・94,(図)p72,(表)p95,(図版)PL.52	奈良市	
檀考研/唐招提寺1995	Fig.13-143	(本文)p71,(図)p72,(表)p95	奈良市	初出県1993b
檀考研/唐招提寺1995	Fig.13-145	(本文)p71,(図)p72,(表)p95,(図版)PL.52	奈良市	
檀考研/唐招提寺1995	Fig.13-146	(本文)p71,(図)p72,(表)p95,(図版)PL.52	奈良市	初出県1993b
檀考研/唐招提寺1995	Fig.13-147	(本文)p71,(図)p72,(表)p95,(図版)PL.52	奈良市	
檀考研/唐招提寺1995	Fig.13-163	(本文)p73・93,(図)p72,(表)p95,(図版)PL.52	奈良市	初出県1993b

NO.	釈文	遺跡名	出土遺構	器質	器種等	記銘部	種類	時期
7440	□	唐招提寺	3-2区東半部12層	須恵器	杯	底外	墨書	奈良力
7441	招提寺		4-5区SD11	須恵器	杯		墨書	平城宮土器II-III
7442	有右/□痕少□		3-2区西半部7層	土師器	皿	底外	墨書	奈良力
7443	□□		4-3区	土師器	皿	底外	墨書	
7444	□		4-3区	土師器	皿	底外	墨書	
7445	□		4-3区表土層	土師器	皿	底外	墨書	
7446	□		4-3区表土層	土師器	皿		墨書	
7447	□□		5-1区6層	土師器	杯		墨書	
7448	内	唐招提寺旧境内	SD1402上層	土師器	杯皿類	底外	墨書	8後
7449	(墨書)	史跡唐招提寺旧境内H29年度	窯東tr灰褐色砂	土師器	杯A	外底	墨書	8末-9初
7450	(墨書)		窯東tr灰褐色砂	土師器	皿A	外底	墨書	8末-9初
7451	(墨書)		窯東tr灰褐色砂	土師器	皿A	外底	墨書	8末-9初
7452	(墨書)		窯東tr灰褐色砂	土師器	皿A	外底	墨書	8末-9初
7453	(墨書)		窯東tr灰褐色砂	土師器	皿A	外底	墨書	8末-9初
7454	(墨書)		窯東tr灰褐色砂	土師器	杯皿	外底	墨書	8末-9初
7455	(墨痕)		窯東tr灰褐色砂	土師器	皿B	外	墨書	8末-9初
7456	(墨痕力)		窯東tr灰褐色砂	土師器	盤	内	墨書	8末-9初
7457	(墨痕)		窯東tr灰褐色砂	須恵器	杯B	外	墨書	8末-9初
7458	(墨書)		2tr中央区灰原下層	土師器	鉢	外底	墨書	8末-9初
7459	(墨痕)		2tr中央区灰原	須恵器	杯B蓋		墨書	8末-9初
7460	請取申瓦用途事/合參万貫文者/相請取申如件/応永卅二年三月廿日/吉重(花押)	唐招提寺講堂		平瓦		表	へら書	応永32(1425)
7461	□大講堂瓦也/作者橘吉重/文明九年(丁/酉)三月吉日			軒平瓦			篋書	文明9(1477)
7462	長亨元年十一月廿五日ヨリ別受執行日数廿日/奉行十人其錢同二年(戊/申)/加修理畢自己前葺六十二年(右側面)長亨二年(戊/申)四月日 瓦大工□(左側面)寿王大夫作也			鬼瓦			陰刻	長享2(1488)
7463	此御堂元亨三年(癸/亥)春三箇月之間/シ成上葺畢以此次同六月候西方縮/シ作贊之作者寿王三郎大夫正重			鴟尾		胴	陰刻	元亨3(1323)
7464	□□/唐唐(習書カ。ほかにも文字あり)	西大寺404次食堂院	SE950	土師器	皿A	底外	墨書	奈良末
7465	(記号)□(×カ)		SE950	須恵器	杯or皿	底外	墨書	奈良末
7466	西寺		SE950	須恵器	杯A	底外	墨書	奈良末
7467	西大寺		SE950	土師器	皿A	底外	墨書	奈良末
7468	□(四カ)		SE950	土師器	杯or皿	底外	墨書	奈良末
7469	小曾比		SE950	須恵器	皿A	底外	墨書	奈良末
7470	西寺		SE950	須恵器	皿A	底外	墨書	奈良末
7471	西寺		SE950	須恵器	鉢D	底外	墨書	奈良末
7472	西大寺		SE950	須恵器	杯or皿	底外	墨書	奈良末
7473	同		SE950	土師器	杯or皿	底外	墨書	奈良末
7474	西大寺/弥		SE950	須恵器	杯B	底外	墨書	奈良末
7475	西寺		SE950	須恵器	皿A	底外	墨書	奈良末
7476	西寺		SE950	須恵器	杯A	底外	墨書	奈良末
7477	西寺		SE950	須恵器	杯or皿	底外	墨書	奈良末
7478	西大		SE950	須恵器	杯or皿	底外	墨書	奈良末
7479	西大寺		SE950	須恵器	杯A	底外	墨書	奈良末
7480	西大寺		SE950	須恵器	杯A	底外	墨書	奈良末
7481	西大寺		SE950	須恵器	杯B蓋	頂外	墨書	奈良末
7482	西大寺		SE950	須恵器	杯B	底外	墨書	奈良末
7483	西大寺		SE950	土師器	皿A	底外	墨書	奈良末
7484	西大寺備(内面にも墨あり)		SE950	須恵器	皿C	底外	墨書	奈良末
7485	西大寺弥		SE950	須恵器	杯B蓋	頂外	墨書	奈良末
7486	西寺		SE950	須恵器	皿A	底外	墨書	奈良末
7487	西大□[寺カ]		SE950	須恵器	杯A	底外	墨書	奈良末
7488	西大寺/□/□		SE950	土師器	高杯	脚内	墨書	奈良末
7489	寺		SE950	須恵器	杯A	底外	墨書	奈良末
7490	□寺		SE950	須恵器	杯B	底外	墨書	奈良末
7491	寺		SE950	須恵器	皿	底外	墨書	奈良末
7492	綱		SE950	土師器	皿A	底外	墨書	奈良末
7493	同		SE950	土師器	杯or皿	底外	墨書	奈良末
7494	同		SE950	土師器	皿A	底外	墨書	奈良末
7495	同		SE950	土師器	杯or皿	底外	墨書	奈良末
7497	同		SE950	須恵器	杯B蓋	底外	墨書	奈良末
7498	同		SE950	土師器	皿A	底外	墨書	奈良末
7499	同		SE950	土師器	皿A	底外	墨書	奈良末
7500	備		SE950	須恵器	杯or皿	底外	墨書	奈良末
7501	□[毘カ]		SE950	須恵器	杯or皿	底外	墨書	奈良末
7502	厨□(記号)		SE950	土師器	椀A	底外	墨書	奈良末
7503	(記号)□		SE950	土師器	高杯	杯外	墨書	奈良末
7504	器		SE950	須恵器	皿	底外	墨書	奈良末
7505	三川		SE950	須恵器	杯B	底外	墨書	奈良末
7506	□女		SE950	須恵器	杯A	底外	墨書	奈良末
7507	真/□[大カ]		SE950	土師器	杯B	底外	墨書	奈良末
7508	九		SE950	土師器	杯or皿	底外	墨書	奈良末
7509	(記号)□		SE950	須恵器	杯or皿	底外	墨書	奈良末
7510	(記号)□(×カ)		SE950	須恵器	杯A	底外	墨書	奈良末
7511	西大寺		SE950	須恵器	杯A	底外	墨書	奈良末
7512	西大寺		SE950	土師器	高杯	杯外	墨書	奈良末

調査主体/報告書	遺物番号	掲載頁	所在地	備考
檀考研/唐招提寺1995	Fig.26-452	(図)p94,(表)p95,(図版)PL.52	奈良市	
檀考研/唐招提寺1995	Fig.26-454	(本文)p93-94,(図)p94,(表)p95,(図版)PL.52	奈良市	初出県1993b
檀考研/唐招提寺1995	Fig.26-455	(本文)p93-95,(図)p94,(表)p95,(図版)PL.52	奈良市	
檀考研/唐招提寺1995	Fig.26-456	(図)p94,(表)p95,(図版)PL.52	奈良市	
檀考研/唐招提寺1995	Fig.26-457	(図)p94,(表)p95,(図版)PL.52	奈良市	初出県1993b
檀考研/唐招提寺1995	Fig.26-458	(図)p94,(表)p95,(図版)PL.52	奈良市	初出県1993b
檀考研/唐招提寺1995	Fig.26-459	(図)p94,(表)p95,(図版)PL.52	奈良市	初出県1993b
檀考研/唐招提寺1995	Fig.26-460	(図)p94,(表)p95,(図版)PL.52	奈良市	初出県1993b
檀考研/県2017e	図97-8	(本文)p70,(図)p71,(表)p74	奈良市	
檀考研/県2019a	図16-4	(本文)p81,(表)p86,(図)p82	奈良市	
檀考研/県2019a	図16-12	(本文)p81,(表)p86,(図)p82	奈良市	
檀考研/県2019a	図16-13	(本文)p81,(表)p86,(図)p82	奈良市	
檀考研/県2019a	図16-14	(本文)p81,(表)p86,(図)p82	奈良市	
檀考研/県2019a	図16-18	(本文)p81,(表)p86,(図)p82	奈良市	
檀考研/県2019a	図16-19	(本文)p81,(表)p86,(図)p82	奈良市	
檀考研/県2019a	図16-32	(本文)p81,(表)p86,(図)p82	奈良市	
檀考研/県2019a	図16-35	(本文)p81,(表)p86,(図)p82	奈良市	
檀考研/県2019a	図17-51	(本文)p81,(表)p87,(図)p83	奈良市	転用硯か
檀考研/県2019a	図18-69	(本文)p81,(表)p87,(図)p83	奈良市	
檀考研/県2019a	図19-84	(本文)p81,(表)p88,(図)p84	奈良市	転用硯か
/土井1956		(本文)p235	奈良市	礼堂発見,長さ一尺一寸五分、巾八寸二分一九寸二分,表面にへら書
/土井1956		(本文)p300	奈良市	篋書、第一行上端一部瓦面剥脱して不明
/土井1956		(本文)p309	奈良市	西北隅降り棟一の鬼,陰刻
/土井1956		(本文)p153	奈良市	
奈文研/2007a	表3-1	(表)p29	奈良市	奈文研/2007dにも記述あり
奈文研/2007a	表3-2	(表)p29	奈良市	
奈文研/2007a	表3-3	(本文)p26,(表)p29	奈良市	
奈文研/2007a	表3-4	(本文)p26,(表)p29,(図版)PL.14	奈良市	
奈文研/2007a	表3-5	(表)p29	奈良市	
奈文研/2007a	表3-6	(表)p29,(図版)PL.14	奈良市	
奈文研/2007a	表3-7	(本文)p26,(表)p29	奈良市	
奈文研/2007a	表3-8	(本文)p26,(表)p29,(図版)PL.14	奈良市	
奈文研/2007a	表3-9	(本文)p26,(表)p29	奈良市	
奈文研/2007a	表3-10	(本文)p26,(表)p29	奈良市	
奈文研/2007a	表3-11	(本文)p26,(表)p29,(図版)PL.14	奈良市	
奈文研/2007a	表3-12	(本文)p26,(表)p29	奈良市	
奈文研/2007a	表3-13	(本文)p26,(表)p29	奈良市	
奈文研/2007a	表3-14	(本文)p26,(表)p29	奈良市	
奈文研/2007a	表3-15	(本文)p26,(表)p29	奈良市	
奈文研/2007a	表3-16	(本文)p26,(表)p29,(図版)PL.14	奈良市	
奈文研/2007a	表3-17	(本文)p26,(表)p29	奈良市	
奈文研/2007a	表3-18	(本文)p26,(表)p29	奈良市	
奈文研/2007a	表3-19	(本文)p26,(表)p29	奈良市	灯火器に転用
奈文研/2007a	表3-20	(本文)p26,(表)p29	奈良市	
奈文研/2007a	表3-21	(本文)p26,(表)p29	奈良市	
奈文研/2007a	表3-22	(本文)p26,(表)p29,(図版)PL.14	奈良市	
奈文研/2007a	表3-23	(本文)p26,(表)p29,(図版)PL.14	奈良市	
奈文研/2007a	表3-24	(本文)p26,(表)p29	奈良市	
奈文研/2007a	表3-25	(本文)p26,(表)p29	奈良市	
奈文研/2007a	表3-26	(表)p29	奈良市	
奈文研/2007a	表3-27	(表)p29	奈良市	
奈文研/2007a	表3-28	(表)p29	奈良市	
奈文研/2007a	表3-29	(本文)p26,(表)p29,(図版)PL.14	奈良市	
奈文研/2007a	表3-30	(本文)p26,(表)p29,(図版)PL.14	奈良市	
奈文研/2007a	表3-31	(本文)p26,(表)p29	奈良市	
奈文研/2007a	表3-32・33・35	(本文)p26,(表)p29	奈良市	計3点
奈文研/2007a	表3-34	(本文)p26,(表)p29,(図版)PL.14	奈良市	
奈文研/2007a	表3-36	(本文)p26,(表)p29	奈良市	
奈文研/2007a	表3-37	(表)p29,(図版)PL.14	奈良市	
奈文研/2007a	表3-38	(表)p29	奈良市	
奈文研/2007a	表3-39	(表)p29,(図版)PL.14	奈良市	2字目「器」説あり
奈文研/2007a	表3-40	(表)p29	奈良市	
奈文研/2007a	表3-41	(表)p29	奈良市	
奈文研/2007a	表3-42	(表)p29	奈良市	
奈文研/2007a	表3-43	(表)p29	奈良市	
奈文研/2007a	表3-44	(表)p29	奈良市	漆付着
奈文研/2007a	表3-45	(表)p29	奈良市	
奈文研/2007a	表3-46	(表)p29	奈良市	
奈文研/2007a	表3-47	(表)p29	奈良市	
奈文研/2007a	表3-48	(本文)p26,(表)p29,(図版)PL.14	奈良市	
奈文研/2007a	図22-28,表3-49	(本文)p24・26,(図版)p25,(表)p29	奈良市	

NO.	釈文	遺跡名	出土遺構	器質	器種等	記銘部	種類	時期	
7513	綱/□□	西大寺404次食堂院	SE950	土師器	杯or皿	底外	墨書	奈良末	
7514	□[綱カ]		SE950	土師器	碗A	底外	墨書	奈良末	
7515	同法		SE950	須恵器	杯B蓋	頂外	墨書	奈良末	
7516	同		SE950	土師器	杯or皿	底外	墨書	奈良末	
7517	衆		SE950	土師器	皿A	底外	墨書	奈良末	
7518	妹		SE950	土師器	皿A	底外	墨書	奈良末	
7519	北		SE950	須恵器	杯B蓋	頂外	墨書	奈良末	
7520	御		SE950	須恵器	杯B蓋	頂外	墨書	奈良末	
7521	葉□[師カ]		SE950	須恵器	杯or皿	底外	墨書	奈良末	
7522	(墨書)		SE950	土器				墨書	
-7566	再掲		SE950	丸瓦		凸		墨書	奈良後
再掲	(墨画)(人物像・鳥の戯画)		SE950	磚				墨書	奈良後
7567	東		西大寺旧境内SD14-1・2次	SE27枠内	土師器	杯C	底外	墨書	8末
7568	卅			SE27枠内	須恵器	蓋	頂外	墨書	8末
7569	夫			西大寺旧境内SD19次	SE501枠抜取	土師器	碗A	底外	墨書
7570	中	SE501枠抜取			土師器	杯A	底外	墨書	奈良-平安
7571	一	SE502枠内			黒色土器A	碗or皿	底外	墨書	10中頃-後
7572	++	SE502枠内			黒色土器A	碗	底外	墨書	10中頃-後
7573	六	SK619	陶器	碗or皿	底外	墨書	奈良-平安		
7574	西大寺/信師/六/□	西大寺旧境内SD25次	SD01古木屑層	土師器	甕A	体外	墨書	8後	
7575	〈底外〉東□[朝カ]「所」/皇浦「所」 〈口縁外〉「水」		SD01古木屑層	須恵器	杯A	口縁底外	墨書	8後	
7576	□[法カ]王/法/□(重ね書き)		SD01古木屑層	土師器	皿A	口縁底内	墨書	8後	
7577	国立万呂		SD01古木屑層	須恵器	杯B	底外	墨書	8後	
7578	国立公		SD01古木屑層	須恵器	杯AorB	口縁外	墨書	8後	
7579	吉万呂/二/斗		SD01古木屑層	土師器	杯A	底外	墨書	8後	
7580	麻呂麻呂		SD01古木屑層	須恵器	杯蓋	頂内	墨書	8後	
7581	□麻呂		SD01古木屑層	土師器	甕	口縁内	墨書	8中頃-後	
7582	一番/□ □麻呂		SD01古木屑層	須恵器	杯B	底外	墨書	8後	
7583	□万呂		SD01古木屑層	土師器	甕	体外	墨書	8後	
7584	□□万呂		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	底外	刻書	8後	
7585	□□□[伊止カ]万/□/□		SD01新上層	土師器	杯or皿	底内	墨書	8後-9前	
7586	田人		SD01古木屑層	須恵器	杯B	底外	墨書	8後	
7587	□[西カ]大之寺/「粥」/「道」		SD01古木屑層	土師器	杯or皿A	口縁底外	墨書	8後	
7588	寺/□/「仙」/「粥」		SD01古木屑層	土師器	杯or皿A	底外	墨書	8後	
7589	□□[大殿カ]		SD01古木屑層	須恵器	皿C	底外	墨書	8後	
7590	茹物所/□		SD01新下層	須恵器	皿AorB	底外	墨書	8後-9初	
7591	茹官		SD01新上層	須恵器	甕C	体外	墨書	8後-9前	
7592	官		SD01古木屑層	須恵器	杯蓋	頂外	墨書	8後	
7593	官		SD01古木屑層	土師器	皿A	底外	墨書	8中頃-後	
7594	官		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	底外	墨書	8後	
7595	□[僧カ]		SD01古木屑層	須恵器	杯or皿	底外	墨書	8後	
7596	長		SD01古木屑層	須恵器	杯B	底外	墨書	8後	
7597	長□		SD01古埋立層	須恵器	杯or皿蓋	頂外	墨書	8後-9初	
7598	綱		SD01古木屑層	須恵器	杯B	口縁外	墨書	8後	
7599	綱		SD01古埋立層	須恵器	杯or皿	底内	墨書	8後-9初	
7600	□□[多カ]郡		SD01古木屑層	須恵器	甕	体内	墨書	8中頃-後	
7601	□家		SD01古木屑層	須恵器	杯B	底外	墨書	8中頃-後	
7602	北		SD01古木屑層	須恵器	杯B	底外	墨書	8後	
7603	今水		SD01新下層	須恵器	鉢A	体外	墨書	8後-9初	
7604	水		SD01古木屑層	須恵器	杯B	底外	墨書	8後	
7605	水		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	底外	墨書	8後	
7606	水		SD01古木屑層	須恵器	杯蓋	頂外	墨書	8後	
7607	水部□/□(筆ならしカ)		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	底外	墨書	8後	
7608	水/「粥」(刻書)		SD01古木屑層	土師器	杯A	底外	墨書刻書	8後	
7609	粥	SD01古木屑層	土師器	杯or皿	底外	墨書	8後		
7610	粥	SD01古木屑層	土師器	杯or皿A	底外	墨書	8後		
7611	〈底外〉備 〈口縁部〉川	SD01古木屑層	須恵器	杯A	底外 口縁部	墨書	8後		
7612	備	SD01古木屑層	土師器	杯or皿A	底外	墨書	8後		
7613	□右一/「□」(重ね書き)	SD01古木屑層	土師器	杯or皿	底外	墨書	8後		
7614	□興	SD01古木屑層	土師器	杯or皿	底外	墨書	8後		
7615	人	SD01古木屑層	土師器	高杯	杯外	墨書	8後		
7616	□人□/□	SD01古木屑層	須恵器	杯or皿A	底内	墨書	8後		
7617	□人/(墨画)(眼の描画)	SD01古埋立層	須恵器	杯A	底外	墨書	8末-9初		
7618	器□/(筆ならしカ)	SD01古木屑層	土師器	杯or皿	底外	墨書	8後		
7619	道	SD01古木屑層	土師器	杯or皿A	底外	墨書	8後		
7620	仏	SD01古木屑層	土師器	杯A	口縁外	墨書	8後		
7621	□[打カ]櫃	SD01古木屑層	須恵器	杯C	底外	墨書	8後		

調査主体/報告書	遺物番号	掲載頁	所在地	備考
奈文研/2007a	表3-50	(本文)p26,(表)p29	奈良市	
奈文研/2007a	表3-51	(表)p29	奈良市	
奈文研/2007a	表3-52	(本文)p26,(表)p29,(図版)PL.14	奈良市	
奈文研/2007a	表3-53	(本文)p26,(表)p29,(図版)PL.14	奈良市	
奈文研/2007a	表3-54	(表)p29,(図版)PL.14	奈良市	
奈文研/2007a	表3-55	(表)p29,(図版)PL.14	奈良市	
奈文研/2007a	表3-56	(表)p29	奈良市	
奈文研/2007a	表3-57	(表)p29,(図版)PL.14	奈良市	
奈文研/2007a	表3-58	(本文)p26,(表)p29,(図版)PL.14	奈良市	
奈文研/2007a		(本文)p26	奈良市	計45点
奈文研/2007a		(本文)p22	奈良市	上5846として混入、再掲載/奈文研2007dにも記述あり
奈文研/2007a	図20	(本文・図)p22	奈良市	上5847として混入、再掲載/奈文研2007dにも記述あり
奈良市/教委2006b	16	(本文・図)p29	奈良市	
奈良市/教委2006b	23	(本文・図)p29	奈良市	
奈良市/教委2007b		(本文)p7・8	奈良市	
奈良市/教委2007b		(本文)p7・8	奈良市	
奈良市/教委2007b		(本文)p7・8	奈良市	
奈良市/教委2007b		(本文)p7・8	奈良市	
奈良市/教委2007b		(本文)p7・8	奈良市	
奈良市/教委2013a	501	(文字資料篇)(本文)p62,図版71,(本篇)図45-24	奈良市	(本篇)(本文)p37,(図)p38
奈良市/教委2013a	502	(文字資料篇)(本文)p62,図版72,(本篇)図49-190	奈良市	(本篇)(本文)p45,(図)p46/檀考研博2010bは「皇浦東朝」につくる
奈良市/教委2013a	503	(文字資料篇)(本文)p62,図版73	奈良市	
奈良市/教委2013a	504	(文字資料篇)(本文)p62,図版73	奈良市	
奈良市/教委2013a	505	(文字資料篇)(本文)p62,図版73	奈良市	
奈良市/教委2013a	506	(文字資料篇)(本文)p62,図版74,(本篇)図46-53	奈良市	(本篇)(本文)p40,(図)p41
奈良市/教委2013a	507	(文字資料篇)(本文)p62,図版74	奈良市	
奈良市/教委2013a	508	(文字資料篇)(本文)p62,図版74	奈良市	
奈良市/教委2013a	509	(文字資料篇)(本文)p62,図版75,(本篇)図49-192	奈良市	(本篇)(本文)p45,(図)p46
奈良市/教委2013a	510	(文字資料篇)(本文)p63,図版75	奈良市	
奈良市/教委2013a	511	(文字資料篇)(本文)p63,図版75	奈良市	
奈良市/教委2013a	512	(文字資料篇)(本文)p63,図版76	奈良市	
奈良市/教委2013a	513	(文字資料篇)(本文)p63,図版76,(本篇)図49-191	奈良市	(本篇)(本文)p45,(図)p46
奈良市/教委2013a	514	(文字資料篇)(本文)p63,図版77	奈良市	
奈良市/教委2013a	515	(文字資料篇)(本文)p63,図版77	奈良市	
奈良市/教委2013a	516	(文字資料篇)(本文)p63,図版76	奈良市	
奈良市/教委2013a	517	(文字資料篇)(本文)p63,図版77	奈良市	
奈良市/教委2013a	518	(文字資料篇)(本文)p63,図版77,(本篇)図52-243	奈良市	(本篇)(本文)p50,(図)p49
奈良市/教委2013a	519	(文字資料篇)(本文)p63,図版78	奈良市	
奈良市/教委2013a	520	(文字資料篇)(本文)p63,図版78	奈良市	
奈良市/教委2013a	521	(文字資料篇)(本文)p63,図版78	奈良市	
奈良市/教委2013a	522	(文字資料篇)(本文)p63,図版78	奈良市	
奈良市/教委2013a	523	(文字資料篇)(本文)p63,図版78,(本篇)図49-168	奈良市	(本篇)(本文)p45,(図)p46
奈良市/教委2013a	524	(文字資料篇)(本文)p63,図版78	奈良市	
奈良市/教委2013a	525	(文字資料篇)(本文)p64,図版79,(本篇)図49-174	奈良市	(本篇)(本文)p45,(図)p46
奈良市/教委2013a	526	(文字資料篇)(本文)p64,図版79	奈良市	
奈良市/教委2013a	527	(文字資料篇)(本文)p64,図版79	奈良市	
奈良市/教委2013a	528	(文字資料篇)(本文)p64,図版79	奈良市	
奈良市/教委2013a	529	(文字資料篇)(本文)p64,図版80,(本篇)図49-195	奈良市	(本篇)(本文)p45,(図)p46
奈良市/教委2013a	530	(文字資料篇)(本文)p64,図版80,(本篇)図54-272	奈良市	(本篇)(本文)p53,(図)p52
奈良市/教委2013a	531	(文字資料篇)(本文)p64,図版81	奈良市	
奈良市/教委2013a	532	(文字資料篇)(本文)p64,図版81	奈良市	
奈良市/教委2013a	533	(文字資料篇)(本文)p64,図版81	奈良市	
奈良市/教委2013a	534	(文字資料篇)(本文)p64,図版82	奈良市	
奈良市/教委2013a	535	(文字資料篇)(本文)p64,図版82,(本篇)図46-56	奈良市	(本篇)(本文)p40,(図)p41
奈良市/教委2013a	536	(文字資料篇)(本文)p64,図版83	奈良市	
奈良市/教委2013a	537	(文字資料篇)(本文)p64,図版83	奈良市	
奈良市/教委2013a	538	(文字資料篇)(本文)p64,図版84,(本篇)図49-155	奈良市	(本篇)(本文)p45,(図)p46
奈良市/教委2013a	539	(文字資料篇)(本文)p64,図版83	奈良市	
奈良市/教委2013a	540	(文字資料篇)(本文)p64,図版83	奈良市	
奈良市/教委2013a	541	(文字資料篇)(本文)p64,図版83	奈良市	
奈良市/教委2013a	542	(文字資料篇)(本文)p64,図版83	奈良市	
奈良市/教委2013a	543	(文字資料篇)(本文)p64,図版85	奈良市	
奈良市/教委2013a	544	(文字資料篇)(本文)p64,図版85	奈良市	
奈良市/教委2013a	545	(文字資料篇)(本文)p64,図版85	奈良市	
奈良市/教委2013a	546	(文字資料篇)(本文)p64,図版85	奈良市	
奈良市/教委2013a	547	(文字資料篇)(本文)p64,図版85	奈良市	
奈良市/教委2013a	548	(文字資料篇)(本文)p65,図版86,(本篇)図49-194	奈良市	(本篇)(本文)p45,(図)p46

NO.	釈文	遺跡名	出土遺構	器質	器種等	記銘部	種類	時期
7622	<内面>天正□天 <外面>□□	西大寺旧境内SD25次	SD01古木屑層	須恵器	杯蓋	頂内外	墨書	8後
7623	米		SD01古木屑層	土師器	甕	体外	墨書	8後
7624	□有真□/□□		SD01古木屑層	土師器	甕	体内	墨書	8後
7625	大		SD01古最下層	須恵器	杯蓋	頂内	墨書	8中頃-後
7626	大		包含層	須恵器	杯B	底外	墨書	
7627	万		SD01古木屑層	須恵器	杯or皿	底外	墨書	8後
7628	羅		SD01古木屑層	須恵器	杯AorB	口縁外	墨書	8後
7629	升		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	底外	墨書	8後
7630	元		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	底外	墨書	8後
7631	立		SD01古木屑層	土師器	碗A	底外	墨書	8後
7632	典		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	底外	墨書	8後
7633	之		SD01古木屑層	土師器	碗or壺	体外	墨書	8後
7634	之		SD01古木屑層	須恵器	杯C	底外	墨書	8後
7635	壺□		SD01古最下層	土師器	甕	体外	墨書	8中頃-後
7636	一/□〔一カ〕		SD01古木屑層	土師器	杯or皿A	底外	墨書	8後
7637	十		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	底外	墨書	8後
7638	報報/□厨解□		SD01古木屑層	須恵器	杯蓋	頂外	墨書	8後
7639	□大大「□□」〔嵯峨〕		SD01古木屑層	須恵器	皿C	口縁外	墨書	8後
7640	□部王□□□惠恵/□西大寺二□		SD01古木屑層	土師器	皿A	口縁底外	墨書	8後
7641	□道有/「有」/□/□		SD01古最下層	土師器	甕	体内	墨書	8後-9初
7642	有/有		SD01新下層	土師器	壺or鉢	体内	墨書	8後-9初
7643	□/有有(重ね書き)/有□		SD01古木屑層	土師器	甕or壺or鉢	体内	墨書	8後
7644	浄/浄		SD01古木屑層	土師器	杯or皿A	底外	墨書	8後
7645	□大若□若□/東/山山(重ねて刻書)		SD01古木屑層	土師器	杯A	口縁外	墨書刻書	8後
7646	□〔黄カ〕□〔恋カ〕/□処福□/□/福福□		SD01古木屑層	土師器	皿B	底外	墨書	8後
7647	(記号)△		SD01古木屑層	土師器	皿A	口縁外	墨書	8後
7648	□(記号カ)#		SD01新下層	須恵器	杯B	底外	墨書	8後-9初
7649	□〔日カ〕□		SD01新上層	須恵器	壺or鉢	底外	墨書	8後-9前
7650	□〔山カ〕		包含層	須恵器	壺	底外	墨書	
7651	□〔一カ〕		SD01新上層	須恵器	杯蓋	頂内	墨書	8後-9前
7652	□〔一カ〕(あるいは筆ならし)		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	底外	墨書	8後
7653	□〔三カ〕		SD01古木屑層	須恵器	杯or皿	底外	墨書	8後
7654	□〔五カ〕		SD01古埋立層	須恵器	杯or皿A	底外	墨書	8後
7655	<内面>□〔十カ〕<外面>□		SD01古最下層	須恵器	杯蓋	頂内外	墨書	8中頃-後
7656	□〔廿カ〕		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	底外	墨書	8後
7657	□〔道カ〕		SD01新下層	土師器	杯or皿	底外	墨書	8後-9初
7658	□〔基カ〕		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	底外	墨書	8後
7659	□〔長カ〕		SD01古埋立層	須恵器	杯蓋	頂外	墨書	8後-9初
7660	□〔合カ〕□		SD01古埋立層	須恵器	甕	体内	墨書	8後-9初
7661	□〔乙カ〕□		SD01古木屑層	土師器	皿A	底外	墨書	8後
7662	□〔水カ〕		SD01古木屑層	須恵器	杯B	底外	墨書	8後
7663	(記号カ)=		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	口縁外	墨書	8後
7664	□(人偏の字)		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	底外	墨書	8後
7665	□(鍋蓋の字)		SD01古木屑層	須恵器	杯or皿A	底外	墨書	8後
7666	□(立刀の字)		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	底外	墨書	8後
7667	(記号)(蓮華紋カ)		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	口縁外	墨書	8後
7668	(墨画)		SD01古木屑層	土師器	杯or皿A	底外	墨書	8後
7669	(墨画)		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	底外	墨書	8後
7670	<内面>(墨画)<外面>□□□□		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	底内外	墨書	8後
7671	(墨画)		SD01新下層	土師器	杯or皿A	底内外	墨書	8後-9初
7672	□/□/(墨画カ)		SD01古木屑層	土師器	皿A	底外	墨書	8後
7673	(墨画カ)		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	底内	墨書	8後
7674	(墨線)		SD01古木屑層	須恵器	皿C	口縁内	墨書	8後
7675	(記号カ)□		SD01新下層	土師器	皿A	底外	墨書	8後-9初
7676	<内面>□□□ <外面>(記号カ)□		SD01古木屑層	須恵器	皿B	底内外	墨書	8後
7677	(記号カ)□		SD01古埋立層	須恵器	杯B	底外	墨書	8後-9初
7678	□		SD01新上層	土師器	甕	体外	墨書	8後-9前
7679	□		SD01古埋立層	土師器	杯or皿	底外	墨書	8後-9初
7680	□		石組裏込め	須恵器	杯or皿	底外	墨書	8後
7681	□		SD01古埋立層	須恵器	杯or皿	底外	墨書	8後-9初
7682	□		石組裏込め	土師器	杯or皿	底外	墨書	8後
7683	□□		SD01新下層	須恵器	鉢F	体外	墨書	8後-9初
7684	□□□□		SD01古埋立層	須恵器	杯B	底外	墨書	8後-9初
7685	□		SD01古木屑層	須恵器	鉢A	体外	墨書	8後
7686	□		SD01古最下層	須恵器	甕	体外	墨書	8中頃-後
7687	□		SD01古木屑層	須恵器	杯or皿蓋	頂内	墨書	8後
7688	<内面>□□□□/□/□/□□ <外面>□/□/□		SD01古木屑層	須恵器	皿B	口縁底内外	墨書	8後
7689	□(墨痕カ)		SD01古木屑層	須恵器	杯蓋	頂内外	墨書	8後
7690	□		SD01古最下層	土師器	杯or皿A	底内	墨書	8中頃-後
7691	□		SD01古木屑層	土師器	杯or皿A	底外	墨書	8後
7692	□		SD01古木屑層	土師器	杯or皿A	口縁外	墨書	8後
7693	□		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	底外	墨書	8後
7694	□		SD01古木屑層	土師器	杯or皿A	口縁底外	墨書	8後
7695	□		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	口縁内	墨書	8後
7696	□		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	口縁内	墨書	8後

調査主体/報告書	遺物番号	掲載頁	所在地	備考
奈良市/教委2013a	549	(文字資料篇)(本文)p65,図版85	奈良市	
奈良市/教委2013a	550	(文字資料篇)(本文)p65,図版87	奈良市	
奈良市/教委2013a	551	(文字資料篇)(本文)p65	奈良市	
奈良市/教委2013a	552	(文字資料篇)(本文)p65,図版88	奈良市	
奈良市/教委2013a	553	(文字資料篇)(本文)p65,図版88	奈良市	
奈良市/教委2013a	554	(文字資料篇)(本文)p65,図版87	奈良市	
奈良市/教委2013a	555	(文字資料篇)(本文)p65,図版87	奈良市	
奈良市/教委2013a	556	(文字資料篇)(本文)p65,図版87	奈良市	
奈良市/教委2013a	557	(文字資料篇)(本文)p65,図版88	奈良市	
奈良市/教委2013a	558	(文字資料篇)(本文)p65,図版89	奈良市	
奈良市/教委2013a	559	(文字資料篇)(本文)p65,図版89	奈良市	
奈良市/教委2013a	560	(文字資料篇)(本文)p65,図版89	奈良市	
奈良市/教委2013a	561	(文字資料篇)(本文)p65,図版89	奈良市	
奈良市/教委2013a	562	(文字資料篇)(本文)p65,図版89	奈良市	
奈良市/教委2013a	563	(文字資料篇)(本文)p65,図版90	奈良市	
奈良市/教委2013a	564	(文字資料篇)(本文)p65,図版90	奈良市	
奈良市/教委2013a	565	(文字資料篇)(本文)p66,図版90	奈良市	
奈良市/教委2013a	566	(文字資料篇)(本文)p66,図版90,(本篇)図49-182	奈良市	(本篇)(本文)p45,(図)p46
奈良市/教委2013a	567	(文字資料篇)(本文)p66,図版90,(本篇)図47-98	奈良市	(本篇)(本文)p43,(図)p42
奈良市/教委2013a	568	(文字資料篇)(本文)p66,図版90	奈良市	
奈良市/教委2013a	569	(文字資料篇)(本文)p66,図版91	奈良市	
奈良市/教委2013a	570	(文字資料篇)(本文)p66,図版91	奈良市	
奈良市/教委2013a	571	(文字資料篇)(本文)p66,図版91	奈良市	
奈良市/教委2013a	572	(文字資料篇)(本文)p66,図版91	奈良市	「東」に重ねて「山 山」を刻書
奈良市/教委2013a	573	(文字資料篇)(本文)p66,図版92,(本篇)図47-113	奈良市	(本篇)(本文)p43,(図)p42
奈良市/教委2013a	574	(文字資料篇)(本文)p66,(本篇)図47-106	奈良市	(本篇)(本文)p43,(図)p42
奈良市/教委2013a	575	(文字資料篇)(本文)p66	奈良市	
奈良市/教委2013a	576	(文字資料篇)(本文)p66	奈良市	
奈良市/教委2013a	577	(文字資料篇)(本文)p66	奈良市	
奈良市/教委2013a	578	(文字資料篇)(本文)p66	奈良市	
奈良市/教委2013a	579・580	(文字資料篇)(本文)p66	奈良市	計2点
奈良市/教委2013a	581	(文字資料篇)(本文)p66	奈良市	
奈良市/教委2013a	582	(文字資料篇)(本文)p66	奈良市	
奈良市/教委2013a	583	(文字資料篇)(本文)p67	奈良市	
奈良市/教委2013a	584	(文字資料篇)(本文)p67	奈良市	
奈良市/教委2013a	585	(文字資料篇)(本文)p67,図版93	奈良市	
奈良市/教委2013a	586	(文字資料篇)(本文)p67,図版93	奈良市	
奈良市/教委2013a	587	(文字資料篇)(本文)p67,図版93	奈良市	
奈良市/教委2013a	588	(文字資料篇)(本文)p67	奈良市	
奈良市/教委2013a	589	(文字資料篇)(本文)p67	奈良市	
奈良市/教委2013a	590	(文字資料篇)(本文)p67,図版93,(本篇)図49-193	奈良市	(本篇)(本文)p45,(図)p46
奈良市/教委2013a	591	(文字資料篇)(本文)p67,図版93	奈良市	
奈良市/教委2013a	592	(文字資料篇)(本文)p67	奈良市	
奈良市/教委2013a	593	(文字資料篇)(本文)p67	奈良市	
奈良市/教委2013a	594	(文字資料篇)(本文)p67	奈良市	
奈良市/教委2013a	595	(文字資料篇)(本文)p67,図版93	奈良市	
奈良市/教委2013a	597	(文字資料篇)(本文)p67	奈良市	
奈良市/教委2013a	598	(文字資料篇)(本文)p67	奈良市	
奈良市/教委2013a	599	(文字資料篇)(本文)p67,図版95	奈良市	
奈良市/教委2013a	600	(文字資料篇)(本文)p67	奈良市	
奈良市/教委2013a	601	(文字資料篇)(本文)p67,図版94	奈良市	
奈良市/教委2013a	602	(文字資料篇)(本文)p67	奈良市	
奈良市/教委2013a	603	(文字資料篇)(本文)p67	奈良市	
奈良市/教委2013a	604	(文字資料篇)(本文)p68,図版95	奈良市	
奈良市/教委2013a	605	(文字資料篇)(本文)p68,図版95,(本篇)図49-197	奈良市	(本篇)(本文)p45,(図)p46
奈良市/教委2013a	606	(文字資料篇)(本文)p68,図版95,(本篇)図52-230	奈良市	(本篇)(本文)p50,(図)p49
奈良市/教委2013a	607	(文字資料篇)(本文)p68	奈良市	
奈良市/教委2013a	608	(文字資料篇)(本文)p68	奈良市	
奈良市/教委2013a	609	(文字資料篇)(本文)p68	奈良市	
奈良市/教委2013a	610	(文字資料篇)(本文)p68	奈良市	
奈良市/教委2013a	611	(文字資料篇)(本文)p68	奈良市	
奈良市/教委2013a	612	(文字資料篇)(本文)p68,(本篇)図54-273	奈良市	(本篇)(本文)p53,(図)p52
奈良市/教委2013a	613	(文字資料篇)(本文)p68,(本篇)図52-228	奈良市	(本篇)(本文)p50,(図)p49
奈良市/教委2013a	614	(文字資料篇)(本文)p68	奈良市	
奈良市/教委2013a	615	(文字資料篇)(本文)p68	奈良市	
奈良市/教委2013a	616	(文字資料篇)(本文)p68	奈良市	
奈良市/教委2013a	617	(文字資料篇)(本文)p68,(本篇)図49-188	奈良市	(本篇)(本文)p45,(図)p46
奈良市/教委2013a	618	(文字資料篇)(本文)p68	奈良市	
奈良市/教委2013a	619	(文字資料篇)(本文)p68	奈良市	
奈良市/教委2013a	620	(文字資料篇)(本文)p68	奈良市	
奈良市/教委2013a	621	(文字資料篇)(本文)p68	奈良市	
奈良市/教委2013a	622	(文字資料篇)(本文)p68	奈良市	
奈良市/教委2013a	623	(文字資料篇)(本文)p68	奈良市	
奈良市/教委2013a	624	(文字資料篇)(本文)p69	奈良市	

NO.	釈文	遺跡名	出土遺構	器質	器種等	記銘部	種類	時期
7697	<input type="checkbox"/>	西大寺旧境内SD25次	SD01古埋立層	土師器	杯or皿	底外	墨書	8後-9初
7698	<input type="checkbox"/>		SD01新上層	土師器	椀C	口縁外	墨書	8後-9前
7699	<input type="checkbox"/>		SD01古埋立層	土師器	高杯	杯内外	墨書	8後-9初
7700	<input type="checkbox"/>		SD01古木屑層	須恵器	杯蓋	頂外	墨書	8後
7701	<input type="checkbox"/>		SD01古木屑層	須恵器	甕	体外	墨書	8後
7702	<input type="checkbox"/>		SD01新下層	須恵器	杯or皿蓋	頂内	墨書	8後-9初
7703	<input type="checkbox"/>		SD01古木屑層	須恵器	杯or皿蓋	頂内	墨書	8後
7704	<input type="checkbox"/>		SD01古木屑層	須恵器	杯or皿	底外	墨書	8後
7705	<input type="checkbox"/>		SD01古木屑層	須恵器	壺or鉢	体外	墨書	8後
7706	<input type="checkbox"/>		SD01古木屑層	土師器	杯or椀	底外	墨書	8後
7707	<input type="checkbox"/>		SD01古埋立層	土師器	杯or皿A	口縁底外	墨書	8後-9初
7708	<input type="checkbox"/>		SD01古埋立層	須恵器	杯蓋	頂内	墨書	8後-9初
7709	<input type="checkbox"/>		SD01古埋立層	須恵器	皿A	底内	墨書	8後-9初
7710	<input type="checkbox"/>		SD01古木屑層	須恵器	皿C	口縁外	墨書	8後
7711	<input type="checkbox"/>		石組裏込め	須恵器	杯B	底外	墨書	8後
7712	<input type="checkbox"/>		SD01古木屑層	須恵器	杯or皿A	底内	墨書	8後
7713	<input type="checkbox"/>		SD01古木屑層	須恵器	杯or皿A	底外	墨書	8後
7714	<input type="checkbox"/>		SD01古木屑層	須恵器	杯蓋	縁部内外	墨書	8後
7715	<input type="checkbox"/> 〈内面〉 <input type="checkbox"/> 〈外面〉 <input type="checkbox"/>		SD01古木屑層	土師器	甕	体内外	墨書	8後
7716	<input type="checkbox"/>		SD01古木屑層	土師器	甕	体外	墨書	8後
~7718	<input type="checkbox"/>		SD01古木屑層	土師器	甕	体外	墨書	8後
7719	<input type="checkbox"/> /□□□□□□(筆ならし紋様カ)		SD01古木屑層	土師器	皿A	口縁外	墨書	8後
7720	<input type="checkbox"/>		SD01古埋立層	土師器	杯or皿	口縁内	墨書	8後-9初
7721	<input type="checkbox"/>		SD01古木屑層	土師器	杯or皿A	体外	墨書	8後
7722	<input type="checkbox"/>		SD01古木屑層	須恵器	杯or皿	口縁内	墨書	8後
7723	<input type="checkbox"/>		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	底外	墨書	8後
7724	<input type="checkbox"/>		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	口縁外	墨書	8後
7725	<input type="checkbox"/>		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	口縁外	墨書	8後
7726	<input type="checkbox"/>		SD01古木屑層	土師器	甕	体内	墨書	8後
7727	<input type="checkbox"/>		SD01古木屑層	土師器	椀A	底外	墨書	8後
7728	<input type="checkbox"/>		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	底内	墨書	8後
7729	<input type="checkbox"/>		SD01古木屑層	須恵器	杯or皿A	底内	墨書	8後
7730	<input type="checkbox"/>		SD01古木屑層	土師器	杯or皿A	底内	墨書	8後
7731	<input type="checkbox"/>		SD01古木屑層	土師器	甕	体外	墨書	8後
7732	<input type="checkbox"/> (筆ならし)		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	底外	墨書	8後
7733	<input type="checkbox"/>		SD01古木屑層	土師器	高杯	杯外	墨書	8後
~7735	<input type="checkbox"/>		SD01古木屑層	土師器	壺or鉢	体外	墨書	8後
7736	<input type="checkbox"/>		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	底外	墨書	8後
7737	<input type="checkbox"/>		SD01古埋立層	土師器	甕	体外	墨書	8後-9初
7738	<input type="checkbox"/>		SD01古木屑層	土師器	杯or皿A	口縁底内外	墨書	8後
7739	<input type="checkbox"/> (筆ならしカ)		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	底内	墨書	8後
7740	<input type="checkbox"/> 〈内面〉 <input type="checkbox"/> 〈外面〉 <input type="checkbox"/>		SD01古木屑層	土師器	杯or皿A	底内外	墨書	8後
7741	<input type="checkbox"/> 〈内面〉 <input type="checkbox"/> 〈外面〉 <input type="checkbox"/>		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	底内外	墨書	8後
7742	<input type="checkbox"/>		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	底外	墨書	8後
7743	<input type="checkbox"/> 〈内面〉 <input type="checkbox"/> 〈外面〉 <input type="checkbox"/>		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	底外	墨書	8中頃-後
7744	<input type="checkbox"/>		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	底外	墨書	8後-9前
7745	<input type="checkbox"/> /□		SD01新上層	須恵器	杯or皿A	底外	墨書	8後-9初
7746	<input type="checkbox"/>		SD01古埋立層	須恵器	杯B	底外	墨書	8後-9初
7747	<input type="checkbox"/> (筆ならしカ)		SD01古埋立層	須恵器	杯A	底外	墨書	8後-9初
7748	<input type="checkbox"/>		SD01新下層	土師器	甕	体外	墨書	8後-9前
7749	<input type="checkbox"/>		SD01古最下層	須恵器	杯or皿蓋	頂内外	墨書	8中頃-後
7750	<input type="checkbox"/> (筆ならしカ)		SD01新下層	土師器	椀A	底外	墨書	8後-9初
7751	<input type="checkbox"/>		SD01古木屑層	土師器	甕	体内	墨書	8後
7752	<input type="checkbox"/>		SD01古木屑層	土師器	壺B	体外	墨書	8後
7753	<input type="checkbox"/> □□□(人面墨書カ)		SD01古最下層	土師器	椀C	口縁外	墨書	8中頃-後
7754	<input type="checkbox"/>		SD01古最下層	土師器	椀or壺	体外	墨書	8中頃-後
7755	<input type="checkbox"/>		SD01新下層	須恵器	杯A	口縁底外	墨書	8後-9初
7756	<input type="checkbox"/>		SD01古木屑層	須恵器	杯AorB	口縁外	墨書	8後
7757	<input type="checkbox"/>		SD01古木屑層	須恵器	皿C	底外	墨書	8後
7758	<input type="checkbox"/>		SD01新上層	須恵器	杯A	口縁外	墨書	8後-9前
7759	<input type="checkbox"/>		SD01新下層	須恵器	杯蓋	頂内	墨書	8後-9初
7760	<input type="checkbox"/> /□/□		SD01古木屑層	須恵器	杯A	底内	墨書	古代
7761	<input type="checkbox"/> (筆ならしカ)		SD01古最下層	須恵器	甕	体内	墨書	8中頃-後
7762	<input type="checkbox"/>		SD01古最下層	土師器	杯or皿A	底外	墨書	8中頃-後
7763	<input type="checkbox"/>		SD01古最下層	土師器	杯or皿	底外	墨書	8中頃-後
7764	<input type="checkbox"/>		SD01古木屑層	土師器	皿A	口縁外	墨書	8後
7765	<input type="checkbox"/>		SD01古木屑層	土師器	皿A	口縁底内外	墨書	8後
7766	<input type="checkbox"/>		SD01古木屑層	土師器	甕	体内	墨書	8後
7767	<input type="checkbox"/> /□		SD01新下層	土師器	椀A	口縁底外	墨書	8後-9初
7768	<input type="checkbox"/> (筆ならしカ)		SD01新上層	須恵器	杯or皿蓋	頂内	墨書	8後-9前
7769	<input type="checkbox"/>		SD01古最下層	須恵器	高杯	杯内外	墨書	8中頃-後
7770	<input type="checkbox"/>		SD01新上層	土師器	皿A	底外	墨書	8後-9前
7771	<input type="checkbox"/> (筆ならしカ)		SD01新下層	土師器	甕	体外	墨書	8後-9初
7772	<input type="checkbox"/>		SD01古木屑層	須恵器	杯or皿	底外	墨書	8後
7773	<input type="checkbox"/>		SD01古木屑層	須恵器	甕	体外	墨書	8後
7774	<input type="checkbox"/>		SD01古木屑層	須恵器	杯or皿	底内	墨書	8後
7775	<input type="checkbox"/>		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	口縁外	墨書	8後
7776	<input type="checkbox"/>		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	底内	墨書	8後
7777	<input type="checkbox"/>	SD01古木屑層	土師器	杯or皿	口縁外	墨書	8後	
7778	<input type="checkbox"/>	SD01古木屑層	土師器	杯or皿	底内	墨書	8後	
7779	<input type="checkbox"/>	SD01古木屑層	土師器	杯or皿	底外	墨書	8後	
~7782	<input type="checkbox"/>	SD01古木屑層	土師器	杯or皿A	口縁内外	墨書	8後	
7783	<input type="checkbox"/>	SD01古木屑層	土師器	杯or皿	底外	墨書	8後	
7784	<input type="checkbox"/> 〈内面〉 <input type="checkbox"/> 〈外面〉 <input type="checkbox"/>	SD01古木屑層	土師器	杯or皿A	口縁内外	墨書	8後	

NO.	釈文	遺跡名	出土遺構	器質	器種等	記銘部	種類	時期	
7785		西大寺旧境内SD25次	SD01古木屑層	須恵器	杯蓋	頂外	墨書	8後	
7786			SD01古木屑層	須恵器	皿A	底外	墨書	8後	
7787			SD01古木屑層	須恵器	杯or皿	底外	墨書	8後	
7788			SD01古木屑層	須恵器	甕	頸内	墨書	8後	
7789			SD01古木屑層	須恵器	杯AorB	口縁外	墨書	8後	
7790			SD01新下層	土師器	杯A	底外	墨書	8後-9初	
7791			SD01古埋立層	須恵器	盤A	体内外	墨書	8後-9初	
7792			SD01古木屑層	須恵器	壺or鉢	体外	墨書	8後	
7793			SD01古木屑層	須恵器	壺	体外	墨書線刻	8後	
7794			SD01古木屑層	須恵器	杯or皿	底外	墨書	8後	
7795	(線刻あり)		SD01古木屑層	須恵器	杯or皿蓋	頂内外	墨書	8後	
7796			SD01古木屑層	須恵器	杯AorB	口縁内外	墨書	8後	
7797			SD01古木屑層	須恵器	杯or皿	底内	墨書	8後	
7798			SD01古木屑層	須恵器	鉢A	体内外	墨書	8後	
7799	〈内面〉□ 〈外面〉□		SD01古木屑層	須恵器	皿A	底外	墨書	8後	
7800	□(筆ならし)		SD01古木屑層	須恵器	杯蓋	頂内	墨書	8後-9前	
7801	□□		SD01新上層	須恵器	杯蓋	頂内	墨書	8後-9前	
7802	□□(筆ならし)		SD01古木屑層	須恵器	皿C	底内外	墨書	8後	
7803	□□□		SD01古木屑層	須恵器	杯B	口縁外	墨書	8後	
7804	□□□		SD01新上層	須恵器	杯蓋	頂内	墨書	8後-9前	
7805	〈内面〉□ 〈外面〉□		SD01古木屑層	須恵器	杯or皿A	底外	墨書	8後	
7806	□		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	底外	墨書	8後	
7807	□		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	口縁内外	墨書	8後	
7808	□		SD01古木屑層	土師器	皿A	口縁内	墨書	8後	
7809	□		SD01古木屑層	土師器	皿A	口縁外	墨書	8後	
7810	□		SD01古木屑層	土師器	杯or皿A	底外	墨書	8後	
7811	□		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	底外	墨書	8後	
7812	□		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	口縁内外	墨書	8後	
7813	□		SD01古木屑層	土師器	皿A	口縁内	墨書	8後	
7814	□		SD01古木屑層	土師器	皿A	口縁外	墨書	8後	
7815	□		SD01古木屑層	土師器	杯or皿A	底外	墨書	8後	
7816	□		SD01古木屑層	土師器	杯or皿A	底内外	墨書	8後	
7817	□		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	底外	墨書	8後	
7818	□		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	底外	墨書	8後	
7819	□		SD01古木屑層	土師器	杯or皿A	底内外	墨書	8後	
7820	□		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	底外	墨書	8後	
7821	□		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	底外	墨書	8後	
7822	□		SD01古木屑層	土師器	杯A	口縁内	墨書	8後	
7823	□		SD01古木屑層	土師器	甕	体外	墨書	8後	
7824	□		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	口縁外	墨書	8後	
7825	□		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	口縁内	墨書	8後	
7826	□		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	底内外	墨書	8後	
7827	□		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	底内	墨書	8後	
7828	□		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	底内外	墨書	8後	
7829	□		SD01古木屑層	土師器	皿A	底外	墨書	8後	
7830	□		SD01古木屑層	土師器	甕	体内外	墨書	8後	
7831	□		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	底外	墨書	8後	
7832	□		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	底外	墨書	8後	
7833	□/□		SD01古木屑層	須恵器	甕	体内	墨書	8後	
7834	□/□(筆ならし)		SD01古木屑層	須恵器	杯or皿	底内	墨書	8後	
7835	□		SD01古埋立層	土師器	杯or椀	口縁外	墨書	8後-9初	
7836	□□		SD01古木屑層	土師器	高杯	杯外	墨書	8後	
7837	□□		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	底外	墨書	8後	
7838	□□		SD01古木屑層	土師器	杯or皿A	底内	墨書	8後	
7839	□□		SD01古木屑層	土師器	杯or皿A	底内	墨書	8後	
7840	□□		SD01新上層	土師器	杯or皿	底外	墨書	8後-9前	
7841	□□/□□□□		SD01古木屑層	土師器	皿A	底外	墨書	8後	
7842	〈内面〉□ 〈外面〉□		SD01古木屑層	土師器	甕	体内外	墨書	8後	
7843	〈内面〉□ 〈外面〉□		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	底外	墨書	8後	
7844	□/□(筆ならし)		SD01古木屑層	須恵器	甕	体内	墨書	8後	
7845	□		SD01古木屑層	須恵器	杯or皿	底内	墨書	8後	
7846	□		SD01古木屑層	須恵器	壺	体内	墨書	8後	
7847	□/□(筆ならし)		SD01古木屑層	須恵器	杯AorB	口縁内外	墨書	8後	
7848	□□/□		SD01古木屑層	須恵器	杯or皿蓋	頂内外	墨書	8後	
7849	□		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	底外	墨書	8後	
7850	□		SD01古木屑層	土師器	杯or皿A	底外	墨書	8後	
7851	□		SD01古木屑層	土師器	杯or皿A	底外	墨書	8後	
7852	□□□		SD01古木屑層	須恵器	皿B	底外	墨書	8後-9初	
7853	□□□□		SD01古木屑層	土師器	杯or皿A	底外	墨書	8後	
7854	□□□□		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	底外	墨書	8後	
7855	□		SD01古木屑層	土師器	杯or皿A	底外	墨書	8後	
7856	□		SD01古木屑層	土師器	杯or皿	底外	墨書	8後	
7857	□/□		暗灰褐色粘質土	須恵器	杯or皿	底内外	墨書	8後	
7858	□/□		暗灰褐色粘質土	土師器	杯蓋	頂内外	墨書	8後	
7859	□		北排水溝	須恵器	壺M	体外	墨書	8後	
7860	□		包含層	須恵器	杯AorB	口縁外	墨書	8c	
7861	□/□		包含層	須恵器	杯蓋	頂内外	墨書	8c	
7862	〈表面〉福 〈裏面〉石	SD01古木屑層	石	石英質川原石	表裏	墨書	8後		
7863	一	西大寺旧境内SD28-1・2次	SE502枠内	土師器	皿A	底外	墨書	8後頃	
7864	法皿		SE502枠内	土師器	皿A	底外	墨書	8後頃	
7865	厨		SE502枠内	土師器	杯or皿	底外	墨書	8後頃	
7866	菓子	西大寺跡SD30次寺地	SE18枠内	須恵器	甕C	体外	墨書	8後-9初	
7867	良		SE18枠内	須恵器	杯A	口縁外	墨書	8後-9初	
7868	(墨書)	SE18・19	土器			墨書	8-9c		
7869	大	西隆寺1次東門地区	SD005B	須恵器	蓋	頂外	墨書		
7870	厨		SX035	須恵器	杯B	底外	墨書		
7871	□		SD005B	須恵器	杯B	底外	墨書		
7872	二		SX035	須恵器	杯B	底外中央	墨書		
7873	□[麦カ]		SX035	須恵器	杯B	底外	墨書		
7874	右衛		SD005B	須恵器	杯B	底外	墨書		
7875	水		SD005	須恵器	甕A	口縁外	線刻		
7876	□		西隆寺3次金堂地区	SD110B	須恵器	杯B	底外中央	墨書	
7877	本			SD110A	須恵器	杯B	底外中央	墨書	

調査主体/報告書	遺物番号	掲載頁	所在地	備考
奈良市/教委2013a	710	(文字資料篇)(本文)p73	奈良市	
奈良市/教委2013a	711	(文字資料篇)(本文)p73.(本篇)図49-179	奈良市	(本篇)(本文)p45,(図)p46
奈良市/教委2013a	712-719	(文字資料篇)(本文)p73	奈良市	計2点
奈良市/教委2013a	713	(文字資料篇)(本文)p73	奈良市	
奈良市/教委2013a	714-715	(文字資料篇)(本文)p73	奈良市	計2点
奈良市/教委2013a	717	(文字資料篇)(本文)p73.(本篇)図53-246	奈良市	(本篇)(本文)p50,(図)p51
奈良市/教委2013a	718	(文字資料篇)(本文)p73.(本篇)図54-274	奈良市	(本篇)(本文)p51,(図)p52
奈良市/教委2013a	722	(文字資料篇)(本文)p73	奈良市	
奈良市/教委2013a	723	(文字資料篇)(本文)p73	奈良市	
奈良市/教委2013a	724-726	(文字資料篇)(本文)p74	奈良市	計3点
奈良市/教委2013a	727	(文字資料篇)(本文)p74	奈良市	
奈良市/教委2013a	728	(文字資料篇)(本文)p74	奈良市	
奈良市/教委2013a	729	(文字資料篇)(本文)p74	奈良市	
奈良市/教委2013a	730	(文字資料篇)(本文)p74	奈良市	
奈良市/教委2013a	731	(文字資料篇)(本文)p74	奈良市	
奈良市/教委2013a	732	(文字資料篇)(本文)p74	奈良市	
奈良市/教委2013a	733	(文字資料篇)(本文)p74	奈良市	
奈良市/教委2013a	734	(文字資料篇)(本文)p74.(本篇)図49-175	奈良市	(本篇)(本文)p45,(図)p46
奈良市/教委2013a	735	(文字資料篇)(本文)p74	奈良市	
奈良市/教委2013a	736	(文字資料篇)(本文)p74	奈良市	
奈良市/教委2013a	737	(文字資料篇)(本文)p74	奈良市	
奈良市/教委2013a	738-740・741-743	(文字資料篇)(本文)p74	奈良市	計4点
奈良市/教委2013a	739	(文字資料篇)(本文)p74	奈良市	
奈良市/教委2013a	742	(文字資料篇)(本文)p74	奈良市	
奈良市/教委2013a	744	(文字資料篇)(本文)p75	奈良市	
奈良市/教委2013a	745-746	(文字資料篇)(本文)p75	奈良市	計2点
奈良市/教委2013a	747	(文字資料篇)(本文)p75	奈良市	
奈良市/教委2013a	748-751・753-757	(文字資料篇)(本文)p75	奈良市	計7点
奈良市/教委2013a	749	(文字資料篇)(本文)p75.(本篇)図46-69	奈良市	(本篇)(本文)p40,(図)p41
奈良市/教委2013a	750-752	(文字資料篇)(本文)p75	奈良市	計2点
奈良市/教委2013a	758	(文字資料篇)(本文)p75	奈良市	
奈良市/教委2013a	759-760	(文字資料篇)(本文)p75	奈良市	計2点
奈良市/教委2013a	761	(文字資料篇)(本文)p75	奈良市	
奈良市/教委2013a	762	(文字資料篇)(本文)p75	奈良市	
奈良市/教委2013a	763	(文字資料篇)(本文)p75	奈良市	
奈良市/教委2013a	764	(文字資料篇)(本文)p76	奈良市	
奈良市/教委2013a	765	(文字資料篇)(本文)p76	奈良市	
奈良市/教委2013a	766-767	(文字資料篇)(本文)p76	奈良市	計2点
奈良市/教委2013a	768	(文字資料篇)(本文)p76	奈良市	
奈良市/教委2013a	769	(文字資料篇)(本文)p76.(本篇)図47-87	奈良市	(本篇)(本文)p40,(図)p42
奈良市/教委2013a	770	(文字資料篇)(本文)p76	奈良市	
奈良市/教委2013a	771	(文字資料篇)(本文)p76	奈良市	
奈良市/教委2013a	772	(文字資料篇)(本文)p76	奈良市	
奈良市/教委2013a	773	(文字資料篇)(本文)p76	奈良市	
奈良市/教委2013a	774	(文字資料篇)(本文)p76	奈良市	
奈良市/教委2013a	775	(文字資料篇)(本文)p76	奈良市	
奈良市/教委2013a	776	(文字資料篇)(本文)p76	奈良市	
奈良市/教委2013a	777-779	(文字資料篇)(本文)p76	奈良市	計3点
奈良市/教委2013a	780	(文字資料篇)(本文)p76	奈良市	
奈良市/教委2013a	781	(文字資料篇)(本文)p76	奈良市	
奈良市/教委2013a	782	(文字資料篇)(本文)p76	奈良市	
奈良市/教委2013a	783	(文字資料篇)(本文)p76	奈良市	
奈良市/教委2013a	784	(文字資料篇)(本文)p77	奈良市	
奈良市/教委2013a	785	(文字資料篇)(本文)p77	奈良市	
奈良市/教委2013a	786	(文字資料篇)(本文)p77	奈良市	
奈良市/教委2013a	787	(文字資料篇)(本文)p77	奈良市	
奈良市/教委2013a	788	(文字資料篇)(本文)p77	奈良市	
奈良市/教委2013a	789	(文字資料篇)(本文)p77	奈良市	
奈良市/教委2013a	801	(文字資料篇)(本文)p78.図版96	奈良市	
奈良市/教委2013b	1	(本文)p38,(図)p40	奈良市	
奈良市/教委2013b	2	(本文)p38,(図)p40	奈良市	
奈良市/教委2013b	3	(本文)p38,(図)p40	奈良市	
奈良市/教委2015	1	(本文・図)p5	奈良市	
奈良市/教委2015	2	(本文・図)p5	奈良市	
奈良市/教委2015		(本文)p5	奈良市	
奈文研/1976a	1	(本文)p60,(図)p59	奈良市	
奈文研/1976a	2	(本文)p60,(図)p59.図版35	奈良市	
奈文研/1976a	3	(本文)p60,(図)p59	奈良市	「十」とも読める
奈文研/1976a	4	(本文)p60,(図)p59	奈良市	
奈文研/1976a	5	(本文)p60,(図)p59	奈良市	「麦垵」カ
奈文研/1976a	6	(本文)p60,(図)p59.図版35	奈良市	
奈文研/1976a	17	(本文)p60,(図)p61.図版35	奈良市	線刻は焼成後
奈文研/1976a	7	(本文)p60,(図)p59	奈良市	「夷」の異体字カ,他にも墨痕がある
奈文研/1976a	8	(本文)p60,(図)p59.図版35	奈良市	

調査主体/報告書	遺物番号	掲載頁	所在地	備考
奈文研/1976a	9	(本文)p60,(図)p61	奈良市	
奈文研/1976a	10	(本文)p60,(図)p61,図版35	奈良市	
奈文研/1976a	11	(本文)p60,(図)p61,図版35	奈良市	
奈文研/1976a	12	(本文)p60,(図)p61	奈良市	
奈文研/1976a	13	(本文)p60	奈良市	
奈文研/1976a	14	(本文)p60	奈良市	「十」とも読める
奈文研/1976a	15	(本文)p60,図版35	奈良市	
奈文研/1976a	18	(本文)p60,(図)p61,図版35	奈良市	線刻は焼成後
奈文研/1976a	16	(本文)p60,(図)p61,図版35	奈良市	
奈文研/1976a	19	(本文)p60,(図)p61,図版35	奈良市	篋書は焼成前
奈文研/1993b	Tab.3-400	(本文)p82,(表)p82,PL.56	奈良市	
奈文研/1991d	図70-16	(本文)p114,(図)p115	奈良市	
奈文研/1991d	図70-17	(本文)p114,(図)p115	奈良市	
奈文研/1993b	Tab.3-217	(本文)p79,(表)p82,(図版)PL.56	奈良市	
奈文研/1993b	Tab.3-218	(本文)p79,(表)p82,(図版)PL.56	奈良市	
奈文研/1993b	Tab.3-391	(本文)p78,(表)p82,(図版)PL.56	奈良市	
奈文研/1993b	Tab.3-401	(本文)p82,(表)p82,(図版)PL.56	奈良市	転用硯
奈文研/1993b	Tab.3-397	(本文)p82,(表)p82,(図版)PL.56	奈良市	
奈文研/1993b	Tab.3-402	(表)p82,(図版)PL.56	奈良市	
奈文研/1993b	Tab.3-403	(表)p82,(図版)PL.56	奈良市	
奈文研/1993b	Tab.3-404	(表)p82,(図版)PL.56	奈良市	
奈文研/1993b	Tab.3-405	(表)p82,(図版)PL.56	奈良市	
奈文研/1993b	Tab.3-399	(本文)p82,(表)p82,(図版)PL.56	奈良市	内面漆付着
奈文研/1993b	Tab.3-398	(本文)p82,(表)p82,(図版)PL.56	奈良市	
奈文研/2001a	63	(図)p21,(図版)PL.8	奈良市	
奈文研/2001a	27	(本文)p18,(図)p19,(図版)PL.8	奈良市	平城京跡右1・2・15
奈文研/2001a	30	(図)p19	奈良市	平城京跡右1・2・15/初出2000b
奈文研/2001b		(本文)p143	奈良市	へら描は焼成前
奈良女他/奈良女1983	第15図-20	(本文)p21,(図)p20,図版5	奈良市	奈良女・奈文研による調査(以下同じ)
奈良女他/奈良女1984	第6図-17	(本文)p25,第6図,図版22	奈良市	
奈良女他/奈良女1984	第7図-3	(本文)p67・70,第7図,図版6	奈良市	
奈良女他/奈良女1984	第7図-4	(本文)p70,第7図	奈良市	
奈良女他/奈良女1984	第7図-5	(本文)p70,第7図	奈良市	
奈良女他/奈良女1984	第7図-6	(本文)p70,第7図	奈良市	
奈良女他/奈良女1984	第7図-7	(本文)p70,第7図,図版6	奈良市	
奈良女他/奈良女1984	第7図-8	(本文)p70,第7図,図版6	奈良市	
奈良女他/奈良女1984	第7図-9	(本文)p70,第7図,図版6	奈良市	
奈良女他/奈良女1984	第7図-10	(本文)p70,第7図	奈良市	
奈良女他/奈良女1984	第7図-11	(本文)p70,第7図	奈良市	
奈良女他/奈良女1984		(本文)p70	奈良市	
奈良女他/奈良女1984		(本文)p70,図版6	奈良市	ほかに中世の墨書土器あり
奈良女他/奈良女1984	第8図-4	(本文)p70,第8図,図版6	奈良市	
奈良女他/奈良女1986	第5図-10	(本文・図)p12	奈良市	
奈良女他/奈良女1986	第5図-11	(本文・図)p12	奈良市	
奈良女他/奈良女1989	第2図-9	(本文)p53,(図)p54,(図版)PL.3	奈良市	
奈良女他/奈良女1989	第2図-11	(本文)p53,(図)p54,(図版)PL.3	奈良市	
奈良女他/奈良女1999	第3図-7	(本文)p16,(表)p32,第3図	奈良市	第3図-8と同一個体カ
奈良女他/奈良女1999	第3図-8	(本文)p16,(表)p32,第3図	奈良市	第3図-7と同一個体カ
奈良女他/奈良女1999	第11図-30	(本文)p20,(表)p46,第11図	奈良市	
奈良女他/奈良女2004	第17図-36	(本文)p20,(表)p60,第17図	奈良市	
奈良女他/奈良女2004	第17図-37	(本文)p20,(表)p60,第17図	奈良市	
奈良女他/奈良女2004	第17図-38	(本文)p20,(表)p60,第17図	奈良市	
奈良女他/奈良女2008	図13-1	(本文)p20,(図)p19	奈良市	
奈良女他/奈良女2008	図13-2	(本文)p20,(図)p19	奈良市	図13の1と2の本文記述と図の番号が逆
奈良女他/奈良女2008	図14-2	(本文)p21,(図)p19	奈良市	
奈良市/教委2002b	18	(本文)p130,(図)p131	奈良市	
元文研/2009a	図21-34	(本文)p16,(図)p15,(図版)PL.12	奈良市	平城京跡左2・6・3,4,5,6(二条条間南小路南側溝)
橿考研/県2011j	図5-4	(本文)p69,(図)p71	奈良市	平城京跡左2・7・7
奈良市/教委2008	77	(本文)p34,(図)p35	奈良市	平城京跡HJ531次左2・7・15
奈良市/教委2011	46	(本文・図)p48	奈良市	平城京跡HJ605次左2・7・15
奈良市/教委2011	47	(本文・図)p48	奈良市	平城京跡HJ605次左2・7・15
奈良市/教委2006b	表-1	(本文)40,(表)p39	奈良市	平城京跡HJ482次左4・6・15
奈良市/教委2006b	表-7	(本文)40,(表)p39	奈良市	平城京跡HJ482次左4・6・15
奈良市/教委2006b	表-8	(本文)40,(表)p39	奈良市	平城京跡HJ482次左4・6・15
奈良市/教委2006b	表-10	(本文)40,(表)p39	奈良市	平城京跡HJ482次左4・6・15
奈良市/教委2006b	表-14	(本文)40,(表)p39	奈良市	平城京跡HJ482次左4・6・15
奈良市/教委2006b	表-16,本文・図-23	(本文)40,(表)p39,(図)p40	奈良市	平城京跡HJ482次左4・6・15
奈良市/教委2006b	表-19	(本文)40,(表)p39	奈良市	平城京跡HJ482次左4・6・15
奈良市/教委2006b	表-27	(本文)40,(表)p39	奈良市	平城京跡HJ482次左4・6・15
奈良市/教委2014a	図73-160	(本文)p18,(図)p37,(表)p51,写真図版4	奈良市	平城京跡HJ559次左3・6・10
奈良県/1958	第19図-2	(本文)p27・28,(図)p28,(写真)図版11	奈良市	蔵骨器/(保管)橿考研博/橿考研博1975-237(本文・写真)p117
奈良市/教委1984b		(本文)p81	奈良市	県2020e(本文)p120
奈良県/1973		(図)p9	奈良市	釈文未掲載,第8図に「(記号)=(キ状)」「大」「夫」など7点掲載
奈良大/奈良大1998	PL.140-18	(本文)p24,(図版)PL.57・140	奈良市	奈良大文学部考古学研究室
奈良大/奈良大1998	PL.142-10	(本文)p28,(図版)PL.58・142	奈良市	奈良大文学部考古学研究室
奈良市/教委1981	第37図-1	(本文)p42,(図)p43,(表)p73,図版31	奈良市	
奈良市/教委1981	第37図-3	(本文)p42,(図)p43,(表)p73,図版31	奈良市	

調査主体/報告書	遺物番号	掲載頁	所在地	備考
奈良市/教委1981	第37図-4	(本文)p42,(図)p43,(表)p73,図版31	奈良市	
奈良市/教委1981	第37図-5	(本文)p42,(図)p43,(表)p73,図版31	奈良市	
奈良市/教委1981	第38図-6	(本文)p42,(図)p44,(表)p73,図版32	奈良市	
奈良市/教委1981	第38図-7	(本文)p42,(図)p44,(表)p74,図版32	奈良市	
奈良市/教委1981	第38図-8	(本文)p42,(図)p44,(表)p74,図版32	奈良市	
奈良市/教委1981	第38図-9	(本文)p42,(図)p44,(表)p74,図版32	奈良市	
奈良市/教委1981	第38図-10	(本文)p42,(図)p44,(表)p74,図版32	奈良市	
奈良市/教委1981	第38図-13	(本文)p50,(図)p44,(表)p74,図版32	奈良市	
奈良市/教委1981	第38図-14	(本文)p50,(図)p44,(表)p75,図版32	奈良市	
奈良市/教委1981	第39図-15	(本文)p50,(図)p45,(表)p75,図版32	奈良市	
奈良市/教委1981	第39図-16	(本文)p50,(図)p45,(表)p75,図版33	奈良市	
奈良市/教委1981	第39図-21	(本文)p50,(図)p45,(表)p75,図版33	奈良市	
奈良市/教委1981	第39図-22	(本文)p50,(図)p45,(表)p75,図版33	奈良市	
奈良市/教委1981	第40図-23	(本文)p50,(図)p46,(表)p75,図版33	奈良市	
奈良市/教委1981	第40図-25	(本文)p50,(図)p46,(表)p75,図版33	奈良市	
奈良市/教委1981	第40図-29	(本文)p50,(図)p46,(表)p76,図版34	奈良市	
奈良市/教委1981	第40図-30	(本文)p50,(図)p46,(表)p76,図版34	奈良市	
奈良市/教委1981	第40図-31	(本文)p50,(図)p46,(表)p76,図版34	奈良市	
奈良市/教委1981	第40図-32	(本文)p50,(図)p46,(表)p76,図版34	奈良市	
奈良市/教委1981	第41図-33	(本文)p50,(図)p47,(表)p77,図版34	奈良市	
奈良市/教委1981	第41図-34	(本文)p50,(図)p47,(表)p77,図版34	奈良市	
奈良市/教委1981	第41図-36	(本文)p50,(図)p47,(表)p77,図版34	奈良市	
奈良市/教委1981	第41図-37	(本文)p50,(図)p47,(表)p77,図版35	奈良市	
奈良市/教委1981	第41図-38	(本文)p50,(図)p47,(表)p77,図版35	奈良市	
奈良市/教委1981	第41図-39	(本文)p50,(図)p47,(表)p77,図版35	奈良市	
奈良市/教委1981	第41図-40	(本文)p50,(図)p47,(表)p77,図版35	奈良市	

調査主体/報告書	遺物番号	掲載頁	所在地	備考
奈良市/教委1981	第42図-41	(本文)p50,(図)p48,(表)p78,図版35	奈良市	
奈良市/教委1981	第42図-42	(本文)p50,(図)p48,(表)p78,図版35	奈良市	
奈良市/教委1981	第42図-43	(本文)p50,(図)p48,(表)p78,図版35	奈良市	
奈良市/教委1981	第42図-44	(本文)p50,(図)p48,(表)p78,図版35	奈良市	
奈良市/教委1981	第42図-45	(本文)p50,(図)p48,(表)p78,図版36	奈良市	
奈良市/教委1981	第42図-46	(本文)p50,(図)p48,(表)p79,図版36	奈良市	
奈良市/教委1981	第42図-48	(本文)p50,(図)p48,(表)p79,図版36	奈良市	
奈良市/教委1981	第42図-49	(本文)p50,(図)p48,(表)p79,図版36	奈良市	
奈良市/教委1981	第43図-50	(本文)p50,(図)p49,(表)p79,図版36	奈良市	
奈良市/教委1981	第43図-51	(本文)p50,(図)p49,(表)p79,図版36	奈良市	
奈良市/教委1981	第43図-53	(本文)p50,(図)p49,(表)p80,図版36	奈良市	
奈良市/教委1981	第43図-54	(本文)p50,(図)p49,(表)p80,図版37	奈良市	
奈良市/教委1981	第43図-55	(本文)p50,(図)p49,(表)p80,図版37	奈良市	
奈良市/教委1981	第43図-56	(本文)p50,(図)p49,(表)p80	奈良市	
奈良市/教委1981	第43図-57	(本文)p50,(図)p49,(表)p80,図版37	奈良市	
奈良市/教委1981	第44図-58	(本文)p50,(図)p49,(表)p80,図版37	奈良市	
奈良市/教委1981	第44図-59	(本文)p50,(図)p49,(表)p80,図版37	奈良市	
/土井1956		(本文)p305	奈良市	長さ七寸三分、巾約六寸七分、篋書五行
/土井1956		(本文)p278	奈良市	昭和十六年本堂修理中背後の山腹より発見、「靈山寺諸寺記録」に銘文が出ていて拜殿のものとする
/土井1956		(本文)p274	奈良市	
/土井1956		(本文)p296	奈良市	
/土井1956	其一	(本文)p273	奈良市	
/土井1956	其二	(本文)p273	奈良市	本堂南流向拜西入隅にて発見
/土井1956		(本文)p222	奈良市	右上一部欠
檀考研/県1998d		(本文)p18	奈良市	大柳生遺跡群
檀考研/木簡研究16		(本文)p35・36	奈良市	
檀考研/県2008h	第17図-107・111	(本文)p24,(図)p25,(表)p34,図版14	奈良市	計2点
檀考研/県2011f	図3-38	(本文)p6,(図)p5	奈良市	

NO.	釈文	遺跡名	出土遺構	器質	器種等	記銘部	種類	時期
8010	(墨書)	日笠フシダ遺跡	流路1上層	須恵器	皿C	底外	墨書	奈良中-鎌倉
8011	四	日笠花刈遺跡1区	川01 J-6区上層	黒色土器	杯	底外	墨書	平安
8012	(墨書)	横田アンバ遺跡	24ト東端	土師器	皿	内	墨書	中世
8013	上下	別所下ノ前遺跡	流路2下層	瓦器	皿	底外	墨書	12前-中
8014	十		流路2下層	瓦器	椀	底内	線刻	12前-中
8015	大	別所辻堂遺跡	SD05	瓦器	椀	底外	墨書	12中-14中
8016	美濃□〔国カ〕	尾山代遺跡	SI-05北側包含層	須恵器			刻印	奈良前
8017	安		SI-05北側包含層	須恵器		天井内	篋描	奈良前
8018	安		SD-08下層	須恵器			篋描	奈良前
8019	安		包含層	須恵器	蓋		篋描	
8020	石□		SD-08第2層	須恵器			篋描	奈良後-平安
8021	□〔安カ〕			須恵器			篋書	
8022	-8023			須恵器			篋書	
8024	太	稗田遺跡	D地域	土器		底or蓋上	墨書	奈良力
8025	中		D地域	土器		底or蓋上	墨書	奈良力
8026	古女		D地域	土器		底or蓋上	墨書	奈良力
8027	□田真人		D地域	土器		底or蓋上	墨書	奈良力
8028	添上郡□□		D地域	土器		底or蓋上	墨書	奈良力
8029	竹			土器			墨書	
8030	一			土器			墨書	
8031	□	美濃庄遺跡	川跡内	灰釉	皿B	底外	墨書	9後
8032	主	開古墳1次	1-A-2トレ	土師器	杯	底外	墨書	奈良
8033	又	東城遺跡5次	遺構面検出時	施釉陶器	皿	高台内	墨書	
8034	宗	馬司遺跡	SD02 3層	陶器	皿	高台内	墨書	15後-16前
8035	(墨痕)	横田堂垣内遺跡	井戸135枠内	土師器	杯	底外	墨書	平城宮土器II-III併行
8036	□田女		井戸135掘方	須恵器	杯B	口縁外	墨書	平城宮土器II-III併行
8037	(判読不能)		南区池状遺構01	土師器	皿A	外	墨書	奈良
8038	(判読不能)		南区池状遺構01	土師器	不明	底外	墨書	奈良
8039	十		南区溝100	土師器	皿A	口縁外	墨書	平城宮土器III-IV併行
8040	原大		南区溝103b	土師器	杯A	底外	墨書	平城宮土器II-III併行
8041	原		南区溝103b	土師器	皿A	底外	墨書	平城宮土器II-III併行
8042	(記号)= (○を3つ連ねた中央に直線を引く文様)	別對遺跡	3区井戸3	須恵器	杯B蓋	つまみ脇	墨書	奈良
8043	此瓦三千枚者兵衛作也/文明九年(丁/酉)卯月十九日	円融寺本堂		丸瓦		上面	篋がき	文明9(1477)
8044	(判読不能)	八条遺跡1次	詳細不明	土師質	小皿	底	墨書	古墳-平安初
8045	(判読不能)	八条遺跡2次	SE5125	土師器	杯A	外	墨書	奈良後-平安前
8046	(判読不能)		SE5125	土師器			墨書	奈良後-平安前
8047	(墨書)	八条北遺跡・桧木	桧I-SX12	須恵器	杯蓋		墨書	9後以降
8048	(墨書)	八条北遺跡・下合	C-流路D	土師器	杯皿類	底	墨書	9-12c
8049	(記号)○	八条北遺跡・三ノ坪	F-SE59	土師器	椀C	底外	墨書	8後
8050	(墨痕カ)		F-SE59	須恵器	杯B蓋		墨書	8後
8051	廣		F-SE59	須恵器	杯B	底外	墨書	8後
8052	菓女		F-SK57	土師器	椀C	底外	墨書	8後
8053	太		F-SK57	須恵器	杯A	底外	墨書	8後
8054	下		J I -SE01 枠内	須恵器	平瓶	底	線刻	8後
8055	□〔尔カ〕		J I -SE02	土師器	皿		墨書	8後
8056	太		A-SD01上層	須恵器	杯B蓋		墨書	奈良中頃力
8057	太		A-SD01上層	須恵器	杯B蓋	外	墨書	奈良中頃力
8058	宅		A-SD01下層	須恵器	杯B	底外	墨書	奈良中頃力
8059	(禾偏)		A-SD01下層	須恵器	杯B		墨書	8後
8060	人		A-SD01下層	土師器	椀C		墨書	8後
8061	侶		A-SD01上層	土師器	椀C		墨書	8後
8062	(墨書)		A-SD01	土師器	椀C		墨書	8後
8063	(墨書)		A-SD01上層	土師器	皿		墨書	8後
8064	(墨書)		A-SD01上層	土師器	皿		墨書	8後
8065	-8065		A-SD01上層	土師器	皿		墨書	8後
8066	太		A-SD01上層	土師器	皿or杯	外	墨書	奈良中頃力
8067	太		A-SD01	須恵器	皿	外	墨書	奈良中頃力
8068	(墨書)		A-SD01	土師器	皿		墨書	8後
8069	-8069		A-SD01	土師器	皿		墨書	8後
8070	(墨書)		A-SD01下層	土師器	皿		墨書	8後
8071	七		A-SD01下層	土師器	皿		墨書	8後
8072	(墨書)		A-SD07上層	土師器	皿or杯	底	墨書	8後
8073	(墨痕)		A-SD07	土師器	竈		墨書	8後
8074	禾		A-素掘小溝	須恵器	杯or皿		墨書	
8075	(墨書)		A-SE04	土師器	椀A	体外	墨書	8後
8076	(線刻針書)		A-SE04	土師器	椀C	底外	線刻	8後
8077	陽		A-SE02	須恵器	杯B	底外	墨書	8後
8078	宅		A-SE05上層	須恵器	杯B蓋	天井外	墨書	8後
8079	(記号)=/(墨痕)		A-SK03	須恵器	杯A		へら書墨書	8後
8080	□日		N-SD2001 1a層	土師器	杯皿類		墨書	8末-9後

調査主体/報告書	遺物番号	掲載頁	所在地	備考
檀考研/県2011f	図19-11	(本文)p22・23,(図)p22	奈良市	
檀考研/県2009e	図8-11	(本文)p12,(図)p13,図版5	奈良市	(CD)土器・陶磁器観察表
檀考研/県2007e	第5図-56	(本文)p13,(図)p12,(表)p86	奈良市	
奈良市/教委2007a	図89-13	(本文・図)p99	奈良市	
奈良市/教委2007a	図89-14	(本文・図)p99	奈良市	線刻は焼成後
奈良市/教委2007a	図126-75	(本文)p134,(図)p137	奈良市	
檀考研/県1986e	図66-2	(本文)p222・223,(図)p222	奈良市	岐阜市芥見老洞1号窯,図はSD-08下層/檀考研博1986(p42)/釈文は檀考研博2007
檀考研/県1986e	図66-1	(本文)p222・223,(図)p222	奈良市	檀考研博1986(p42)
檀考研/県1986e	図66-3	(本文)p222・223,(図)p222	奈良市	釈文は檀考研博1986(p42)による
檀考研/県1986e	図66-4	(本文)p222・223,(図)p222	奈良市	釈文は檀考研博1986(p42)による/調査区上位の包含層第Ⅲ層中
檀考研/県1986e	図66-5	(本文・図)p223	奈良市	
檀考研/博2007	図28	(図版)p23	奈良市	計3点
檀考研/県1977a		(本文)p75	大和郡山市	檀考研博1987-34
檀考研/県1977a		(本文)p75	大和郡山市	檀考研博1987-32
檀考研/県1977a		(本文)p75	大和郡山市	檀考研博1987-35
檀考研/県1977a		(本文)p75	大和郡山市	
檀考研/県1977a		(本文)p75	大和郡山市	檀考研博1987-30
檀考研/博1987	33	(図版)p2	大和郡山市	
檀考研/博1987	31	(図版)p2	大和郡山市	
大和郡山市/1988	図5-16	(本文)p13,(図)p11	大和郡山市	
大和郡山市/2019	図31,図版14-76	(本文)p30,(図)p31,図版14	大和郡山市	
檀考研/県2007f	図5-13	(本文・図)p338,(表)p339	大和郡山市	
大和郡山市/2001	図27-99	(本文)p25,(図)p26	大和郡山市	
檀考研/県2011e	図49-378	(本文)p48,(図)p50,(表)p114,(図版)PL.51	大和郡山市	墨書は文字ではないと思われる
檀考研/県2011e	図53-457	(本文)p54,(図)p55,(表)p116,(図版)PL.54	大和郡山市	
檀考研/県2011e	図69-608	(本文)p73,(図)p74,(表)p119,(図版)PL.68	大和郡山市	
檀考研/県2011e	図69-609	(本文)p73,(図)p74,(表)p119,(図版)PL.68	大和郡山市	
檀考研/県2011e	図74-635	(本文・図)p79,(表)p120,(図版)PL.68	大和郡山市	
檀考研/県2011e	図75-650	(本文)p82,(図)p80,(表)p121,(図版)PL.68	大和郡山市	
檀考研/県2011e	図75-657	(本文)p82,(図)p80,(表)p121,(図版)PL.68	大和郡山市	
檀考研/県2012d	図8-15	(本文)p145,(図)p143,(写真)p153	大和郡山市・安堵町	
/土井1956		(本文)p300・301	大和郡山市	江戸初期の建築
檀考研/県2006b	図232-40	(本文)p372,(図)p374,(表)p376,PL.286	大和郡山市・天理市	
檀考研/県2006b	図198-20	(本文)p325,(図)p326,(表)p329,(図版)p328,PL.273	大和郡山市・天理市	
檀考研/県2006b	写真26	(本文)p325,(図版)p328,PL.273	大和郡山市・天理市	
檀考研/県2020b	PL.444-7	(図面編)PL.444,(写真編)図版381	大和郡山市	(DVD)表4
檀考研/県2020b	PL.443-22	(図面編)PL.443	大和郡山市	(DVD)表4
檀考研/県2020b	PL.449-12	(図面編)PL.449,(写真編)図版417	大和郡山市・天理市	(DVD)表4/初出2011
檀考研/県2020b	PL.449-25	(図面編)PL.449	大和郡山市	(DVD)表4/転用視力
檀考研/県2020b	PL.449-28	(図面編)PL.449	大和郡山市	(DVD)表4
檀考研/県2020b	PL.450-3	(図面編)PL.450,(写真編)図版418	大和郡山市	(DVD)表4
檀考研/県2020b	PL.450-8	(図面編)PL.450,(写真編)図版418	大和郡山市	(DVD)表4
檀考研/県2020b	PL.453-17	(図面編)PL.453	大和郡山市	(DVD)表4
檀考研/県2020b	PL.453-24	(図面編)PL.453	大和郡山市	(DVD)表4
檀考研/県2020b	PL.463-1	(図面編)PL.463,(写真編)図版396	大和郡山市	平城Ⅲ期/(DVD)表4/初出2005e
檀考研/県2020b	PL.463-2	(図面編)PL.463,(写真編)図版396	大和郡山市	平城Ⅲ期/(DVD)表4/初出2005e
檀考研/県2020b	PL.463-3	(図面編)PL.463,(写真編)図版396	大和郡山市	平城Ⅲ期/(DVD)表4/初出2005e
檀考研/県2020b	PL.463-4	(図面編)PL.463,(写真編)図版396	大和郡山市	(DVD)表4
檀考研/県2020b	PL.463-5	(図面編)PL.463,(写真編)図版395	大和郡山市	(DVD)表4
檀考研/県2020b	PL.463-6	(図面編)PL.463,(写真編)図版395	大和郡山市	(DVD)表4
檀考研/県2020b	PL.463-7	(図面編)PL.463,(写真編)図版395	大和郡山市	(DVD)表4
檀考研/県2020b	PL.463-8	(図面編)PL.463,(写真編)図版396	大和郡山市	(DVD)表4
檀考研/県2020b	PL.463-9・13	(図面編)PL.463,(写真編)図版395	大和郡山市	計2点/(DVD)表4
檀考研/県2020b	PL.463-12	(図面編)PL.463,(写真編)図版395	大和郡山市	平城Ⅲ期/(DVD)表4/初出2005e
檀考研/県2020b	PL.463-14	(図面編)PL.463,(写真編)図版396	大和郡山市	平城Ⅲ期/(DVD)表4/初出2005e
檀考研/県2020b	PL.463-10・11	(図面編)PL.463,(写真編)図版395	大和郡山市	計2点/(DVD)表4
檀考研/県2020b	PL.463-15	(図面編)PL.463,(写真編)図版395	大和郡山市	(DVD)表4
檀考研/県2020b	PL.463-16	(図面編)PL.463,(写真編)図版396	大和郡山市	(DVD)表4
檀考研/県2020b	PL.473-10	(図面編)PL.473	大和郡山市	(DVD)表4
檀考研/県2020b	PL.473-13	(図面編)PL.473	大和郡山市	(DVD)表4
檀考研/県2020b	PL.473-31	(図面編)PL.473	大和郡山市	(DVD)表4
檀考研/県2020b	PL.475-19	(図面編)PL.475,(写真編)図版409	大和郡山市	(DVD)表4/初出2005e
檀考研/県2020b	PL.475-21	(図面編)PL.475,(写真編)図版409	大和郡山市	(DVD)表4/初出2005e
檀考研/県2020b	PL.476-20	(図面編)PL.476,(写真編)図版409	大和郡山市	(DVD)表4/初出2005e
檀考研/県2020b	PL.477-9	(図面編)PL.477	大和郡山市	(DVD)表4/初出2005e
檀考研/県2020b	PL.478-28	(図面編)PL.478,(写真編)図版411	大和郡山市	(DVD)表4
檀考研/県2020b	PL.482-9	(図面編)PL.482,(写真編)図版419	大和郡山市・天理市	(DVD)表4

NO.	釈文	遺跡名	出土遺構	器質	器種等	記銘部	種類	時期
8081	(墨書)	八条北遺跡・下ツ道・榊	N-SD2001 1a層	土師器	杯皿類		墨書	8末-9後
8082	(内面に墨付着カ)		N-SD2001 1層	土師器	椀C	内	墨書	8末-9後
8083	(墨痕)		N-SD2001 SX03	土師器	把手付壺B		墨書	8後
8084	(墨書)		N-SD2001 1層	須恵器	杯B		墨書	8末-9後
8085	大		N-SD2001 1層	須恵器	杯B		墨書	8末-9後
8086	大		N-SD2001 1層	須恵器	杯		墨書	8末-9後
8087	(墨書)		N-SD2001 2層	土師器	皿A		墨書	8末-9後
8088	大□		N-SD2001 2層	土師器	皿A		墨書	8後-9後
8089	(墨書)		N-SD2001 2層	土師器	杯A		墨書	8後-9後
8090	(墨書)		N-SD2001 2層	土師器	皿A		墨書	8後-9後
8091	(墨書)		N-SD2001 3層	土師器	杯		墨書	
8092	(墨書)		N-SD2001 3層	土師器	杯皿類		墨書	8後-9後
8093	大		N-SD2001 2層	土師器	杯皿類		墨書	8後-9後
8094	西		N-SD2001 2層	土師器	椀C		墨書	8後-9後
8095	(墨痕)		N-SD2001 2層	土師器	壺Bカ		墨書	8後-9後
8096	(墨痕)		N-SD2001 2層	土師器	甕		墨書	8後-9後
8097	(墨痕)		N-SD2001 2層	土師器	甕		墨書	8後-9後
8098	(墨書)		N-SD2001 2層	須恵器	杯A		墨書	8後-9後
8099	(墨書)		N-SD2001 2層	須恵器	杯A		墨書	8後-9後
8100	(墨書)		N-SD2001 2層	須恵器	杯C		墨書	8後-9後
8101	(墨書)		N-SD2001 2層	須恵器	杯B		墨書	8後-9後
8102	□[十カ](もしくは(記号)□[×カ])		N-SD2001 2層	須恵器	杯B		墨書	8後-9後
8103	(墨書)		N-SD2001 3層	土師器	皿A		墨書	
8104	□□[大宋カ]		N-SD2001 3層	須恵器	杯A		墨書	8中-後
8105	十		N-SD2001 3層	土師器	皿		墨書	8中-後
8106	(墨書)		N-SD2001 3層	土師器	ミニチュア壺B		墨書	8中-後
8107	(墨痕)		N-SD2001 3層	土師器	ミニチュア壺B		墨書	南都 I 中
8108	(墨痕)		N-SD2001 3層	土師器	ミニチュア壺B		墨書	南都 I 中
8109	(墨痕)		T-SD2001下層(N-SD2001 3層)	土師器	壺B		墨書	南都 I 中
8110	(墨痕)		T-SD2001下層(N-SD2001 3層)	土師器	把手付壺B		墨書	南都 I 中
8111	(墨痕)	N-SD2001 3層	須恵器	杯B蓋		墨書	8後	
8112	(墨書)	T-SD2001下層(N-SD2001 3層)	須恵器	杯B		墨書	8後	
8113	(墨書)	T-SD2001下層(N-SD2001 3層)	須恵器	杯カ		墨書	8c	
8114	(墨書)	N-主線畦畔2	須恵器	杯皿		墨書	奈良	
8115	(墨書)							
8116	酒江	八条北遺跡・下ツ道・ミノ南・ミノ北	D-SD2001	土師器	杯A		墨書	8後-9前
8117	(墨書)		D-SD2001	土師器	ミニチュア壺B		墨書	8後-9前
8118	(墨書)		D-SD2001	須恵器	杯B		墨書	8後-9前
8119	太		G-SD06(N-SD2001)	土師器	椀C	底	墨書	古代
8120	(墨書)	八条北遺跡・下ツ道・ミノ北	D-自然河道2	須恵器	杯B		墨書	南都 II 新-III 中
8121	(墨書)		D-自然河道深掘	土師器	ミニチュア壺B		墨書	8末-9or13c
8122	衣	八条北遺跡・下ツ道・(ミノ地区・大和郡山ジャンクションD地区)	D-SD2001	須恵器	杯A		墨書	奈良前-平安初
8123	税	南六条北ミノ遺跡・ミノ南	P-NR02上層	土師器	杯皿	不明	墨書	奈良-平安
8124	(墨痕)		P-NR02上層	土師器	壺B	両	墨書	奈良前-平安初
8125	(墨痕)		P-NR02下層	土師器	壺B	両	墨書	奈良前-平安初
8126	(墨書)		P-NR02下層	土師器	壺B		墨書	奈良前-平安初
8127	(墨痕)		P-NR02下層	土師器	把手付壺B		墨書	奈良前-平安初
8128	(墨痕)		P-NR02	須恵器	杯A	両	墨書	奈良前-平安初
8129	(墨痕)		P-NR02	須恵器	壺Mカ		墨書	奈良前-平安初
8130	□人大		PS-NR03最上層	土師器	杯Cカ	底外	墨書	7後-8初
8131	(墨書)		PS-NR03中層	土師器	杯C	側部外	墨書	7後-8初

調査主体/報告書	遺物番号	掲載頁	所在地	備考
橿考研/県2020b	PL.482-10	(図面編)PL.482,(写真編)図版419	大和郡山市・天理市	(DVD)表4
橿考研/県2020b	PL.482-17	(図面編)PL.482	大和郡山市・天理市	(DVD)表4
橿考研/県2020b	PL.482-34	(図面編)PL.482,(写真編)図版419	大和郡山市・天理市	(DVD)表4
橿考研/県2020b	PL.486-24	(図面編)PL.486,(写真編)図版422	大和郡山市・天理市	(DVD)表4
橿考研/県2020b	PL.486-32	(図面編)PL.486,(写真編)図版422	大和郡山市・天理市	(DVD)表4
橿考研/県2020b	PL.486-33	(図面編)PL.486,(写真編)図版422	大和郡山市・天理市	(DVD)表4
橿考研/県2020b	PL.490-3	(図面編)PL.490,(写真編)図版425	大和郡山市・天理市	(DVD)表4
橿考研/県2020b	PL.490-5	(図面編)PL.490,(写真編)図版425	大和郡山市・天理市	(DVD)表4
橿考研/県2020b	PL.490-11	(図面編)PL.490,(写真編)図版425	大和郡山市・天理市	(DVD)表4
橿考研/県2020b	PL.491-2	(図面編)PL.491,(写真編)図版425	大和郡山市・天理市	(DVD)表4
橿考研/県2020b	PL.491-9	(図面編)PL.491,(写真編)図版425	大和郡山市・天理市	(DVD)表4
橿考研/県2020b	PL.491-11	(図面編)PL.491	大和郡山市・天理市	(DVD)表4
橿考研/県2020b	PL.493-10	(図面編)PL.493,(写真編)図版426	大和郡山市・天理市	(DVD)表4
橿考研/県2020b	PL.493-17	(図面編)PL.493,(写真編)図版426	大和郡山市・天理市	(DVD)表4
橿考研/県2020b	PL.494-18	(図面編)PL.494	大和郡山市・天理市	(DVD)表4
橿考研/県2020b	PL.494-23	(図面編)PL.494,(写真編)図版428	大和郡山市・天理市	(DVD)表4
橿考研/県2020b	PL.494-32	(図面編)PL.494,(写真編)図版427	大和郡山市・天理市	(DVD)表4
橿考研/県2020b	PL.498-10	(図面編)PL.498,(写真編)図版429	大和郡山市・天理市	(DVD)表4
橿考研/県2020b	PL.498-20	(図面編)PL.498,(写真編)図版429	大和郡山市・天理市	(DVD)表4
橿考研/県2020b	PL.498-21	(図面編)PL.498	大和郡山市・天理市	(DVD)表4
橿考研/県2020b	PL.499-22	(図面編)PL.499,(写真編)図版431	大和郡山市・天理市	(DVD)表4
橿考研/県2020b	PL.499-31	(図面編)PL.499,(写真編)図版431	大和郡山市・天理市	(DVD)表4
橿考研/県2020b	PL.505-6	(本文編)p.163,(図面編)PL.505,(写真編)図版435	大和郡山市・天理市	(DVD)表4
橿考研/県2020b	PL.505-7	(図面編)PL.505,(写真編)図版435	大和郡山市・天理市	(DVD)表4
橿考研/県2020b	PL.505-13	(図面編)PL.505,(写真編)図版435	大和郡山市・天理市	(DVD)表4
橿考研/県2020b	PL.505-15	(図面編)PL.505	大和郡山市・天理市	(DVD)表4
橿考研/県2020b	PL.507-1	(本文編)p.163,(図面編)PL.507	大和郡山市・天理市	(DVD)表4
橿考研/県2020b	PL.507-6・7	(本文編)p.163,(図面編)PL.507,(写真編)図版436	大和郡山市・天理市	計2点/(DVD)表4
橿考研/県2020b	PL.507-17	(本文編)p.163,(図面編)PL.507	天理市	(DVD)表4
橿考研/県2020b	PL.507-18	(本文編)p.163,(図面編)PL.507,(写真編)図版436	天理市	(DVD)表4
橿考研/県2020b	PL.511-15	(図面編)PL.511,(写真編)図版422	大和郡山市・天理市	(DVD)表4
橿考研/県2020b	PL.511-27	(図面編)PL.511,(写真編)図版438	天理市	(DVD)表4
橿考研/県2020b	PL.511-28	(図面編)PL.511	天理市	(DVD)表4
橿考研/県2020b	PL.524-7	(図面編)PL.524,(写真編)図版447	大和郡山市・天理市	(DVD)表4
橿考研/県2020b	PL.517-3	(本文編)p.125,(図面編)PL.517,(写真編)図版460	大和郡山市・天理市	(DVD)表4/初出2011
橿考研/県2020b	PL.517-7	(図面編)PL.517	大和郡山市	(DVD)表4
橿考研/県2020b	PL.517-12	(図面編)PL.517	大和郡山市	(DVD)表4
橿考研/県2020b	PL.517-23	(図面編)PL.517,(写真編)図版441	大和郡山市	(DVD)表4
橿考研/県2020b	PL.547-17	(本文編)p.172,(図面編)PL.547,(写真編)図版459	大和郡山市	(DVD)表4
橿考研/県2020b	PL.548-3	(図面編)PL.548,(写真編)図版460	大和郡山市	(DVD)表4
橿考研/県2011		(本文)p.79	大和郡山市・天理市	2020bのPL.517-21カ.遺構・器質・器種は2020bによる
橿考研/県2020b	PL.525-2	(図面編)PL.525	大和郡山市	(DVD)表4/初出2012f
橿考研/県2020b	PL.525-16	(図面編)PL.525	大和郡山市	(DVD)表4
橿考研/県2020b	PL.527-8	(図面編)PL.527	大和郡山市	(DVD)表4
橿考研/県2020b	PL.527-9	(図面編)PL.527	大和郡山市	(DVD)表4
橿考研/県2020b	PL.527-11	(図面編)PL.527	大和郡山市	(DVD)表4
橿考研/県2020b	PL.530-13	(図面編)PL.530	大和郡山市	(DVD)表4
橿考研/県2020b	PL.530-17	(図面編)PL.530	大和郡山市	(DVD)表4
橿考研/県2020b	PL.532-4	(図面編)PL.532,(写真編)図版453	大和郡山市	(DVD)表4/初出2012a
橿考研/県2020b	PL.535-12	(図面編)PL.535,(写真編)図版455	大和郡山市	(DVD)表4/初出2012a

NO.	釈文	遺跡名	出土遺構	器質	器種等	記銘部	種類	時期
8132	(墨書)	南六条北ミノ遺跡・ミノ南	D-自然河道1	土師器	杯A		墨書	平城Ⅲ-VI
8133	(墨書)		D-自然河道2	土師器	杯A		墨書	南都Ⅱ新-Ⅲ中
8134	田	南六条北ミノ遺跡・ミノ北	K3-河道4	土師器	杯A	底外	線刻	平城Ⅲ-V
8135	垣上		K3-河道4	土師器	椀C	底外	墨書	平城Ⅲ-V
8136	垣上		K3-河道4	須恵器	杯A	底外	墨書	平城Ⅲ-V
8137	垣上		K3-河道4	土師器	杯皿A	底外	墨書	平城Ⅲ-V
8138	垣上		K3-河道4	須恵器	杯B	底外	墨書	平城Ⅲ-V
8139	(墨書)		K3-(河道4か5)	土師器	壺B	外	墨書	平城Ⅲ-V
8140	垣内上		K3-黒褐色中粒砂層	土師器	杯皿	底外	墨書	平城Ⅲ-V
8141	(墨書)		K-4西・南西端拡張 灰色粘土層	土師器	椀C	内	墨書	奈良
8142	(墨書)		K-4西・南西端拡張 灰色粘土層	土師器	壺B	外	墨書	奈良
8143	二		中町西遺跡1次	井戸16	土師器	皿	底外	墨書
8144	二		井戸16	土師器	皿	底外	墨書	10中
8145	(墨書)	菅田遺跡	SE1075上層	黒色土器	椀		墨書	10-12c
8146	(三角形の墨書印)	嘉幡遺跡2次	VトレSD01	唐津焼	皿	底外	墨書	中世末-近世初
8147	(記号文)		VトレSD01	土師質	皿	外	墨書	中世末-近世初
8148	大	平等坊・岩室遺跡10次		土器			墨書	飛鳥-平安初
8149	福	平等坊・岩室遺跡15次	工事による	土師器	皿	底外	墨書	9前頃
8150	□[吏または夷カ]	平等坊・岩室遺跡16次	井戸	土師器	杯	底外	墨書	9後頃
8151	(墨書)	平等坊・岩室遺跡17次	NR01埋土下半	土師器		底外	墨書	奈良後-平安前
8152	(墨書)		NR01埋土下半	土師器		底外	墨書	奈良後-平安前
8153	(墨書)		NR01埋土下半	土師器		底外	墨書	奈良後-平安前
8154	(崩し字か文様カ)		NR01埋土下半	土師器		口縁内・見込み	墨書	奈良後-平安前
8155	一村堂	平等坊・岩室遺跡28次	流路NR02上層	須恵器	杯	底外	墨書	古墳後-平安前
8156	〈外面〉卍 〈内面〉(墨痕)	前栽遺跡2次	井戸跡4	土師器	皿	底外・内見込み	墨書	8末-9初
8157	卍		溝跡4	須恵器	杯	高台裏見込み	墨書	
8158	□[妙カ]館	布留遺跡	溝1-B	須恵器	杯	底外	墨書	奈良-平安
8159	(墨書)	立花遺跡	第④地区流路1	土師器	杯		墨書	平安-室町
8160	(「庚」という字に似た墨書)	龍王山古墳群C-7号墳		土師器	杯	外カ	墨書	平安
8161	奈利賣君	藤原宮跡県S43年度	FB-33-G南北溝遺構面	土師器	皿	裏	墨書	
8162	乙丸		FB-31-H SE262	須恵器		裏面	墨書	
8163	宇尼女ツ伎	藤原宮跡県1次	SD105	須恵器	杯蓋Ⅱc	外	墨書	
8164	安都		SD105	須恵器	杯Ⅱc	裏底	墨書	
8165	麻呂	藤原宮跡県2次	FG25-P区	須恵器	杯Ⅱa	裏	墨書	
8166	舟	藤原宮跡県1or3次	SD145	須恵器	杯Ⅰb		墨書	
8167	(墨書)	藤原宮跡県3次	SE160	須恵器	蓋Ⅱa		墨書	
8168	(墨書)	藤原宮跡県1-4次		土師器	杯		墨書	
8169	月十五□/大大大 □[南カ]/□ □ □□	藤原宮跡1次		平瓦		凸	へら描	
8170	(記号風墨書)	藤原宮跡5次	SE1105	土師器	杯CⅡ	底外	墨書	7後-8初
8171	(判読不能)	藤原宮跡6次	SE1150	須恵器	杯AⅠ	底外	墨書	7後-8初
8172	(記号風墨書)	藤原宮跡7次	SD1070	須恵器	杯H蓋	頂外	墨書	7前
8173	(墨書)	藤原宮跡8次	SE1300	土師器	杯CⅡ	底外	墨書	7後-8初
8174	天地		SE1300	石製品	子持勾玉	体側	線刻	宮造営前
8175	矢	藤原宮跡10次		軒平瓦	6641F	凸	篋書	藤原宮期
8176	(「寺」「来」「文」など)	藤原宮跡19-2次		丸瓦		凹	線刻	
8177	笠女	藤原宮跡20次	SD1901-A	土師器	杯H	底外	墨書	飛鳥Ⅳ
8178	□智		SD1901-A	土師器	鉢A	底外	墨書	飛鳥Ⅳ
8179	麻績家□		SD1901-A下層	土師器	鍋	体外	墨書	飛鳥Ⅳ
8180	(落書風墨書・墨痕)		SD1901-A下層	須恵器	皿	底外	墨書	
8181	寺五月七日入		SD1901-A下層	土師器	杯C	底外	墨書	飛鳥Ⅳ
8182	□七日入		SD1901-A	土師器	杯C	底外	墨書	飛鳥Ⅳ
8183	□七日□		SD1901-A	土師器	杯	底外	墨書	飛鳥Ⅳ
8184	寺		SD1901-A下層	土師器	杯H	底外	墨書	飛鳥Ⅳ
8185	寺		SD1901-A	土師器	杯or皿	底外	墨書	飛鳥Ⅳ
8186	殿		SD1901-A下層	須恵器	鉢	体外	墨書	飛鳥Ⅳ
8187	□[前カ]玉評/大里評		SD1901-A上層	丸瓦		凸	墨書	
8188	夫	藤原宮跡23-4次	SB2370	土師器	杯A	底外	墨書	飛鳥Ⅴ
8189	(「見」「明」「大地」など落書・習書カ)		SB2370	須恵器	蓋		墨書	飛鳥Ⅴ
8190	女王	藤原宮跡24次	SD2300	土師器	杯A	底外	墨書	飛鳥Ⅴ
8191	水		SD2300	須恵器	杯	体外	墨書	
8192	水		SD2300	須恵器	杯	底外	墨書	飛鳥Ⅴ
8193	星川		SD2300	土師器	杯A	底外	墨書	飛鳥Ⅴ
8194	(墨痕)		SD2300	須恵器	杯B蓋	内	墨書	
8195	(墨痕)		SD2300	須恵器	杯B蓋	内	墨書	
8196	部		SD2300	須恵器	杯AⅠ	底外	刻書	

調査主体/報告書	遺物番号	掲載頁	所在地	備考
橿考研/県2020b	PL.545-6	(本文編)p172,(図面編)PL.545	大和郡山市	(DVD)表4
橿考研/県2020b	PL.547-11	(本文編)p172,(図面編)PL.547,(写真編)図版459	大和郡山市	(DVD)表4
橿考研/県2020b	PL.549-3	(本文編)p126-172,(図面編)PL.549,(写真編)図版460	大和郡山市・天理市	(DVD)表4/初出2012d
橿考研/県2020b	PL.549-8	(本文編)p126-172,(図面編)PL.549,(写真編)図版460	大和郡山市・天理市	(DVD)表4/初出2012d
橿考研/県2020b	PL.549-16	(本文編)p126-172,(図面編)PL.549,(写真編)図版461	大和郡山市・天理市	(DVD)表4/初出2012d
橿考研/県2020b	PL.550-4	(本文編)p126-172,(図面編)PL.550,(写真編)図版461	大和郡山市・天理市	(DVD)表4/初出2012d
橿考研/県2020b	PL.550-15	(本文編)p126-172,(図面編)PL.550,(写真編)図版461	大和郡山市・天理市	(DVD)表4/初出2012d
橿考研/県2020b	PL.551-6	(本文編)p126-172,(図面編)PL.551,(写真編)図版461	大和郡山市・天理市	(DVD)表4/初出2012d
橿考研/県2020b	PL.552-15	(図面編)PL.552	大和郡山市・天理市	(DVD)表4/初出2012d
橿考研/県2020b	PL.552-22	(図面編)PL.552	大和郡山市・天理市	(DVD)表4/初出2012d
橿考研/県2020b	PL.552-24	(図面編)PL.552	大和郡山市・天理市	(DVD)表4/初出2012d
橿考研/県2003h	図92-523	(本文)p101,(図)p102,(表)p126,図版42	天理市	
橿考研/県2003h	図92-524	(本文)p101,(図)p102,(表)p126,図版42	天理市	
橿考研/県2000c	図版98-1357	(表)p211,図版98,写真図版53	天理市	
天理市/2013	第42図-88	(本文)p48,(図)p47,(表)p56	天理市	
天理市/2013	第42図-94	(本文)p48,(図)p47,(表)p56	天理市	
橿考研/博1993b		(本文)p37	天理市	
天理教/天理教2010	挿図6-2	(本文)p7-24,(図)p8,図版7	天理市	布留遺跡天理教発掘調査団
天理教/天理教2010	挿図23-1	(本文・図)p23-24,図版18	天理市	布留遺跡天理教発掘調査団
天理市/2003	図4-11	(本文)p8,(図)p5	天理市	
天理市/2003	図4-13	(本文)p8,(図)p5	天理市	
天理市/2003	図4-27	(本文)p8,(図)p5	天理市	
天理市/2003	図4-28	(本文)p8,(図)p5	天理市	
天理市/2011	第13図-26	(本文)p11,(図)p12,(表)p21	天理市	
天理市/1987	図20-1	(本文)p30-31,(図)p30,図版12	天理市	北壁井戸側縦板より出土
天理市/1987	図22,写真8	(本文・図・写真)p33	天理市	
天理教/天理教1981	挿図8-1	(本文・図)p16	天理市	橿考研博1987では「客館」につくる/布留遺跡天理教発掘調査団
橿考研/県2017c		(本文)p28	天理市	
橿考研/県1993a	図128-1(土)	(本文・図)p84,(表)p21,図版41	天理市	C(水沢)地区
奈良県/橿考研博1987	8	(図版)p8	橿原市	初出県昭和43年度
奈良県/昭和43年度	第6図-2	(本文)p9,(図)p12	橿原市	記載部位は底外
奈良県/1969	PL46-141	(本文)p54-60,(図)p60-Fig28,(図版)PL.9-46	橿原市	初出県1966b
奈良県/1969	PL46-138	(本文)p54,60-61,(図)p60-Fig28,(図版)PL.9-46	橿原市	初出県1966b
奈良県/1969	PL46-209	(本文)p56-61,(図)p60-Fig28,(図版)PL.13-46	橿原市	
奈良県/1969	169	(本文)p55-61,(図版)PL.11-46	橿原市	
奈良県/1969	157	(本文)p57-61,(図)p60-Fig28,(図版)PL.11-46	橿原市	「九十」「八」など
奈良県/1969		(本文)p61,(図版)PL.46	橿原市	「九十」「八」など
奈文研/1976c	PL.32-7	(本文)p64,(図版)PL.32	橿原市	
奈文研/1978a	本文-3,PL.63-1	(本文)p51,(図版)PL.63	橿原市	
奈文研/1978a	本文214,PL.63-4	(本文)p52	橿原市	
奈文研/1978a	本文-269,PL.63-2	(本文)p60-62,(図版)PL.63	橿原市	
奈文研/1978a	本文-60,PL.63-3	(本文)p55,(図版)PL.63	橿原市	
奈文研/1978a	Fig.25-5,PL.73-1	(本文)p79,(図版)p.79,PL.73	橿原市	
奈文研/1978a	PL.46-6641-F	(本文)p39,(図版)PL.46	橿原市	
奈文研/1977a		(本文)p19	橿原市	
奈文研/西口1993		(本文・表)p12	橿原市	
奈文研/西口1993		(本文・表)p12	橿原市	
奈文研/1978c		(本文)p11	橿原市	時期は西口1993による
奈文研/1978c		(本文)p11	橿原市	
奈文研/1978c	8	(本文)p11,(図)p10	橿原市	時期は西口1993による
奈文研/西口1993		(本文・表)p12	橿原市	
奈文研/西口1993		(本文・表)p12	橿原市	
奈文研/1978c	4	(本文)p11,(図)p10	橿原市	時期は西口1993による
奈文研/西口1993		(本文・表)p12	橿原市	
奈文研/1978c		(本文)p11	橿原市	橿考研博1987-11/時期は西口1993による
奈文研/1991e		(図版)p63	橿原市	初出1978c/釈文変更1991e
奈文研/1979a	14	(本文)p29	橿原市	
奈文研/1979a		(本文)p29	橿原市	
奈文研/1979a		(本文)p15	橿原市	西口1993/橿考研博1987-10
奈文研/1979a	10	(本文)p15,(図)p17	橿原市	2019(本文)p46,(表)p47図89-7
奈文研/1979a	11	(本文)p15,(図)p17	橿原市	2019(本文)p46,(表)p47図89-6/時期は西口1993
奈文研/1979a	19	(本文)p15,(図)p16	橿原市	西口1993
奈文研/2012b	図135-202	(本文)p116,(図)p114	橿原市	
奈文研/2012b	図135-204	(本文)p116,(図)p114	橿原市	
奈文研/2012b	図136-287	(本文)p116,(図)p115	橿原市	字形は「ア」に近い

NO.	釈文	遺跡名	出土遺構	器質	器種等	記銘部	種類	時期	
8197	□	藤原宮跡27次	SD2300	土師器	甕?	体内	墨書	古代	
8198	□□□		SD2300	土師器	杯A	口縁外	墨書	飛鳥V	
8199	醬		SD2300	須恵器	杯Bor椀B	底外	墨書	飛鳥V	
8200	□〔醬カ〕		SD2300	須恵器	杯Aor椀A	底外	墨書	飛鳥V	
8201	水		SD2300	土師器	杯or椀	底外	墨書	古代	
8202	奈不奈不刀		SD2300	須恵器	杯A	口縁外	墨書	飛鳥V	
8203	麦		SD170	土師器	椀A	底外	墨書	飛鳥V	
8204	水		SD170	土師器	杯A	底外	墨書	古代	
8205	□□/諸人		藤原宮跡29次	SD2300	土師器	高杯	杯内	刻書	古代
8206	宮女			SB2772	須恵器	杯B蓋	頂外	墨書	飛鳥V
8207	稲器	藤原宮跡34次	SD260	土師器		底	墨書	奈良-平安	
8208	稲器		SD260	土師器		底	墨書	奈良-平安	
8209	稲器		SD260	土師器		底	墨書	奈良-平安	
8210	道		SD501	土師器		底	墨書	奈良-平安	
8211	米		SD260	土師器		底	墨書	奈良-平安	
8212	(墨書)		SD260	土師器		底	墨書	奈良-平安	
8213	凡		SD260	土器			墨書	奈良-平安	
8214	稲器		SD260	須恵器		底	墨書	奈良-平安	
8215	道		SD260	須恵器		頂	墨書	奈良-平安	
8216	六十五		藤原宮跡36次	SD145	土師器	杯	底外	墨書	奈良前
8217	六	SD3408		土師器	杯C	底外	墨書	奈良前	
8218	廿七	SD145		土師器		底外	墨書	奈良前	
8219	宮	藤原宮跡37次	SD260	須恵器	皿C	底外	墨書	奈良	
8220	宮		SD260	須恵器	杯B	底外	墨書	奈良	
8221	宮	藤原宮跡37次	SD260	土師器	椀C	口縁外	墨書	奈良	
8222	宮		SD260	土師器	杯A	底外	墨書	奈良前	
8223	宮		SD260	須恵器	蓋	頂外	墨書	奈良前	
8224	宮		SD260	須恵器	椀B	底外	墨書	奈良	
8225	三合		SD260	須恵器	杯C	底外	墨書	奈良	
8226	麦		SD260	須恵器	杯A	底外	墨書	奈良	
8227	吉		SD260	須恵器	杯A	底外	墨書	奈良	
8228	太		SD260	須恵器	杯A	底外	墨書	奈良	
8229	菱		SD260	須恵器	杯A	底外	墨書	奈良	
8230	南□		SD260	土師器	杯A	底外	墨書	奈良前	
8231	末		SD260	土師器	杯A	底外	墨書	奈良前	
8232	富		SD260	土師器	杯A	底外	墨書	奈良前	
8233	家		SD260	土師器	杯A	底外	墨書	奈良前	
8234	下		SD260	土師器	椀C	底外	墨書	奈良	
8235	蔵		SD260	土師器	椀C	底外	墨書	奈良	
8236	上		SD260	土師器	杯A	口縁外	墨書	平安	
8237	中		SD260	土師器	皿A	口縁外	墨書	平安	
8238	中		SD260	土師器	杯A	口縁外	墨書	平安	
8239	田		SD260	土師器	椀C	底外	墨書	奈良	
8240	白万		SD260	土師器	杯A	底外	墨書	奈良前	
8241	喃		SD260	土器			墨書		
8242	土作□ / 右部□				丸瓦		凹	刻書	
8243	開(開口)/□(處カ)家/■(開口)		藤原宮跡41次	SE3655	黒色土器A	椀	底外	墨書	平安初
8244	加之伎手官		藤原宮跡48-3次	SB4860柱掘方	須恵器	皿	底外	墨書	飛鳥IV
8245	(判読不能)	藤原宮跡55次	SD105	土師器	皿		墨書	藤原宮期	
8246	水	藤原宮跡58次	SD105	須恵器	椀	底外	墨書	飛鳥V	
8247	大□司		SD105	丸瓦		凸	墨書	飛鳥V	
8248	(「仏」「法」「僧」など)	藤原宮跡59次	SE6280	須恵器	杯蓋	頂外	墨書	飛鳥IV	
8249	(習書)	藤原宮跡61次	SD105	須恵器		底	墨書		
8250	水		SD105	須恵器	杯	口縁外	墨書		
8251	益	藤原宮跡63-8次	SE6990	土師器	杯C	底外	針書		
8252	(判読不能)	藤原宮跡78次	SK8543	須恵器	甕	内	墨書	飛鳥V	
8253	月 月	藤原宮跡78or78-7次		熨斗瓦			へら書		
8254	(墨書)	藤原宮跡80次	SK8471	土師器	杯A	底	墨書		
8255	四	藤原宮跡100次		丸瓦		凸	へら書		
8256									
8257	天(大カ)地身是□/四海□□止事□□/身 地水火風生/食饗(食カ餐カ)止□	藤原宮跡117次	SK9475	須恵器	皿	内	墨書	飛鳥IV-V	
8258	十一月廿		SK9475	石	竜山石片	破面	墨書		
8259	山寸	藤原宮跡125次		須恵器	盤		へら書	飛鳥III-V期	
8260	(「上」「月」「木」「賜」「厭」「籠」「職」など習書)	藤原宮跡127-8次		須恵器	杯蓋		墨書	藤原宮期	
8261	吉	藤原宮跡132次		土師器	杯	底外	墨書	平安	
8262	吉(貴カ)			土師器	杯	底外	墨書	平安	
8265	忠富			土師器	杯	底外	墨書	平安	
8266	大吉	藤原宮跡144次		土師器		底外	墨書	平安	
8267	(釈読不能)	藤原宮跡148次		瓦			文字瓦		
8268	(記号)+	藤原宮跡182次	SJ11253	須恵器	杯B	底外	墨書	奈良中頃-後	
8269	奈/良			平瓦		凸	へら描		
8270	田	藤原宮跡186次	小溝群	土師器	皿A	底外	墨書	奈良末	
8271	酒人	藤原宮跡188-7次	SD11380	土師器	杯C	底外	線刻	飛鳥IV-V	
8272	水	藤原京跡2003-2次左1.2・4.5	中ノ道東側溝B	須恵器	杯	体外	墨書	7末-8中頃	
8273	(墨痕)	藤原京跡1992-14次左2・3	SD-01	須恵器	杯		墨書		
8274	(墨痕)		SD-01	須恵器			墨書		
8275	□〔佐カ〕	藤原京跡47次,50次左6・3	SD4130下層(50次)	土師器	杯Cカ	底外	墨書	藤原京期	
8276	福		SD4130中層(47次)	土師器	杯B蓋	頂外	墨書	奈良	
8277	□〔福カ〕		SD4130中層(47次)	土師器	杯B蓋	頂外	墨書	奈良	

調査主体/報告書	遺物番号	掲載頁	所在地	備考
奈文研/2012a	第12図-1	(本文)p21,(図)p20	橿原市	
奈文研/2012a	第12図-2	(本文)p21,(図)p20	橿原市	
奈文研/2012a	第12図-3	(本文)p21,(図)p20	橿原市	初出1980c/時期は西口1993による
奈文研/2012a	第12図-4	(本文)p21,(図)p20	橿原市	時期は西口1993による
奈文研/2012a	第12図-5	(本文)p21,(図)p20	橿原市	
奈文研/2012a	第12図-6	(本文)p21,(図)p20	橿原市	
奈文研/2012a	第12図-8	(本文・図)p21	橿原市	初出1980c/1980cでは「麦」,時期は西口1993
奈文研/2012a	第12図-9	(本文・図)p21	橿原市	
奈文研/2012a	第12図-7	(本文)p21,(図)p20	橿原市	
奈文研/2012a	第12図-10	(本文・図)p21	橿原市	時期は西口1993による
奈文研/1982c		(本文)p20	橿原市	【加筆】器質記銘部
奈文研/1982c	28	(本文)p20,(図)p21	橿原市	【加筆】器質記銘部
奈文研/1982c	25	(本文)p20,(図)p21	橿原市	【加筆】器質記銘部
奈文研/1982c	26	(本文)p20,(図)p21	橿原市	【加筆】器質記銘部
奈文研/1982c		(本文)p20	橿原市	【加筆】器質記銘部
奈文研/1982c	27	(本文)p20,(図)p21	橿原市	【加筆】器質記銘部
奈文研/1982c		(本文)p20	橿原市	【加筆】器質記銘部
奈文研/1982c		(本文)p20	橿原市	【加筆】器質記銘部
奈文研/1984c	第2図-2	(本文)p9,(図)p7	橿原市	
奈文研/1984c	第2図-4	(本文)p9,(図)p7	橿原市	
奈文研/1984c	第2図-3	(本文)p9,(図)p7	橿原市	
奈文研/1984c		(本文)p17・18	橿原市	
奈文研/1984c		(本文)p17・18	橿原市	
奈文研/1984c		(本文)p17・18	橿原市	計2点
奈文研/1984c		(本文)p17・18	橿原市	
奈文研/1984c		(本文)p17・18	橿原市	
奈文研/1984c		(本文)p17・18	橿原市	
奈文研/1984c		(本文)p17・18	橿原市	
奈文研/1984c		(本文)p17・18	橿原市	
奈文研/1984c		(本文)p17・18	橿原市	
奈文研/1984c		(本文)p17・18	橿原市	
奈文研/1984c		(本文)p17・18	橿原市	
奈文研/1984c		(本文)p17・18	橿原市	
奈文研/1984c		(本文)p17・18	橿原市	
奈文研/1984c		(本文)p17・18	橿原市	
奈文研/1984c		(本文)p17・18	橿原市	
奈文研/1984c		(本文)p17・18	橿原市	
奈文研/1984c		(本文)p17・18	橿原市	
奈文研/1984c		(本文)p17・18	橿原市	
奈文研/1984c		(本文)p18	橿原市	刻書は焼成前
奈文研/1985d	第5図-4	(本文・図)p15	橿原市	釈文1987g/初出1985dは「開口」「開口」「家」など
奈文研/1987f		(本文・図)p6	橿原市	1987gにも記載あり/時期は西口1993による
奈文研/1988a		(本文)p10	橿原市	
奈文研/西口1993		(本文・表)p12	橿原市	
奈文研/西口1993		(本文・表)p12	橿原市	
奈文研/1989c		(本文・図)p11	橿原市	
奈文研/1991c		(本文)p7	橿原市	【加筆】器質記銘部
奈文研/西口1993		(本文・表)p12	橿原市	
奈文研/1991c		(本文)p12	橿原市	
奈文研/1996a		(本文)p11	橿原市	
奈文研/1996a		(本文)p14	橿原市	
奈文研/1996a	16	(本文)p30,(図)p29	橿原市	
奈文研/2000a		(本文)p13,(表)p12	橿原市	計2点
奈文研/2003e		(本文・図)p82	橿原市	
奈文研/2017b		(本文)p52・53,(図)p53	橿原市	初出2003e/初出は「青」
奈文研/2004b		(本文)p84	橿原市	尾北産
奈文研/2005b		(本文)p63	橿原市	転用硯
奈文研/2005b	図77-5・6・8	(本文)p56,(図)p57	橿原市	計3点
奈文研/2005b	図77-7	(本文)p56,(図)p57	橿原市	
奈文研/2005b	図77-9	(本文)p56,(図)p57	橿原市	
奈文研/2007d		(本文)p79	橿原市	【加筆】器質記銘部
奈文研/2011b		(本文)p92	橿原市	
奈文研/2015	図124-39	(本文)p93,(図)p94	橿原市	
奈文研/2015	図123-3	(本文・図)p92,(表)p93	橿原市	
奈文研/2016b	図79-36	(本文)p72,(図)p71	橿原市	
奈文研/2017b	図119-7	(本文)p115,(図)p114	橿原市	線刻は焼成後
橿原市/木簡研究26		(本文)p14	橿原市	中ノ道(東四坊大路)東側溝
橿原市/千塚1993		(本文)p14	橿原市	
橿原市/千塚1993		(本文)p14	橿原市	
奈文研/2017a	墨1	(本文)p253,(表)p487	橿原市	(図版)PL.36.ph.118
奈文研/2017a	墨2	(本文)p253,(表)p487	橿原市	(図版)PL.36.ph.118/初出1987f
奈文研/2017a	墨3	(本文)p253,(表)p487	橿原市	(図版)PL.36.ph.118/初出1987f

NO.	釈文	遺跡名	出土遺構	器質	器種等	記銘部	種類	時期
8278 -8280	(記号) = (「p」を横にした形)	藤原京跡45次,47次,50次,53次左6・3	SD4130中層(47次)	土師器	椀C	口縁外	墨書	奈良中頃
8281	□也		SD4130中層(50次)	土師器	杯C	底外	墨書	奈良
8282	□宅		SD4130中層(50次)	土師器	杯or皿	底外	墨書	奈良
8283	□〔大カ〕		SD4130中層(47次)	土師器	杯or椀C	底外	墨書	奈良
8284	□〔廿カ〕		SD4130中層(50次)	土師器	杯カ	底外	墨書	奈良
8285	(記号) = (井桁状の囲いの中央に墨点)		SD4130中層(47次)	土師器	杯or皿	底外	墨書	奈良
8286	佐		SD4130中層(47次)	土師器	椀C	口縁外	墨書	奈良
8287	佐		SD4130中層(50次)	土師器	杯or皿	底外	墨書	奈良
8288	□〔香カ〕山		SD4130中層(47次)	土師器	杯A	底外	墨書	奈良
8289	香山		SD4130中層(47次)	土師器	椀C	底外	墨書	奈良前
8290	香山		SD4130中層(47次)	須恵器	杯B	底外	墨書	奈良中頃
8291	□〔香カ〕□		SD4130中層(47次)	須恵器	杯Aカ	底外	墨書	奈良
8292	□〔香カ〕		SD4130中層(47次)	土師器	杯Cor皿A	底外	墨書	奈良
8293	□山		SD4130中層(47次)	土師器	杯or皿	底外	墨書	奈良
8294	大□〔山カ〕		SD4130中層(47次)	土師器	杯A	底外	墨書	奈良
8295	ア		SD4130中層(47次)	土師器	皿A	底外	墨書	奈良
8296	□□町		SD4130中層(47次)	土師器	杯C	底外	墨書	7末-8初
8297	多母□		SD4130中層(47次)	須恵器	杯B	底外	墨書	奈良
8298	飛		SD4130中層(47次)	土師器	椀C	底外	墨書	奈良半頃
8299	飛		SD4130中層(47次)	土師器	椀C	底外	墨書	奈良
8300	□□〔山アカ〕□		SD4130中層(50次)	土師器	椀C	底外	墨書	奈良
8301	(記号) (縦棒)		SD4130中層(47次)	土師器	椀C	底外	墨書	奈良
8302	(記号) (縦棒)		SD4130中層(47次)	土師器	椀C	底外	墨書	奈良
8303	(記号) (縦棒)		SD4130中層(47次)	土師器	椀C	底外	墨書	奈良
8304	(記号) (縦棒)		SD4130中層(47次)	土師器	椀C	底外	墨書	奈良
8305	(記号) (縦棒)		SD4130中層(50次)	土師器	椀C	底外	墨書	奈良
8306	香		SD4130上層(50次)	土師器	杯B蓋	つまみ上	墨書	平安
8307	香山		SD4130上層(47次)	須恵器	杯B	底外	墨書	平安
8308	香□		SD4130上層(47次)	土師器	椀A	底外	墨書	平安
8309	□〔香カ〕□		SD4130上層(50次)	土師器	杯Aor皿A	底外	墨書	平安
8310	□〔香カ〕		SD4130上層(47次)	須恵器	杯A	底外	墨書	平安
8311	大		SD4130上層(50次)	土師器	椀C	底外	墨書	平安
8312	荒田大年		SD4130上層(47次)	須恵器	壺	底外	墨書	平安
8313	□	SD4130中層(47次)	土師器	皿A	底外	墨書	奈良	
8314	(記号) (縦棒)	SD4130上層(47次)	土師器	椀C	底外	墨書	平安	
8315	天	SD4130下層(47次)	土師器	杯C	底内	ヘラ書	藤原京期	
8316	馬	SD4130中層(47次)	須恵器	甕	底外	ヘラ書	奈良	
8317	美	SD4130上層(45次)	須恵器	杯B蓋	頂外	刻印	平安	
8318	井	SE4740最下層(47次)	土師器	椀C	口縁外	墨書	飛鳥V-平城宮土器Ⅲ	
8319	支	SE4740最下層(47次)	土師器	甕	体外	墨書	飛鳥V-平城宮土器Ⅲ	
8320	山	SE4740下層(47次)	土師器	杯Cor皿	底外	墨書	平城宮土器Ⅲ-V	
8321	安	SE4740下層(47次)	土師器	皿A	底外	墨書	平城宮土器Ⅲ-V	
8322	米	SE4740下層(47次)	土師器	椀A	底外	墨書	平城宮土器Ⅲ-V	
8323	香山	SE4740下層(47次)	土師器	皿A	底外	墨書	平城宮土器Ⅲ-V	
8324	香山	SE4740下層(47次)	土師器	椀C	底外	墨書	平城宮土器Ⅲ-V	
8325	香山	SE4740下層(47次)	土師器	椀C	底外	墨書	平城宮土器Ⅲ-V	
8326	香山	SE4740下層(47次)	土師器	椀C	底外	墨書	平城宮土器Ⅲ-V	
8327	香山	SE4740下層(47次)	土師器	椀C	底外	墨書	平城宮土器Ⅲ-V	
8328	香山	SE4740下層(47次)	土師器	椀C	底外	墨書	平城宮土器Ⅲ-V	
8329	香山	SE4740下層(47次)	土師器	椀C	底外	墨書	平城宮土器Ⅲ-V	
8330	香山	SE4740下層(47次)	土師器	椀C	底外	墨書	平城宮土器Ⅲ-V	
8331	香山	SE4740下層(47次)	土師器	椀C	底外	墨書	平城宮土器Ⅲ-V	
8332	(記号) = (香山カ)	SE4740中層(47次)	土師器	椀C	底外	墨書	平城宮土器V-長岡宮期	
8333	(記号) = (香山カ)	SE4740中層(47次)	土師器	椀C	底外	墨書	平城宮土器V-長岡宮期	
8334	(記号) = (香山カ)	SE4740中層(47次)	土師器	椀C	底外	墨書	平城宮土器V-長岡宮期	
8335	(記号) = (香山カ)	SE4740中層(47次)	土師器	椀A	底外	墨書	平城宮土器V-長岡宮期	
8336	(記号) = (香山カ)	SE4740中層(47次)	須恵器	杯B	底外	墨書	平城宮土器V-長岡宮期	
8337	宅	SE4740中層(47次)	土師器	杯A	底外	墨書	平城宮土器V-長岡宮期	
8338	宅	SE4740中層(47次)	土師器	椀C	口縁外	墨書	平城宮土器V-長岡宮期	
8339	□〔人カ〕	SE4740中層(47次)	土師器	皿A	底外	墨書	平城宮土器V-長岡宮期	
8340	香山	SE4740周囲(47次)	土師器	杯B蓋	つまみ上	墨書		
8341	□〔刀カ〕	SE4740周囲(47次)	土師器	椀C	底外	墨書		
8342	下□	SE4740周囲(47次)	土師器	椀C	底外	墨書		

調査主体/報告書	遺物番号	掲載頁	所在地	備考
奈文研/2017a	墨4-6	(本文)p253,(表)p487,(図版)PL.36、 ph.85・118	橿原市	計3点/初出1987f
奈文研/2017a	墨7	(本文)p253,(表)p487	橿原市	(図版)PL.36,ph.118/初出1987f
奈文研/2017a	墨8	(本文)p253,(表)p487	橿原市	(図版)PL.36,ph.118
奈文研/2017a	墨9	(本文)p253,(表)p487,(図版)PL.36,ph.118	橿原市	本文「もしくは記号カ」/初出1987f/1987fでは読み切り
奈文研/2017a	墨10	(本文)p253,(表)p487	橿原市	(図版)PL.36,ph.118
奈文研/2017a	墨11	(本文)p253,(表)p487	橿原市	(図版)PL.36,ph.118
奈文研/2017a	墨12	(本文)p253,(表)p487	橿原市	(図版)PL.36,ph.118
奈文研/2017a	墨13	(本文)p253,(表)p487	橿原市	(図版)PL.36,ph.118/初出1987f
奈文研/2017a	墨14,Tab.4・Fig.152-19	(本文)p253・254・257,(表)p259・487	橿原市	(図版)p.258,PL.37,ph.118 / 初出1987f
奈文研/2017a	墨15,Tab.4・Fig.151・152-7	(本文)p254・256,(表)p259・487	橿原市	(図版)p257・8,PL.37,ph.85・118/初出1987f
奈文研/2017a	墨16,Tab.4・Fig.152-8	(本文)p254・256,(表)p259・487	橿原市	(図版)p.258,PL.37,ph.118 / 初出1987f
奈文研/2017a	墨17,Tab.4・Fig.152-20	(本文)p254・257,(表)p259・487	橿原市	(図版)p.258,PL.37,ph.118 / 初出1987f
奈文研/2017a	墨18,Tab.4・Fig.152-13	(本文)p254・257(表)p259・487	橿原市	(図版)p.258,PL.37,ph.118 / 初出1987f
奈文研/2017a	墨19,Tab.4・Fig.152-21	(本文)p254・257,(表)p259・487	橿原市	(図版)p.258,PL.37,ph.118 / 初出1987f
奈文研/2017a	墨20	(本文)p254,(表)p487	橿原市	(図版)PL.37,ph.118/初出1987f
奈文研/2017a	墨21	(本文)p254,(表)p487	橿原市	(図版)PL.38,ph.118/初出1987f
奈文研/2017a	墨22	(本文)p254,(表)p487	橿原市	(図版)PL.38,ph.119
奈文研/2017a	墨23	(本文)p254,(表)p487	橿原市	(図版)PL.38,ph.118/初出1987f
奈文研/2017a	墨24	(本文)p254,(表)p487	橿原市	(図版)PL.38,ph.118/初出1987f
奈文研/2017a	墨25	(本文)p254,(表)p487	橿原市	(図版)PL.38,ph.118/初出1987f
奈文研/2017a	墨26	(本文)p254,(表)p487	橿原市	(図版)PL.39,ph.85・119
奈文研/2017a	墨27	(本文)p254,(表)p487	橿原市	(図版)PL.39,ph.119/初出1987f
奈文研/2017a	墨28	(本文)p254,(表)p487	橿原市	(図版)PL.39,ph.119/初出1987f
奈文研/2017a	墨29	(本文)p254,(表)p487	橿原市	(図版)PL.39,ph.119/初出1987f
奈文研/2017a	墨30	(本文)p254,(表)p487	橿原市	(図版)PL.39,ph.119/初出1987f
奈文研/2017a	墨31	(本文)p254,(表)p487	橿原市	(図版)PL.39,ph.85・119/初出1987f
奈文研/2017a	墨32,Tab.4・Fig.152-14	(本文)p254・257,(表)p259・487	橿原市	(図版)p.258,PL.40,ph.120 / 初出1987f
奈文研/2017a	墨33,Tab.4・Fig.152-9	(本文)p254・256,(表)p259・487	橿原市	(図版)p.258,PL.40,ph.120 / 初出1987f
奈文研/2017a	墨34,Tab.4・Fig.152-15	(本文)p254・257,(表)p259・487	橿原市	(図版)p.258,PL.40,ph.120 / 初出1987f
奈文研/2017a	墨35,Tab.4・Fig.152-18	(本文)p254・257,(表)p259・487	橿原市	(図版)p.258,PL.40,ph.120
奈文研/2017a	墨36,Tab.4・Fig.152-17	(本文)p254・257(表)p259・487	橿原市	(図版)p.258,PL.40,ph.120/初出1987f
奈文研/2017a	墨37	(本文)p254,(表)p487	橿原市	(図版)PL.40,ph.120/初出1987f
奈文研/2017a	墨38	(本文)p254,(表)p487	橿原市	(図版)PL.40,ph.120/初出1987f
奈文研/2017a	墨39	(本文)p254,(表)p487	橿原市	(図版)PL.41,ph.119/初出1987f
奈文研/2017a	墨40	(本文)p254,(表)p487	橿原市	(図版)PL.41,ph.120/初出1987f
奈文研/2017a	刻書・刻印土器41	(本文)p256,(表)p487,(図版)PL.41,ph.123	橿原市	へろ書は焼成後
奈文研/2017a	刻書・刻印土器42	(本文)p256,(表)p487,(図版)PL.41,ph.123	橿原市	初出1987f/へろ書は焼成前
奈文研/2017a	刻書・刻印土器43	(本文)p256,(表)p487,(図版)PL.41,ph.123	橿原市	初出1986cは「美濃」
奈文研/2017a	墨44	(本文)p254・255,(表)p488	橿原市	(図版)PL.42,ph.122/初出1987f
奈文研/2017a	墨45	(本文)p255,(表)p488	橿原市	(図版)PL.42,ph.122/初出1987f
奈文研/2017a	墨46,Tab.4・Fig.152-22	(本文)p255・257,(表)p259・488	橿原市	(図版)p258,PL.42,ph.122/初出1987f
奈文研/2017a	墨47	(本文)p255,(表)p488	橿原市	(図版)PL.42,ph.122/初出1987f
奈文研/2017a	墨48	(本文)p255,(表)p488	橿原市	(図版)PL.42,ph.122/初出1987f
奈文研/2017a	墨49,Tab.4・Fig.152-10	(本文)p255・257,(表)p259・488	橿原市	(図版)p258,PL.42,ph.122/初出1987f
奈文研/2017a	墨50,Tab.4・Fig.152-1	(本文)p204・255・256,(表)p259・488	橿原市	(図版)p257・8,PL.43,ph.121/初出1987f
奈文研/2017a	墨51,Tab.4・Fig.152-2	(本文)p204・255・256,(表)p259・488	橿原市	(図版)p258,PL.43,ph.121/初出1987f
奈文研/2017a	墨52,Tab.4・Fig.152-3	(本文)p204・255・256,(表)p259・488	橿原市	(図版)p257・8,PL.43,ph.121/初出1987f
奈文研/2017a	墨53,Tab.4・Fig.152-4	(本文)p204・255・256,(表)p259・488	橿原市	(図版)p258,PL.43,ph.121/初出1987f
奈文研/2017a	墨54,Tab.4・Fig.152-5	(本文)p204・255・256,(表)p259・488	橿原市	(図版)p258,PL.44,ph.121/初出1987f
奈文研/2017a	墨55,Tab.4・Fig.152-6	(本文)p204・255・256,(表)p259・488	橿原市	(図版)p257・8,PL.44,ph.121/初出1987f
奈文研/2017a	墨56,Tab.4・Fig.152-11	(本文)p204・255・257,(表)p259・488	橿原市	(図版)p258,PL.44,ph.122/初出1987f
奈文研/2017a	墨57,Tab.4・Fig.152-12	(本文)p204・255・257,(表)p259・488	橿原市	(図版)p258,PL.44,ph.121/初出1987f
奈文研/2017a	墨58,Tab.4・Fig.152-23	(本文)p255・259,(表)p259・488	橿原市	(図版)p258,PL.45,ph.122/初出1987f
奈文研/2017a	墨59,Tab.4・Fig.152-24	(本文)p255・259,(表)p259・488	橿原市	(図版)p258,PL.45,ph.122/初出1987f
奈文研/2017a	墨60,Tab.4・Fig.152-25	(本文)p255・259,(表)p259・488	橿原市	(図版)p258,PL.45,ph.122/初出1987f
奈文研/2017a	墨61,Tab.4・Fig.152-26	(本文)p255・259,(表)p259・488	橿原市	(図版)p258,PL.45,ph.122
奈文研/2017a	墨62,Tab.4・Fig.152-27	(本文)p255・259,(表)p259・488	橿原市	(図版)p258,PL.45,ph.122/初出1987f
奈文研/2017a	墨63	(本文)p255,(表)p488	橿原市	(図版)PL.46,ph.122/初出1987f
奈文研/2017a	墨64	(本文)p255,(表)p488	橿原市	(図版)PL.46,ph.122/初出1987f
奈文研/2017a	墨65	(本文)p255,(表)p488	橿原市	(図版)PL.46,ph.122
奈文研/2017a	墨66,Tab.4・Fig.152-16	(本文)p255・257,(表)p259・488	橿原市	(図版)p258,PL.46,ph.122/初出1987f
奈文研/2017a	墨67	(本文)p255,(表)p488	橿原市	(図版)PL.46,ph.122
奈文研/2017a	墨68	(本文)p255,(表)p488	橿原市	(図版)PL.46,ph.122

NO.	釈文	遺跡名	出土遺構	器質	器種等	記銘部	種類	時期	
8343	十	藤原京跡47次,50次,53次 左6・3	SE5950(53次)	土師器	杯A I	底外	墨書	飛鳥V	
8344	□記		SE5950(53次)	土師器	杯A III	底外	墨書	飛鳥V	
8345	部女		SB5020(50次)	土師器	杯A	底外	墨書	藤原宮造営期	
8346	(記号カ) =		SD4130中層(50次)	土師器	杯A	底外	墨書	奈良	
8347	(墨書)		SD4130中層(47次)	土師器	椀A	底外	墨書	奈良	
8348	□or□(記号カ)or(墨痕)のいずれか		SD4130中層(47次)	土師器	椀C	底外	墨書	奈良	
-8350									
8351	(墨書)		SD4130中層(47次)	土師器	椀C	底外	墨書	奈良中頃	
8352	□[大カ]		SD4130中層(47次)	土師器	椀C	底外	墨書	奈良	
8353	□or□(記号カ)or(墨痕)のいずれか		SD4130中層(50次)	土師器	椀C	底外	墨書	奈良	
8354	□or□(記号カ)or(墨痕)のいずれか		SD4130中層(47次)	土師器	椀C	底外	墨書	奈良	
8355	□or□(記号カ)or(墨痕)のいずれか		SD4130中層(47次)	土師器	椀C	口縁外	墨書	奈良	
8356	□or□(記号カ)or(墨痕)のいずれか		SD4130中層(47次)	土師器	椀C	底外	墨書	奈良前	
8357	□or□(記号カ)or(墨痕)のいずれか		SD4130中層(47次)	土師器	椀C	底外	墨書	奈良前	
8358	(墨書)		SD4130上層(47次)	土師器	椀C	底外	墨書	平安	
8359	(記号) +		SD4130中層(50次)	須恵器	杯B	底外	墨書	奈良	
8360	(記号) = (楕円形状墨痕)		SD4130中層(47次)	須恵器	杯B	底外	墨書	奈良	
8361	□		SD4130中層(50次)	須恵器	杯B	底外	墨書	奈良	
8362	□		SD4130中層(47次)	須恵器	杯B	底外	墨書	奈良	
8363	(判読不能)		SD4130中層(47次)	須恵器	杯A	底外	墨書	奈良	
8364	(判読不能)		SD4130中層(47次)	須恵器	杯A	底外	墨書	奈良	
8365	(文字または記号)		SD4130上層(47次)	須恵器	杯A	底外	墨書	平安	
8366	(文字または記号)		SD4130上層(50次)	須恵器	杯A	底外	墨書	奈良	
8367	(記号) = (一状墨線)		SE4740最下層(47次)	須恵器	杯B	底外	墨書	奈良前	
8368	惣		SD4311(47次)	須恵器	壺C	肩外	刻書	飛鳥	
8369	(点状の墨痕)		SD4143下層(53次)	須恵器	杯B	底外	墨書	飛鳥V	
8370	宇尼		藤原京跡47or50次左6・3	SD4130	土師器	椀C	底外	墨書	
8371	大鳥評		藤原京跡113次左7・2	SD6032B	須恵器	杯B蓋	頂内	籀書	飛鳥IV-V
8372	上殿		藤原京跡58-20次左9・4	SE2440	須恵器	壺	体外	—	飛鳥V
8373	(線刻・不明(「龍」の絵?))		藤原京跡左11・1	井戸212	埴				11中
8374	□[供カ]/観智□□[賢護カ]是□		藤原京跡66-1・13次左11・3	SD2740	平瓦			墨書	天武朝末-奈良前
8375	□[寺カ]		藤原京跡71-13次左11・3	SE3250	土師器	甕		墨書	7末
8376	嶋女			SD3240	須恵器	蓋		墨書	奈良
8377	郡□[明カ]		藤原京跡65次右1・1	SD6801	須恵器	杯B蓋	頂外	墨書	飛鳥IV-V
8378	干			SE7237	須恵器	杯B蓋	頂外	墨書	飛鳥IV-V
8379	御/十(他数筆習書)			SE7243	須恵器	杯B蓋	中央内	墨書	飛鳥V-平城II
8380	□[部カ]		SK7238	須恵器	椀B	底外	へら書	藤原宮期	
8381	(記号) ×		SE8690	土師器	皿A	底外	墨書	飛鳥IV-V	
8382	(記号) ×		SE8689	須恵器	杯B蓋	つまみ上	墨書	飛鳥IV-V	
8383	(判読不能)		SK7236	須恵器	杯A		墨書	藤原宮廃絶時-奈良初	
8384	百□	藤原京跡64次右1・2	SE7165	土師器	大皿	底	墨書	藤原宮期	
8385	(判読不能)	藤原京跡149-5次右1・5	SD580	須恵器		頂	墨書	藤原宮期	
8386	(判読不能)	藤原京跡右1・6	SD-01	須恵器	杯B	底外	墨書		
8387	壬□□女		SD-01	須恵器	杯B	底外	墨書		
8388	(2画分の残画)	藤原京跡右1・6横大路	SD01	須恵器	杯カ	底外カ	墨書	飛鳥V期	
8389	(斜めの墨痕)		SK02	土師器	鍋	体外	墨書		
8390	(記号)(墨書・籀書)	藤原京跡54-23次右2・2		土器	甕		墨書籀書	藤原宮期	
8391	天(逆)			須恵器	甕	体外	墨書	飛鳥V	
8392	道	藤原京跡52次右京2・3(ハイハス8次)	SE5280	土師器	甕	体外	墨書	飛鳥V	
8393	佑	藤原京跡1991-19・1992-17次右5・4(1・2次)	SD01カ	土器			墨書	藤原京期	
8394	神家		SD01カ	土器			墨書	藤原京期	
8395	山下	藤原京跡17-2次朱雀大路	SD1951	土師器	杯A	底外	墨書	飛鳥V	
8396	米	藤原京跡19次右7・1	SD2030	土師器	杯A	底外	墨書	藤原宮期	
8397	衣女	藤原京跡49次右7・1		須恵器	杯B	底外	墨書	飛鳥IV or V	
8398	(針書文字)		SD4958	土師器		底	針書		
8399	□[作カ]	藤原京跡63-12次右7・1		須恵器	杯	底外	墨書	7前-藤原宮期	
8400	(墨書)	藤原京跡48-18次右7・2	SE5302	土師器		底	墨書	9中頃カ	
8401	(墨書)		SE5302	土師器		底	墨書	9中頃カ	
8402	乙	藤原京跡58-5次右7・4	下ツ道東側溝	須恵器	蓋	頂外	—	飛鳥V	
8403	(墨書)	藤原京跡45-7次右8・4	SE4023内	須恵器	杯蓋	頂外	墨書	藤原宮期	
8404	司	藤原京跡1993-07・08次右9・4(1・2次)	SD01	須恵器	杯	底外	墨書	藤原京期	
8405	大	藤原京跡十条大路	溝4	須恵器	甕	体	へら描	飛鳥	
8406	千字	藤原京跡右10・4	SX02	須恵器	杯	底外	墨書	藤原宮期	
8407	(發・八及・八教・八数のいずれかカ)	藤原京跡右11・2	西部整地土	土師器	杯A	底外	墨書	飛鳥V併行期	
8408	(墨書)	藤原京跡右11・3	西三坊坊間路両側溝	土師器	皿A	口縁内	墨書	飛鳥V	
8409	都□		土坑07001	須恵器	杯B蓋	頂内カ	墨書	飛鳥V	
8410	十		土坑07001	須恵器	杯B		墨書	飛鳥V	
8411	十		土坑07001	須恵器	杯B		墨書	飛鳥V	
8412	(墨書)		素掘小溝	土師器	杯	底外	墨書	古代	
8413	京(異体字)	藤原京跡2011-1次右11・3	1トレ028-SD	須恵器	杯or皿	底外	墨書	藤原京期	
8414	(判読不能)	藤原京跡右11・3,4	SD1442	須恵器	杯B	底外	墨書	飛鳥IV-V	
8415	(墨書)	藤原京跡54次右11,12・4		土器	杯A	底外	墨書	奈良(平城III)	
8416	(墨書)			土器	皿	底外	墨書	奈良	
8417	川祈		SD01	土師器		底	墨書	藤原宮期-奈良	
8418	(墨書)			土器	皿	底外	墨書		
8419	川上		SD01	須恵器		底	墨書	藤原宮期-奈良	
8420	吉□		SD01	須恵器		底	墨書	藤原宮期-奈良	

調査主体/報告書	遺物番号	掲載頁	所在地	備考
奈文研/2017a	Pl.33-454	(本文)p218,(表)p488	檀原市	(図版)PL.33,ph.120
奈文研/2017a	Pl.33-455	(本文)p218・255,(表)p488	檀原市	(図版)PL.33,ph.120
奈文研/2017a	Fig.135-545	(本文)p228・255,(表)p488	檀原市	(図版)p231,ph.120
奈文研/2017a	Ph.119-71	(本文)p186,(図版)ph.119	檀原市	
奈文研/2017a	Ph.119-146	(本文)p188,(図版)ph.119	檀原市	
奈文研/2017a	Ph.119-155・156・158	(本文)p188,(図版)ph.119	檀原市	計3点
奈文研/2017a	Ph.119-165	(本文)p188,(図版)ph.119	檀原市	
奈文研/2017a	Ph.119-169	(本文)p188,(図版)ph.119	檀原市	
奈文研/2017a	Ph.120-166	(本文)p188,(図版)ph.120	檀原市	
奈文研/2017a	Ph.120-180	(本文)p188,(図版)ph.120	檀原市	
奈文研/2017a	Ph.120-192	(本文)p188,(図版)ph.120	檀原市	
奈文研/2017a	Ph.120-201	(本文)p188,(図版)ph.120	檀原市	
奈文研/2017a	Ph.120-204	(本文)p188,(図版)ph.120	檀原市	
奈文研/2017a	Ph.120-280	(本文)p198,(図版)ph.120	檀原市	
奈文研/2017a	Ph.120-762	(本文)p192,(図版)ph.120	檀原市	
奈文研/2017a	Ph.120-764	(本文)p192,(図版)ph.120	檀原市	
奈文研/2017a	768	(本文)p192	檀原市	【加筆】次数
奈文研/2017a	Ph.120-778	(本文)p192,(図版)ph.120	檀原市	
奈文研/2017a	Ph.120-784	(本文)p191,(図版)ph.120	檀原市	
奈文研/2017a	Ph.120-794	(本文)p191,(図版)ph.120	檀原市	
奈文研/2017a	Pl.28-901	(本文)p199,(図版)PL.28	檀原市	【加筆】次数
奈文研/2017a	Ph.120-905	(本文)p199,(図版)ph.120	檀原市	
奈文研/2017a	Ph.122-943	(本文)p204,(図版)ph.122	檀原市	初出1987f
奈文研/2017a	Pl.32-971	(本文)p208・256,(表)p488	檀原市	(図版)PL.32,ph.123
奈文研/2017a	993	(本文)p214	檀原市	【加筆】次数
奈文研/1987g		(本文)p15	檀原市	
奈文研/2006a	19	(本文)p53,(図)p52,PL.31	檀原市	陶色産/初出2001b
奈文研/西口1993		(本文・表)p12	檀原市	南浦農道2次
檀考研/県2017f	972	(本文)p146・149,(図)p147・8,(図版)PL.120	檀原市	
奈文研/1996a		(本文・図)p91	明日香村	初出1992a/釈文変更1996a/雷丘北方
奈文研/1995d		(本文)p53	明日香村	雷丘北方4次
奈文研/1995d		(本文)p53	明日香村	雷丘北方4次
奈文研/2007e		(本文)p9	檀原市	初出1992a/初出は「君+口」,1997a(fig.11-91)は「□[郡カ]□」/一条条間路南側溝
奈文研/1997a	fig.12-155	(本文)p24,(図)p23	檀原市	2007eにも記載あり
奈文研/2007e		(本文)p9	檀原市	初出1992a/釈文は1992a/転用硯
奈文研/1997a	fig.11-130	(本文)p21,(図)p22	檀原市	東海産/2007eにも記載あり/部は「ア」表記
奈文研/1997a	fig.7-18	(本文)p13,(図)p14	檀原市	
奈文研/1997a	fig.8-38	(本文)p15,(図)p16	檀原市	
奈文研/1997a		(本文)p25	檀原市	
奈文研/1992a		(本文)p41	檀原市	西口1993は飛鳥Ⅲ
奈文研/2008		(本文)p75・76	檀原市	
檀考研/県1983a	図39-40-1	(本文)p45,(図)p45-47	檀原市	院上遺跡
檀考研/県1983a	図39-40-2	(本文)p45・46,(図)p45-47	檀原市	院上遺跡
檀考研/県1993c	図15-3	(本文)p18,(図)p19,(図版)PL.12	檀原市	横大路南側溝
檀考研/県1993c	図20-3	(本文)p23・24,(図)p23,(図版)PL.13	檀原市	南側溝開削以前の土坑
奈文研/1989c		(本文)p29	檀原市	
奈文研/西口1993		(本文・表)p12	檀原市	
奈文研/西口1993		(本文・表)p12	檀原市	
檀原市/木簡研究15		(本文)p32	檀原市	下ッ道東側溝
檀原市/木簡研究15		(本文)p32	檀原市	下ッ道東側溝
奈文研/1977a	実測図-7	(本文・図)p5	檀原市	西口1993
奈文研/1977a		(本文)p11	檀原市	
奈文研/1987b	第12図-3	(本文・図)p19・図版19	檀原市	西口1993は飛鳥Ⅴ
奈文研/1987b	第12図-4	(本文)p18,(図)p19・図版19	檀原市	
奈文研/2007e		(本文)p6	檀原市	初出は1992a
奈文研/1988a		(本文)p43	檀原市	【加筆】器質記銘部
奈文研/1988a		(本文)p43	檀原市	【加筆】器質記銘部
奈文研/西口1993		(本文・表)p12	檀原市	西京極大路
奈文研/1986c		(本文)p39	檀原市	
檀原市/木簡研究16		(本文)p41	檀原市	西四坊坊間路東側溝
檀考研/県1990d	図10	(本文)p12,(図)p14	檀原市	十条大路北側溝/栄和町遺跡
檀考研/県1989b	図8-28	(本文)p17,(図)p13	檀原市	新益京関連遺跡
檀考研/県2015f	図32-8	(本文)p38,(図)p39,(図版)PL.21	檀原市	
檀考研/県2013e	図34-251	(本文)p40,(図)p41,(図版)PL.46	檀原市	
檀考研/県2013e	図35-264	(本文)p40・41,(図)p42,(図版)PL.47	檀原市	
檀考研/県2013e	図35-265	(本文)p41,(図)p42,(図版)PL.48	檀原市	
檀考研/県2013e	図35-269	(本文)p41,(図)p42,(図版)PL.48	檀原市	
檀考研/県2013e	図38-315	(本文)p43,(図)p45,(図版)PL.51	檀原市	
檀原市/2012a	図11-2	(本文・図)p17,図版6	檀原市	
檀考研/県2017b	図52-104	(本文)p70,(図)p69,(図版)PL.43	檀原市	
奈文研/1988a		(本文)p35	檀原市	出土情報のみ
奈文研/1988a		(本文)p35	檀原市	出土情報のみ
奈文研/1988a		(本文)p35	檀原市	【加筆】器質
奈文研/1988a		(本文)p35	檀原市	出土情報のみ
奈文研/1988a		(本文)p35	檀原市	【加筆】器質記銘部
奈文研/1988a		(本文)p35	檀原市	【加筆】器質記銘部

NO.	釈文	遺跡名	出土遺構	器質	器種等	記銘部	種類	時期
8421	宮	藤原京跡右12・3	SK035 炭化物層	土師器	杯	底外	墨書	藤原京期
8422	(判読不能)		SK035 炭化物層	土師器	甕	体外	朱墨書	藤原京期
8423	(記号)卍(四葉状)	藤原京跡2011-2次右12・3・4	028-SX	土師器	杯	底外	墨書	藤原宮期
8424	〈内〉延末(烏帽子を被る男子像)〈外〉上	藤原京跡1973年度緊急右12・4		土師器	皿	底内外	墨書	13前
8425	〈内〉義明房(僧形の男子像)〈外〉上			土師器	皿	底内外	墨書	13前
8426	〈内〉□□神王(頭髪を逆立てた上半身裸の男子像)〈外〉上			土師器	皿	底内外	墨書	13前
8427	〈内〉延末女(女子像)〈外〉上			土師器	皿	底内外	墨書	13前
8428	〈内〉不知姓御子(鼓を打つ像)〈外〉上			土師器	皿	底内外	墨書	13前
8429	薬師(人物像)			土師器	皿	底内	墨書	13前
8430	寺	東竹田遺跡(藤原京跡左北6・5)	SE-1	須恵器	壺A	底外	墨書	平城宮土器IV
8431	寺		SE-1	須恵器	壺	底外	墨書	平城宮土器IV
8432	杖女		SE-1	土師器	椀C	底外	墨書	平城宮土器IV
8433	(記号)○		SE-1	土師器	椀C	底外	墨書	平城宮土器IV
8435	(判読不能)		SE-1掘方	土師器		底力	墨書	平城宮土器IV
8437	興□		SE-1	須恵器	杯	底外	墨書	平城宮土器IV
8438	(判読不能)		SE-1	土師器	皿	底力	墨書	平城宮土器IV
8439	十	大福遺跡14次(藤原京跡左北3・6)	SD01	須恵器	杯	外	墨書	飛鳥V期
8440	□[十または千]		SD01	須恵器	皿	底外	墨書	飛鳥V期
8441	(墨書)	大福遺跡30次(藤原京跡左北4・6)	SE01	土器			墨書	奈良中頃-後
8442	稲□	吉備遺跡8次(藤原京跡左2・9)	包含層	土師器	杯	底外	墨書	
8443	甲	吉備遺跡15次(藤原京跡左2・9,10)	井戸	土師器	椀		墨書	8中
8444	大		井戸	土師器	皿		墨書	8中
8445	甲		井戸	土師器	皿		墨書	8中
8446	日下部		包含層	須恵器	杯B		墨書	8前
8447	大家		包含層	土師器	皿		墨書	8前
8448	當女	吉備池遺跡6次(藤原京跡左2・10)	1ト4区4層	須恵器	杯	高台底	墨書	藤原京期
8449	(記号)+	四条遺跡6次(藤原京跡右4・5)	整地層	須恵器	杯B	底	墨書	飛鳥
8450	品	四条遺跡24次(藤原京跡右4・5,6)	SE24103	土師器	皿H	口縁外	線刻	藤原宮期
8451	祁□		SD30033	須恵器	杯B蓋	頂外	墨書	
8452	下□		SD30032	須恵器	杯H蓋	天井外	墨書	藤原宮遷都以前
8453	十	四条遺跡28次(藤原京跡右4・6)	包含層	須恵器	杯B	底外	墨書	藤原宮期
8454	(記号のような墨書)	四条遺跡29次(藤原京跡右4・6)	SD102	須恵器	平瓶	肩外	墨書	藤原宮期
8455	日		SD102	須恵器	杯B	底外	墨書	藤原宮期
8456	木		SD152	土師器	杯A I	底外	墨書	平城IV期力
8457	海	四条遺跡32or33or35次(藤原京跡右4・6)	整地層(Ⅲ層)	須恵器	杯B	底	墨書	飛鳥IV-V
8458	高	四条遺跡15次(藤原京跡右4・7)	SE153	黒色土器A	椀	底外	墨書	9後-10初
8459	富	四条遺跡25次(藤原京跡右4・7)	SE131	須恵器	杯B	底外	墨書	平城 I
8460	十		SD102	須恵器	杯蓋	天井外	墨書	藤原宮期
8461	十		SD102	須恵器	杯B	底外	墨書	藤原宮期
8462	日		SD102	土師器	皿	底外	墨書	藤原宮期
8463	十		SD102	須恵器	杯B	底外	墨書	藤原宮期
8464	(漆書)		SD109	土師器	杯B	底外	漆書	藤原宮期
8465	十		SD109	須恵器	杯AⅢ	底外	墨書	藤原宮期
8466	十	四条遺跡29次(藤原京跡右4・7)	SD102	土師器	杯	底外	墨書	藤原宮期
8467	十		SD102	須恵器	杯B	底外	墨書	藤原宮期
8468	十		SD110	須恵器	杯B	底外	墨書	藤原宮期
8469	(判読不能)		SD110	土師器		外	墨書	藤原宮期
8470	二	四条シナノ遺跡(藤原京跡右4・10)	SE-03	土師器	皿A	底外	墨書	8後頃
8471								
8472	上□	木殿南方(藤原京跡右8・4)	南方井下底	土師器	杯A	底外	墨書	藤原宮期
8473	〈内面〉(「人」「蘭」など)〈外面〉(「忠」など)	榑原遺跡(藤原京跡右8・6)	第14号井	須恵器	杯蓋力	底内外力	墨書	藤原宮期
8474	(三本線の墨書)		第14号井	須恵器	杯蓋力		墨書	藤原宮期
8475	神	榑原遺跡(藤原京跡右10・6)	第8号井	土師器	椀C	底外中央	墨書	奈良後
8476	神		第8号井	土師器	杯AⅢ	底外中央	墨書	奈良後
8477	右		第8号井	土師器	杯or皿	底外	墨書	奈良後
8478	(横線の墨書)		第8号井	土師器	椀C	口縁内	墨書	奈良後
8479	(針書文字カ)		第8号井	土師器	杯AⅢ	底内中央	針書	奈良後
8480	治	榑原遺跡(藤原京跡右11・5)	第9号井	土師器	皿	底外中央	墨書	平安前
8481	館		第9号井	土師器	杯	底外中央	墨書	平安前
8482	大		第9号井	土師器	皿	底外中央	墨書	平安前
8483	(墨書)		第9号井	土師器	杯	底外	墨書	奈良-平安
8484	(内部に墨を塗る・底部外面にヘラのあたり)		第9号井	黒色土器A	椀	内	墨書	平安前
8485	万□	山田道3次	南北溝	須恵器	杯B	底外	墨書	7末-8前
8486	日置		南北溝	須恵器	蓋	頂外	墨書	7末-8前
8487	卍	山田道104次	SK3853	土師器	皿B	底外	針書	藤原宮期
8488	(波状のヘラ描き・戯画的)	吉備池廃寺105次	中央区	平瓦	1類	凸広端隅	ヘラ描	創建期
8489	十	吉備池廃寺市9次	SD402	土師器	杯G	底外	墨書	飛鳥V

調査主体/報告書	遺物番号	掲載頁	所在地	備考
元文研/2018	図21-125	(本文)p26,(図)p27,(表)p52,図版17	橿原市	石川麿寺
元文研/2018	図21-126	(本文)p26,(図)p27,(表)p52,図版17	橿原市	石川麿寺
橿原市/2012a	図33-143	(本文)p42,(図)p41	橿原市	
奈文研/1974a	①	(本文)p16・17,(図版)p16	橿原市	京西南隅地区
奈文研/1974a	②	(本文)p16・17,(図版)p16	橿原市	京西南隅地区
奈文研/1974a	③	(本文)p16・17,(図版)p16	橿原市	京西南隅地区
奈文研/1974a	④	(本文)p16・17,(図版)p17	橿原市	京西南隅地区
奈文研/1974a	⑤	(本文)p16・17,(図版)p17	橿原市	京西南隅地区
奈文研/1974a	⑥	(本文)p16・17,(図版)p17	橿原市	京西南隅地区
橿考研/県2004d	図8-1	(本文)p13・14,(図)p13,(表)p32,図版5	橿原市	
橿考研/県2004d	図8-2	(本文)p13・14,(図)p13,(表)p32,図版4	橿原市	
橿考研/県2004d	図8-3	(本文)p13・14,(図)p13,(表)p32,図版5	橿原市	
橿考研/県2004d	図8-4-6	(本文)p13・14,(図)p13,(表)p32,図版4・5	橿原市	計3点
橿考研/県2004d	図8-7	(本文)p13・14,(図)p13,(表)p32,図版4	橿原市	
橿考研/県2004d	図8-8	(本文)p13・14,(図)p13,(表)p32,図版4	橿原市	
橿考研/県2004d	図8-9	(本文)p13・14,(図)p13,(表)p32,図版4	橿原市	
市協会/桜井市1997	図4-20	(本文)p2,(図)p4,図版3	桜井市	桜井市2018
市協会/桜井市1997	図4-22	(本文)p3,(図)p4,図版3	桜井市	桜井市2018
市協会/県埋文連協2013		(本文)p50	桜井市	
市協会/桜井市2018			桜井市	初出1997図14-30(本文)p11,(図)p12,図版8は高杯、「稲□□□□」
市協会/木簡研究33		(本文)p19	桜井市	
市協会/木簡研究33		(本文)p19	桜井市	
市協会/木簡研究33		(本文)p19	桜井市	
市協会/木簡研究33		(本文)p19	桜井市	
市協会/木簡研究33		(本文)p19	桜井市	
市協会/桜井市1996	挿図25-32	(本文)p36,(図)p43,(表)p61,図版33	桜井市	桜井市2018は「7次」とする
橿考研/県1991d	第8図-83	(本文)p12,(図)p11	橿原市	
橿考研/県1998e	図14-75	(本文)p28,(図)p27,30	橿原市	
橿考研/県2005f	図9-9	(本文)p17,(図)p16	橿原市	
橿考研/県2005f	図9-10	(本文)p17,(図)p16	橿原市	
橿考研/県2010a		(本文)p281	橿原市	
橿考研/県2010a	図232-4	(本文)p279,(図)p282,PL.182,(CD)表45	橿原市	西六坊大路西側溝
橿考研/県2010a	図232-5	(本文)p279,(図)p282,PL.183,(CD)表45	橿原市	西六坊大路西側溝
橿考研/県2010a	図303-13	(本文)p347,(図)p348,(CD)表53	橿原市	平城宮SK219併行
橿考研/県2016a	図35-16	(本文)p49,(図)p48,(図版)PL.27	橿原市	
橿考研/県2010a	図304-12	(本文・図)p349,PL.224,(CD)表53	橿原市	
橿考研/県2010a	図227-13	(本文)p277,(図)p278,(CD)表45	橿原市	本文は土師器とする/県2000g掲載SE25010出土墨書土器と同一カ
橿考研/県2010a	図232-1	(本文)p279,(図)p282,PL.182,(CD)表45	橿原市	西六坊大路西側溝
橿考研/県2010a	図232-2	(本文)p279,(図)p282,PL.182,(CD)表45	橿原市	西六坊大路西側溝
橿考研/県2010a	図232-7	(本文)p279,(図)p282,PL.182,(CD)表45	橿原市	西六坊大路西側溝
橿考研/県2010a	図232-9	(本文)p279,(図)p282,PL.182,(CD)表45	橿原市	西六坊大路西側溝
橿考研/県2010a	図232-3	(本文)p279,(図)p282,PL.183,(CD)表45	橿原市	四条条間路北側溝
橿考研/県2010a	図232-6	(本文)p279,(図)p282,PL.183,(CD)表45	橿原市	四条条間路北側溝
橿考研/県2010a	図232-8	(本文)p279,(図)p282,PL.182,(CD)表45	橿原市	西六坊大路西側溝
橿考研/県2010a	図233-12	(本文)p279,(図)p282,PL.182,(CD)表45	橿原市	西六坊大路西側溝
橿考研/県2010a	図232-10	(本文)p279・281,(図)p282,(図版)PL.182,(CD)表45	橿原市	四条条間路南側溝
橿考研/県2010a	図232-11	(本文)p279・281,(図)p282,(図版)PL.182,(CD)表45	橿原市	四条条間路南側溝
橿考研/県2007b	図166-1093・1094	(本文)p200,(図)p201,図版170	橿原市	計2点/四条大路・九条大路・十坊坊間路
耕作時に発見/橿考研博2010c	2685	(本文・写真)p41,(図)p59	橿原市	初出県1955-p34/高市郡歌傍町木殿出土土代井/「上つ」に作る
奈良県/橿考研博2010c	2538	(本文・写真)p13,(図)p54	橿原市	初出県1961b/外面の釈文は1961b
奈良県/橿考研博2010c	2539	(本文・写真)p14,(図)p54	橿原市	
奈良県/橿考研博2010c	2482	(本文)p4・48,(写真)口絵・p4,(図)p49	橿原市	初出県1961b/点数相重なって出土/橿考研博2008
奈良県/橿考研博2010c	2484	(本文)p4・48,(写真)口絵・p4,(図)p49	橿原市	初出県1961b/橿考研博2008
奈良県/橿考研博2010c	2486	(本文・写真)p4,(図)p49	橿原市	初出県1961b/同時に内面墨書破片出土(点数不明)
奈良県/橿考研博2010c	2487-1・2	(本文・写真)p4,(図)p49	橿原市	同一個体とみられる2片/初出県1961b(本文)p156の破片2点か
奈良県/橿考研博2010c	2485	(本文・写真)p4,(図)p49	橿原市	
奈良県/橿考研博2010c	2502	(本文)p6・48,(写真)口絵・p6,(図)p51	橿原市	初出県1961b/橿考研博2008
奈良県/橿考研博2010c	2494	(本文)p5・48,(写真)口絵・p5,(図)p51	橿原市	初出県1961b/橿考研博2008
奈良県/橿考研博2010c	2506	(本文)p7・48,(写真)口絵・p7,(図)p51	橿原市	初出県1961b/橿考研博2008
奈良県/橿考研博2010c	2498	(本文・写真)p6,(図)p51	橿原市	初出県1961b
奈良県/橿考研博2010c	2509	(本文・写真)p8,(図)p51	橿原市	初出県1961bで内面に墨とするが橿考研博2010cは漆とする
奈文研/1991c		(本文)p51	明日香村	
奈文研/1991c		(本文)p51	明日香村	
奈文研/2000a		(本文)p50・51,(図)p51	明日香村	
奈文研/2003c	Fig.65-32	(本文・図)p91	桜井市	
奈文研/2003c	Fig.93-67	(本文)p133・136,(図版)p132,PL.52	桜井市	

NO.	釈文	遺跡名	出土遺構	器質	器種等	記銘部	種類	時期
8490 ・8491	(墨書)	吉備池廃寺		土器			墨書	中世
8492	吞	大官大寺1次	暗青灰色土	須恵器	杯B	底外	墨書	藤原宮期
8493	垢	大官大寺2次	SK121	須恵器	甕		ヘラ書	飛鳥Ⅲ
8494	□〔朋カ〕	本薬師寺1995-1次西塔・南	SD360	須恵器	杯B蓋	内	墨書	飛鳥Ⅳ
8495	□〔以カ〕罪在百之刑□	面回廊	SK369	熨斗瓦		凹	ヘラ書	創建期
8496	(記号) =	紀寺1987-1次	SK10	土器	杯類	底	墨書	藤原宮期か やや古い時期
8497	(釈読不能)	紀寺(藤原京左京8・2)	2区瓦敷き遺構	軒平瓦	三重弧文	裏	ヘラ描	
8498	(判読不能)	田中遺跡(藤原京跡右11・1)		須恵器	蓋		墨書	7前(飛鳥Ⅰ)
8499	大寺	和田廃寺2次(藤原京跡右12・1)	土坑	土師器	鉢	体側	墨書	7後
8500	(鬼面)	新堂遺跡(二又・釜焼地区)	SE02221枠内	土器			墨書	平安後(12初)
8501 -8503	キ(カタカナ状)	久米ジガミ子遺跡	土坑SK4	土師器	杯	底	墨書	奈良-平安初
8504	東		土坑SK4	土師器	杯	底	墨書	奈良-平安初
8505	キ(カタカナ状)		土坑SK4	土師器	皿	底	墨書	奈良-平安初
8506 ・8507	東	西曾我遺跡	井戸枠内	土師器	皿		墨書	10半
8508	(記号) = (多数の小列点らしき墨書)		井戸枠内	土師器	皿		墨書	10半
8509	(墨書)	萩之本遺跡	9区平安時代川	土器			墨書	平安
8510	仁	一町西遺跡3・4次	SD25(1層)	土師器	不明	底	墨書	11後-12前
8511	□〔可カ〕		SD25(1層)	土師器	不明	底	墨書	11後-12前
8512	一		SD25(6層)	土師器	不明	底	墨書	11後-12前
8513	三		SD25(4層)	土師器	不明	底	墨書	11後-12前
8514	牧□		SD25(5層)	土師器	不明	底	墨書	11後-12前
8515	□		古代3層	土師器	不明	底	墨書	11初
8516	□		古代3層	土師器	杯	底	墨書	11初
8517	□〔十カ〕		古代3層	土師器	不明	底	墨書	11初
8518	□		古代3層	土師器	不明	底	墨書	11初
8519	(記号)⊕		古代3層	土師器	不明	底	墨書	11初
8520	□		古代4層	土師器	不明	底	墨書	10後
8521	十		古代6層	土師器	不明	底	墨書	10前
8522	(記号)⊕		古代6層	土師器	不明	底	墨書	10前
8523	□〔苗カ〕		古代6層	土師器	不明	底	墨書	10前
8524	一		古代6層	土師器	不明	底	墨書	10前
8525	□		古代6層	土師器	不明	底	墨書	10前
8526	□〔栄カ〕		古代6層	土師器	不明	底	墨書	10前
8527	中		古代6層	土師器	不明	底	墨書	10前
8528	□		SX10埋め立て土	土師器	杯	底	墨書	9末頃
8529	女		古代7層	土師器	不明	底	墨書	平安京Ⅰ中- 新段階
8530	□		古代7層	土師器	不明	底	墨書	平安京Ⅰ中- 新段階
8531	浄		古代7層	土師器	杯蓋	つまみ	墨書	平安京Ⅰ中- 新段階
8532 ・8533	□		SX10	土師器	杯	底	墨書	平安京Ⅱ古- 中段階
8534 -8537	□		SX10	土師器	杯	底	墨書	平安京Ⅱ古- 中段階
8538	□〔仁カ〕		SX10	土師器	不明	底	墨書	平安京Ⅱ古- 中段階
8539	□		SX10	土師器	椀	底	墨書	平安京Ⅱ古- 中段階
8540	中		SX10	土師器	杯	底	墨書	平安京Ⅱ古- 中段階
8541	□□		SX10	土師器	不明	底	墨書	平安京Ⅱ古- 中段階
8542	富		SX10	土師器	不明	底	墨書	平安京Ⅱ古- 中段階
8543 ・8544	□		SX10	土師器	不明	底	墨書	平安京Ⅱ古- 中段階
8545	中		SX10	土師器	不明	底	墨書	平安京Ⅱ古- 中段階
8546	富		SX10	土師器	不明	底	墨書	平安京Ⅱ古- 中段階
8547	□		SX10	土師器	椀	底	墨書	平安京Ⅰ中- 新段階
8548	仁		SX10	土師器	不明	底	墨書	平安京Ⅰ中- 新段階
8549	□		SX10	土師器	不明	底	墨書	平安京Ⅰ中- 新段階
8550	□		SX11上層	土師器	皿	底	墨書	平安京Ⅰ新段階
8551	十		SX11上層	土師器	杯	底	墨書	平安京Ⅰ新段階
8552	知		SX11上層	土師器	不明	底	墨書	平安京Ⅰ新段階
8553 -8559	□		SX11上層	土師器	不明	底	墨書	平安京Ⅰ新段階
8560	川		SX11上層	土師器	不明	底	墨書	平安京Ⅰ新段階
8561	北		SK96	土師器	杯	底	墨書	9c?
8562	□〔火カ〕		SK96	土師器	皿	底	墨書	9c?
8563	粟		SK96	土師器	不明	底	墨書	9c?
8564 -8566	□		SK96	土師器	不明	底	墨書	9c?
8567	高		落ち込み2	土師器	杯	底	墨書	9c?
8568	□		落ち込み2	土師器	不明	底	墨書	9c?
8569	坂		落ち込み2	土師器	不明	底	墨書	9c?
8570	□		落ち込み2	土師器	不明	底	墨書	9c?

調査主体/報告書	遺物番号	掲載頁	所在地	備考
奈文研/2003c		(本文)p136	桜井市	計2点
奈文研/1975b		(本文)p28	明日香村	
奈文研/2001b		(本文・図)p28	明日香村	
奈文研/1997c		(本文)p29	橿原市	
奈文研/1997c		(本文・図)p33	橿原市	へう書は焼成前
奈文研/1988a		(本文)p39	明日香村	
橿考研/県2017d		(本文)p22	明日香村	
奈文研/1976f		(本文)p47	橿原市	転用硯/松村2003
奈文研/1976f		(本文)p45	橿原市	橿考研博1987-2/西口1993
橿原市/2012b		(本文)p16・17	橿原市	2010-3次
橿考研/県1982	図7-9-11	(本文)p342,(図)p341	橿原市	計3点
橿考研/県1982	図7-12	(本文)p342,(図)p341,図版4	橿原市	
橿考研/県1982	図7-15	(本文)p342,(図)p341,図版4	橿原市	
橿原市/千塚1998		(本文)p4	橿原市	計2点
橿原市/千塚1998		(本文)p4	橿原市	
橿考研/県2008g		(本文)p133	橿原市	
橿考研/県2012a	図27-119	(本文)p147,(図)p39,(表)p148,PL.84	橿原市	
橿考研/県2012a	図27-120	(表)p148,(図)p39,PL.84	橿原市	
橿考研/県2012a	図27-121	(本文)p147,(図)p39,(表)p148,PL.84	橿原市	
橿考研/県2012a	図27-122	(本文)p147,(図)p39,(表)p148,PL.84	橿原市	
橿考研/県2012a	図27-123	(本文)p147,(図)p39,(表)p148,PL.84	橿原市	
橿考研/県2012a	図34-213	(本文)p52,(図)p50,(表)p148,PL.84	橿原市	
橿考研/県2012a	図34-214	(本文)p52,(図)p50,(表)p148,PL.84	橿原市	
橿考研/県2012a	図34-216	(本文)p52,(図)p50,(表)p148,PL.84	橿原市	
橿考研/県2012a	図34-217	(本文)p52,(図)p50,(表)p148,PL.84	橿原市	
橿考研/県2012a	図34-218	(本文)p52・147,(図)p50,(表)p148,PL.84	橿原市	
橿考研/県2012a	図38-253	(表)p148,(図)p54,PL.84	橿原市	
橿考研/県2012a	図53-378	(本文)p147,(図)p69,(表)p148,PL.84	橿原市	
橿考研/県2012a	図53-379	(本文)p147,(図)p69,(表)p148,PL.84	橿原市	
橿考研/県2012a	図53-380	(本文)p147,(図)p69,(表)p148,PL.84	橿原市	
橿考研/県2012a	図53-381	(本文)p147,(図)p69,(表)p148,PL.84	橿原市	
橿考研/県2012a	図53-382	(表)p148,(図)p69,PL.84	橿原市	
橿考研/県2012a	図53-384	(本文)p147,(図)p69,(表)p148,PL.84	橿原市	
橿考研/県2012a	図53-385	(本文)p147,(図)p69,PL.84	橿原市	
橿考研/県2012a	図62-477	(表)p148,(図)p77,PL.84	橿原市	
橿考研/県2012a	図67-504	(本文)p80・147,(図)p81,(表)p148,PL.84	橿原市	
橿考研/県2012a	図67-505	(本文)p80,(図)p81,(表)p148,PL.84	橿原市	
橿考研/県2012a	図67-506	(本文)p80・147,(図)p81,(表)p148,PL.84	橿原市	
橿考研/県2012a	図71-521・522	(表)p148,(図)p85,PL.84	橿原市	計2点
橿考研/県2012a	図72-534・542・548・553	(表)p148,(図)p86,PL.84	橿原市	計4点
橿考研/県2012a	図71-523	(表)p148,(図)p85,PL.84	橿原市	
橿考研/県2012a	図72-531	(表)p148,(図)p86,PL.84	橿原市	
橿考研/県2012a	図72-543	(本文)p147,(図)p86,(表)p148,PL.84	橿原市	
橿考研/県2012a	図72-568	(表)p148,(図)p86,PL.84	橿原市	
橿考研/県2012a	図72-569	(本文)p147,(図)p86,(表)p148,PL.85	橿原市	
橿考研/県2012a	図72-570・571	(表)p148,(図)p86,PL.85	橿原市	計2点
橿考研/県2012a	図72-572	(本文)p147,(図)p86,(表)p148,PL.85	橿原市	
橿考研/県2012a	図72-573	(本文)p147,(図)p86,(表)p148,PL.85	橿原市	
橿考研/県2012a	図77-632	(本文)p92,(表)p148,(図)p91,PL.85	橿原市	
橿考研/県2012a	図77-648	(本文)p92,147,(表)p148,(図)p91,PL.85	橿原市	
橿考研/県2012a	図77-649	(本文)p92,(表)p148,(図)p91,PL.85	橿原市	
橿考研/県2012a	図80-667	(本文)p92・98,(表)p148,(図)p95,PL.85	橿原市	
橿考研/県2012a	図80-668	(本文)p98・147,(表)p148,(図)p95,PL.85	橿原市	
橿考研/県2012a	図80-685	(本文)p98・147,(表)p148,(図)p95,PL.85	橿原市	
橿考研/県2012a	図80-686-692	(本文)p98,(表)p148,(図)p95,PL.85	橿原市	計7点
橿考研/県2012a	図80-693	(本文)p98・147,(表)p148,(図)p95,PL.85	橿原市	
橿考研/県2012a	図85-761	(本文)p99・147,(図)p101,(表)p148,PL.85	橿原市	
橿考研/県2012a	図85-784	(本文)p99,(図)p101,(表)p148,PL.85	橿原市	
橿考研/県2012a	図85-789	(本文)p104・147,(図)p101,(表)p148,PL.85	橿原市	
橿考研/県2012a	図85-790-792	(本文)p104,(図)p101,(表)p148,PL.85	橿原市	計3点
橿考研/県2012a	図88-820	(本文)p106・147,(図)103,(表)148,PL.85	橿原市	
橿考研/県2012a	図88-823	(本文)p108,(図)103,(表)p148,PL.85	橿原市	
橿考研/県2012a	図88-824	(本文)p108・147,(図)p103,(表)p148,PL.85	橿原市	
橿考研/県2012a	図88-825	(本文)p108,(図)p103,(表)p148,PL.85	橿原市	

NO.	釈文	遺跡名	出土遺構	器質	器種等	記銘部	種類	時期	
8571	高	一町西遺跡3・4次	落ち込み2	土師器	杯蓋	上外	墨書	9c?	
8572	牧田		SX11	土師器	杯	側部外	墨書	平安京 I 中段階	
8573	(底面)井 (外側面)(記号)II		SX11	土師器	杯	底・外側	墨書	平安京 I 中段階	
8574	□		SX11	土師器	杯	底	墨書	平安京 I 中段階	
8575	十		SX11	土師器	杯	底	墨書	平安京 I 中段階	
8576	三		SX11	土師器	皿	底	墨書	平安京 I 中段階	
8577	□		SX11	土師器	不明	底	墨書	平安京 I 中段階	
~8580	□福		SX11	土師器	不明	底	墨書	平安京 I 中段階	
8582	川		SX11	土師器	不明	底	墨書	平安京 I 中段階	
8583	□		SX11	土師器	不明	底	墨書	平安京 I 中段階	
8584	坂		SX12埋め立て土	土師器	椀	側部内	刻書	平城宮 V	
8585	坂		SX12埋め立て土	土師器	皿	側部内	刻書	平城宮 V	
8586	坂		SX12埋め立て土	土師器	杯	側部内	刻書	平城宮 V	
8587	□		SX12埋め立て土	土師器	皿	底	墨書	平城宮 V	
8588	(記号)○十		SX12埋め立て土	土師器	皿	底	墨書	平城宮 V	
8589	□〔女カ〕		SX12埋め立て土	土師器	皿	底	墨書	平城宮 V	
8590	東		SX12埋め立て土	土師器	皿	底	墨書	平城宮 V	
8591	□		SX12埋め立て土	土師器	不明	底	墨書	平城宮 V	
~8592	川		SX12埋め立て土	土師器	不明	底	墨書	平城宮 V	
8593	□〔川カ〕		SX12埋め立て土	土師器	不明	底	墨書	平城宮 V	
8594	□		SX12埋め立て土	土師器	不明	底	墨書	平城宮 V	
8595	□		SX12埋め立て土	土師器	不明	底	墨書	平城宮 V	
~8597	□		SX12埋め立て土	土師器	不明	底	墨書	平城宮 V	
8598	□		SX12埋め立て土	土師器	不明	底	墨書	平城宮 V	
8599	□□		SX12埋め立て土	土師器	不明	底	墨書	平城宮 V	
8600	□		SX12埋め立て土	土師器	不明	底	墨書	平城宮 V	
8601	高		SX12埋め立て土	土師器	皿	底	墨書	平城宮 V	
8602	□		SX12	土師器	皿	底	墨書	平城宮 III-IV	
8603	自		SX12	土師器	皿	底	墨書	平城宮 III-IV	
8604	□		SX12	土師器	皿	底	墨書	平城宮 III-IV	
8605	坂		SX12	土師器	皿	側部内	刻書	平城宮 III-IV	
8606	三		SX12	土師器	不明	底	墨書	平城宮 III-IV	
8607	□		SX12	土師器	不明	底	墨書	平城宮 III-IV	
8608	尾		SX12	須恵器	皿	底	墨書	平城宮 III-IV	
8609	大檀越在原之鬼若丸願主聖釈之知海/十市郡飯高郷吉楽寺之本堂上葺/嘉吉元歳次<辛/酉>三月吉日良辰<瓦大工橘之/吉重寿王三郎>		吉楽寺本堂		丸瓦		表	へら書	嘉吉元(1441)
8610	本願聖知海法師/瓦大工 橘吉重寿玉三郎/大和国飯高郷吉楽寺檀那在原鬼若丸/嘉吉元<辛/酉>年卯月吉日良辰				丸瓦		表	へら書	嘉吉元(1441)
8611	カキチクワン子ンツチノトノリノトシ/嘉吉元年<辛/酉>五月十七日瓦大工/此円瓦ワ長法寺ツクナルナリ/吉楽寺			丸瓦		表	へら書	嘉吉元(1441)	
8612	嘉吉元年<辛/酉>三月……			丸瓦		表	へら書	嘉吉元(1441)	
8613	嘉吉元年<辛/酉>三月三日			丸瓦		表	へら書	嘉吉元(1441)	
8614	此土ワ東キトノ北ノワキノ反ニアリ/スイフンノヨキ土ナリアカメナル土トリワケヨクナル/カキリクワン子ン/嘉吉元年<辛/酉>卯月十九日			丸瓦		表	へら書	嘉吉元(1441)	
8615	嘉吉元年三月廿三日			丸瓦		表	へら書	嘉吉元(1441)	
8616	飯高吉楽寺<瓦大工 橘氏吉重寿玉三郎/嘉吉元歳次<辛/酉>年三月吉日良辰>			丸瓦		表	へら書	嘉吉元(1441)	
8617	百三十枚ノ内カハリマル/辛酉年五月三日瓦大工			丸瓦		表	へら書	嘉吉元(1441)	
8618	嘉吉元年<辛/酉>卯月廿日			丸瓦		表	へら書	嘉吉元(1441)	
8619	吉楽寺瓦ナリ寿王三郎/嘉吉元年<辛/酉>五月廿日/袈瓦二百卅枚ノ内<別ニコグチニ>嘉吉/元年<辛/酉>/五月廿日			烏袈		表	へら書	嘉吉元(1441)	
8620	吉楽寺/嘉吉元年卯月廿日/ツマノメント			メント瓦			へら書	嘉吉元(1441)	
8621	嘉吉元年卯月一日/嘉吉元年<辛/酉>卯月			軒平瓦		表	へら書	嘉吉元(1441)	
8622	嘉吉元年五月/チツケヒラ百五十枚ノ内			平瓦		表	へら書	嘉吉元(1441)	
8623	嘉吉元年<辛/酉>卯月十五日			平瓦		表中央	へら書	嘉吉元(1441)	
8624	永享十三年<辛/酉>二月ヨリハシマル/此年子ンカウカワナルナリ/カキチクワン子ン三月吉日/嘉吉元年/此土ワ東キトノ北ワキタ/反ニアリススイフンノヨキ土ナリ/嘉吉元年<辛/酉>卯月十八日/瓦大工寿王三郎			平瓦		表	へら書	嘉吉元(1441)	
8625	吉楽寺<瓦大工 橘吉重寿玉三郎/嘉吉元歳次<辛/酉>年三月吉日>			丸瓦		表中央	へら書	嘉吉元(1441)	
8626	カキチクワン年五月日/カカリ百五十枚ノ内/五月一日ノサルノトキニ/トクリホトナルアラリ/フルナリヒツシサルヨリ/ウシノハウニアリ/イクナリ			平瓦		表	へら書	嘉吉元(1441)	
8627	コクチナルワ/五月一日ノアラリノ/アト			平瓦		表	へら書	嘉吉元(1441)	
8628	コノシコトノキノ/シテノ人ワ大工/ナウヨモ三郎トノ/マシラウ三フウ/以上四人又エウチノ/人カストウ三郎トウ五郎/三ク郎又五郎ムノシ郎/トウシ郎			平瓦		表	へら書	嘉吉元(1441)	

調査主体/報告書	遺物番号	掲載頁	所在地	備考
檀考研/県2012a	図88-826	(本文)p108・147,(図)p103,(表)p148,PL.85	檀原市	
檀考研/県2012a	図103-854	(本文)p112・147,(図)p113,(表)p148,PL.85	檀原市	
檀考研/県2012a	図103-855	(本文)p112,(図)p113,(表)p148,PL.85	檀原市	
檀考研/県2012a	図103-863	(本文)p112,(図)p113,(表)p148,PL.85	檀原市	
檀考研/県2012a	図103-867	(本文)p112,(図)p113,(表)p148,PL.85	檀原市	
檀考研/県2012a	図103-870	(本文)p112・147,(図)p113,(表)p148,PL.85	檀原市	
檀考研/県2012a	図103-872-875	(本文)p112,(図)p113,(表)p149,PL.85	檀原市	計4点
檀考研/県2012a	図103-876	(本文)p112,(図)p113,(表)p149,PL.85	檀原市	
檀考研/県2012a	図103-877	(本文)p112・147,(図)p113,(表)p149,PL.85	檀原市	
檀考研/県2012a	図103-878	(本文)p112,(図)p113,(表)p149,PL.85	檀原市	
檀考研/県2012a	図115-957	(本文)p133・134・147,(表)p149,(図)p126	檀原市	
檀考研/県2012a	図115-985	(本文)p134・147,(表)p149,(図)p126	檀原市	
檀考研/県2012a	図116-987	(本文)p134・147,(表)p149,(図)p127	檀原市	
檀考研/県2012a	図115-972	(本文)p133・134,(図)p126,(表)p149,PL.86	檀原市	
檀考研/県2012a	図115-973	(本文)p133・134・147,(図)p126,(表)p149,PL.86	檀原市	
檀考研/県2012a	図115-974	(本文)p133・134,(図)p126,(表)p149,PL.86	檀原市	
檀考研/県2012a	図115-984	(本文)p134・147,(図)p126,(表)p149,PL.86	檀原市	
檀考研/県2012a	図116-996-997	(本文)p134,(図)p127,(表)p149,PL.86	檀原市	計2点
檀考研/県2012a	図116-998	(本文)p134,(図)p127,(表)p149,PL.86	檀原市	
檀考研/県2012a	図116-999	(本文)p134,(図)p127,(表)p149,PL.86	檀原市	
檀考研/県2012a	図116-1000-1002	(本文)p134,(図)p134,(表)p149,PL.86	檀原市	計3点
檀考研/県2012a	図123-1102	(本文)p135,(図)p134,(表)p149,PL.86	檀原市	
檀考研/県2012a	図123-1103	(本文)p135,(図)p134,(表)p149,PL.86	檀原市	
檀考研/県2012a	図123-1104	(本文)p135,(図)p134,(表)p149,PL.86	檀原市	
檀考研/県2012a	図123-1107	(本文)p135,147,(図)p134,(表)p149,PL.86	檀原市	
檀考研/県2012a	図126-1118	(本文)p141,(図)p138,(表)p149,PL.86	檀原市	
檀考研/県2012a	図126-1120	(本文)p141・147,(図)p138,(表)p149,PL.86	檀原市	
檀考研/県2012a	図126-1121	(本文)p141,(図)p138,(表)p149,PL.86	檀原市	
檀考研/県2012a	図126-1126	(本文)p141・147,(表)p149,(図)p138	檀原市	
檀考研/県2012a	図126-1135	(本文)p141・147,(図)p138,(表)p149,PL.85	檀原市	
檀考研/県2012a	図126-1136	(本文)p141,(図)p138,(表)p149,PL.85	檀原市	
檀考研/県2012a	図127-1161	(本文)p141,(図)p139,(表)p149,PL.85	檀原市	
/土井1956	其一	(本文)p256	檀原市	長さ約一尺/以下の瓦はすべてへう書陰刻
/土井1956	其二	(本文)p256	檀原市	長さ約一尺一分
/土井1956	其三	(本文)p256・257	檀原市	長さ約一尺二分
/土井1956	其四	(本文)p257	檀原市	長さ約一尺
/土井1956	其五	(本文)p257	檀原市	長さ約一尺
/土井1956	其六	(本文)p257	檀原市	長さ約九寸八分
/土井1956	其七	(本文)p257	檀原市	長さ一尺三分,草書体
/土井1956	其八	(本文)p257	檀原市	長さ一尺一分,楷書
/土井1956	其九	(本文)p257	檀原市	長さ約九寸八分
/土井1956	其十	(本文)p257	檀原市	長さ約九寸八分
/土井1956	其十一	(本文)p257	檀原市	長さ一尺三分
/土井1956	其十二	(本文)p257・258	檀原市	
/土井1956	其十四	(本文)p258	檀原市	唐草の部分も完全,初行は草書,次行は楷書
/土井1956	其十五	(本文)p258	檀原市	長さ一尺八分、巾八寸五分
/土井1956	其十六	(本文)p258	檀原市	長さ一尺三分、巾約八寸
/土井1956	其十七	(本文)p258	檀原市	長さ一尺五分、巾八寸一八寸五分
/土井1956	其十八	(本文)p258・259	檀原市	長さ一尺,表面に改まった楷書で中央に三行
/土井1956	其十九	(本文)p259	檀原市	
/土井1956	其二〇	(本文)p259	檀原市	長さ一尺五分,表面左寄りに三行,紀年は記されていないが前項のアラリのことになっている
/土井1956	其二一	(本文)p259	檀原市	長さ一尺一寸、巾八寸五分

NO.	釈文	遺跡名	出土遺構	器質	器種等	記銘部	種類	時期	
8629	ムカイノメント/五十ノ内	吉楽寺本堂		メント瓦			ヘラ書	嘉吉元(1441)	
8630	ユウアミ六十四			メント瓦			ヘラ書	嘉吉元(1441)	
8631	大エトシ六十四			メント瓦			ヘラ書	嘉吉元(1441)	
8632	〈右側〉カキチ元年五月十三日/〈カノノトリ(傍書)〉〈左側〉瓦大エタチハナノ吉重/ユウアミトシ六十四ニマカリナル	山田寺跡	大棟東側	鳥衾		表左右	ヘラ書	嘉吉元(1441)	
8633	高椅□□〔家麻カ〕手□		1次	平瓦		凸右上	墨書		
8634	九々八十一八九七十二		2次	行基丸瓦	A II d2	凸	ヘラ書	天武朝	
8635	八十九十			行基丸瓦	A II a	凸	ヘラ書	創建期	
8636	大□□□/奈尔皮			平瓦	5類A	凸右上	ヘラ書	文武朝以降	
8637	□□四□			平瓦	1類	凸	ヘラ書	創建期	
8638	本□〔直カ〕			平瓦		凸	ヘラ書	創建期	
8639	天			平瓦		凸	ヘラ書	創建期	
8640	天			平瓦		凸	ヘラ書	創建期	
8641	天天			平瓦		凸	ヘラ書	創建期	
8642	人			平瓦	3類	凸	ヘラ書	創建期	
8643	夫			丸瓦	BIVa	玉縁凸	ヘラ書	創建期	
8644	夫								
-8646	夫				丸瓦	BIVa	玉縁凸	ヘラ書	創建期
8647	麻里				平瓦	4類	凸	ヘラ書	創建期
8648	□□万/□□万女				平瓦	不明	凸	ヘラ書	創建期
8649	非我言/非我□〔言カ〕				平瓦		凸	ヘラ書	創建期
8650	風				平瓦		凸	ヘラ書	創建期
8651	□万				平瓦	3類	凸下端	ヘラ書	
8652	□/□				平瓦	3類	凸	ヘラ書	
8653	朱□失火□□				螻羽瓦		凸突帯	ヘラ書	
8654	焼作				平瓦	9類B	凹	ヘラ書	奈良
8655	焼				平瓦	9類B	凹	ヘラ書	奈良
8656	山				平瓦	10類	凹下端	ヘラ書	奈良
8657	山				平瓦	10類	凹下端	ヘラ書	奈良
8658	山				丸瓦	B III b2①	凹下端	ヘラ書	天武朝
8659	見□				平瓦	4類	凹	ヘラ書	創建期
8660	大				平瓦	11類A	凹	ヘラ書	奈良
8661	大				平瓦	11類A	凹	ヘラ書	奈良
-8763	大				平瓦	11類C	凹	ヘラ書	奈良
8764	大				平瓦	11類C	凹	ヘラ書	奈良
8765	大				平瓦	11類C	凹	ヘラ書	奈良
-8779	大				平瓦	11類C	凹	ヘラ書	奈良
8780	大				平瓦	11類D	凹	ヘラ書	奈良
8781	大				平瓦	11類D	凹	ヘラ書	奈良
8782	大				平瓦	11類D	凹	ヘラ書	奈良
-8785	大				平瓦	11類D	凹	ヘラ書	奈良
8786	大				平瓦	10類	凹	ヘラ書	奈良
8787	大				平瓦	10類	凹	ヘラ書	奈良
-8800	大			平瓦	10類	凹	ヘラ書	奈良	
8801	大			平瓦	10類	凹	ヘラ書	奈良	
8802	大(鏡文字)			平瓦	5類A	凹	ヘラ書	文武朝以降	
-8807	大(鏡文字)			平瓦	5類B	凹	ヘラ書	文武朝以降	
8808	大(鏡文字)			平瓦	6類B	凹	ヘラ書	造営再開期-文武朝	
8809	大(鏡文字)			平瓦	6類B	凹	ヘラ書	造営再開期-文武朝	
-8810	大(鏡文字)			平瓦	6類C	凹	ヘラ書	造営再開期-文武朝	
8811	大(鏡文字)			平瓦	6類F	凹	ヘラ書	造営再開期-文武朝	
8812	大(鏡文字)			平瓦	6類F	凹	ヘラ書	造営再開期-文武朝	
-8832	大			平瓦	11類A	凹	ヘラ書	奈良	
8833	大			平瓦	11類A	凹	ヘラ書	奈良	
-8834	大			平瓦	6類B	凹	ヘラ書	造営再開期-文武朝	
8835	大			平瓦	6類B	凹	ヘラ書	造営再開期-文武朝	
8836	大			平瓦	6類B	凹	ヘラ書	造営再開期-文武朝	
8837	大			平瓦	9類	凹	ヘラ書	奈良	
-8869	大			平瓦	9類	凹	ヘラ書	奈良	
8870	大			平瓦	7類B	凹中央	ヘラ書	天武朝造営未-文武朝	
8871	大			丸瓦	BIVa	玉縁凸	ヘラ書	創建期	
8872	大			丸瓦	BIVa	玉縁凸	ヘラ書	創建期	
-8874	大			丸瓦	BIVa	玉縁凸	ヘラ書	創建期	
8875	大			割製斗瓦	E2		ヘラ書	奈良	
8876	大			割製斗瓦	E2		ヘラ書	奈良	
-8877	大			割製斗瓦	E2		ヘラ書	奈良	
8878	□〔秦または奉カ〕			玉縁丸瓦	BIVa	玉縁凸	ヘラ書	創建期	
8879	□〔秦または奉カ〕			玉縁丸瓦	BIVa	玉縁凸	ヘラ書	創建期	
8880	□〔秦または奉カ〕			玉縁丸瓦	BIVa	玉縁凸	ヘラ書	創建期	
8881	(文字瓦)			平瓦		凸	ヘラ書		
-8883	(文字瓦)			平瓦		凸	ヘラ書		
8884	(文字瓦)			平瓦		凸	ヘラ書		
-8885	(文字瓦)			平瓦		凸	ヘラ書		
8886	四乙			箱形瓦	A1	筒凹	ヘラ書		
8887	南十二			軒平瓦	四重弧C II 2	凹	ヘラ書	文武朝以降	
8888	八			軒平瓦	四重弧A I	凸	朱書	創建期	
8889	四			軒平瓦	四重弧A I	凸	朱書	創建期	

調査主体/報告書	遺物番号	掲載頁	所在地	備考
/土井1956	其二二-(イ)	(本文)p259	橿原市	
/土井1956	其二二-(ロ)	(本文)p259	橿原市	
/土井1956	其二二-(ハ)	(本文)p259	橿原市	
/土井1956	其十三	(本文)p258	橿原市	
奈文研/2002b	L-1,Ph.208-1	(本文)p318,(図版)ph.208	桜井市	瓦は創建期/墨書はやや降る可能性
奈文研/2002b	L-2,Ph.208-2	(本文)p318,(図版)ph.208	桜井市	上端(広端)左側辺寄り
奈文研/2002b	L-3,Ph.208-3	(本文)p318,(図版)ph.208	桜井市	下端(狭端)右側辺寄り
奈文研/2002b	L-4,Ph.208-4	(本文)p318・319,(図版)ph.208	桜井市	
奈文研/2002b	L-5,Ph.208-5	(本文)p319,(図版)ph.208	桜井市	上端付近
奈文研/2002b	L-6,Ph.208-6	(本文)p319,(図版)ph.208	桜井市	側端付近
奈文研/2002b	L-7,Ph.208-7	(本文)p319,(図版)ph.208	桜井市	右側辺近く
奈文研/2002b		(本文)p319	桜井市	左側辺近く,天の下方に波長の短い波状文を縦に2条
奈文研/2002b		(本文)p319	桜井市	右側辺近く
奈文研/2002b	L-8,Ph.208-8	(本文)p319,(図版)ph.208	桜井市	中央左寄り
奈文研/2002b	L-9,Ph.208-9	(本文)p319,(図版)ph.208	桜井市	
奈文研/2002b		(本文)p319	桜井市	計3点
奈文研/2002b	L-10,Ph.208-10	(本文)p319,(図版)ph.208	桜井市	
奈文研/2002b	L-11,Ph.208-11	(本文)p319,(図版)ph.208	桜井市	
奈文研/2002b	L-12,Ph.208-12	(本文)p319・320,(図版)ph.208	桜井市	
奈文研/2002b	L-13,Ph.208-13	(本文)p320,(図版)ph.208	桜井市	側辺近く
奈文研/2002b	L-14,Ph.208-14	(本文)p320,(図版)ph.208	桜井市	
奈文研/2002b	L-15,Ph.208-15	(本文)p320,(図版)ph.208	桜井市	
奈文研/2002b	L-16,Ph.208-16	(本文)p320,(図版)ph.208	桜井市	針書風の細い線
奈文研/2002b	L-17,Ph.208-17	(本文)p320,(図版)ph.208	桜井市	
奈文研/2002b	L-18,Ph.208-18	(本文)p320,(図版)ph.208	桜井市	
奈文研/2002b	L-19,Ph.208-19	(本文)p320,(図版)ph.208	桜井市	
奈文研/2002b		(本文)p320	桜井市	
奈文研/2002b		(本文)p320	桜井市	
奈文研/2002b	L-20,Ph.208-20	(本文)p320,(図版)ph.208	桜井市	
奈文研/2002b	Ph.208-21	(本文)p320・321,(図版)ph.208	桜井市	計104点/うち64点左上,40点記載位置不明/「大」刻書平瓦は、1977a-p24・34、1984c-p56、1979a-p41、1994c-p29 に記載あり
奈文研/2002b		(本文)p320・321	桜井市	
奈文研/2002b	Ph.208-22	(本文)p320・321,(図版)ph.208	桜井市	
奈文研/2002b		(本文)p320・321	桜井市	計17点/うち16点が左上,1点が中央上記載
奈文研/2002b	Ph.208-23	(本文)p320・321,(図版)ph.208	桜井市	
奈文研/2002b		(本文)p320・321	桜井市	計5点/うち3点は広端左隅記載,2点は不明
奈文研/2002b		(本文)p320・321	桜井市	
奈文研/2002b	Ph.208-24・25	(本文)p320・321,(図版)ph.208	桜井市	
奈文研/2002b	Ph.208-24・25	(本文)p320・321,(図版)ph.208	桜井市	計16点/うち6点(No.8801ほか5点)は広端右隅,4点は広端左隅,6点は記載位置不明
奈文研/2002b		(本文)p274・320・321,(図版)ph.164	桜井市	
奈文研/2002b	(Ph.208-27・28)	(本文)p321,(図版)ph.208	桜井市	計6点/うち1点は広端中央,5点は記載位置不明
奈文研/2002b	(Ph.208-27・28)	(本文)p321,(図版)ph.208	桜井市	
奈文研/2002b	(Ph.208-27・28)	(本文)p321,(図版)ph.208	桜井市	計2点/凹面広端右隅
奈文研/2002b	(Ph.208-27・28)	(本文)p321,(図版)ph.208	桜井市	凹面広端右隅
奈文研/2002b	(Ph.208-27・28)	(本文)p321,(図版)ph.208	桜井市	計21点/うち4点は広端中央,7点は広端右隅,10点は記載位置不明
奈文研/2002b	(Ph.208-29)	(本文)p321・322,(図版)ph.208	桜井市	計2点,うち1点が左上,1点が不明
奈文研/2002b	(Ph.208-29)	(本文)p321・322,(図版)ph.208	桜井市	凹面広端右隅
奈文研/2002b	Ph.208-30	(本文)p322,(図版)ph.208	桜井市	凹面広端右隅
奈文研/2002b		(本文)p320・321	桜井市	計33点/うち21点は広端左隅,12点は不明
奈文研/2002b	Ph.161-104	(本文)p272,320・321,(図版)ph.161	桜井市	
奈文研/2002b	Ph.208-26	(本文)p248・322,(図版)ph.208	桜井市	
奈文研/2002b		(本文)p322	桜井市	計4点
奈文研/2002b	Fig.123-7	(本文)p296・322(図)p295	桜井市	
奈文研/2002b		(本文)p322	桜井市	計3点/へら書は焼成前
奈文研/2002b	(L-22),Ph.209-1	(本文)p322,(図版)ph.209	桜井市	
奈文研/2002b	(L-22),Ph.209-2	(本文)p322,(図版)ph.209	桜井市	
奈文研/2002b	(L-22),Ph.209-3	(本文)p322,(図版)ph.209	桜井市	
奈文研/2002b		(表)p.327Tab22	桜井市	計3点/釈文未掲載
奈文研/2002b		(表)p.327Tab22	桜井市	計2点/釈文未掲載
奈文研/2002b		(本文)p301,(図)p300	桜井市	
奈文研/2002b	Ph.114-9	(本文)p223,(図版)ph.114	桜井市	へら書は焼成後
奈文研/2002b		(本文)p239	桜井市	凸面ほぼ中軸線上狭端寄り
奈文研/2002b	color Ph.6-1	(本文)p239,(図版)Color ph.6	桜井市	凸面ほぼ瓦当近く右隅

NO.	釈文	遺跡名	出土遺構	器質	器種等	記銘部	種類	時期	
8890	廿	山田寺跡		軒平瓦	四重弧A I	凸	朱書	創建期	
8891	二			軒平瓦	四重弧A I	凸	朱書	創建期	
8892	三			軒平瓦	四重弧A I	凸	朱書	創建期	
8893	五			軒平瓦	四重弧A I	凸	朱書	創建期	
8894	七			軒平瓦	四重弧A I	凸	朱書	創建期	
8895	八			軒平瓦	四重弧A I	凸	朱書	創建期	
8896	九			軒平瓦	四重弧A I	凸	朱書	創建期	
8897	十			軒平瓦	四重弧A I	凸	朱書	創建期	
8898	十一			軒平瓦	四重弧A I	凸	朱書	創建期	
8899	十七			軒平瓦	四重弧A I	凸	朱書	創建期	
8900	廿			軒平瓦	四重弧A I	凸	朱書	創建期	
8901	卅(卅を含む)			軒平瓦	四重弧A I	凸	朱書	創建期	
8902	廿五			軒平瓦	四重弧A I	凸	朱書	創建期	
8903	(漢数字)								
-8925									
8926	□〔一カ〕				軒平瓦	四重弧A I	凸	朱書	創建期
8927	□〔六カ〕				軒平瓦	四重弧A I	凸	朱書	創建期
8928	□〔一七カ〕				軒平瓦	四重弧A I	凸	朱書	創建期
8929	□〔万または五カ〕				軒平瓦	四重弧A I	凸	朱書	創建期
8930	□〔卅一または玉カ〕				軒平瓦	四重弧A I	凸	朱書	創建期
8931	東				軒平瓦	四重弧A I	凸	朱書	創建期
8932	南				軒平瓦	四重弧A I	凸	朱書	創建期
8933	北				軒平瓦	四重弧A I	凸	朱書	創建期
8934	白				軒平瓦	四重弧A I	凸	朱書	創建期
8935	奈				軒平瓦	四重弧A I	凸	朱書	創建期
8936	牛				軒平瓦	四重弧A I	凸	朱書	創建期
8937	木				軒平瓦	四重弧A I	凸	朱書	創建期
8938	口				軒平瓦	四重弧A I	凸	朱書	創建期
8939	力				軒平瓦	四重弧A I	凸	朱書	創建期
8940	マ				軒平瓦	四重弧A I	凸	朱書	創建期
8941	夫				軒平瓦	四重弧A I	凸	朱書	創建期
8942	沝				軒平瓦	四重弧A I	凸	朱書	創建期
8943	□〔柱カ〕				軒平瓦	四重弧A I	凸	朱書	創建期
8944	□〔女カ〕				軒平瓦	四重弧A I	凸	朱書	創建期
8945	□〔郡カ〕				軒平瓦	四重弧A I	凸	朱書	創建期
8946	□〔字カ〕				軒平瓦	四重弧A I	凸	朱書	創建期
8947	□〔乙カ〕				軒平瓦	四重弧A I	凸	朱書	創建期
8948	□〔宮または官カ〕				軒平瓦	四重弧A I	凸	朱書	創建期
8949	□〔井または廿カ〕				軒平瓦	四重弧A I	凸	朱書	創建期
8950	(釈読不能)								
-8955									
8956	□				軒平瓦	四重弧A I	凸	朱書	創建期
8957	三								
-8958									
8959	十八				軒平瓦	四重弧A I	凸	墨書	創建期
8960	廿三				軒平瓦	四重弧A I	凸	墨書	創建期
8961	廿□				軒平瓦	四重弧A I	凸	墨書	創建期
-8962									
8963	卅一				軒平瓦	四重弧A I	凸	墨書	創建期
8964	七二				軒平瓦	四重弧A I	凸	墨書	創建期
8965	(判読不能)				軒平瓦	四重弧A I	凸	墨書	創建期
8966	二			1次	軒平瓦	四重弧B I	凸	墨書	造営再開期
8967	十五(あるいは卅カ)			SA535西側(4次)	軒平瓦	四重弧B I	凸	朱書	造営再開期
8968	十九			SA535西側(4次)	軒平瓦	四重弧B I	凸	朱書	造営再開期
8969	廿四			SA535西側(4次)	軒平瓦	四重弧B I	凸	朱書	造営再開期
8970	廿五			SA535西側(4次)	軒平瓦	四重弧B I	凸	朱書	造営再開期
8971	廿六			SA535西側(4次)	軒平瓦	四重弧B I	凸	朱書	造営再開期
8972	卅一			SA535西側(4次)	軒平瓦	四重弧B I	凸	朱書	造営再開期
8973	十□〔四カ〕			SA535西側(4次)	軒平瓦	四重弧B I	凸	朱書	造営再開期
8974	十八			SA535西側(4次)	軒平瓦	四重弧B I	凸	朱書	造営再開期
8975	廿□			7次	軒平瓦	四重弧B I	凸	朱書	造営再開期
8976	十(朱線有り)			10次	軒平瓦	四重弧B I	凸	朱書	造営再開期
8977	卅(朱線有り)			1次	軒平瓦	四重弧B I	凸	朱書	造営再開期
8978	(判読不能)			2次	軒平瓦	四重弧B II	凸	朱書	造営再開期
8979	(記号)↑				軒平瓦	四重弧B II	凸	朱書	造営再開期
8980	(記号)〃				軒平瓦	四重弧B II	凸	朱書	造営再開期
8981	(記号)○				軒平瓦	四重弧B II	凸	朱書	造営再開期
8982	二								
8983	(判読不能)			2次	軒平瓦	四重弧A II	凸	朱書	創建期
8984	卅			2次	軒平瓦	四重弧A II	凸	墨書	創建期
8985	(記号)C			7次	軒平瓦	四重弧D	凸	朱書	造営再開期
8986	(戯画)(植物文)			8次	軒平瓦	四重弧H II	凸	朱書	平安
8987	(戯画)(植物文)				軒丸瓦		瓦当裏	ヘラ書	創建期
8988	(戯画)(植物文)				平瓦		凸右上	ヘラ書	創建期
8989	(戯画)(植物文)				行基丸瓦	A II a	凸	ヘラ書	創建期
8990	(戯画)(側視形蓮華文)				平瓦	4類	凸	ヘラ書	創建期
8991	(戯画)(人物カ)				平瓦	6類G	凸	ヘラ書	造営再開期- 文武朝
8992	(戯画)(人物カ)				平瓦		凸	ヘラ書	創建期
8993	(戯画)(屋根形カ)				平瓦	1類	凸	ヘラ書	創建期
8994	(戯画)(建物カ)				平瓦		凸	ヘラ書	創建期
8995	(戯画)(鴟尾カ)				平瓦		凸上端	ヘラ書	創建期

調査主体/報告書	遺物番号	掲載頁	所在地	備考
奈文研/2002b		(本文)p239	桜井市	凸面ほぼ瓦当近く右隅
奈文研/2002b		(本文)p239	桜井市	凸面ほぼ中軸線上
奈文研/2002b		(本文)p239	桜井市	凸面ほぼ中軸線上
奈文研/2002b		(本文)p239	桜井市	凸面ほぼ中軸線上
奈文研/2002b		(本文)p239	桜井市	凸面ほぼ中軸線上
奈文研/2002b		(本文)p239	桜井市	凸面ほぼ中軸線上
奈文研/2002b		(本文)p239	桜井市	凸面ほぼ中軸線上
奈文研/2002b		(本文)p239	桜井市	凸面ほぼ中軸線上
奈文研/2002b		(本文)p239	桜井市	凸面ほぼ中軸線上
奈文研/2002b		(本文)p239	桜井市	凸面ほぼ中軸線上
奈文研/2002b	Color Ph.6-4	(本文)p239,(図版)Color ph.6	桜井市	凸面ほぼ中軸線上
奈文研/2002b		(本文)p239	桜井市	計23点/凸面ほぼ中軸線上
奈文研/2002b		(本文)p239	桜井市	凸面ほぼ中軸線上
奈文研/2002b		(本文)p239	桜井市	凸面ほぼ中軸線上
奈文研/2002b		(本文)p239	桜井市	凸面ほぼ中軸線上
奈文研/2002b	Color Ph.6-11	(本文)p239,(図版)Color ph.6	桜井市	凸面ほぼ中軸線上
奈文研/2002b		(本文)p240	桜井市	凸面ほぼ中軸線上
奈文研/2002b	Color Ph.6-9	(本文)p240,(図版)Color ph.6	桜井市	凸面ほぼ中軸線上
奈文研/2002b	Color Ph.6-8	(本文)p240,(図版)Color ph.6	桜井市	凸面ほぼ中軸線上
奈文研/2002b	Color Ph.6-6	(本文)p240,(図版)Color ph.6	桜井市	凸面ほぼ中軸線上
奈文研/2002b		(本文)p240	桜井市	凸面ほぼ中軸線上
奈文研/2002b	Color Ph.6-10	(本文)p240,(図版)Color ph.6	桜井市	凸面ほぼ中軸線上
奈文研/2002b		(本文)p240	桜井市	凸面ほぼ中軸線上
奈文研/2002b		(本文)p240	桜井市	凸面ほぼ中軸線上
奈文研/2002b	Color Ph.6-5	(本文)p240,(図版)Color ph.6	桜井市	凸面ほぼ中軸線上
奈文研/2002b		(本文)p240	桜井市	凸面ほぼ中軸線上
奈文研/2002b	Color Ph.6-7	(本文)p240,(図版)Color ph.6	桜井市	凸面ほぼ中軸線上
奈文研/2002b		(本文)p240	桜井市	凸面ほぼ中軸線上
奈文研/2002b		(本文)p240	桜井市	凸面ほぼ中軸線上
奈文研/2002b	Color Ph.6-14	(本文)p240,(図版)Color ph.6	桜井市	凸面ほぼ中軸線上
奈文研/2002b		(本文)p240	桜井市	凸面ほぼ中軸線上
奈文研/2002b		(本文)p240	桜井市	凸面ほぼ中軸線上
奈文研/2002b		(本文)p240	桜井市	凸面ほぼ中軸線上
奈文研/2002b		(本文)p240	桜井市	計6点,凸面ほぼ中軸線上
奈文研/2002b	Color Ph.6-12	(本文)p240,(図版)Color ph.6	桜井市	凸面ほぼ瓦当近く右隅
奈文研/2002b		(本文)p240	桜井市	計2点/凸面ほぼ中軸線上狭端寄り
奈文研/2002b	Color Ph.6-15	(本文)p240,(図版)Color ph.6	桜井市	凸面ほぼ中軸線上狭端寄り
奈文研/2002b	Color Ph.6-16	(本文)p240,(図版)Color ph.6	桜井市	凸面ほぼ中軸線上狭端寄り
奈文研/2002b		(本文)p240	桜井市	計2点/凸面ほぼ中軸線上狭端寄り
奈文研/2002b		(本文)p240	桜井市	凸面ほぼ中軸線上狭端寄り
奈文研/2002b		(本文)p240	桜井市	凸面ほぼ中軸線上
奈文研/2002b		(本文)p240	桜井市	凸面ほぼ中軸線上
奈文研/2002b		(本文)p240	桜井市	凸面ほぼ瓦当近く右隅/天武朝
奈文研/2002b		(本文)p240	桜井市	凸面ほぼ瓦当近く右隅/中軸線上/天武朝
奈文研/2002b	Color Ph.6-13	(本文)p240,(図版)Color ph.6	桜井市	凸面ほぼ瓦当近く右隅/天武朝/初出1983f
奈文研/2002b		(本文)p240	桜井市	凸面ほぼ瓦当近く右隅/天武朝/初出1983f
奈文研/2002b		(本文)p240	桜井市	凸面ほぼ瓦当近く右隅/天武朝
奈文研/2002b		(本文)p240	桜井市	凸面ほぼ瓦当近く右隅/天武朝/初出1983f
奈文研/2002b		(本文)p240	桜井市	凸面ほぼ瓦当近く右隅/天武朝/初出1983f
奈文研/2002b	Color Ph.6-2	(図版)Color ph.6	桜井市	凸面ほぼ瓦当近く右隅/天武朝
奈文研/2002b	Color Ph.6-3	(本文)p240	桜井市	凸面ほぼ中軸線上/天武朝/初出1983f
奈文研/2002b		(本文)p240	桜井市	凸面ほぼ瓦当近く右隅/天武朝
奈文研/2002b		(本文)p240	桜井市	凸面ほぼ中軸線上/天武朝
奈文研/2002b		(本文)p240	桜井市	凸面ほぼ中軸線上/天武朝
奈文研/2002b		(本文)p240	桜井市	凸面ほぼ中軸線上/天武朝
奈文研/2002b		(本文)p240	桜井市	凸面ほぼ中軸線上/天武朝
奈文研/2002b		(本文)p240	桜井市	凸面ほぼ中軸線上/天武朝
奈文研/2002b		(本文)p240	桜井市	凸面ほぼ中軸線上
奈文研/2002b		(本文)p240	桜井市	凸面ほぼ中軸線上
奈文研/2002b		(本文)p240	桜井市	凸面ほぼ中軸線上/天武朝
奈文研/2002b		(本文)p240	桜井市	凸面ほぼ瓦当近く右隅
奈文研/2002b	Ph.211-1	(本文)p325,(図版)ph.211	桜井市	山田寺軒丸瓦A種
奈文研/2002b	Ph.211-2	(本文)p325,(図版)ph.211	桜井市	
奈文研/2002b	Ph.211-8	(本文)p325,(図版)ph.211	桜井市	
奈文研/2002b	Ph.211-15	(本文)p325,(図版)ph.211	桜井市	凸面右上(広端右隅)
奈文研/2002b	Ph.211-16	(本文)p325,(図版)ph.211	桜井市	凸面中央下端(狭端付近)
奈文研/2002b	Ph.211-3	(本文)p325,(図版)ph.211	桜井市	
奈文研/2002b	Ph.211-10	(本文)p325,(図版)ph.211	桜井市	
奈文研/2002b	Ph.211-4	(本文)p325・326,(図版)ph.211	桜井市	
奈文研/2002b	Ph.211-5	(本文)p326,(図版)ph.211	桜井市	
奈文研/2002b	Ph.211-13	(本文)p326,(図版)ph.211	桜井市	凸面上端(広端)

NO.	釈文	遺跡名	出土遺構	器質	器種等	記銘部	種類	時期
8996	(戯画)(2条の蛇行した線に直線と曲線を絡ませる)	山田寺跡		平瓦	5類	凸	ヘラ書	
8997	(戯画)(複数本の線)			平瓦	2類	凸右上	ヘラ書	造営再開期
8998	(戯画)(円文と波状文様を交互に並べる)			玉縁丸瓦	BIVa	筒部凸	ヘラ書	創建期
8999	(戯画)(2条の蛇行する線が交差)			平瓦	4類	凸	ヘラ書	創建期
9000	(戯画)(5つの矢印と複数の曲線・直線)			平瓦	1類	凸	ヘラ書	創建期
9001	(戯画)(三角形と2本の直線)			平瓦	5類	凸	ヘラ書	文武朝以降
9002	(戯画)(垂線に絡み合う曲線)			平瓦	1類	凸	ヘラ書	創建期
9003	(戯画)(垂線に絡み合う曲線)							
9004	(戯画)(垂線に絡み合う曲線)			平瓦	3類	凸	ヘラ書	創建期
9005	(戯画)(垂線に絡み合う曲線)			平瓦		凸	ヘラ書	創建期
9006	(戯画)(垂線に絡み合う曲線)			平瓦	4類	凸	ヘラ書	創建期
9007	(戯画)(垂線に絡み合う曲線)			平瓦	2類	凸	ヘラ書	造営再開期
9008	(戯画)(垂線に絡み合う曲線)		平瓦	1類	凸	ヘラ書	創建期	
9009	(戯画)(曲線や直線を重ねる)		平瓦	4類	凸	ヘラ書	創建期	
9010	(戯画)(曲線や直線を重ねる)		平瓦	4類	凸	ヘラ書	創建期	
9011	(戯画)(曲線や直線を重ねる)		平瓦	不明	凸	ヘラ書	創建期	
9012	(戯画)		塼				ヘラ書	創建期
9013	田			鷗尾	単頭A2	透し穴右	線刻	造営当初
9014	田			鷗尾	単頭C1	透し穴右	線刻	造営当初
9015	山田寺		SD625B(7次)	土師器	杯or皿	底外	墨書	奈良カ
9016	醜(異体字)		SD625B(7次)	須恵器	杯B	底外	墨書	奈良カ
9017	(判読不能)		SD625B(7次)	土師器	杯or皿	底内外	墨書	奈良
9018	(判読不能)		SD625B(7次)	土師器	杯or皿	底内外	墨書	奈良
9019	山田		宝蔵SB660B基壇土(8次)	土師器	皿A I	底外	墨書	
9020	寺		SA535東(4次)	土師器	杯or皿	底外	墨書	奈良カ
9021	寸(□[寺カ])		SD612(7次)	土師器	甕or鍋	体外	墨書	
9022	(判読不能)		赤褐灰粘質土(7次)	須恵器	皿C I	底外	墨書	
9023	寺		床土(6次)	土師器	杯or皿	底外	篋書	
9024	□家	安倍寺周辺地区12次	三本柿地区	土師器	皿	底	墨書	
9025	(記号)ハ		三本柿地区	須恵器	杯蓋		墨書	
9026	(墨痕)	安倍寺跡20次	溝SD02	土師器	皿	底外	墨書	8末-9初
9027	(墨痕2カ所)		溝SD02	土師器	杯or皿	底	墨書	8末-9初
9028	□寺		溝SD03	土師器	皿	底	墨書	7末-8初
9029	(墨痕)		溝SD03	須恵器	杯	底	墨書	7末-8初
9030	(墨痕)		溝SD03	須恵器	脚付杯	底	墨書	7末-8初
9031	(墨痕)		溝SD03	土師器	杯or皿	底	墨書	7末-8初
9032	(記号)=(2条の線)		溝SD03	須恵器	杯カ	底	墨書	7末-8初
9033	(墨痕)		溝SD03	須恵器	杯	底	墨書	7末-8初
9034	寺		溝SD03	土師器	杯	口縁外	墨書	7末-8初
9035	□寺		溝SD03	土師器	杯	口縁外	刻書	7末-8初
9036	(墨痕)		溝SD03	土師器	皿or杯	底外	墨書	7末-8初
9037	(墨痕)		溝SD03	土師器	皿or杯	底外	墨書	7末-8初
9038	(墨痕)		溝SD03	土師器	皿or杯	底内	墨書	7末-8初
9039	(記号)=(3条の線)		溝SD03	土師器			墨書	7末-8初
9040	(記号)=(2条の線)		溝SD03	土師器			墨書	7末-8初
9041	□□		北壁沿基盤層	土師器	甕	体外	墨書	
9042	(墨痕)		南壁沿断割	須恵器	蓋	内	墨書	
9043	延喜六年造檀越高階茂生	青木山(青木廃寺)		軒平瓦			刻書	延喜6(906)頃カ
9044	大工和仁部貞行			丸瓦			刻書	
9045	(記号)×	纏向遺跡4次	井戸1	瓦器	椀	高台内側	墨書	11後
9046	(記号)=(「C」状)	纏向遺跡6次	井戸7	瓦器	椀	高台内側	墨書	11末-12前
9047	吉	纏向遺跡7次	4H16・17H区粗砂	土師器	杯蓋	外	墨書	7末
9048	□[大カ]市		5G9Z区粗砂	土師器	不明	胴内	墨書	8c
9049	(墨書カ)	纏向遺跡8次	石塚古墳南側周濠上層(1ト)	須恵器	蓋	天井	墨書	奈良-平安
9050	宮内	纏向遺跡72次	4C暗灰色粗砂質土	土師器	椀C	側部外	墨書	
9051	(記号)=		5C井戸下層	土師器	椀C	側部外	墨書	奈良後
9052	吉		4C暗灰色粗砂質土	土師器	椀C	口縁外	墨書	
9053	(墨痕)		5E灰褐色粗砂混土	土師器	不明		墨書	奈良後-平安初
9054	吉		5C暗灰色砂質土	土師器	椀Cカ		墨書	
9055	□[工カ]		5C暗灰色砂質土	土師器	杯AorB		墨書	
9056	吉		4C暗灰色粘質土	土師器	椀C		墨書	
9057	福		5E暗灰色粘質土	土師器			墨書	奈良
9058	□[足カ]		5C井戸石組遺構内	土師器	不明		墨書	奈良後
9059	□		5E暗灰色粘質土	土師器	椀C		墨書	平城II-III
9060	(記号カ)=		排水溝3次南・東岸	土師器	椀C		墨書	
9061	□		5E淡灰褐色砂礫層	土師器	椀C		墨書	
9062	田		5E暗灰色粘質土	土師器	杯Aカ		墨書	平城II-III
9063	□[二カ]		5E暗灰色粗砂混土	須恵器	杯B蓋		墨書	奈良後-平安初
9064	(墨書)	纏向遺跡84次	SD10上層	須恵器	杯B		墨書	9c頃
9065	醜	珠城山古墳	石棺内流入土	瓦器	椀	糸底内	墨書	平安中
9066	(墨書)	珠城山3号墳	前方部石室	土師質	皿形土器		墨書	平安末-鎌倉
9067								
9068	三輪寺塔弘誓文明十六(甲/辰)奉行(聖道観 秀算/良海/英範 道胤/大工刑部允)	廃三輪寺		鳥衾		背上	篋書	文明16(1484)
9069	三輪寺大工刑部允 応永十九年(壬/辰)五月日	三輪寺		鳥衾		表胴	陰刻	応永19(1412)
9070	応永十九年五月瓦大工刑部時奉行宣光			鳥衾			一	室町
9071	応永十九年五月大工刑部允			鳥衾			一	室町
9072	高(他にも墨書あり)	栗原カタソバ遺跡群カタソバ	玄室	土師器	杯A	底外	墨書	
9073	(記号)=	第6号墳	玄室奥壁北東隅	土師器	杯B	底外	墨書	8初頃

調査主体/報告書	遺物番号	掲載頁	所在地	備考
奈文研/2002b	Ph.211-6	(本文)p326,(図版)ph.211	桜井市	
奈文研/2002b	Ph.211-7	(本文)p326,(図版)ph.211	桜井市	凸面右上(広端右隅)/天武朝
奈文研/2002b	Ph.211-9	(本文)p326,(図版)ph.211	桜井市	
奈文研/2002b	Ph.211-11	(本文)p326,(図版)ph.211	桜井市	
奈文研/2002b	Ph.211-12	(本文)p326,(図版)ph.211	桜井市	
奈文研/2002b	Ph.211-14	(本文)p326,(図版)ph.211	桜井市	凸面左上付近
奈文研/2002b	Ph.212-17・18	(本文)p326,(図版)ph.212	桜井市	計2点
奈文研/2002b	Ph.212-19・20	(本文)p326,(図版)ph.212	桜井市	計2点
奈文研/2002b	Ph.212-22	(本文)p326,(図版)ph.212	桜井市	
奈文研/2002b	Ph.212-23	(本文)p326,(図版)ph.212	桜井市	
奈文研/2002b	Ph.212-24	(本文)p326,(図版)ph.212	桜井市	天武朝
奈文研/2002b	Ph.212-25	(本文)p326,(図版)ph.212	桜井市	
奈文研/2002b	Ph.212-26	(本文)p326,(図版)ph.212	桜井市	
奈文研/2002b	Ph.212-21	(本文)p326,(図版)ph.212	桜井市	
奈文研/2002b			桜井市	(表)p.327-Tab22から未掲載点数を推計
奈文研/2002b	Ph.194・195-5	(本文)p304,(図版)ph.194・5	桜井市	大棟透かし穴の右側
奈文研/2002b	Ph.198・199-18	(本文)p306,(図版)ph.198・9	桜井市	大棟透かし穴の右側
奈文研/2002b	Ph.217-164	(本文)p340,(図版)ph.217	桜井市	初出1990a
奈文研/2002b	Ph.217-167	(本文)p340,(図版)ph.217	桜井市	
奈文研/2002b	Ph.217-165	(本文)p340,(図版)ph.217	桜井市	
奈文研/2002b	Ph.217-166	(本文)p340,(図版)ph.217	桜井市	
奈文研/2002b	Ph.218-180	(本文)p340,(図版)ph.218	桜井市	
奈文研/2002b	Ph.220-372	(本文)p349,(図版)ph.220	桜井市	初出1983f
奈文研/2002b	Ph.220-373	(本文)p349,(図版)ph.220	桜井市	
奈文研/2002b	Ph.220-374	(本文)p349,(図版)ph.220	桜井市	
奈文研/2002b	Ph.220-375	(本文)p349,(図版)ph.220	桜井市	
市協会/桜井市1991	挿図5-15	(本文)p2,(図)p7,図版8	桜井市	桜井市2018
市協会/桜井市1991	挿図5-14	(本文)p2,(図)p7	桜井市	
桜井市/教委2008	図65-158	(本文)p79,(図)p81,図版48	桜井市	
桜井市/教委2008	図65-159	(本文)p79,(図)p81,図版48	桜井市	
桜井市/教委2008	図65-160	(本文)p79,(図)p81,図版48	桜井市	桜井市2018
桜井市/教委2008	図65-161	(本文)p79,(図)p81,図版48	桜井市	
桜井市/教委2008	図65-162	(本文)p79,(図)p81,図版48	桜井市	
桜井市/教委2008	図65-163	(本文)p79,(図)p81,図版48	桜井市	
桜井市/教委2008	図65-164	(本文)p79,(図)p81,図版48	桜井市	
桜井市/教委2008	図65-165	(本文)p79,(図)p81,図版48	桜井市	
桜井市/教委2008	図65-166	(本文)p79・80,(図)p81,図版48	桜井市	桜井市2018
桜井市/教委2008	図65-167	(本文)p80,(図)p81,図版48	桜井市	
桜井市/教委2008	図65-168	(本文)p80,(図)p81,図版48	桜井市	
桜井市/教委2008	図65-169	(本文)p80,(図)p81,図版48	桜井市	
桜井市/教委2008	図65-170	(本文)p80,(図)p81,図版48	桜井市	
桜井市/教委2008	図65-171	(本文)p80,(図)p81,図版48	桜井市	図65-171-173は同一個体カ
桜井市/教委2008	図65-172	(本文)p80,(図)p81,図版48	桜井市	図65-171-173は同一個体カ
桜井市/教委2008	図65-174	(本文)p80,(図)p81,図版48	桜井市	
桜井市/教委2008	図65-175	(本文)p80,(図)p81,図版48	桜井市	
米田甚七/奈良県1917	第5図	(本文)p28,(図版)第5図	桜井市	1917「花瓦」,土井1956-p.32
米田甚七/奈良県1917	第5図	(本文)p29,(図版)第5図	桜井市	1917「疏瓦」,土井1956-p.32
樺考研/桜井市教委1976	図168-11	(本文)p346,(表)p353,(図)p358,図版227	桜井市	白石編年I-2/【次数修正】
樺考研/桜井市教委1976	図172-3(井戸7)	(本文)p348,(表)p355,(図)p362,図版234	桜井市	白石編年I-2-3/【次数修正】
樺考研/桜井市教委1976	図165-2	(本文)p342,(図)p343,図版223	桜井市	【次数修正】
樺考研/桜井市教委1976	図165-1	(本文)p342,(図)p343,図版223	桜井市	教委1976は「市？」/釈文は桜井市2018/【次数修正】
樺考研/桜井市教委1976	図111-中段2	(表)p197,(図)p259	桜井市	【次数修正】
桜井市/教委2015	図17-110	(本文)p19,(図)p20,(表)p26	桜井市	桜井市2018
桜井市/教委2015	図17-111	(本文)p19,(図)p20,(表)p26,図版13	桜井市	
桜井市/教委2015	図17-112	(本文)p19,(図)p20,(表)p26,図版13	桜井市	
桜井市/教委2015	図17-113	(本文)p19,(図)p20,(表)p26,図版14	桜井市	
桜井市/教委2015	図17-114	(本文)p19,(図)p20,(表)p26	桜井市	桜井市2018
桜井市/教委2015	図17-115	(本文)p19,(図)p20,(表)p26,図版13	桜井市	
桜井市/教委2015	図17-116	(本文)p19,(図)p20,(表)p26,図版13	桜井市	
桜井市/2018			桜井市	平城Ⅱ-Ⅲ期/教委2015図17-117「 <input type="checkbox"/> [富または富カ]」
桜井市/教委2015	図17-118	(本文)p19,(図)p20,(表)p26,図版13	桜井市	
桜井市/教委2015	図17-119	(図)p20,(表)p26,図版13	桜井市	平城Ⅱ-Ⅲ期
桜井市/教委2015	図17-120	(本文)p19,(図)p20,(表)p26	桜井市	
桜井市/教委2015	図17-121	(図)p20,(表)p26,図版13	桜井市	
桜井市/教委2015	図17-122	(本文)p19,(図)p20,(表)p26	桜井市	平城Ⅱ-Ⅲ期/桜井市2018
桜井市/教委2015	図17-123	(本文)p19,(図)p20,(表)p26,図版13	桜井市	転用硯
樺考研/県2002g	図8-56	(図)p10,(表)p12	桜井市	纏向遺跡箸墓古墳周辺9次
奈良県/1956	(34)墨書土器	(本文)p34・35,(図)p34,図版第23	桜井市	
奈良県/1960		(本文)p27,図版15	桜井市	計2点
/土井1956		(本文)p306	桜井市	長さ一尺六寸二分
/土井1956		(本文)p225	桜井市	完形,長さ一尺七寸,銘文は表面胴部に一行陰刻
/樺考研博1977		(表)p128	桜井市	(保管)黒川古文化研究所
/樺考研博1977		(表)p128	桜井市	(保管)黒川古文化研究所
樺考研/県2003f	図116-19	(本文)p130,(図)p127,(表)p128,図版	桜井市	
樺考研/県2003f	図116-20	(本文)p129・130,(図)p127,(表)p128,図版103	桜井市	表では「皿」とする

NO.	釈文	遺跡名	出土遺構	器質	器種等	記銘部	種類	時期	
9074	□〔打カ〕	長谷寺本堂地区	VI層	土師器	皿	底外	墨書	南都I新段階-II古段階カ	
9075	南		VI層	土師器	皿	底外	墨書	南都I新段階-II古段階カ	
9076	□		VI層	土師器	皿	底外	墨書	南都I新段階-II古段階カ	
9077	大		VI層	土師器	皿	底外	墨書	南都I新段階-II古段階カ	
9078	□□		VI層	土師器	皿	底外	墨書	南都I新段階-II古段階カ	
9079	□〔仏カ〕、分(別筆)		VI層	土師器	皿	底外	墨書	南都I新段階-II古段階カ	
9080	□		V層	土師器	皿	底外	墨書	11中前後	
9081	□百燈		IV層	土師器	皿	底外	墨書	11末よりやや古い	
9082	∟(合点)/藤原/藤原□/□		IV層	土師器	皿	底外	墨書	11末よりやや古い	
9083	十四		居伝遺跡	大溝1上層	白磁	壺	底	墨書	14中-15前カ
9084	(墨書)	大溝1		石製品	石	両	墨書	14中-15前カ	
9085	汗	荒坂瓦窯群		平瓦		凸	籀書	7後中頃	
9086	者田乙□〔四カ〕日□〔也カ〕			平瓦		凸	籀書	7後中頃	
9087	文明九年トリノトシ八月十一日 マコ六	栄山寺	不明	平瓦		凹中央	刻書	文明9(1477)	
9088	本	巨勢寺2次	梵鐘鑄造坑	黒色土器	杯	高台内	墨書	9末-10初	
9089	(判読不能)	観音寺本馬遺跡2-2次	A西1区溝3	須恵器	杯A	底外	墨書	奈良前	
9090	膳	観音寺本馬遺跡4-1次	B区10トレ包含層	土師器	皿	底外	墨書		
9091	(判読不能)	観音寺本馬遺跡5次	自然河道3	須恵器			墨書	8後-9前	
9092	田□〔東カ〕		自然河道3	土師器			墨書	8後-9前	
9093	忠(他判読困難な漢字2字)	中西遺跡14次	第1遺構面暗渠	板状石製品		片面	刻書		
9094	高椅	多田遺跡2次	SP203	土師器	杯A	口縁外	墨書	奈良	
9095	マ	下茶屋地藏谷遺跡	川跡SX01	須恵器	杯	底	墨書	飛鳥・奈良	
9096	甲午□五月中	二光寺廃寺		埴伝			一		
9097	十王		朝妻廃寺1次		平瓦I		凸	線刻	7後
9098	(墨書)			遺構面	土師器	皿	裏	墨書	8前中頃
9099	日文		鴨神遺跡1次	SX01	土師器	高杯	脚外	墨書	7-8c
9100	大			SX01	土師器	杯or皿	底外	墨書	7-8c
9101	□□			SX01	土師器	杯or皿	底外	墨書	7-8c
9102	×□家太安×/□△/×月故×			SX01	須恵器	杯B蓋	頂外	墨書	7-8c
9103	堂			SX01	須恵器	杯B蓋	内	墨書	7-8c
9104	二□〔日カ〕			SX01	須恵器	杯B	底外	墨書	7-8c
9105	(墨書)		石光山古墳群31号墳		土師器	碗		墨書	
9106	三			土師器	碗		墨書		
9107	宮	生駒古窯跡群金比羅窯跡	0区西側黒色土層	須恵器	杯蓋	天外	刻書	奈良	
9108	宮		0区西側灰原層	須恵器	杯蓋	天外	刻書	奈良	
9109	貞治二(癸/卯)……	長弓寺本堂		鬼瓦		裏左肩	陰刻	貞治2(1363)	
9110	モコシノヲモヲニ				鬼瓦		上側	陰刻	貞治2(1363)
9111	□〔右または太カ〕	尼寺廃寺跡3次	井戸枠内	土師器	皿カ	底外	墨書	8後-8末	
9112	□〔枝カ〕		井戸枠内	土師器	皿カ	底外	墨書	8後-8末	
9113	□〔十または甘カ〕		井戸枠内	土師器	皿カ	底外	墨書	8後-8末	
9114	□〔稔カ〕		井戸枠内	土師器	皿カ	底外	墨書	8後-8末	
9115	稔		井戸枠内	土師器	皿カ	底外	墨書	8後-8末	
9116	□〔方カ〕		井戸枠内	須恵器	杯B	底外	墨書	8後-8末	
9117	□〔月カ〕		井戸枠内	土師器	杯C	口縁外	墨書	8後-8末	
9118	中/(記号)ノ		井戸枠内	土師器	皿カ	底外	墨書	8後-8末	
9119	□〔世カ〕立		尼寺廃寺跡4次	瓦溜	平瓦		凸	ヘラ書	飛鳥
9120	立				瓦溜	平瓦		凸	ヘラ書
9121	□〔田カ〕□	尼寺廃寺跡10次	塔基壇堆積土	軒丸瓦	NKM1	頸	ヘラ書	飛鳥	
9122	王□〔崗カ〕		塔基壇堆積土	軒丸瓦	NKM1	頸	ヘラ書	飛鳥	
9123	□庭前		塔基壇堆積土	丸瓦		凸	ヘラ書	飛鳥	
9124	(判読不能)		塔基壇堆積土	丸瓦		凸	ヘラ書	飛鳥	
9125	(判読不能)		塔基壇堆積土	丸瓦		凸	ヘラ書	飛鳥	
9126	(判読不能)		塔基壇堆積土	平瓦		凸	ヘラ書	飛鳥	
9127	(墨書)		下田東遺跡H13年度	古墳拡張区耕作溝	土師器	皿	底	墨書	
9128	(文字ないし記号)	古墳拡張区耕作溝		土師器	杯	内	墨書		
9129	(墨書)	古墳拡張区耕作溝		土師器	杯	底	墨書		
9130	(記号)⊕	5トレ南端包含層		土師器	杯	体外	墨書		
9131	一	11トレ南端IV層		土師器	皿	底外	墨書		
9132	□	11トレ南端IV層		土師器	杯	口縁外	墨書		
9133	川	11トレ南端IV層		土師器	杯	底外	墨書		
9134	□□	11トレ南端IV層		土師器	杯	底外	墨書		
9135	川	11トレ南端IV層		土師器	杯or皿	体	墨書		
9136	西	11トレ南端IV層		土師器	杯or皿	体	墨書		
9137	東	11トレ南端IV層	土師器	杯or皿	体	墨書			
9138	東	11トレ南端IV層	土師器	杯or皿	体	墨書			
9139	□	11トレ南端IV層	土師器	杯or皿	体	墨書			
9140	□		土師器	杯or皿	体	墨書			
9141	□〔量カ〕		土師器	杯or皿	体	墨書			
9142	□□	11トレ南端IV層	土師器	杯or皿	体	墨書			

調査主体/報告書	遺物番号	掲載頁	所在地	備考
檀考研/県1999c	図版37-1	(本文・表)p60,図版37	桜井市	
檀考研/県1999c	図版37-2	(本文・表)p60,図版37	桜井市	
檀考研/県1999c	図版37-3	(本文・表)p60,図版37	桜井市	「在」の可能性
檀考研/県1999c	図版37-4	(本文・表)p60,図版37	桜井市	
檀考研/県1999c	図版37-5	(本文・表)p60,図版37	桜井市	
檀考研/県1999c	図版37-6	(本文・表)p60,図版37	桜井市	
檀考研/県1999c	図版37-7	(本文・表)p60,図版37	桜井市	
檀考研/県1999c	図版37-8	(本文・表)p60,図版37	桜井市	
檀考研/県1999c	図版37-9	(本文・表)p60,図版37	桜井市	
檀考研/県2000d	第33図-20	(本文)p35,(図)p34,(図版)PL.16	五條市	
檀考研/県2000d	第41図-54	(本文・図)p40,(図版)PL.18	五條市	
/檀考研博2009	p42-108左	(本文・図版)p42	五條市	
/檀考研博2009	p42-108右	(本文・図版)p42	五條市	
/五條市2019	2-6	(本文)p24,(図版)p8	五條市	出土地点不明,(保管)栄山寺
檀考研/県2004a	第22図	(本文・図)p37	御所市	
御所市/2015b	図75-24	(本文)p96,(図)p98,(表)p299,図版29	御所市	初出2008/初出は「貢」の可能性ありとする
御所市/2015b	図164-4	(本文)p223,(図)p211,(表)p335,図版72	御所市	初出2008
檀考研/県2013c	図110-73	(本文)p78,(図)p193,(表)附章p111,(図版)PL.45	檀原市・御所市	
檀考研/県2013c	図110-74	(本文)p78,(図)p193,(表)附章p111,(図版)PL.45	檀原市・御所市	
檀考研/県2017g	s1	(本文)p104,(図)p105,(図版)PL.81	御所市	
檀考研/県2000b	図38-295	(表)p91,(図)p111,図版67	御所市	南郷遺跡群
檀考研/県2000a	図68-56	(本文)p110,(図)p112,(表)p121,(図版)PL.90	御所市	南郷遺跡群
檀考研/博2005		(本文)p35	御所市	紀年銘は694年カ
檀考研/県1978d	図版7-2	(本文・図)p76,図版7	御所市	凸面布目平瓦
檀考研/県1978d		(本文)p76	御所市	文字か絵か不明
御所市・檀考研/市1990	第8図-23(墨No.1)	(本文)p8・12,(図)p9,図版5	御所市	
御所市・檀考研/市1990	墨No.2	(本文)p12,図版5	御所市	
御所市・檀考研/市1990	墨No.3	(本文)p12,図版5	御所市	
御所市・檀考研/市1990	第9図-36(墨No.4)	(本文)p8・12,(図)p11,図版6	御所市	
御所市・檀考研/市1990	第9図-38(墨No.5)	(本文)p8・12,(図)p11,図版5	御所市	
御所市・檀考研/市1990	第9図-59(墨No.6)	(本文)p10・12,(図)p11,図版5	御所市	
檀考研/博1981	1838左	(本文・写真)p69	御所市	
檀考研/博1981	1838右	(本文・写真)p69	御所市	
生駒市/2009	第33図-255	(本文)p31・33・37・38,(図)p32,図版29,(表)p60	生駒市	刻書は焼成前
生駒市/2009	第34図-256	(本文)p31・33・37・38,(図)p33,図版29,(表)p61	生駒市	刻書は焼成前
/土井1956	其一	(本文)p185	生駒市	高さ一尺九寸、巾上一尺三寸、下一尺七寸、大棟両端の鬼瓦二枚
/土井1956	其二	(本文)p185	生駒市	高さ一尺九寸、巾上一尺三寸、下一尺七寸、大棟両端の鬼瓦二枚
香芝市/1994	図15-18	(本文・図)p20,図版11	香芝市	
香芝市/1994	図15-19	(本文・図)p20,図版11	香芝市	
香芝市/1994	図15-20	(本文・図)p20,図版11	香芝市	
香芝市/1994	図15-21	(本文・図)p20,図版11	香芝市	
香芝市/1994	図15-22	(本文・図)p20,図版11	香芝市	
香芝市/1994	図15-23	(本文・図)p20,図版11	香芝市	
香芝市/1994	図15-24	(本文・図)p20,図版11	香芝市	
香芝市/1994	図15-25	(本文・図)p20,図版11	香芝市	
香芝市/2003	第66図-1	(本文)p81,(図)p84,図版96	香芝市	回廊北東隅付近
香芝市/2003	第66図-2	(本文)p81・84,(図)p84,図版97	香芝市	回廊北東隅付近
香芝市/2003	第33図NKM1-3	(本文)p41・81,(図)p42,図版96	香芝市	坂田寺式軒丸瓦
香芝市/2003	第33図NKM1-4	(本文)p41・81,(図)p42,図版96	香芝市	坂田寺式軒丸瓦
香芝市/2003	第66図-3	(本文・図)p84,図版97	香芝市	【釈文変更】香芝市2003は「…庭前」
香芝市/2003	第66図-4	(本文・図)p84,図版97	香芝市	
香芝市/2003	第66図-5	(本文・図)p84,図版97	香芝市	
香芝市/2003	第66図-6	(本文・図)p84,図版97	香芝市	
香芝市/2011	第9図-1	(本文)p8,(図)第9図	香芝市	
香芝市/2011	第9図-4	(本文)p8,(図)第9図	香芝市	
香芝市/2011	第9図-3	(本文)p8,(図)第9図	香芝市	
香芝市/2011	第11図-30	(本文)p9,(図)第11図	香芝市	
香芝市/2011	第13図-49	(本文)p11,(図)第13図	香芝市	
香芝市/2011	第13図-50	(本文)p11,(図)第13図	香芝市	【釈文変更】香芝市2011は「(判読不能)」
香芝市/2011	第13図-51	(本文)p11,(図)第13図	香芝市	
香芝市/2011	第13図-52	(本文)p11,(図)第13図	香芝市	
香芝市/2011	第13図-53・54	(本文)p11,(図)第13図	香芝市	計2点
香芝市/2011	第13図-55	(本文)p11,(図)第13図	香芝市	
香芝市/2011	第13図-56	(本文)p11,(図)第13図	香芝市	
香芝市/2011	第13図-59・60	(本文)p11・12,(図)第13図	香芝市	計2点【釈文変更】香芝市2011は「(判読不能)」
香芝市/2011	第13図-61	(本文)p12,(図)第13図	香芝市	
香芝市/2011	第13図-62	(本文)p12,(図)第13図	香芝市	

NO.	釈文	遺跡名	出土遺構	器質	器種等	記銘部	種類	時期		
9143	□	下田東遺跡H13年度	11トレ南端IV層	土師器	甕	口縁外	墨書			
9144	(墨書)		5-13トレ間SR01延長	土師器	杯	口縁外	墨書	飛鳥-奈良カ		
9145	□美		5-13トレ間SR01延長	土師器	杯	底	墨書	飛鳥-奈良カ		
9146	(墨書)		5-13トレ間SR01延長	土師器	甕	胴外	墨書	飛鳥-奈良カ		
9147	十		C区SE43	土師器	杯	底	墨書	飛鳥-奈良		
9148	中		G区SE46	土師器	皿	底	墨書	飛鳥-奈良		
9149	四		G区SE46	土師器	皿	底	墨書	飛鳥-奈良		
9150	十		G区SE46	土師器	皿	底	墨書	飛鳥-奈良		
9151	天		下田東遺跡H16年度	G区SE46	土師器	杯	底	墨書	飛鳥-奈良	
9152	西/西			G区SE46	土師器	杯	底	墨書	飛鳥-奈良	
9153	西/西	G区SE46		土師器	杯	底	墨書	飛鳥-奈良		
9154	中	G区SE48		土師器	杯	底	墨書	飛鳥-奈良		
9155	(記号) = (ノに重ねて二重の○)	G区SE48		土師器	甕	胴外	墨書	飛鳥-奈良		
9156	左	下田東遺跡H17年度		H区SE54	土師器	杯	底	墨書	平安初	
9157	(記号)○			I区SX14	土師器	杯	体外	墨書	飛鳥-奈良	
9158	□(下の部位は「田」)			I区SE60	土師器	皿	底	墨書	8末-9初	
9159	(判読不能)			I区SE60	土師器	杯	体外	墨書	8末-9初	
9160	(墨書)			J区SE67枠内	土師器	皿	底	墨書	奈良末-平安初	
9161	西		J区SD98	土師器	椀	底	墨書	奈良末-平安初頃		
9162	(墨書)		下田東遺跡H18年度	63トレⅢ層埋土	土師器	皿	体内	墨書		
9163	(墨書)			L地区SE69	土師器		外	墨書	奈良中-10末	
9164	□[妙または於カ]			下田東遺跡	SR15	土師器	皿	底	墨書	
9165	□[山カ]				SR15	土師器	杯		墨書	
9166	□	SR15			土師器	杯		墨書		
9167	西 =	SR15			土師器	杯	底	墨書		
9168	(記号) = (逆「の」状)	SR15			土師器	杯	外	墨書		
9169	〈内〉(記号) = (螺旋状) 〈外〉(記号) = (螺旋状)	SR15			土師器	杯	内外	墨書		
9170	日	SR15			土師器	杯	底	墨書		
9171	福衛	SR15			土師器	杯	底	墨書		
9172	(記号) = (逆「の」状)	SR15	土師器		杯	底	墨書			
9173	□[吉カ]	SR15	土師器		杯	底	墨書			
9174	□[イカ]	SR15	土師器	杯	底	墨書				
9175	(墨書)	SR15	土師器	杯	底	墨書				
9176	東(異体字)	SR15	土師器	杯	底	墨書				
9177	(墨書)	SR15	土師器	椀	底	墨書				
9178	(墨書)	SR15	土師器	甕	胴	墨書				
-9180										
9181	(墨書)			SR15	土師器	甕	胴外	墨書		
9182	(墨書)			SR15	土師器	椀	底	墨書		
9183	東			SR15	土師器	杯	底	墨書		
9184	中飯	寺口忍海古墳群H-17号墳		土師器	杯Aカ	底外	墨書	奈良後		
9185	(記号状) =	寺口忍海古墳群H-29号墳	石室内	須恵器	杯蓋	天井	赤色顔料	7前		
9186	(記号状) =		石室内	須恵器	杯蓋	天井	赤色顔料	7前		
9187	(記号状) =		石室内	須恵器	杯	底	赤色顔料	7前		
9188	(記号状) =		石室内	須恵器	杯	底	赤色顔料	7前		
9189	万	加守廃寺	不明	土師器	杯		墨書			
9190	□[掃カ]		不明	土師器	杯		墨書			
9191	寺		不明	土師器	皿		墨書			
-9192										
9193	(判読不能)	只塚廃寺・首子遺跡6次		平瓦	I	凸	篋書			
9194	井部	竹内遺跡	SD01?	土師器	皿	底	墨書	奈良		
9195	井		SD01?	土師器	皿	底	墨書	奈良		
9196	山方		SD01?	土師器	皿	底	墨書	奈良		
9197	(墨書カ)		當麻寺境内金堂南面地区	11区瓦溜	土師器	皿		墨書	9後	
9198	(墨書カ)	11区瓦溜		土師器	皿		墨書	9後		
9199	十	三ツ塚古墳群西支群	14号墳前面	土師器	皿	底	墨書			
9200	天[あるいは「夫」カ]	地光寺西遺跡		土師器	皿	裏	墨書	奈良-中世		
9201	(墨書)	石榴垣内遺跡	奈良前半建物群	土器			墨書	奈良前		
9202	□家	丹切遺跡3次	C区自然流路	土器			墨書			
9203	子		C区自然流路	土器			墨書			
9204	□井門		C区自然流路	土器			墨書			
9205	□井		C区自然流路	土器			墨書			
9206	(両面複数筆墨書)		福地城跡	E-4Bトレ空漣	土器			墨書		
9207	㊦(3箇所)		野山遺跡群シメン坂支群	中世墓群ST48	土師器	鍋	体外	墨書	中世	
9208	千万	北野ウチカタビロ遺跡	包含層	黒色土器	A類杯	底外	墨書	9末		
9209	節	大西塚ノ本遺跡	SX36下層	須恵器	杯B	底	墨書	8後-9初頃		
9210	中□[宮カ]		SX6	須恵器	杯	底外	墨書	8後-9初頃		
9211	中		IV層	須恵器	杯A	底外	墨書	奈良中-平安初頃		
9212	中		IV層	須恵器	杯B	底外	墨書	奈良中-平安初頃		
9213	中		IV層	須恵器	杯B蓋	頂外	墨書	奈良中-平安初頃		
9214	(判読不能)		I層	土師器	皿	底外	墨書	平安後-鎌倉		
9215	二		Ⅲ層	黒色土器A	椀	底外	篋書	平安中末-後		
9216	(判読不能)		椿井西宮遺跡		須恵器	杯	底外	墨書	7後-8頃	
9217	五/大			AtレSE-05	須恵器	杯E	底	墨書	7後-8前	
9218	矢			AtレSE-05	平瓦		狭端	刻書	7後-8前	
9219	南			三ツ池遺跡(2次)	SD01	須恵器	杯B	底	墨書	奈良前

調査主体/報告書	遺物番号	掲載頁	所在地	備考
香芝市/2011	第13図-57	(本文)p12,(図)第13図	香芝市	【釈文変更】香芝市2011は「(判読不能)」
香芝市/2011	第19図-148	(本文)p17,(図)第19図	香芝市	
香芝市/2011	第19図-152	(本文)p17,(図)第19図	香芝市	
香芝市/2011	第19図-153	(本文)p17,(図)第19図	香芝市	
香芝市/2011	第128図-716	(本文)p76,(図)第128図	香芝市	
香芝市/2011	第141図-833	(本文)p76-86,(図)第141図	香芝市	
香芝市/2011	第141図-834	(本文)p76-86,(図)第141図	香芝市	
香芝市/2011	第141図-835	(本文)p76-86,(図)第141図	香芝市	
香芝市/2011	第141図-836	(本文)p76-86,(図)第141図	香芝市	【釈文変更】香芝市2011は「□[天or夫カ]」
香芝市/2011	第141図-837	(本文)p76-86,(図)第141図	香芝市	【釈文変更】香芝市2011は「西/□」
香芝市/2011	第141図-838	(本文)p76-86,(図)第141図	香芝市	
香芝市/2011	第143図-846	(本文)p87,(図)第143図	香芝市	
香芝市/2011	第144図-860	(本文)p87,(図)第144図	香芝市	
香芝市/2011	第180図-918	(本文)p103,(図)第180図,図版56	香芝市	【釈文変更】香芝市2011は「□[戸カ]」
香芝市/2011	第185図-969	(本文)p107,(図)第185図	香芝市	
香芝市/2011	第189図-985	(本文)p108,(図)第189図	香芝市	
香芝市/2011	第189図-986	(本文)p109,(図)第189図	香芝市	
香芝市/2011	第197図-1044	(本文)p112,(図)第197図	香芝市	
香芝市/2011		(本文)p95	香芝市	
香芝市/2011	第225図-1179	(本文)p128,(図)第225図	香芝市	
香芝市/2011	第228図-1197	(本文)p129,(図)第228図	香芝市	
香芝市/2011	第327図-1931	(本文)p207,(図)第327図	香芝市	
香芝市/2011	第327図-1925	(本文)p207,(図)第327図	香芝市	
香芝市/2011	第327図-1926	(本文)p207,(図)第327図	香芝市	
香芝市/2011	第327図-1927	(本文)p207,(図)第327図	香芝市	底外面中央にも墨書したのち穿孔する
香芝市/2011	第327図-1928	(本文)p207,(図)第327図	香芝市	
香芝市/2011	第327図-1929	(本文)p207,(図)第327図	香芝市	
香芝市/2011	第327図-1930	(本文)p207,(図)第327図	香芝市	
香芝市/2011	第327図-1932	(本文)p207,(図)第327図	香芝市	【釈文変更】
香芝市/2011	第328図-1933	(本文)p207,(図)第328図	香芝市	
香芝市/2011	第328図-1934	(本文)p208,(図)第328図	香芝市	
香芝市/2011	第328図-1935	(本文)p208,(図)第328図	香芝市	
香芝市/2011	第328図-1936	(本文)p208,(図)第328図	香芝市	
香芝市/2011	第328図-1937	(本文)p208,(図)第328図	香芝市	
香芝市/2011	第328図-1938	(本文)p208,(図)第328図	香芝市	
香芝市/2011	第328図-1939-1941	(本文)p208,(図)第328図	香芝市	計3点
香芝市/2011	第328図-1942	(本文)p208,(図)第328図	香芝市	
香芝市/2011	第342図-2082	(本文)p216,(図)第342図	香芝市	【釈文変更】
香芝市/2011	第342図-2083	(本文)p216,(図)第342図	香芝市	墨書したのちに円孔を穿つ
新庄町・榑考研/町1988	図359	(本文・図)p381	葛城市	
新庄町・榑考研/町1988	図247-5	(本文)p268,(図)p267,図版147	葛城市	陶色Ⅱ-5・6段階(TK209)orⅢ-1段階(TK217)
新庄町・榑考研/町1988	図247-6	(本文)p268,(図)p267,図版147	葛城市	陶色Ⅱ-5・6段階(TK209)orⅢ-1段階(TK217)
新庄町・榑考研/町1988	図247-11	(本文)p268,(図)p267,図版147	葛城市	陶色Ⅱ-5・6段階(TK209)orⅢ-1段階(TK217)
新庄町・榑考研/町1988	図247-13	(本文)p268,(図)p267,図版147	葛城市	陶色Ⅱ-5・6段階(TK209)orⅢ-1段階(TK217)
當麻町/葛城市歴博2012	図34-35-4133	(本文)p40,(図)p41-43,(表)p42,図版15	葛城市	
當麻町/葛城市歴博2012	図34-35-4135	(本文)p40,(図)p41-43,(表)p42,図版15	葛城市	
當麻町/葛城市歴博2012	図34-35-4145-4146	(本文)p40,(図)p41-43,(表)p42,図版15	葛城市	計2点
榑考研/県2003b	図39-70	(本文)p66,(図)p68,図版62	葛城市	
當麻町/葛城市歴博2009	図6-9-3052	(本文)p5,(図)p8-14,(表)p13,図版17	葛城市	
當麻町/葛城市歴博2009	図6-9-3056	(本文)p5,(図)p8-14,(表)p13,図版17	葛城市	
當麻町/葛城市歴博2009	図6-3176	(本文)p5,(図)p8,図版17	葛城市	
榑考研/県2000g	第13図-13	(図)p23	葛城市	
榑考研/県2000g	第13図-21	(図)p23	葛城市	
榑考研/県2002b	図181-3	(本文・図)p209	葛城市	
榑考研/県2002c		(本文)p28	葛城市	県1972c再録
榑考研/県1993c		(本文)p3	宇陀市	
榛原町/県埋文連協1993		(本文)p73	宇陀市	黒色土器or土師器に墨書,10数点出土
榛原町/県埋文連協1993		(本文)p73	宇陀市	
榛原町/県埋文連協1993		(本文)p73	宇陀市	
榛原町/県埋文連協1993		(本文)p73	宇陀市	
榑考研/県1985c	写真10	(写真)p445	宇陀市	
榑考研/県1989a	図99-3	(本文・表)p94,(図)93,図版49	宇陀市	蔵骨器
榑考研/県1991c	図7-4	(本文)p8,(図)p9	山添村	
榑考研/県2008b	図44-49	(本文)p49,(図)p46,図版7	山添村	
榑考研/県2008b	図51-20	(本文)p56,(図)p55,図版12	山添村	
榑考研/県2008b	図52-12	(本文)p58,(図)p57,図版13	山添村	
榑考研/県2008b	図52-17	(本文)p58,(図)p57,図版13	山添村	
榑考研/県2008b	図52-18	(本文)p58,(図)p57,図版13	山添村	
榑考研/県2008b	図55-4	(本文)p61,(図)p62,図版15	山添村	
榑考研/県2008b	図54-69	(本文・図)p60	山添村	
平群町・榑考研/町1987	No.9	(本文・図)p12	平群町	
平群町/県埋文連協1993	10	(本文)p81,(図)p80	平群町	
平群町/県埋文連協1993		(本文)p81	平群町	
平群町/2007	第10図-3	(本文)p13-14,(図)p14,図版10	平群町	初出県埋文連協2002/平城宮Ⅰ-Ⅱ期

NO.	釈文	遺跡名	出土遺構	器質	器種等	記銘部	種類	時期
9220	経□ 妙珍/□願快秀舜宗 藤女/□栄天文十二年(癸卯)六月上旬/檀那庄屋殿/土ノアリシコロヒ(カ(傍書))カクタ井作人/西宮ヨ太郎同西宮カキノイ/向井トノ下地ニコレアリ/土ノニカス千五百カ入ナリ	廃椿井寺		鳥衾		胴表	へら書	天文12(1543)
9221	(人物または仏像の右肩)	法隆寺	旧北面回廊地区SK20	平瓦		凸	へら描	飛鳥-中世
9222	大		SK3600	土師器	杯	外	墨書	奈良
9223	貞観八年七月十日請説□	法隆寺講堂東地区	SK13	埴		上(資財帳は下)	籠描	貞観8(866)
9224-9229	(文字瓦)	法隆寺境内225次		瓦			文字瓦	
9230	如法経堂瓦明應元年/勸進始明應三年/成就スルナリ	法隆寺226次	SK15	丸瓦			籠書	明応年間
9231	(文字カ)	法隆寺旧境内2003-2次	SK105上層	平瓦		凸	刻書	飛鳥前
9232	鶴寺	史跡法隆寺旧境内・斑鳩宮跡	基本層序Ⅲ層(グリッドG1)	須恵器	杯B	底外	墨書	平城宮V
9233	□[×カ]/真	法隆寺	SK21	土師器	杯	底外	墨書	平安
9234	(墨画)(人の顔)		SK2134	須恵器	杯A	底外	墨書	
9235	〈底部内〉聖 〈底部外〉(墨画)(松の木のある山水)	法隆寺五重塔内		土師器	皿	底内外	墨書	11-12c
9236	卍	法隆寺	SK1021	土師器	杯C I	口縁内	針書	飛鳥II
9237	上宮院/天文二年癸巳十一月日/堂司永舜大法師	法隆寺宝蔵殿門前	包含層	瓦質土器	灯火器	底外	記銘	室町
9238	法隆寺/中東□[経カ]院持仏堂/享祿三庚刀三月日永舜作之	法隆寺東院伝法堂		瓦質土器	三足皿	底外	記銘	室町
9239	(墨画)(僧にみえる人面)	法隆寺	寺保管品	土器		底外	墨書	11c
9240	□/今夜/□[行カ]		寺保管品	土器		底外	墨書	11c
9241	(判読不能)		寺保管品	土器		口縁内外	墨書	14-15c
9242	〈底外〉(墨画)(人物像) 〈底内〉(墨画)(題材不明)		寺保管品	土器		底内外	墨書	14-15c
9243	(墨書カ)		寺保管品	瓦器	小椀		墨書カ	平安
9244	(梵字)		寺保管品	泥塔	宝塔形	塔身側1	—	平安-鎌倉
9245-9279	(梵字)		寺保管品	泥塔	宝塔形	塔身側1	—	平安-鎌倉
9280	(梵字)		寺保管品	泥塔	宝塔形	塔身側2	—	平安-鎌倉
9281	(梵字)		寺保管品	泥塔	宝塔形	塔身側2	—	平安-鎌倉
9282	(梵字)		寺保管品	泥塔	宝塔形	塔身側1	—	平安-鎌倉
9283-9312	(梵字)		寺保管品	泥塔	宝塔形	塔身側1	—	平安-鎌倉
9313	(梵字)		寺保管品	泥塔	宝塔形	塔身側1	—	平安-鎌倉
9314	(梵字)		寺保管品	泥塔	宝塔形	塔身側2	—	平安-鎌倉
9315	(梵字)		寺保管品	泥塔	宝塔形	塔身側2	—	平安-鎌倉
9316	(梵字)		寺保管品	泥塔	宝塔形	塔身側2	—	平安-鎌倉
9317	(梵字)		寺保管品	泥塔	宝塔形	塔身側2	—	平安-鎌倉
9318	(梵字)		寺保管品	泥塔	宝塔形	塔身側2	—	平安-鎌倉
9319-9320	(梵字)		寺保管品	泥塔	宝塔形	塔身側2	—	平安-鎌倉
9321-9328	(梵字)		寺保管品	泥塔	宝塔形	塔身側1	—	平安-鎌倉
9329-9337	(梵字)		寺保管品	泥塔	宝塔形	塔身側1	—	平安-鎌倉
9338-9342	(梵字)		寺保管品	泥塔	宝塔形	塔身側1	—	平安-鎌倉
9343	(梵字)		寺保管品	泥塔	宝塔形	塔身側1	—	平安-鎌倉
9344	(梵字)		寺保管品	泥塔	五輪塔形	塔身側4	—	平安-鎌倉
9345-9348	(梵字)		寺保管品	泥塔	五輪塔形	塔身側4	—	平安-鎌倉
9349	(梵字)		寺保管品	泥塔	舟形	塔身側1	—	平安-鎌倉
9350	(梵字)		寺保管品	泥塔	宝塔形	塔身側1	—	平安-鎌倉
9351	(梵字)		寺保管品	泥塔	宝塔形	塔身側1	—	平安-鎌倉
9352	(梵字)		寺保管品	泥塔	宝塔形	塔身側1	—	平安-鎌倉
9353	(梵字)		寺保管品	泥塔	宝塔形	塔身側1	—	平安-鎌倉
9354	(梵字)		寺保管品	泥塔	宝塔形	塔身側1	—	平安-鎌倉
9355	(梵字)		寺保管品	泥塔	宝塔形	塔身側1	—	平安-鎌倉
9356-9363	文永三年三月八日(叩き板)/文永三年三月八日/(以下同銘文)	法隆寺妻室・普門院本堂・不明		平瓦		凸	籠描	文永3(1266)
9364	ヲウエ二年七月六日(キトシ/キノトシ)(傍書)/ニシテラノタウノカワラ/百廿マイノウチ(狭端)(三日月㊤の刻印)	法隆寺東室		平瓦		凹	籠描・刻印	応永2(1395)
9365	〈凸面〉百五十マイノウチ/井ノトシ(段部)(三日月㊤の刻印)	法隆寺旧蓮光院表門		丸瓦	49	凸・段部	籠描・刻印	応永2(1395)
9366	ヲウエイ二年(井ノトシ)(傍書)/国重(花押㊤)	法隆寺	不明	平瓦	87	凹	籠描	応永2(1395)
9367	キトノ井ノト□[シカ]		不明	平瓦		凹	籠描	応永2(1395)
9368	平瓦万枚彦次郎(トシハチ/(花押㊤)))(傍書)/六月十八日/平瓦□		不明	平瓦		凹	籠描	応永2(1395)
9369	ヲウエ(二/二)年十一月廿六日(ヒトノウシノトシ)(傍書)/二百七十マイノウチ	法隆寺西円堂		雁振		凸	籠描	応永4(1397)
9370	ヲウエ(二/二)年六(ヒトノウシノトシ)□/瓦ツクルナリ 九□	法隆寺西室		丸瓦			籠描	応永4(1397)

調査主体/報告書	遺物番号	掲載頁	所在地	備考
/土井1956		(本文)p391	平群町	上端瓦当部欠
奈文研/1981e		(本文)p58	斑鳩町	
奈文研・樫考研/法隆寺1985		(本文)p105・180-182,(図版)PL.95	斑鳩町	「奈良時代のかかなり早い時期」
奈文研・樫考研/法隆寺1985	文字瓦(1),PL.89-6	(本文)p137,(図版)PL.89	斑鳩町	初出奈文研1981e(本文)p57,(図)p58第35図/釈文は初出に拠る/法隆寺資財帳1992銘文集成1,図版1294(p346-7)
奈文研/1992b		(表)p145	斑鳩町	計6点
奈文研/1992b		(本文)p151,(図)p151図84	斑鳩町	
樫考研/県2005e	図9-11	(本文)p347,(図)p348	斑鳩町	
樫考研/県2014b	図8-26	(本文)p70,(図)p71	斑鳩町	
/奈文研2002a	135	(本文)p7,(図版)ph.37,PL.11	斑鳩町	出土
/奈文研2002a	798	(本文)p7,(図版)ph.37,PL.11	斑鳩町	出土
/奈文研2002a	99	(本文)p7・8,(図版)ph.37,PL.11	斑鳩町	
/奈文研2002a	23	(本文)p3・4,(図版)ph.25,PL.3	斑鳩町	
/奈文研2002a	1083	(本文)p12・13,(図版)ph.57,PL.23	斑鳩町	
/奈文研2002a	1084	(本文)p13,(図版)ph.56,PL.23	斑鳩町	
/奈文研2002a	100	(本文)p7・8,(図版)ph.37,PL.11	斑鳩町	
/奈文研2002a	101	(本文)p7・8,(図版)ph.37,PL.11	斑鳩町	
/奈文研2002a	109	(本文)p7・8,(図版)ph.37,PL.11	斑鳩町	
/奈文研2002a	110	(本文)p7・8,(図版)ph.37,PL.11	斑鳩町	
/奈文研2002a	931	(本文)p9,(図版)ph.41	斑鳩町	
/奈文研2002a	866	(本文・表)p10,(図版)ph.42,PL.15	斑鳩町	
/奈文研2002a	867	(本文・表)p10,(図版)ph.42,PL.15	斑鳩町	同形のもの35点あり
/奈文研2002a	868	(本文・表)p10,(図版)ph.42,PL.15	斑鳩町	
/奈文研2002a	869	(本文・表)p10,(図版)ph.43,PL.15	斑鳩町	
/奈文研2002a	870	(本文・表)p10,(図版)ph.42,PL.15	斑鳩町	
/奈文研2002a	871	(本文・表)p10,(図版)ph.42,PL.15	斑鳩町	同形のもの30点あり
/奈文研2002a	873	(本文・表)p10,(図版)ph.43,PL.15	斑鳩町	
/奈文研2002a	874	(本文・表)p10,(図版)ph.43,PL.15	斑鳩町	
/奈文研2002a	875	(本文・表)p10,(図版)ph.42,PL.15	斑鳩町	
/奈文研2002a	876	(本文・表)p10,(図版)ph.43,PL.15	斑鳩町	
/奈文研2002a	877	(本文・表)p10,(図版)ph.43,PL.15	斑鳩町	
/奈文研2002a	881	(本文・表)p10,(図版)ph.43,PL.15	斑鳩町	
/奈文研2002a	882	(本文・表)p10,(図版)ph.43,PL.15	斑鳩町	同形のもの2点あり
/奈文研2002a	884	(本文・表)p10,(図版)ph.44,PL.15	斑鳩町	同形のもの8点あり
/奈文研2002a	885	(本文・表)p10,(図版)ph.44,PL.15	斑鳩町	同形のもの9点あり
/奈文研2002a	886	(本文・表)p10,(図版)ph.44,PL.15	斑鳩町	同形のもの5点あり
/奈文研2002a	887	(本文・表)p10,(図版)ph.44,PL.15	斑鳩町	
/奈文研2002a	888	(本文・表)p10,(図版)ph.44,PL.15	斑鳩町	
/奈文研2002a	889	(本文・表)p10,(図版)ph.44	斑鳩町	888・889と同形のもの5点あり
/奈文研2002a	890	(本文・表)p10,(図版)ph.44,PL.15	斑鳩町	
/奈文研2002a	892	(本文・表)p10	斑鳩町	
/奈文研2002a	893	(本文・表)p10	斑鳩町	
/奈文研2002a	894	(本文・表)p10,(図版)ph.42	斑鳩町	
/奈文研2002a	895	(本文・表)p10,(図版)ph.42	斑鳩町	
/奈文研2002a	896	(本文・表)p10,(図版)ph.43	斑鳩町	
/奈文研2002a	897	(本文・表)p10,(図版)ph.43	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成2-9,図版834	(表)p455,(図版)p244・245	斑鳩町	計8点,奈文研1972(表)No.1/初出奈良県1963/奈良県1976c
/法隆寺資財帳1992	銘文集成10	(表)p455	斑鳩町	奈文研1972(表)No.2/初出奈良県1961a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成11,図版732	(表)p455,(図版)p224・225	斑鳩町	奈良県1976c
/法隆寺資財帳1992	銘文集成12,図版848	(表)p455,(図版)p248・249	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成13	(表)p455	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成14	(表)p455	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成15,図版1212	(表)p455,(図版)p326・327	斑鳩町	奈文研1972(表)No.5/初出高田1935/法隆寺1938/土井1956-p210
/法隆寺資財帳1992	銘文集成16	(表)p455	斑鳩町	奈文研1972(表)No.4/初出高田1935

NO.	釈文	遺跡名	出土遺構	器質	器種等	記銘部	種類	時期
9371	ヲウエ(イ)/六年四月(ツチノノ/ウトシ)(傍書)/十一月/瓦大工 国重(花押㊸)	法隆寺東院礼堂		平瓦	89	凹	籠描	応永6(1399)
9372	ヲウエイ八年五月卅日平瓦/西イラ[カカ]クワイラウノカワラナリ/ヒコ次郎トシ二十四ノトシツクリタリ	法隆寺西院廻廊		平瓦	90	凹	籠描	応永8(1401)
9373	〈正面左〉タチハナノ国重(花押) 〈正面右〉五十二ノトシ□/寿王(国重◎の花押) 〈左側面〉ヲウエイ十一年(キノエ/サルノトシ)四月八日	法隆寺五重塔(三重東南隅)		鬼瓦	31C	左側・正左右	籠描	応永11(1404)
9374	〈左側面〉ヲウエイ十一年(キノエ/サルノトシ)四月 〈正面右〉タチハナノ 〈正面左〉(国重◎の花押)/国重(正面額裏)ケシ	法隆寺五重塔(三重東北隅)		鬼瓦	31D	左側・正左右・正額裏	籠描	応永11(1404)
9375	ヲウエイ十一年(キノエ/サルノトシ)四月八日	法隆寺五重塔(三重西北隅)		鬼瓦	31A	左側	籠描	応永11(1404)
9376	ヲウエイ十一年四月八日	法隆寺五重塔(四重東北隅)		鬼瓦	31B	左側	籠描	応永11(1404)
9377	ホリウシノカウタウノサシ瓦/ヲウエイ十二子ン六月九日/瓦大工ヒコ次郎トシ廿八ニナル	法隆寺大講堂		丸瓦		凸	籠描	応永12(1405)
9378	〈右側面〉瓦大工彦次郎 〈左側面〉ヲウエイ十二子ン(キノトノ/トリノトシ)五月廿五日	法隆寺大講堂(南西隅降棟)		鬼瓦	34系	左側・右側	籠描	応永12(1405)
9379	〈正面〉瓦大工ヒコ次郎 〈右側面〉コトシワ三郎大夫殿フクノハテナリ/大工トシワコトキワ廿八ニナルナリ	法隆寺大講堂(北西隅降棟)		鬼瓦	34D	正・右側	籠描	応永12(1405)
9380	カウタウノサシカワラ/ヲウエイ十二子ン五月日/瓦大工ヒコ次郎	法隆寺東大門		丸瓦			籠描	応永12(1405)
9381	カウタウノサシ瓦ナリ/瓦大工彦次郎トシ廿八ニナルナリ			丸瓦			籠描	応永12(1405)
9382	カウタウノシユリノ/瓦大工ヒコ次郎トシ/廿八ニマカリナル	法隆寺	不明	平瓦	86	凹	籠描	応永12(1405)
9383	〈正面右〉コレツクリタルトシワ大工廿九ノトシ/〈正面左〉タチバナノ吉重/瓦大工彦次郎ナリワ	法隆寺大講堂(大棟西)		鬼瓦	34A	正左右	籠描	応永13(1406)
9384	ナヲカエテ寿王三郎ニナル	法隆寺大講堂(大棟)		鬼瓦	34B	正右	籠描	応永13(1406)
9385	ヲウエイ十三子ン卯月十四日/シャウリヤウエノマル瓦/大工ヒコ次郎トシワ廿九ニマカリナル	法隆寺聖霊院		丸瓦	49	凸	籠描	応永13(1406)
9386	(ヘラ記号「×」)/シャウラウエノハラフキノ瓦/ヒラ四千マル二千三百/アフミ二百十枚/ノキ二百三十枚/フスマ百八十枚/アナアケノマル百枚/ヲウエイ十三子ン五月十八日/ヒノエイヌトシ/瓦大工ヒコ次郎トシ廿九			丸瓦		凸	籠描	応永13(1406)
9387	(ヘラ記号「×」)/瓦カス合六千六百八十枚/瓦タンナンワキンカウエノハウス/ハシノハウノハウス二人/瓦大工ヒコ次郎(コトシナヲ/カエテ)/寿王三郎トナルトシワ廿九			丸瓦	49		籠描	応永13(1406)
9388	〈正面右下〉吉重 〈右側面〉瓦大工ヒコ次郎トシ廿九ニマカリナル 〈左側面〉吉重トシワ廿九コトシ/三郎トノアリ大子ニアタル			鬼瓦	35系	正右下・左右側	籠描	応永13(1406)
9389	〈正面左下〉吉重 〈右側面〉瓦大工ヒコ次郎コトシナヲカエテ/スワウ三郎ニナル/ヲウエイ十三子ノ四月十五日			鬼瓦	35系	正左下・右側	籠描	応永13(1406)
9390	〈右側面〉瓦大工ヒコ次郎トシ廿九/ヲウエイ十三子ン四月十五日 〈左側面〉ヲウエイ十三子ン四月十九日(ヒノエ/イヌトシ)(傍書)			鬼瓦	35	左右側	籠描	応永13(1406)
9391	〈正面左下〉吉重 〈右側面〉瓦大工ヒコ次郎コトシナヲカエテ/寿王三郎トナルツクナリ 〈左側面〉ナノリワ吉重/瓦大工ヒコ次郎トシ廿九			鬼瓦	35	正左下・左右側	籠描	応永13(1406)
9392	ヲウエイ十三子ン五月廿一日(ヒノエ/イヌトシ)/倉瓦百八十枚瓦大工彦次郎/ナヲカエテ/寿王三郎トナル(吉重◎の花押)/トシワ廿九ニナル			雁振	6	凸	籠描	応永13(1406)
9393	ヲウエイ十三子ン五月廿一日(ヒノエ/イヌトシ)(傍書)/倉瓦百八十枚瓦大工吉重(ヒコ次郎ナヲカエテ)(傍書)/寿王三郎トシワ廿九			雁振	5	凸	籠描	応永13(1406)
9394	〈正面右〉瓦大工寿王三郎 〈正面左〉瓦大工彦次郎 〈裏面中央〉瓦大工ヒコ次郎トシ三十三 〈裏面右〉ヲウエイ十七子八月廿一日(カノエ/トラトシ)(傍書) 〈裏面左〉八月一日ノヲウカセトキフキヲトシタル/カワラナリ	法隆寺西院回廊(東北隅降棟)		鬼瓦	37	正左右・裏中央・裏右・裏左	籠描	応永17(1410)
9395	シャウラウエタウノウウフキノ瓦ハシメノツクリワキンカウエノ/ハウスノアソハス又フキノキワ/十石ソウノアソハスソトキノフキヤウウサウサキンノハウスミロクインノハウスタチハナノハウス/トウサンキンノハウス/ナカセウチトノアカイノ/ケン子ンハウ合六人フキヤウ ヲウエイ廿三子ン八月十日瓦大工ヒコ次郎	法隆寺聖護院(奈文研1972ほかは聖霊院)		丸瓦		凸	籠描	応永23(1416)
9396	八月十四日ノヒ/十石ソウノケンスイ/アリコレワケタミノ/ケンスイナリ/ヲウエイ廿三子八月十四日/大工寿王三郎	法隆寺聖霊院		丸瓦		凸	籠描	応永23(1416)
9397	瓦大工タチハナウチノ/吉重寿王三郎/シャウラウエタウノウウフキノ瓦ハキマノ内/ヲウエイ廿三子ン八月十四日/キノトノルサ(ママ)			丸瓦		凸	籠描	応永23(1416)

調査主体/報告書	遺物番号	掲載頁	所在地	備考
/法隆寺資財帳1992	銘文集成17,図版850	(表)p455,(図版)p248	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成18,図版851	(表)p455,(図版)p248	斑鳩町	奈良県1983c
/法隆寺資財帳1992	銘文集成19,図版1021	(表)p455,(図版)p284・286	斑鳩町	奈文研1972(表)No.6/初出法隆寺1955b
/法隆寺資財帳1992	銘文集成20,図版1022	(表)p455・456,(図版)p284・286	斑鳩町	奈文研1972(表)No.7/初出法隆寺1955b
/法隆寺資財帳1992	銘文集成21,図版1019	(表)p456,(図版)p284・286	斑鳩町	奈文研1972(表)No.8/初出法隆寺1955b
/法隆寺資財帳1992	銘文集成22,図版1020	(表)p456,(図版)p286	斑鳩町	奈文研1972(表)No.9/初出法隆寺1955b
/法隆寺資財帳1992	銘文集成23	(表)p456	斑鳩町	奈文研1972(表)No.12/初出法隆寺1941
/法隆寺資財帳1992	銘文集成24	(表)p456	斑鳩町	奈文研1972(表)No.13/初出高田1935/天沼1937/法隆寺1941
/法隆寺資財帳1992	銘文集成25,図版1028	(表)p456,(図版)p284・286	斑鳩町	奈文研1972(表)No.14orNo.15/初出高田1935/法隆寺1941
/法隆寺資財帳1992	銘文集成26	(表)p456	斑鳩町	奈文研1972(表)No.10/初出高田1935/法隆寺1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成27	(表)p456	斑鳩町	奈文研1972(表)No.11/高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成28,図版847	(表)p456,(図版)p247	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成29,図版1025	(表)p456,(図版)p287	斑鳩町	奈文研1972(表)No.16/初出法隆寺1941
/法隆寺資財帳1992	銘文集成30,図版1026	(表)p456,(図版)p287	斑鳩町	奈文研1972(表)No.274/初出法隆寺1941
/法隆寺資財帳1992	銘文集成31,図版732	(表)p456,(図版)p224・225	斑鳩町	奈文研1972(表)No.17/初出法隆寺1955a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成32	(表)p457	斑鳩町	奈文研1972(表)No.18/初出高田1935/法隆寺1955a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成33,図版732	(表)p457,(図版)p224・225	斑鳩町	奈文研1972(表)No.19/初出高田1935/法隆寺1955a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成34	(表)p457	斑鳩町	奈文研1972(表)No.20/初出法隆寺1955a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成35	(表)p457	斑鳩町	奈文研1972(表)No.21/初出法隆寺1955a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成36	(表)p457	斑鳩町	奈文研1972(表)No.22/法隆寺1955a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成37,図版1029	(表)p457,(図版)p288	斑鳩町	奈文研1972(表)No.23/法隆寺1955a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成38,図版1214	(表)p457,(図版)p326・327	斑鳩町	奈文研1972(表)No.24/高田1935/法隆寺1955a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成39,図版1213	(表)p457・458,(図版)p326・327	斑鳩町	奈文研1972(表)No.25/法隆寺1955a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成40,図版1231	(表)p458,(図版)p334	斑鳩町	奈文研1972(表)No.26/初出高田1935/天沼1937/奈良県1974c/奈良県1983c
/法隆寺資財帳1992	銘文集成41	(表)p458	斑鳩町	奈文研1972(表)No.27/初出高田1935/法隆寺1955a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成42	(表)p458	斑鳩町	奈文研1972(表)No.28/初出高田1935/法隆寺1955a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成43	(表)p458	斑鳩町	奈文研1972(表)No.29/初出高田1935/法隆寺1955a

NO.	釈文	遺跡名	出土遺構	器質	器種等	記銘部	種類	時期
9398	シヤウラウエタウノウワフキノ/瓦ノタノハシメノ トリタテワ/キンカウエノヲウハウスノハウフキヲ /エアスハサテヲカクレナリテ/ソノハチフキヲ八 十石(ソ)ウノアソハス/フキヤウサウサインタチ ハナノハウ/ミロクイナカセウチトノトウサウキ ン/アカイ□□□[ノケンカ]子シハウ六人/□ [瓦]大工吉重ヒコ次郎/□[ト]シ三十九ノトシ ウワフキナル□ □クタノコトシ	法隆寺聖霊院		丸瓦		凸	籠描	応永23(1416)
9399	〈裏面中央〉瓦大工寿王三郎 〈裏面左〉トシ三 十九ノトシ/ヲウエイ廿三ネン八月十一日(キノ トノサルトシ)(傍書)大工吉重	法隆寺聖霊院(大棟南端)		鬼瓦	36系	裏中央・ 裏左	籠描	応永23(1416)
9400	瓦大工寿王三郎/大工吉重トシ三十□/ヲウエイ 廿三子三ノ八月十一日(ヒノエ/サルトシ)(傍 書)	法隆寺聖霊院(大棟北端)		鬼瓦	36系	裏中央	籠描	応永23(1416)
9401	良粥大法師/广永卅子(甲/辰)神無月十八日/ 銭カホシクテ	法隆寺大講堂		丸瓦		凸	籠描	応永30(1423)
9402	永享二年(庚/戌)十一月 日□ □/奉行□□ [寛清カ]/□□/大工 ユウア□[ミカ]	法隆寺妻室		隅木蓋 瓦	13	凸	籠描	永享2(1430)
9403	永享二年十月日	法隆寺綱封蔵		丸瓦			籠描	永享2(1430)
9404 -9406	永享二年十月 日/瓦大工ユウアミ			丸瓦			籠描	永享2(1430)
9407	永享二年 十月十二日/瓦大工 ユウアミ			丸瓦	50	凸・段部	籠描	永享2(1430)
9408	永享二年十一月一日/瓦大工□[ユカ]ウアミ			丸瓦		凸	籠描	永享2(1430)
9409	〈凸面〉□ □(抹消)/□ □(抹消)/永享貳 年十月日 (段部)(扇の刻印)			丸瓦		凸・段部	籠描・ 刻印	永享2(1430)
9410	永享二年十月廿一日百五十□/キル			平瓦			籠描	永享2(1430)
9411 ・9412	永享二年十月			平瓦			籠描	永享2(1430)
9413	永享貳年十月/ユウアミ			平瓦	91	凹	籠描	永享2(1430)
9414	〈左側面〉永享二年十月十一日ユウアミ 〈裏 面〉吉重	法隆寺綱封蔵(東南隅二)		鬼瓦	39	左側・裏	籠描	永享2(1430)
9415	〈正面左〉永享二年イヌトシ 〈右側面〉瓦大工 寿王三郎ユウアミ	法隆寺綱封蔵(西南隅二)		鬼瓦	39系	正左・右側	籠描	永享2(1430)
9416	十一月 (抜粋)	法隆寺西院回廊		丸瓦			籠描	永享2(1430)
9417	永享二年十一月 日	法隆寺	不明	丸瓦		凸	籠描	永享2(1430)
9418	奉行(寛清/弁□[祐カ])/大工ノナリヨ□□ [シノカ]ケナリ/永享二年十一月十一日瓦大工 ユウアミタフシヤ子ツツモリテ五十三		不明	鳥衾	89F	凸	籠描	永享2(1430)
9419	大工ユウアミ	法隆寺綱封蔵(東南隅一)		鬼瓦		右側	へらがき	永享2(1430)
9420	永享八年閏五月一日	法隆寺聖霊院		平瓦		凹	籠描	永享8(1436)
9421	永享八年□□□			平瓦		凹	籠描	永享8(1436)
9422	永享八年	法隆寺西院回廊		丸瓦		凹	籠描	永享8(1436)
9423	コクイワコミヲスコスナリ/永享(今欠失)八年六 月廿三日/瓦大工ユウアミ	法隆寺南大門		丸瓦			籠描	永享8(1436)
9424	永享八年七月五日			丸瓦			籠描	永享8(1436)
9425 ・9426	永享八年七月十二日			丸瓦			籠描	永享8(1436)
9427	永享八年七月十三日/瓦大工			丸瓦			籠描	永享8(1436)
9428	永享八年六月六日ハシマル/ヲナシキ九月四 日マテ土ウツナリ/又コトキノシテノ人ワ大工 ソウ五郎/サイモン五郎殿又三郎サフ郎太郎/ 寿王次郎春王丸以上八人□[人カ]□/永享八 年九月五日 瓦大工/南大門ノ瓦ナリ			丸瓦		凸	籠描	永享8(1436)
9429	永享八年/閏五月十三日/ユウアミ			平瓦			籠描	永享8(1436)
9430	南大門瓦以上合一万/五千枚スヘシ/永享八 年六月/六日ヨリハシマル			平瓦			籠描	永享8(1436)
9431	まこ次郎/南大門ノ瓦/永享八年七月九日/瓦 大工			平瓦			籠描	永享8(1436)
9432	大工吉重/永享八年八月十日/瓦大工ユウアミ /トシ五十九			平瓦			籠描	永享8(1436)
9433	永享八年八月日			平瓦			籠描	永享8(1436)
9434	南大門のあふミ瓦/永享八年六月六日より/ハ シマル七月五日の日記瓦大工			軒丸瓦			籠描	永享8(1436)
9435	永享八年七月五日/南大門乃あふミ瓦日記			軒丸瓦	89B	凸	籠描	永享8(1436)
9436	永享八年七月八日			軒丸瓦	89B	凸	籠描	永享8(1436)
9437	南大門ノのき瓦/二百七十枚ノ内/永享八年六 月廿八日/瓦大工寿王三郎			軒平瓦			籠描	永享8(1436)
9438	永享八年(丙/辰)七月六日瓦大工			軒平瓦			籠描	永享8(1436)
9439	永享八年八月五日大工ユウアミ			鬼瓦	44	左側	籠描	永享8(1436)
9440	永享八年八月瓦大工ユウアミ			鬼瓦			籠描	永享8(1436)
9441	大工ユウアミトシ五十九			鬼瓦	42系	右側	籠描	永享8(1436)
9442	〈右側面〉トシ五十九/カイミヤユウアミタフ 〈左 側面〉瓦大工寿王三郎大夫			鬼瓦		左右側	籠描	永享8(1436)
9443	〈右側面〉大工五十九カイミヤユウアミ 〈左側 面〉永享八年八月瓦大工ユウアミ			鬼瓦	42A	左右側	籠描	永享8(1436)
9444	永享八年六月六日ヨリ/南大門ノ瓦ツクルナリ/ 永享八年(丙/辰)七月六日			鳥衾			籠描	永享8(1436)
9445	永享八年八月一日			雁振			籠描	永享8(1436)
9446	永享八年(丙/辰)閏五月/作之/法隆寺 指瓦 用	法隆寺西院大垣		平瓦		凹	籠描	永享8(1436)
9447	永享八年七月廿三日			軒丸瓦	89B	瓦当側	籠描	永享8(1436)

調査主体/報告書	遺物番号	掲載頁	所在地	備考
/法隆寺資財帳1992	銘文集成44	(表)p458・459	斑鳩町	奈文研1972(表)No.30/初出高田1935/法隆寺1955a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成45	(表)p459	斑鳩町	奈文研1972(表)No.31/初出法隆寺1955a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成46,図版1030	(表)p459,(図版)p288	斑鳩町	奈文研1972(表)No.32/初出法隆寺1955a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成47	(表)p459	斑鳩町	奈文研1972(表)No.33/初出法隆寺1941
/法隆寺資財帳1992	銘文集成48,図版962	(表)p459,(図版)p268・270	斑鳩町	奈文研1972(表)No.34/初出奈良県1963
/法隆寺資財帳1992	銘文集成49	(表)p459	斑鳩町	奈文研1972(表)No.35/初出奈良県1966a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成50-52	(表)p459	斑鳩町	面戸瓦に転用か/奈文研1972(表)No.36,同種のもの他に2点/初出奈良県1966a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成53,図版733	(表)p459,(図版)p225	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成54	(表)p459	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成55	(表)p459	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成56	(表)p459	斑鳩町	奈文研1972(表)No.37/初出奈良県1966a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成57-58	(表)p459	斑鳩町	奈文研1972(表)No.38,同種のもの他に1点/初出奈良県1966a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成59,図版852	(表)p459,(図版)p249	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成61,図版1033	(表)p459,(図版)p288	斑鳩町	奈文研1972(表)No.41/初出奈良県1966a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成62	(表)p460	斑鳩町	奈文研1972(表)No.39/初出奈良県1966a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成63	(表)p460	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成64	(表)p460	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成65,図版1179	(表)p460,(図版)p316	斑鳩町	
/奈文研1972	(表)No.40		斑鳩町	初出県1966a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成66	(表)p460	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成67	(表)p460	斑鳩町	奈文研1972(表)No.47/初出法隆寺1955a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成68	(表)p460	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成69	(表)p460	斑鳩町	奈文研1972(表)No.51/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成70	(表)p460	斑鳩町	奈文研1972(表)No.52/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成71-72	(表)p460	斑鳩町	奈文研1972(表)No.53,同文の例他に1点あり/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成73	(表)p460	斑鳩町	奈文研1972(表)No.54/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成74	(表)p460	斑鳩町	奈文研1972(表)No.55/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成75	(表)p460	斑鳩町	奈文研1972(表)No.57/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成76	(表)p460・461	斑鳩町	奈文研1972(表)No.60/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成77	(表)p461	斑鳩町	奈文研1972(表)No.66/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成78	(表)p461	斑鳩町	奈文研1972(表)No.59/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成79	(表)p461	斑鳩町	奈文研1972(表)No.56/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成80	(表)p461	斑鳩町	奈文研1972(表)No.48/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成81,図版151	(表)p461,(図版)p80・82・83	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成82,図版151	(表)p461,(図版)p80・82・83	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成83	(表)p461	斑鳩町	奈文研1972(表)No.50/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成84	(表)p461	斑鳩町	奈文研1972(表)No.49/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成85,図版1039	(表)p461,(図版)p288	斑鳩町	奈文研1972(表)No.63/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成86	(表)p461	斑鳩町	奈文研1972(表)No.61/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成87	(表)p461	斑鳩町	奈文研1972(表)No.62/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成88	(表)p461	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成89,図版1036	(表)p461,(図版)p288	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成90	(表)p461	斑鳩町	奈文研1972(表)No.64/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成91	(表)p461	斑鳩町	奈文研1972(表)No.65/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成92	(表)p461	斑鳩町	奈良県1980c
/法隆寺資財帳1992	銘文集成93	(表)p462	斑鳩町	奈良県1980c

NO.	釈文	遺跡名	出土遺構	器質	器種等	記銘部	種類	時期
9448	永享八年十月十日瓦大工ユウアミ	法隆寺伝法堂(大棟東)		鬼瓦		正左	籠描	永享8(1436)
9449	〈右側面〉永享八年八月五日瓦大工吉重トシ五十九 〓 〈左側面〉永享八年八月日ユウアミトシ五十九 〓 〈裏面〉大工吉(花押)	法隆寺東院礼堂		鬼瓦	46系	左側・右側・裏	籠描	永享8(1436)
9450	永享八年〈丙/辰〉閏五月二十四日春観房善重法師/出仕留之志趣者六年当行スキシテウラナシ/ハクアイヲ下臈分ヨリ留之處ニ一臈處ニワヒニ/クルトテウラナシハクアイ同二十六日ニサイ/クフスル物也下臈分ノ沙汰也	法隆寺東院南門		平瓦	97	凹	籠描	永享8(1436)
9451	永享八年閏五月十六日/瓦大工〓 (抹消)	法隆寺東院回廊		丸瓦		凸	籠描	永享8(1436)
9452	コノシコトノシワスイ/フンノヒテリナリ/セハウノアマコイツヨク/アリナヲク スイフンノヒテリナリ/永享八年閏五月九日/瓦大工 ユウアミ			平瓦		凹	籠描	永享8(1436)
9453	永享八年七月日	法隆寺	不明	平瓦			籠描	永享8(1436)
9454	〓〔永〕享八年七月八日		不明	軒丸瓦	89B	凸	籠描	永享8(1436)
9455	七月八日(抜粋)		不明	軒平瓦			籠描	永享9(1437)
9456	〈凸面〉永享九年十二月日 〓 (狭端) (扇〓の刻印)	法隆寺大講堂		丸瓦	51・52	凹・狭端	籠描・刻印	永享9(1437)
9457	法隆寺東寺ノ瓦かずい上合九千枚ノ内/永享九年十一月十三日瓦大工/あしかたミさひはうすや円瓦(段部) (扇〓の刻印)	法隆寺絵殿・舍利殿		丸瓦		凸・段部	籠描・刻印	永享9(1437)
9458	〈凸面〉永享九年 〓 (段部) (扇〓の刻印)			丸瓦		凸・段部	籠描・刻印	永享9(1437)
9459	永享九年十二月 日			丸瓦		凸	籠描	永享9(1437)
9460	永享九年十二月 日			丸瓦		凸	籠描	永享9(1437)
9461	〈凹面〉永享九年十一月 〓 (狭端) (扇〓の刻印)			平瓦		凹・狭端	籠描・刻印	永享9(1437)
9462	永享九年十二月八日			平瓦		凹	籠描	永享9(1437)
9463	〈凹面〉永享九年十二月八日/左衛門大夫 〓 (狭端) (扇〓の刻印)			平瓦		凹・狭端	籠描・刻印	永享9(1437)
9464	永享九年十二月			平瓦		凹	籠描	永享9(1437)
9465	〈正面右〉東 〓 (裏面中央)瓦大工〓〔ユウカ〕アミ/永享九年十二月五日トシ〓〔六十〕ナリ	法隆寺絵殿・舍利殿(大棟東)		鬼瓦		正右・裏中央	籠描	永享9(1437)
9466	〈正面左〉西 〓 (裏面中央)瓦大工寿王ユウアミ〔ミカ〕/永享九年十二月五日トシ六ナリ/東	法隆寺絵殿・舍利殿(大棟西)		鬼瓦		正左・裏中央	籠描	永享9(1437)
9467	〈正面右〉大工トシ六十ノキ/ツクル 〓 (正面左)西/大工寿王大夫 〓 (左側面)永享九年十二月十八日 〓 (裏面中央)大工ユウアミ 〓 (裏面右)トシ六十ノキ/ツクル	法隆寺絵殿・舍利殿		鬼瓦	43	正左右・右側・裏中央・裏右	籠描	永享9(1437)
9468	〈正面右〉大工ユウアミ/永享九年十二月十六日 〓 (正面左)タンナノコノミニヨリテ/ソカウニツクルナリ 〓 (右側面)永享九年十二月十六日			鬼瓦	43系	正左右	籠描	永享9(1437)
9469	〈正面左〉東/大工ユウアミトシ六十 〓 (右側面)永享九年十二月十八日			鬼瓦		正左・右側	籠描	永享9(1437)
9470	永享九年十二月十六日			鬼瓦	43系	右側	籠描	永享9(1437)
9471	〈正面右〉大工ユウアミトシ六十 〓 (左側面)永享九年十二月十八日 〓 (裏面中央)トシ六十ナリ/大工ユウアミ			鬼瓦		正右・左側・裏中央	籠描	永享9(1437)
9472	〈正面右〉西/大工寿王大夫 〓 (正面左)大工トシ六十ノキ/ツクル 〓 (右側面)永享九年十二月十八日 〓 (裏面中央)大工ユウアミ/トシ六十ノキ/ツクル			鬼瓦		右側・正左右・裏中央右	籠描	永享9(1437)
9473	〈凸面〉永享(今欠)九年十二月一日 〓 (段部) (扇〓の刻印)			雁振	7	凸・段部 段部	籠描・刻印	永享9(1437)
9474	〈凹面〉永享九年十二月八日/左衛門大夫 〓 (狭端) (扇〓の刻印)	法隆寺	不明	平瓦		凹・狭端	籠描・刻印	永享9(1437)
9475	南門ノ瓦/コノ土ワシテタウノマエノ土ナリ/戊午七月四日/瓦大工寿王三郎	法隆寺妻室		平瓦		凹	籠描	永享10(1438)
9476	瓦大工ユウアミ寿王三郎/トシ六十一/大工吉重/永享十年ツチノエムマトシ七月十一日	法隆寺南大門		丸瓦			籠描	永享10(1438)
9477	永享十年八月/十一日/ツチノエムマトシ			丸瓦			籠描	永享10(1438)
9478	永享十年(戊/午)八月十一日/瓦大工ユウアミ年六十一			丸瓦		凸	籠描	永享10(1438)
9479	法隆寺 永享十年八月十二日			丸瓦			籠描	永享10(1438)
9480	南大門ノ瓦/大工ユウアミトシ六十一			丸瓦			籠描	永享10(1438)
9481	ナンタイモンノ瓦ツクリタル人ノカス事/大工ユウアミ十ワウコ次郎/ソウ五郎又三郎三郎太郎/サイモ五郎ヒコ三郎次郎/ツクリノシウフンインレア アラキ/九人/永享十年八月日(ツチノエムマトシ)(傍書)			平瓦			籠描	永享10(1438)
9482	南大門ノ瓦ナリ/永享十年六月廿九日			平瓦			籠描	永享10(1438)
9483	法隆寺南門ノ瓦ヲイツクリ/四千八百枚ノ内ハコイ〓〔タヒ〕ラ/永享十年(戊/午)七月十日/寿王			平瓦			籠描	永享10(1438)
9484	瓦大工ユウアミ/十ワウサクナリ/永享十年七月廿九日			平瓦			籠描	永享10(1438)
9485	ナタイモノヲイツクリノ瓦/合四千八百枚ノ内/永享十年六月廿三日ヨリハシマル/瓦大工ユウアミ/トシ六十一ナリ			軒丸瓦		凸	籠描	永享10(1438)

調査主体/報告書	遺物番号	掲載頁	所在地	備考
/法隆寺資財帳1992	銘文集成94	(表)p462	斑鳩町	奈文研1972(表)No.44/初出法隆寺1943a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成95	(表)p462	斑鳩町	奈文研1972(表)No.42/初出高田1935/法隆寺1937
/法隆寺資財帳1992	銘文集成96,図版858	(表)p462,(図版)p250・251	斑鳩町	奈文研1972(表)No.43/初出法隆寺1942
/法隆寺資財帳1992	銘文集成97	(表)p462	斑鳩町	奈文研1972(表)No.45/初出法隆寺1943b
/法隆寺資財帳1992	銘文集成98,図版858	(表)p462,(図版)p251・252	斑鳩町	奈文研1972(表)No.46/初出法隆寺1943b
/法隆寺資財帳1992	銘文集成99	(表)p462	斑鳩町	奈文研1972(表)No.58/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成100	(表)p462	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成101	(表)p462	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成102,図版735・734	(表)p462,(図版)p224・225	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成103	(表)p462	斑鳩町	奈文研1972(表)No.67/初出法隆寺1943a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成104	(表)p462	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成105・106	(表)p463	斑鳩町	奈文研1972(表)No.68, 同文の例他に1点あり/初出法隆寺1943a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成107	(表)p463	斑鳩町	奈文研1972(表)No.69/初出法隆寺1943a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成108	(表)p463	斑鳩町	奈文研1972(表)No.70/初出法隆寺1943a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成109	(表)p463	斑鳩町	奈文研1972(表)No.71/初出法隆寺1943a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成110	(表)p463	斑鳩町	奈文研1972(表)No.72/初出法隆寺1943a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成111	(表)p463	斑鳩町	奈文研1972(表)No.73/初出法隆寺1943a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成112	(表)p463	斑鳩町	奈文研1972(表)No.74/初出法隆寺1943a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成113,図版1038	(表)p463,(図版)p288	斑鳩町	奈文研1972(表)No.76/初出法隆寺1943a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成114	(表)p463・464	斑鳩町	奈文研1972(表)No.79/初出高田1935/天沼1937/(右側面)は法隆寺資財帳のみ
/法隆寺資財帳1992	銘文集成115	(表)p464	斑鳩町	奈良県1976c
/法隆寺資財帳1992	銘文集成116	(表)p464	斑鳩町	奈文研1972(表)No.78/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成117	(表)p464	斑鳩町	奈文研1972(表)No.75/初出法隆寺1943a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成118	(表)p464	斑鳩町	奈文研1972(表)No.80/初出高田1935/天沼1937,側面・裏面なし/法隆寺1943a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成119	(表)p464	斑鳩町	奈文研1972(表)No.77/初出法隆寺1943a,「同文2コ」
/法隆寺資財帳1992	銘文集成120	(表)p464	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成121	(表)p464	斑鳩町	奈良県1963
/法隆寺資財帳1992	銘文集成122	(表)p464	斑鳩町	奈文研1972(表)No.84/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成123	(表)p464	斑鳩町	奈文研1972(表)No.85/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成124	(表)p465	斑鳩町	奈文研1972(表)No.86/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成125	(表)p465	斑鳩町	奈文研1972(表)No.87/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成126	(表)p465	斑鳩町	奈文研1972(表)No.88/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成127	(表)p465	斑鳩町	奈文研1972(表)No.92/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成128	(表)p465	斑鳩町	奈文研1972(表)No.89/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成129	(表)p465	斑鳩町	奈文研1972(表)No.90/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成130	(表)p465	斑鳩町	奈文研1972(表)No.91/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成131	(表)p465	斑鳩町	奈文研1972(表)No.81/初出高田1935/天沼1937

NO.	釈文	遺跡名	出土遺構	器質	器種等	記銘部	種類	時期
9486	南門ノ瓦ワニトニツクルナリ/コノ瓦ワノチノライツクリノキ/ツクルナリハシメワエイキヤウハ子ノトシツクルコレワ永享十年(戌(ママ)/午)七月ツクルナリライツクリノフン/四千八百枚ツクルナリ/あふみ瓦九十枚ノ内/永享十年(戌/午)七月六日/瓦大工寿王三郎	法隆寺南大門		軒丸瓦		凸	籠描	永享10(1438)
9487	コノ瓦ツクルトキノシテノ人/ワ大工ユウアミ/又三郎三郎太郎/寿王小次郎/以上合五人アリ/土ウチトウ三郎トク郎/六郎ムノ次郎ケン次郎/以上合五人アリ永享十年			軒丸瓦		凸	籠描	永享10(1438)
9488	永享十年七月廿七日トシ六十一(ツチノエ/ノムマノトシ)(傍書)(大工吉重/ユウアミ)(傍書)	法隆寺南大門(大棟東)		鬼瓦	42B	右側	籠描	永享10(1438)
9489	(右側面)トシ六十一ノトシ/瓦大工ユウアミタフヲニヨミナツクル(裏面)トシ六十一/瓦大工ユウアミ/(花押)	法隆寺南大門		鬼瓦		右側・裏	籠描	永享10(1438)
9490	大工吉重/永享十年八月日/大工ユウアミ/トシ六十一			鬼瓦		裏	籠描	永享10(1438)
9491	瓦大工吉重トシ六十一			鬼瓦		裏	籠描	永享10(1438)
9492	(右側面)大工ニナルトシカラ十ワウ三郎トユウノチニユウアミタフトユウ(傍書)(裏面右)トシ廿七カラ大工ニ/ナル/大工ノオサナハワヒコ次郎(左側面)永享十年八月六日大工六十一マカリ(ツチノエ)(トシ)(傍書)/ナル(裏面左)大工ユウアミ			鬼瓦		裏左右・右側・左側	籠描	永享10(1438)
9493	タツミ/永享十年/七月廿日			鬼瓦			籠描	永享10(1438)
9494	永享十年八月三日瓦大工ユウアミ			鬼瓦		右側	籠描	永享10(1438)
9495	瓦大工吉重トシ六十一ナリ/大工ユウアミトシ六十一/永享十年八月三日			鬼瓦		正	籠描	永享10(1438)
9496	瓦大工吉重/永享十年八月日(ツチノエ/ムマノトシ)(傍書)			鬼瓦		正	籠描	永享10(1438)
9497	永享十年/七月廿九日			鬼瓦		正左	籠描	永享10(1438)
9498	永享十年(戌/午)七月廿九日			鳥衾			籠描	永享10(1438)
9499	四ツノスミワノチノライツクリノキツクルナリ/八枚ノ内/永享十年(戌/午)七月廿九日瓦大工寿王三郎/とり衾寿王五サクナリ			鳥衾			籠描	永享10(1438)
9500	南大門ノライツクリ四千八百枚ノ内衾/永享十年七月廿九日/大工ユウアミタフ年六十一			鳥衾		凸	籠描	永享10(1438)
9501	瓦大工寿王/永享十年七月廿九日/南大門ノ瓦ライツクリノフン四千八百枚ノ内/サクシヤトウ			鳥衾			籠描	永享10(1438)
9502	南大門ノ瓦ライツクリ/合四千八百枚ノ内/衾瓦六月廿三日ヨリハシマル/七月廿三日瓦大工寿王三郎/永享十(戌/午)年七月廿三日/ハシメノ瓦ワ永享八年六月六日ヨリハシマル/ヲナシキ十二月マテツクルナリコノフスマ瓦ワノチノライツクリノ瓦ナリコノ土ワシキタウノ/マエノツチナリ七月廿三日			雁振		凸	籠描	永享10(1438)
9503	永享十年(戌/午)八月日	法隆寺西院大垣		平瓦		凹	籠描	永享10(1438)
9504	九月廿二日/ユウアミ/トシ六十五	法隆寺東室		平瓦			籠描	嘉吉2(1442)
9505	嘉吉二年九月十八日瓦大□(エカ)(王/戌)(傍書)	法隆寺伝法堂		平瓦		凹	籠描	嘉吉2(1442)
9506	嘉吉貳年/九月廿日			平瓦		凹	籠描	嘉吉2(1442)
9507	此ノ平ノかたわさし瓦のときつくるなり/嘉吉二年九月廿一日瓦大工(王/戌)(傍書)/吉重			平瓦		凹	籠描	嘉吉2(1442)
9508	カウタウノサシ瓦/嘉吉貳年/九月廿一日			平瓦		凹	籠描	嘉吉2(1442)
9509	瓦大工左衛門次郎/橘吉重/嘉吉貳(王/戌)年九月/廿一日			平瓦		凹	籠描	嘉吉2(1442)
9510	カウタウノサシ瓦/嘉吉貳年/九月廿一日/トシ六十五/大工ユウアミタフ			平瓦			籠描	嘉吉2(1442)
9511	九月廿二日/ユウアミ/トシ六十五			平瓦			籠描	嘉吉2(1442)
9512	カウタウノサシ/瓦ノヨウナリ/大工ユウアミ/トシ六十五ナリ/嘉吉貳年/九月廿二日			平瓦		凹	籠描	嘉吉2(1442)
9513	カウタウノサ□□(シ瓦カ)/嘉吉貳年/九月廿四日			平瓦			籠描	嘉吉2(1442)
9514	カウタウノサシ瓦/コトキノフキヤウワ/コンカウキン/フモキン/シンカクハ/瓦ノ大工ユウアミ/トシ六十五ニマカリナル/嘉吉貳年九月日			平瓦			籠描	嘉吉2(1442)
9515	カキチ子九月日/コノツチワウカイトノ/ツチナリスイフン/ヨシ			平瓦			籠描	嘉吉2(1442)
9516	ニシムロノ土トフクイノ土/トヲハフンアワセニシタル土/ナリヨキカワルキカシランカ/タヘナリヨクワノチニモトルヘシ/嘉吉二年十月六日			平瓦		凹	籠描	嘉吉2(1442)
9517	法隆寺/カウタウノサシ瓦ツクル年ワ/嘉吉二年十月ツクルナリ瓦大工/左衛門次郎橘吉重			平瓦		凹	籠描	嘉吉2(1442)
9518	カキチ二年十一月六日(ツチノエ/イヌ)(傍書)			平瓦		凹	籠描	嘉吉2(1442)
9519	嘉吉貳年			平瓦			籠描	嘉吉2(1442)
9520	嘉吉貳年九月/廿二日/瓦大工吉重/トシ六十五ナリ	法隆寺	不明	平瓦		凹	籠描	嘉吉2(1442)
9521	嘉吉三年十月日	法隆寺伝法堂		丸瓦		凸	籠描	嘉吉3(1443)
9522	ニシテラノサシ瓦/カキチ三年十月廿五日/ユウアミトシ六十六			丸瓦		凸	籠描	嘉吉3(1443)

調査主体/報告書	遺物番号	掲載頁	所在地	備考
/法隆寺資財帳1992	銘文集成132	(表)p465	斑鳩町	奈文研1972(表)No.82/初出高田1935/天沼1937
/法隆寺資財帳1992	銘文集成133	(表)p465	斑鳩町	奈文研1972(表)No.83/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成134	(表)p465	斑鳩町	奈文研1972(表)No.93/初出高田1935/天沼1937
/法隆寺資財帳1992	銘文集成135	(表)p466	斑鳩町	奈文研1972(表)No.94/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成136	(表)p466	斑鳩町	奈文研1972(表)No.95/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成137	(表)p466	斑鳩町	奈文研1972(表)No.96/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成138	(表)p466	斑鳩町	奈文研1972(表)No.97/初出高田1935/天沼1937/【釈文異同あり】
/法隆寺資財帳1992	銘文集成139	(表)p466	斑鳩町	奈文研1972(表)No.98/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成140	(表)p466	斑鳩町	奈文研1972(表)No.99/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成141	(表)p466	斑鳩町	奈文研1972(表)No.100/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成142	(表)p466	斑鳩町	奈文研1972(表)No.101/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成143	(表)p466	斑鳩町	奈文研1972(表)No.102/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成144	(表)p466	斑鳩町	奈文研1972(表)No.103/初出高田1935/天沼1937
/法隆寺資財帳1992	銘文集成145	(表)p466	斑鳩町	奈文研1972(表)No.104/初出高田1935/天沼1937
/法隆寺資財帳1992	銘文集成146	(表)p467	斑鳩町	奈文研1972(表)No.105/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成147	(表)p467	斑鳩町	奈文研1972(表)No.106/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成148	(表)p467	斑鳩町	奈文研1972(表)No.107/初出高田1935/天沼1937
/法隆寺資財帳1992	銘文集成149	(表)p467	斑鳩町	奈良県1980c
/法隆寺資財帳1992	銘文集成150	(表)p467	斑鳩町	奈文研1972(表)No.122/初出奈良県1961a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成151	(表)p467	斑鳩町	奈文研1972(表)No.108/初出法隆寺1943a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成152	(表)p467	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成153	(表)p467	斑鳩町	奈文研1972(表)No.109/初出法隆寺1943a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成154	(表)p467	斑鳩町	奈文研1972(表)No.110/初出法隆寺1943a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成155	(表)p467	斑鳩町	奈文研1972(表)No.111/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成156	(表)p467	斑鳩町	奈文研1972(表)No.112/初出高田1935/天沼1937
/法隆寺資財帳1992	銘文集成157	(表)p467	斑鳩町	奈文研1972(表)No.113/初出高田1935/法隆寺1943a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成158	(表)p467・468	斑鳩町	奈文研1972(表)No.114/初出法隆寺1943a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成159	(表)p468	斑鳩町	奈文研1972(表)No.115/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成160	(表)p468	斑鳩町	奈文研1972(表)No.116/初出高田1935/天沼1937
/法隆寺資財帳1992	銘文集成161	(表)p468	斑鳩町	奈文研1972(表)No.117/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成162	(表)p468	斑鳩町	奈文研1972(表)No.118/初出高田1935/法隆寺1943a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成163,図版853	(表)p468,(図版)p246	斑鳩町	奈文研1972(表)No.119/初出高田1935/天沼1937/法隆寺1943a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成164	(表)p468	斑鳩町	奈文研1972(表)No.120/初出法隆寺1943a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成165	(表)p468	斑鳩町	奈文研1972(表)No.121/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成166	(表)p468	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成167	(表)p468	斑鳩町	奈文研1972(表)No.123/初出法隆寺1943a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成168	(表)p468	斑鳩町	奈文研1972(表)No.124/初出法隆寺1943a

NO.	釈文	遺跡名	出土遺構	器質	器種等	記銘部	種類	時期
9523	サシ瓦大工ユウアミノカキチ三年十月廿五日/ユウアミトシ六十六ナリ	法隆寺伝法堂		丸瓦			籠描	嘉吉3(1443)
9524	大工ユウアミトシ六十六ノカキチ三年十月廿五日			丸瓦	52	凸	籠描	嘉吉3(1443)
9525	シユリノ瓦ノカキチ三年十月廿二日/大工ユウアミトシ六十六			平瓦		凹	籠描	嘉吉3(1443)
9526	ユウアミトシ六十六ニマカリノナルノカキチ三年十月廿六日			平瓦		凹	籠描	嘉吉3(1443)
9527	ユウアミトシ六十六ノ嘉吉三年十月廿六日/シユリノ瓦ノ二千枚ノ内			平瓦		凹	籠描	嘉吉3(1443)
9528	サシ瓦二千枚ノ内ノ大工ユウアミタフノトシ六十六ナリノカキチ三年十月卅日/スイフンヨキツチ			平瓦		凹	籠描	嘉吉3(1443)
9529	サシ瓦二千枚ノ内ノ嘉吉三年十月廿六日/ユウアミトシ 六十六			平瓦		凹	籠描	嘉吉3(1443)
9530	サシカワラノマル八百コノ内アフミノ百卅アリノヒラ千八百アリノクワイラウノヨウナリノカキチ三年十一月七日/ユウアミトシ六十六		法隆寺	不明	瓦			籠描
9531	サシ瓦二千枚ノ内ノ嘉吉三年十月廿六日/ユウアミトシ六十六		不明	平瓦		凹	籠描	嘉吉3(1443)
9532	文安三年(丙ノ子)十一月吉日ノ左衛門次郎作也	法隆寺食堂(大棟東)		鬼瓦	51系	正	籠描	文安3(1446)
9533	レンホタノサシ瓦ノ二千五百枚ノ内ノフアン三年九月十九日ノ大工ユウアミトシ六十九	法隆寺伝法堂		丸瓦		凸	籠描	文安3(1446)
9534	ヤマツチヨキカワルキノカシランカタヘナリノフアン三年九月十九日ノ大工ユウアミトシ六十九ノトラノトシ			丸瓦		凸	籠描	文安3(1446)
9535	レンホタノサシ瓦二千五百枚ノ瓦大工吉重トシ六十九内ノフアン三年九月廿五日ノヒノエトラノトシ			丸瓦		凸	籠描	文安3(1446)
9536	ホウリシノレンホタノサシ瓦二千五百枚ノ内ノコノ土ワシウカイトノ土ナリノフアン三年九月廿五日(ヒノエトラノ)ノ大工ユウアミトシ六十九			丸瓦		凸	籠描	文安3(1446)
9537	コノ土ワテウツヤノノナリヨキカワルキカノシランカタヘナリノ瓦大工吉重トシ六十九ノフアン三年九月廿七日ノヒノエトラ			丸瓦			籠描	文安3(1446)
9538	レンホウタノサシ瓦ノ二千五百枚ノ内ノ大工ノ九月日 ユウアミタフノフアン三年ヒノエトラ			丸瓦		凸	籠描	文安3(1446)
9539	レンホウタノサシ瓦ノフアン三年九月廿一日			平瓦		凹	籠描	文安3(1446)
9540	テウツヤノ土ノレンホウタノサシ瓦 廿四日ノフアン三年九月ノ大工ユウアミトシ六十九ナリ			平瓦	95	凸	籠描	文安3(1446)
9541	コノ土チワテウツヤノノレンホウタノサシ瓦ノフアン三年九月廿四日(ヒノエトラノ)ノ(傍書)ノ大工ユウアミトシ六十九ニマカリナル		平瓦		凹	籠描	文安3(1446)	
9542	テウツヤノ土ノコレワレンホウタノサシ瓦大工ユウアミトシ六十九ナリノフアン三年九月廿四日ノヒノエトラ		平瓦		凹	籠描	文安3(1446)	
9543	〈正面右〉法隆寺鬼瓦左衛門次郎作也/文安三年(丙ノ寅)十月三日ノ〈正面左〉瓦大工ユウアミ生年ノ六十九ニナル橋吉重ノ伝法堂西方	法隆寺伝法堂(大棟西)		鬼瓦	49	正左右	籠描	文安3(1446)
9544	ライタウノノクタルム子鬼瓦ノ文安三年(丙ノ子)十一月廿五日	法隆寺東院礼堂		鬼瓦	51	正左	籠描	文安3(1446)
9545	〈正面右〉瓦□□〈正面左〉文安三年(丙ノ子)□□ノ大	法隆寺東院鐘樓		鬼瓦		正左右	籠描	文安3(1446)
9546	文安五年(戊ノ辰)十月九日	法隆寺西院経蔵		平瓦		凹	籠描	文安5(1448)
9547	文安五年(戊ノ辰)十月九日			平瓦		凸	籠描	文安5(1448)
9548	ユウアミトシノ七十一ニマカリナルノフアン五年十月廿日			平瓦			籠描	文安5(1448)
9549	フアン五年十月廿日ノノチノヨニミタラシノスル人ワ子ノフツヲノ申テクルヘシ			平瓦			籠描	文安5(1448)
9550	ユウアミトシノ七十一ニマカリナルノフアン五年十月廿日ノノチノヨニミタラシノスル人ワ子ノフツヲノ申テクルヘシ			平瓦	98	凹	籠描	文安5(1448)
9551	ナムアミタフツノノユウアミトシノ七十一ノフアン五年十月廿二日			平瓦	99	凹	籠描	文安5(1448)
9552	文安五年(戊ノ辰)十一月十二日ノ瓦大工吉重ノキヤウサウノサシ瓦□□□(コノ)トシツクルノユウアミトシ七十一マ□□(カ)リナル			平瓦		凹	籠描	文安5(1448)
9553	□ヤウサウノメン土ノ四十枚ノ内ノ文安五年(戊ノ辰)			面戸瓦	16	凸	籠描	文安5(1448)
9554	文安五年(戊ノ辰)	法隆寺西院回廊		平瓦		凸	籠描	文安5(1448)
9555	瓦大工ノ十ワウノコノ瓦ツヱイカケノサシ瓦ナリノフアン五年十月十三日ノユウアミツツルナリ	法隆寺東院回廊		平瓦			籠描	文安5(1448)
9556	文安五年(戊ノ申)十月	法隆寺東院大垣		平瓦		凹	籠描	文安5(1448)
9557	文安五年(戊ノ辰)	法隆寺	不明	平瓦			籠描	文安5(1448)
9558	五年十月ノ大工ヲ十ワウニノ(上欠)ナリノ十月廿七日ノユアミトシノ十一ノワウニトラスル		不明	平瓦		凹	籠描	文安5(1448)
9559	〈正面右〉文安六年(己ノ巳)三月十二日ノ〈正面左〉瓦大工左衛門次郎作也	法隆寺西院経蔵(大棟北)		鬼瓦	51	正左右	籠描	文安6(1449)
9560	大工橋吉重ノ文安六年(己ノ巳)三月十五日ノ法隆寺大経蔵北方 慶賢ノ修理奉行 訓舜	法隆寺西院経蔵(大棟南)		鬼瓦	51系	正左	籠描	文安6(1449)

調査主体/報告書	遺物番号	掲載頁	所在地	備考
/法隆寺資財帳1992	銘文集成169	(表)p468	斑鳩町	奈文研1972(表)No.125/初出高田1935/天沼1937
/法隆寺資財帳1992	銘文集成170,図版735	(表)p468,(図版)p224・225	斑鳩町	奈文研1972(表)No.126/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成171	(表)p468	斑鳩町	奈文研1972(表)No.127/初出法隆寺1943a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成172,図版852	(表)p469,(図版)p249	斑鳩町	奈文研1972(表)No.130/初出法隆寺1943a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成173	(表)p469	斑鳩町	奈文研1972(表)No.128/初出法隆寺1943a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成174	(表)p469	斑鳩町	奈文研1972(表)No.129/初出法隆寺1943a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成175	(表)p469	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成176	(表)p469	斑鳩町	奈文研1972(表)No.131/初出梅原1944
/法隆寺資財帳1992	銘文集成177	(表)p469	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成178	(表)p469	斑鳩町	奈文研1972(表)No.132/初出高田1935/法隆寺1936
/法隆寺資財帳1992	銘文集成179	(表)p469	斑鳩町	奈文研1972(表)No.135/初出高田1935/天沼1937
/法隆寺資財帳1992	銘文集成180	(表)p469	斑鳩町	奈文研1972(表)No.136/初出高田1935/天沼1937
/法隆寺資財帳1992	銘文集成181	(表)p469	斑鳩町	奈文研1972(表)No.137/初出高田1935/天沼1937
/法隆寺資財帳1992	銘文集成182	(表)p469	斑鳩町	奈文研1972(表)No.138/初出高田1935/天沼1937
/法隆寺資財帳1992	銘文集成183	(表)p469・470	斑鳩町	奈文研1972(表)No.139/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成184	(表)p470	斑鳩町	奈文研1972(表)No.140/初出法隆寺1943a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成185	(表)p470	斑鳩町	奈文研1972(表)No.141/初出法隆寺1943a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成186,図版856	(表)p470,(図版)p251	斑鳩町	奈文研1972(表)No.142/初出高田1935/天沼1937/法隆寺1943a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成187	(表)p470	斑鳩町	奈文研1972(表)No.143/初出高田1935/天沼1937/法隆寺1943a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成188	(表)p470	斑鳩町	奈文研1972(表)No.144/初出法隆寺1943a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成189,図版1047	(表)p470,(図版)p290	斑鳩町	奈文研1972(表)No.145/初出法隆寺1943a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成190	(表)p470	斑鳩町	奈文研1972(表)No.133/初出高田1935/法隆寺1937
/法隆寺資財帳1992	銘文集成191	(表)p470	斑鳩町	奈文研1972(表)No.134/初出高田1935/法隆寺1937
/法隆寺資財帳1992	銘文集成192	(表)p470	斑鳩町	奈文研1972(表)No.147/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成193	(表)p470	斑鳩町	奈良県1983c
/法隆寺資財帳1992	銘文集成194	(表)p470	斑鳩町	奈文研1972(表)No.148/初出高田1935/奈良県1983c
/法隆寺資財帳1992	銘文集成195	(表)p470	斑鳩町	奈文研1972(表)No.149/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成196,図版859	(表)p470,(図版)p251	斑鳩町	奈文研1972(表)No.150/初出高田1935/天沼1937/奈良県1983c
/法隆寺資財帳1992	銘文集成197	(表)p470	斑鳩町	奈文研1972(表)No.151/初出高田1935/奈良県1983c
/法隆寺資財帳1992	銘文集成198	(表)p470	斑鳩町	奈文研1972(表)No.152/初出高田1935/天沼1937/奈良県1983c
/法隆寺資財帳1992	銘文集成199,図版923	(表)p470,(図版)p260・262	斑鳩町	奈文研1972(表)No.153/初出高田1935/奈良県1983c
/法隆寺資財帳1992	銘文集成200	(表)p470	斑鳩町	奈文研1972(表)No.154/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成201	(表)p470	斑鳩町	奈文研1972(表)No.148/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成202	(表)p471	斑鳩町	奈良県1985e
/法隆寺資財帳1992	銘文集成203A	(表)p471	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成203B	(表)p471	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成204	(表)p471	斑鳩町	奈文研1972(表)No.156/初出高田1935/天沼1937/奈良県1983c
/法隆寺資財帳1992	銘文集成205	(表)p471	斑鳩町	奈文研1972(表)No.155/初出高田1935/天沼1937/奈良県1983c

NO.	釈文	遺跡名	出土遺構	器質	器種等	記銘部	種類	時期
9561	志きたうのさ志瓦なり 宝徳四年(壬/申)三月十三日	法隆寺食堂		丸瓦			籠描	宝徳4(1452)
9562	享徳二年十一月日	法隆寺西院廻廊		丸瓦			籠描	享徳2(1453)
9563	〈正面右〉南方 享徳(癸/酉)六月□ 〈正面左〉瓦大工 吉重(花押㊦)	法隆寺福生院庫裏		鬼瓦	51系	正左右	籠描	享徳2(1453)
9564	瓦大工橋吉重/享徳四年(乙/亥)/四月 日	法隆寺妻室		鬼瓦	52	正右	籠描	享徳4(1455)
9565	享徳四年□(閏)四月五日	法隆寺大湯屋表門		平瓦			籠描	享徳4(1455)
9566	享徳四年卯月廿五日太夫次郎作也			軒丸瓦	189G		籠描	享徳4(1455)
9567	享徳四年卯月廿五日太夫次郎作也			軒平瓦			籠描	享徳4(1455)
9568	円瓦七百五十枚/内瓦大工橋吉重/享徳四年(乙/亥)閏四月三日	法隆寺	不明	丸瓦	53	凸	籠描	享徳4(1455)
9569	享徳/享徳	法隆寺上御堂		平瓦			籠描	享徳年間(1452-55)
9570	法隆寺東院南門瓦作畢/長祿参年(己/卯)二月廿三日よりはじまる/作者瓦大工	法隆寺東院南門		丸瓦		凸	籠描	長祿3(1459)
9571	入道丸/二百枚之内あふミ瓦/長祿三年(己/卯)卯月八日			軒丸瓦	96V	凸	籠描	長祿3(1459)
9572	〈正面右〉東院南大門瓦 〈正面左〉長祿三年(己/卯)四月日			鬼瓦	53A	正左右	籠描	長祿3(1459)
9573	〈正面右〉東院南大門鬼瓦寿王太夫 〈正面左〉瓦大工(花押㊦)/長祿三年(己/卯)卯月吉日			鬼瓦	53B	正左右	籠描	長祿3(1459)
9574	東院南大門/瓦作者吉重/長祿参年(己/卯)□			鬼瓦	53系	正左右	籠描	長祿3(1459)
9575	〈正面右〉東院南大門/瓦八千枚作也 〈正面左〉長祿三年(己/卯)/二月廿三日よりはしまる/同卯月八日鬼瓦/作也	法隆寺東院四脚門		鬼瓦	53D	正左右	籠描	長祿3(1459)
9576	東院南大門(右二行)/瓦八千枚作也/長祿三年(己/卯)/二月廿三日よりはしまる/同卯月八日鬼瓦/作也	法隆寺西院西門		鬼瓦				長祿3(1459)
9577	〈正面右〉東院南大門鬼瓦/瓦寿王太夫 〈正面左〉橋吉重(花押)/長祿参年(己/卯)三月	法隆寺東院		鬼瓦	53C	正左右	籠描	長祿3(1459)
9578	金堂□(内カ)/寛正二年(辛/巳)五月 日/西園院坊之懐□/塔元金堂同時	法隆寺金堂		埴	14	下	籠描	寛正2(1461)
9579	寛正二年(辛/巳)六月日			埴	14	下	籠描	寛正2(1461)
9580	此瓦作事寛正二年(辛/巳)五月廿四日ヨリ始之/西園院坊之懐弘大法師勸進ニテ始而/敷之古エハナシ奉行五師清□(憲)大法師/瓦大工橋之吉重/金堂塔元同時□(被)敷之也			埴	14	下	籠描	寛正2(1461)
9581	此瓦作事 寛正二年(辛/巳)五月廿四日(ヨリ)始之/西園院坊(之)懐弘大法師勸進(ニテ)始(而)/敷之 古エハナシ 奉行五師清憲大法師/瓦大工橋之吉重 /金堂塔元同時(二)被敷之也			埴		下	籠描	寛正2(1461)
9582	瓦大工寿王太夫/法隆寺大講堂瓦也/作者橋吉重二百枚之内/寛正三年(壬/午)七月吉日	法隆寺大講堂		平瓦		凹	籠描	寛正3(1462)
9583	寛□□(正三カ)年(壬/午)八月十三日	法隆寺西円堂		鳥衾	89W	凸	籠描	寛正3(1462)
9584	大講堂平貳百枚之内/寛正参年(壬/午)七月廿二日	法隆寺	不明	平瓦	101	凹	籠描	寛正3(1462)
9585	此瓦作事竟□/勸進西園院□/□□(寛正カ)□		不明	埴	14	下	籠描	寛正年間(1460-66)
9586	瓦作事二千三百□(廿)三枚/奉行五師清憲大法師/于時文明二年(庚/寅)卯月廿八日也/大工寿王丸		不明	平瓦	102	凹	籠描	文明2(1470)
9587	文明二年四月二十三日 寿王丸/(抜粋)		不明	平瓦			籠描	文明2(1470)
9588	此瓦卯月八日よりしま□(るカ)/同五月十八日/文明拾参年(辛/丑)五月十八日	法隆寺地藏堂		鳥衾		凸	籠描	文明13(1481)
9589	〈正面右〉瓦大工橋吉重 〈正面左〉辛丑/文明拾参年/五月廿八日	法隆寺細殿(奈文研1972は食堂)		鬼瓦	54	正左右	籠描	文明13(1481)
9590	瓦大工橋吉重(花押㊦)/文明十三年五月十八日	法隆寺宝珠院本堂		鳥衾		凸	籠描	文明13(1481)
9591	如法經堂凡明応元年ヨリ勸進始テ明応三年甲寅/卯月七日二成就スルナリ 勸進聖堯實敬白	法隆寺	不明	丸瓦			籠描	明応3(1494)
9592	大永二年	法隆寺綱封蔵		丸瓦	57		籠描	大永2(1522)
9593	大永二年			丸瓦			籠描	大永2(1522)
9594	大永二年			平瓦	104		籠描	大永2(1522)
9595	大永二年							
9596	大永二年十月□(三カ)	法隆寺西院大垣		面戸瓦	19	凸	籠描	大永2(1522)
9597	大永三年三月三日/ヲウアメフル	法隆寺	不明	丸瓦	56	凸	籠描	大永3(1523)
9598	大永四年三月十一日	法隆寺三經院西室		丸瓦			籠描	大永4(1524)
9599	三日/大永四年三月/二郎 九郎	法隆寺綱封蔵		丸瓦	55		籠描	大永4(1524)
9600	大永四年三月十一日/二郎九郎			丸瓦			籠描	大永4(1524)
9601	大永四年 (抜粋)			丸瓦カ			籠描	大永4(1524)
9602	大永四年三月/十七日			丸瓦			籠描	大永4(1524)
9603	瓦大工サエモン太郎/大永四年二月廿七日			平瓦			籠描	大永4(1524)
9604	大永四年三月廿九日			平瓦			籠描	大永4(1524)
9605	大永四年三月廿九日			平瓦			籠描	大永4(1524)
9606	施主三□院/大永(二/二)年(甲/申)三月廿九日			平瓦		89 I	籠描	大永4(1524)

調査主体/報告書	遺物番号	掲載頁	所在地	備考
/法隆寺資財帳1992	銘文集成206	(表)p472	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成207	(表)p472	斑鳩町	奈良県1974c/奈良県1983c
/法隆寺資財帳1992	銘文集成208	(表)p472	斑鳩町	高田1977「福生院表門大棟西」とする
/法隆寺資財帳1992	銘文集成209,図版1053	(表)p472,(図版)p290-291	斑鳩町	奈文研1972(表)No.157/初出奈良県1963
/法隆寺資財帳1992	銘文集成210	(表)p472	斑鳩町	奈良県1974c
/法隆寺資財帳1992	銘文集成211,図版158	(表)p472,(図版)p84・85	斑鳩町	高田1977「大湯屋表門北面」とする
/法隆寺資財帳1992	銘文集成212	(表)p472	斑鳩町	奈良県1974c
/法隆寺資財帳1992	銘文集成213,図版736	(表)p472,(図版)p224・225	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成214	(表)p472	斑鳩町	奈良県1979b
/法隆寺資財帳1992	銘文集成215	(表)p472	斑鳩町	奈文研1972(表)No.275/初出高田1935/法隆寺1942
/法隆寺資財帳1992	銘文集成216,図版170	(表)p472,(図版)p86・87	斑鳩町	奈文研1972(表)No.158/初出法隆寺1942
/法隆寺資財帳1992	銘文集成217,図版1054	(表)p472,(図版)p293	斑鳩町	奈文研1972(表)No.160/初出高田1935/法隆寺1942/ 高田1977「東院南門大棟西」とする
/法隆寺資財帳1992	銘文集成218,図版1055	(表)p473,(図版)p293	斑鳩町	奈文研1972(表)No.159/初出高田1935/法隆寺1942/ 高田1977「東院南門大棟東」とする
/法隆寺資財帳1992	銘文集成219	(表)p473	斑鳩町	奈文研1972(表)No.161/初出高田1935/法隆寺1942/ 高田1977「東院南門北流西降り棟西」とする
/法隆寺資財帳1992	銘文集成220,図版1057	(表)p473,(図版)p290	斑鳩町	奈文研1972(表)No.162/初出高田1935/天沼1937/土 井1956(本文)p281・2「鬼瓦3個」/法隆寺1942
/土井1956		(本文)p281・282	斑鳩町	東流南側降棟の鬼,もとは東院南大門の瓦
/法隆寺資財帳1992	銘文集成221,図版1056	(表)p473,(図版)p290	斑鳩町	奈文研1972(表)No.163/初出法隆寺1942/高田1977 「東院四脚門」とする
/法隆寺資財帳1992	銘文集成222,図版1302	(表)p473,(図版)p348・349	斑鳩町	奈文研1972(表)No.164/初出法隆寺1956a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成223,図版1303	(表)p473,(図版)p348・349	斑鳩町	奈文研1972(表)No.165/初出法隆寺1956a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成224A,図版 1302	(表)p473,(図版)p348・349	斑鳩町	奈文研1972(表)No.276/初出法隆寺1955b/法隆寺 1956a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成224B	(表)p473	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成225	(表)p473	斑鳩町	奈文研1972(表)No.166/初出法隆寺1941
/法隆寺資財帳1992	銘文集成226,図版1182	(表)p473,(図版)p316・317	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成227,図版862	(表)p474,(図版)p251	斑鳩町	
奈文研・檀考研/法隆 寺資財帳1992	銘文集成228,図版1302	(表)p474,(図版)p348・349	斑鳩町	法隆寺1985文瓦(5)(本文)p138(敷瓦)
/法隆寺資財帳1992	銘文集成229,図版863	(表)p474,(図版)p251	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成230	(表)p474	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成231,図版1182	(表)p474,(図版)p316・317	斑鳩町	奈文研1972(表)No.168/初出高田1935/法隆寺1939
/法隆寺資財帳1992	銘文集成232,図版1058	(表)p474,(図版)p292	斑鳩町	奈文研1972(表)No.167/初出高田1935/法隆寺1936/ 奈良県1976c
/法隆寺資財帳1992	銘文集成233	(表)p474	斑鳩町	奈文研1972(表)No.169/初出高田1935/奈良県1971
/法隆寺資財帳1992	銘文集成234	(表)p474	斑鳩町	高田1977「良訓補忘集に収録しているものでその存 否は確認されていない」
/法隆寺資財帳1992	銘文集成235A,図版740	(表)p474,(図版)p226	斑鳩町	奈文研1972(表)No.170/初出奈良県1966a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成235B	(表)p474	斑鳩町	初出奈良県1966a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成236・237,図版 865	(表)p474,(図版)p252	斑鳩町	同種が他に1点/奈文研1972(表)No.171/初出奈良県 1966a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成238,図版926	(表)p474,(図版)p262	斑鳩町	奈良県1980c/高田1977は「東面大垣」とする
/法隆寺資財帳1992	銘文集成239,図版739	(表)p474,(図版)p226	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成240	(表)p474	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成241	(表)p474	斑鳩町	奈文研1972(表)No.173/初出奈良県1966a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成242A	(表)p475	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成242B	(表)p475	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成242C	(表)p475	斑鳩町	奈文研1972(表)No.172「同種のもの他に1点あり」とあ れど不詳
/法隆寺資財帳1992	銘文集成243	(表)p475	斑鳩町	奈文研1972(表)No.174/初出奈良県1966a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成244・245	(表)p475	斑鳩町	同種のもの他に1点あり/奈文研1972(表)No.176/初 出奈良県1966a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成246	(表)p475	斑鳩町	

NO.	釈文	遺跡名	出土遺構	器質	器種等	記銘部	種類	時期	
9607	大永(二/二)年(甲/申)大工吉重	法隆寺綱封蔵		平瓦	103	凹	籠描	大永4(1524)	
9608	大永四年三月/十七日			軒丸瓦	89 I	凸	籠描	大永4(1524)	
9609	大永四年三月十七日			軒平瓦			籠描	大永4(1524)	
9610 ・9611	大永四年(甲/申)二月十二日/施主 十宝院/ ヨリハシムル舜清法師也/瓦大工ニシノキヤウ /ヨシシケ/作也			鳥衾	89 I	凸	籠描	大永4(1524)	
9612	コノクラハキタヨリ六ケン/人数七人 ノフンタツ /大永四年(甲/申)二月十二日ヨリハシムル/ 瓦数一万/施主十宝院舜清法師(敬/白)/瓦ツ クル □ 四郎二郎 新三郎/小太郎 コ三郎/ 次郎九郎 新三郎			鳥衾			籠描	大永4(1524)	
9613	フテトリコトカクア/キタ十宝院/春藤十九ノ シ/大永四年(甲/申)二月十二日ヨリハシマル /十宝院施主/舜清法師/瓦大工ニシノキヤウ/ ヨシシケ甘ノ也			鳥衾			籠描	大永4(1524)	
9614	施主 十宝院/舜清法師/大永四年(キノエ/サ ル)二月十二日			鳥衾			籠描	大永4(1524)	
9615	ニシノキヤウ/瓦大工吉シゲ/大永四年(甲/ 申)二月十二日瓦数九千五百(吉重㊦)の花 押)/四郎二郎 シン三郎/小太郎 小三郎/次 郎九郎 新三郎			鳥衾			籠描	大永4(1524)	
9616	大永四年三月十一日/二郎九郎		法隆寺(奈文研1972は綱封蔵)	不明	丸瓦			籠描	大永4(1524)
9617	大永四年(甲/申)二月十日[ニカ]□		法隆寺綱封蔵	不明	鳥衾		凸	籠描	大永4(1524)
9618	大永		法隆寺綱封蔵		平瓦		凸	籠描	大永年間 (1521-28)
9619	大永□年三月十八日		法隆寺	不明	軒平瓦	89 I	瓦当顎	籠描	大永年間 (1521-28)
9620	天文四年五月十六日		法隆寺西室		軒平瓦	272J	凸	籠描	天文4(1535)
9621	法隆寺大講堂之瓦/勸進之沙門願舜/于時天 文十六年(丁/未)卯月朔日		法隆寺妻室		丸瓦	59	凸	籠描	天文16(1547)
9622	天文十七年(戊/申)十一月日大工兵衛三郎		法隆寺東院鐘樓		鳥衾		凸	籠描	天文17(1548)
9623	于時天文十七年(戊/申)十一月 日/右為興 隆之掃葺畢/施主 知足坊律師堯嘗			鳥衾		凸	籠描	天文17(1548)	
9624	〈正面右〉天文十七年(戊/申)十一月日/作之 〈正面左〉施主(知足坊律師/堯嘗)	法隆寺東院鐘樓(大棟南)		鬼瓦	56B	正左右	籠描	天文17(1548)	
9625	〈正面右〉施主(知足坊律師/堯嘗) 〈正面左〉 天文十七年(戊/申)十一月日/作者兵衛三郎	法隆寺東院鐘樓(大棟北)		鬼瓦	56A	正左右	籠描	天文17(1548)	
9626	天文	法隆寺	不明	鬼瓦	56系	裏	籠描	天文年間 (1532-55)	
9627	瓦大工吉重ヒコ	法隆寺大講堂		丸瓦		凸	籠描		
9628	瓦大工吉重			丸瓦		凸	籠描		
9629	瓦大工吉重			平瓦		凹	籠描		
9630	瓦大工/吉重/彦次郎			平瓦		凹	籠描		
9631	大乘百法妙門論			平瓦	62	狭端	籠描	鎌倉前	
9632	□[大カ]			軒平瓦 (隅切)	240Ab	凹	籠描	奈良前II-後 I	
9633	〈側面①〉瓦大工彦次郎/〈側面②〉吉重			鬼瓦		両側	籠描		
9634	〈正面左〉瓦大工ユウアミ/ 〈正面右〉大工寿王		法隆寺大講堂(北東隅降棟)		鬼瓦	47A	正左右	籠描	室町中I
9635	〈左側面〉瓦大工彦次郎/ 〈正面右〉吉重		法隆寺大講堂(北西隅降棟)		鬼瓦		左側・正右	籠描	室町中II
9636	六月七日/瓦大工彦次郎		法隆寺大講堂		熨斗瓦		上	籠描	
9637	□[安カ]□[継カ]三			塼	塼4B	下	籠描	奈良後I	
9638	□	法隆寺(大講堂北)		塼	塼4C	下	籠描	奈良後I	
9639	てまの/ほうきや/(露盤宝珠の絵)/サイカイノ ヤ/ウナタ/御はう太郎/吉重(花押㊦)	法隆寺上御堂		塼	塼15	下	籠描	室町後II	
9640	まる彦次郎	法隆寺西室		丸瓦			籠描き		
9641	大工寿王三郎	法隆寺薬師坊		鬼瓦	38	正右	籠描	室町中I	
9642 ~9649	彦次郎	法隆寺西円堂		鳥衾	189S		籠描		
9650 ・9651	彦次郎(他に彦次郎㊦の花押がニカ所)			鳥衾			籠描		
9652	新三郎サク□/ノチノヨニ子フツマウシテ/タヒ タマヘ		法隆寺西院経蔵		丸瓦		凸	籠描き	
9653	千枚ノウチ/大カタウノサシ瓦/チン二郎/大工 サエモン太郎 二郎九郎/□□□□	法隆寺東室		丸瓦		凸	籠描		
9654 ・9655	ウシトラ			丸瓦	42	凸	籠描	室町前I	
9656	〈凹面〉十一日/六十三枚ヒラ以上合/八十マル /四十八アフミ 〈凸面〉千□(瓦当裏面)(扇の 絵)			軒平瓦	268B	凹・凸・ 瓦当裏	籠描	室町中I- II	
9657	□□[神石カ](天地逆) 屋/巳屋(天地逆)			塼	塼5	側	籠描	奈良前II	
9658	□			塼	塼4B	下	籠描	奈良後I	
9659	シャウラウエノ□[ウカ]□フキノ瓦/吉(□で囲 む)重(花押㊦)/(ヘラ記号「×」)		法隆寺聖霊院		丸瓦	49	凸	籠描き	室町中I
9660	瓦大工吉重				丸瓦	49	凸	籠描	室町中I
9661	瓦大工吉重				丸瓦		凸	籠描	
9662	瓦大工ヒコ次郎吉重				丸瓦		凸	籠描き	
9663	瓦大工タチハナノウチノ/吉重ヒコ次郎				丸瓦		凸	籠描き	
9664	瓦大工吉重(花押㊦)			丸瓦			籠描き		
9665	瓦大工寿王三郎			丸瓦	49	凸	籠描き	室町中I	

調査主体/報告書	遺物番号	掲載頁	所在地	備考
/法隆寺資財帳1992	銘文集成247,図版864	(表)p475,(図版)p252	斑鳩町	奈文研1972(表)No.175/初出奈良県1966a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成248,図版176	(表)p475,(図版)p88・89	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成249	(表)p475	斑鳩町	奈良県1966a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成250,図版1186	(表)p475,(図版)p318	斑鳩町	奈文研1972(表)No.177/同種が他に1点/初出奈良県1966a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成251	(表)p475	斑鳩町	奈文研1972(表)No.180/初出奈良県1966a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成252	(表)p475	斑鳩町	奈文研1972(表)No.181/初出奈良県1966a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成253	(表)p475	斑鳩町	奈文研1972(表)No.178/初出奈良県1966a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成254	(表)p475・476	斑鳩町	奈文研1972(表)No.179/初出奈良県1966a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成255	(表)p476	斑鳩町	奈文研1972(表)No.182/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成256	(表)p476	斑鳩町	奈文研1972(表)No.183/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成257	(表)p476	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成258,図版176	(表)p476,(図版)p88・89	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成259,図版522	(表)p476,(図版)p176・177	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成260,図版742	(表)p476,(図版)p226	斑鳩町	奈文研1972(表)No.184/初出奈良県1963
/法隆寺資財帳1992	銘文集成261	(表)p476	斑鳩町	奈文研1972(表)No.187/初出高田1935/法隆寺1937
/法隆寺資財帳1992	銘文集成262	(表)p476	斑鳩町	奈文研1972(表)No.188/初出高田1935/法隆寺1937/高田1977「東院鐘樓大棟北」とする
/法隆寺資財帳1992	銘文集成263	(表)p476	斑鳩町	奈文研1972(表)No.185/初出高田1935/法隆寺1937/高田1977「大棟北」とする
/法隆寺資財帳1992	表264,図版1066	(表)p476,(図版)p292	斑鳩町	奈文研1972(表)No.186/初出高田1935/法隆寺1937/高田1977「大棟南」とする
/法隆寺資財帳1992	銘文集成265	(表)p476	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成541	(表)p498	斑鳩町	奈文研1972(表)No.306/初出法隆寺1941
/法隆寺資財帳1992	銘文集成542	(表)p498	斑鳩町	奈文研1972(表)No.307/初出法隆寺1941
/法隆寺資財帳1992	銘文集成545	(表)p499	斑鳩町	奈文研1972(表)No.312/初出法隆寺1941
/法隆寺資財帳1992	銘文集成546	(表)p499	斑鳩町	奈文研1972(表)No.309/初出法隆寺1941
/法隆寺資財帳1992	銘文集成549,図版823	(表)p499,(図版)p243・244	斑鳩町	奈文研1972(表)No.314/初出法隆寺1941
/法隆寺資財帳1992	銘文集成553,図版390	(表)p499,(図版)p144・145	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成557	(表)p499	斑鳩町	奈文研1972(表)No.316/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成558,図版1027	(表)p499,(図版)p204	斑鳩町	奈文研1972(表)No.317/初出法隆寺1941
/法隆寺資財帳1992	銘文集成559,図版1044	(表)p499,(図版)p290	斑鳩町	奈文研1972(表)No.315/初出法隆寺1941
/法隆寺資財帳1992	銘文集成565	(表)p500	斑鳩町	奈文研1972(表)No.324/初出法隆寺1941
/法隆寺資財帳1992	銘文集成566,図版1287	(表)p500,(図版)p346・347	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成567,図版1288	(表)p500,(図版)p346	斑鳩町	出土
/法隆寺資財帳1992	銘文集成579,図版1304	(表)p500・501,(図版)p349	斑鳩町	奈良県1979b
/法隆寺資財帳1992	銘文集成581	(表)p501	斑鳩町	奈文研1972(表)No.436/初出高田1935/法隆寺1935/応永13年以前カ
/法隆寺資財帳1992	銘文集成582,図版1032	(表)p501,(図版)p287・288	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成589	(表)p501	斑鳩町	他に同様のもの7あり/奈文研1972(表)No.293/初出法隆寺1938
/法隆寺資財帳1992	銘文集成590	(表)p501	斑鳩町	他に同様のもの1あり/初出法隆寺1938
/法隆寺資財帳1992	銘文集成598	(表)p501	斑鳩町	奈文研1972(表)No.428/初出高田1935文安5年10月下旬と推定/奈良県1983c
/法隆寺資財帳1992	銘文集成603	(表)p502	斑鳩町	奈文研1972(表)No.394/初出奈良県1961a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成605,図版725	(表)p502,(図版)p221・222	斑鳩町	同種が他に1点/奈文研1972(表)No.396/初出奈良県1961a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成606,図版508	(表)p502,(図版)p174・175	斑鳩町	奈文研1972(表)No.392/初出奈良県1961a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成608,図版1289	(表)p502,(図版)p346・347	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成609,図版1287	(表)p502,(図版)p346・347	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成610,図版732	(表)p502,(図版)p224・225	斑鳩町	奈文研1972(表)No.382/初出高田1935/法隆寺1955a,応永年間
/法隆寺資財帳1992	銘文集成611,図版732	(表)p502,(図版)p224・225	斑鳩町	奈文研1972(表)No.380/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成612	(表)p502	斑鳩町	奈文研1972(表)No.380F/同種が他に1点に相当カ/初出高田1935
/法隆寺資財帳1992	銘文集成613	(表)p502	斑鳩町	奈文研1972(表)No.384/初出法隆寺1955a,応永年間
/法隆寺資財帳1992	銘文集成614	(表)p502	斑鳩町	奈文研1972(表)No.383/初出法隆寺1955a,応永年間
/法隆寺資財帳1992	銘文集成615	(表)p502	斑鳩町	奈文研1972(表)No.381/初出高田1935/法隆寺1955a,応永年間
/法隆寺資財帳1992	銘文集成616,図版732	(表)p502,(図版)p224・225	斑鳩町	奈文研1972(表)No.385/初出法隆寺1955a,応永年間

NO.	釈文	遺跡名	出土遺構	器質	器種等	記銘部	種類	時期
9666	瓦大エヒコ次郎	法隆寺聖霊院		平瓦		凹	篋描き	
9667	十日八十マル/百廿三ヒラ			軒平瓦	268B	凹	篋描	室町中 I - II
9668	コノタウノサシカワラ/マル二千三百枚/ヒラ四千七枚/ノキ二百三十アフミ二百十枚/フスマ百八十枚/カレコレ合六千八百九十アリ			鳥衾	89Q	凸	篋描	室町中 I
9669	南門ノ瓦/コノ土ワ シキタウノマエノ土ナリ/戌年 七月四日/瓦大工 寿王三郎	法隆寺妻室		平瓦		凹	篋描き	
9670	丸ノマキテ)シシ三郎サク	法隆寺綱封蔵		丸瓦		凸	篋描	
9671	新三郎			丸瓦		凸	篋描	
9672	大カ)くの内小三郎			丸瓦		凸	篋描	
9673	新三郎/い上してのふん/新三郎/五人/小三郎/喜衛門太郎/小太郎			丸瓦		凸	篋描	
9674	大工ユウアミ			平瓦	103	凸	篋描	室町後 I
9675	瓦大工寿王三郎ユウアミ			鬼瓦	39系	左側	篋描	
9676	ニシノキヤウ/瓦大工吉重左衛門也			鬼瓦		左側	篋描	
9677	五ラウトノ	法隆寺細殿		雁振			篋描	
9678	イサフラウトノ			平瓦	71	凸	篋描	鎌倉後
9679	瓦大エユウアミ	法隆寺西院回廊		平瓦	71	凸	篋描	鎌倉後
9680	せハウノサシ瓦ノ/ヨウナリ			丸瓦		凸	篋描き	
9681	六月十四日ナリ			平瓦		凹	篋描き	
9682	六月十四日ナリ			平瓦		凹	篋描き	
9683	〈正面左〉瓦大工寿王三郎〈正面右〉瓦大工彦次郎			鬼瓦		正左右	篋描き	
9684	目カ)	法隆寺(西院廻廊東辺)		軒平瓦	240Ab	凹	篋描	奈良前 II - 後 I
9685	白鳳	法隆寺(西院東南隅子院築垣西辺)S58年度		平瓦	26	凸	篋描	白鳳
9686	クロツチカハリ/百五十ノ内/瓦大エユウアミ	法隆寺南大門		丸瓦			篋描き	
9687	クロツチナリ/ミナミノ/ミチノ/ミソニ/アリコノ/ヲミ)カ)ノカ)ノタヘナリ/百五十ノ内			丸瓦		凹	篋描き	
9688	七月一日マテ/以上合二百九十三枚アフミ			丸瓦			篋描き	
9689	コノハコイタワ又三郎殿ノ/五サクナリコノ土ワシノタノマエノ土ナリ			平瓦			篋描き	
9690	七月九日ヨリ/フキヤンワ)ク)シノハフノ)ハ)シノミカミワ又三郎			軒丸瓦			篋描き	
9691	胴・玉縁)三)凸面)三(天地逆)			軒丸瓦	89B	胴玉縁・凸	篋描	室町中 I
9692	ウシトラ	法隆寺南大門(東北隅)		鬼瓦		正左	篋描き	
9693	ヒツシサル	法隆寺南大門(西南隅)		鬼瓦		正左	篋描き	
9694	〈正面左〉イヌ井 〈正面右〉瓦大工/寿王	法隆寺南大門(西北隅)		鬼瓦		正左右	篋描き	
9695	ヨウサン	法隆寺南大門		鳥衾			篋描き	
9696	カイツ			鳥衾	89F		篋描	室町中 I
9697	カイツ			鳥衾			篋描き	
9698	ヲモ			鳥衾			篋描き	
9699	六月十五日ツク/ルナリ)/カウタウノサシノ/瓦ナリマルヒラ/合千マイツクル/ツルサフラウ(花押A)	法隆寺東大門		平瓦		凹	篋描き	
9700	アンラアマケカノ			平瓦			篋描き	
9701	かうたう之/角から草			軒平瓦	275B	凹	篋描き	
9702	伊加流	法隆寺西院大垣		丸瓦	22	凹	篋描	奈良前 II
9703	五月十八日/ヒコ七			軒丸瓦	96X	凸	篋描	室町後 II - 江戸前 I
9704	上ノ二			軒丸瓦	89B	凸	篋描	室町中 I
9705	生年三拾八也	法隆寺(大宝蔵殿西)	第127区	隅木蓋瓦	11		篋描	鎌倉 - 室町前
9706	大エユウアミタフ	法隆寺律学院本堂		鬼瓦	46	正右	篋描	室町中 II
9707	南無阿弥陀仏/彦二郎	法隆寺宗源寺四脚門(高田1935・奈文研1972は東院)		軒平瓦		凹	篋描き	
9708	大)カ)	法隆寺福園院本堂		鬼瓦	45系	正左	篋描き	
9709	大工十五大)夫)			鬼瓦	45系	正左	篋描き	
9710	大工十五大夫			鬼瓦	45B	正右	篋描	室町中 II
9711	大工十五大夫			鬼瓦	45A	正右	篋描	室町中 II
9712	ヲモヲニ			鳥衾瓦	189B	顎	篋描	室町前 II
9713	土管	法隆寺(旧福園院)		土管	13	凸	篋描	室町後 II - 江戸前 I
9714	大工吉重	法隆寺伝法堂		平瓦			篋描き	
9715	大工吉重(花押C)			平瓦	94	凹	篋描	室町中 II
9716	左衛門次郎橋吉重			平瓦		凹	篋描	
9717	カウシハノ/ツチ			平瓦			篋描き	
9718	平瓦			平瓦	94	凸	篋描	室町中 II
9719	十)月ヨリ/廿三日/ラウ/抹消)	法隆寺東院礼堂~回廊		軒丸瓦(谷)	199O	凸	篋描	室町後 I
9720	タイシタウ	法隆寺(北室院太子殿北)		鬼瓦	55G		篋描	室町中 II - 後 I
9721	衾瓦百二十枚之内	法隆寺東院四脚門		雁振瓦	8	凸	篋描	室町中 II - 後 I
9722	卯月八日	法隆寺東院南門		鬼瓦	53系	正右	篋描き	
9723	き)からして)西カ)/風かきてふね/そう)とちきり/ふか)きカ)ニ)ノ)かた)ね)の)也)	法隆寺東院回廊		軒平瓦	276A	凸	篋描	江戸前 I
9724	水)瓦工)			軒平瓦	276A	凸	篋描	室町後 II - 江戸前

調査主体/報告書	遺物番号	掲載頁	所在地	備考
/法隆寺資財帳1992	銘文集成617	(表)p502	斑鳩町	奈文研1972(表)No.386/初出法隆寺1955a,応永年間
/法隆寺資財帳1992	銘文集成618,図版508	(表)p503,(図版)p174-175	斑鳩町	奈文研1972(表)No.379/初出法隆寺1955a,応永年間
/法隆寺資財帳1992	銘文集成619,図版1176	(表)p503,(図版)p312	斑鳩町	法隆寺1955a,応永13年
/法隆寺資財帳1992	銘文集成620	(表)p502	斑鳩町	奈文研1972(表)No.397/初出奈良県1963,応永?
/法隆寺資財帳1992	銘文集成628	(表)p503	斑鳩町	奈文研1972(表)No.401/初出奈良県1966a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成629	(表)p503	斑鳩町	奈文研1972(表)No.410/初出奈良県1966a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成630	(表)p503	斑鳩町	奈文研1972(表)No.407/初出奈良県1966a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成633	(表)p503	斑鳩町	奈文研1972(表)No.405/初出奈良県1966a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成642,図版864	(表)p504,(図版)p250-252	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成652	(表)p504	斑鳩町	奈良県1966a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成653	(表)p504	斑鳩町	奈良県1966a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成654	(表)p504	斑鳩町	奈文研1972(表)No.415/初出奈良県1966a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成659,図版832	(表)p504,(図版)p244-245	斑鳩町	奈文研1972(表)No.286/初出高田1935/法隆寺1936
/法隆寺資財帳1992	銘文集成660,図版832	(表)p505,(図版)p244-245	斑鳩町	奈文研1972(表)No.285/初出高田1935/法隆寺1936
/法隆寺資財帳1992	銘文集成662	(表)p505	斑鳩町	奈文研1972(表)No.429/初出高田1935,文安3年
/法隆寺資財帳1992	銘文集成668	(表)p505	斑鳩町	奈良県1983c,室町
/法隆寺資財帳1992	銘文集成669	(表)p505	斑鳩町	奈良県1983c,室町
/法隆寺資財帳1992	銘文集成674	(表)p505	斑鳩町	奈文研1972(表)No.432/初出高田1935,応永13年?
/法隆寺資財帳1992	銘文集成675,図版608	(表)p505,(図版)p195-196	斑鳩町	図版は奈良後Iとする/出土
奈文研・檀考研/法隆寺資財帳1992	銘文集成678,図版787	(表)p506,(図版)p235	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成681	(表)p506	斑鳩町	奈文研1972(表)No.418/初出高田1935,永享10年
/法隆寺資財帳1992	銘文集成682	(表)p506	斑鳩町	奈文研1972(表)No.419/初出高田1935,永享10年
/法隆寺資財帳1992	銘文集成683	(表)p506	斑鳩町	奈文研1972(表)No.420/初出高田1935,永享8年
/法隆寺資財帳1992	銘文集成686	(表)p506	斑鳩町	奈文研1972(表)No.421/初出高田1935,永享8年
/法隆寺資財帳1992	銘文集成687A	(表)p506	斑鳩町	奈文研1972(表)No.417/初出高田1935,永享10年
/法隆寺資財帳1992	銘文集成687B,図版151	(表)p506,(図版)p80-83	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成688	(表)p506	斑鳩町	奈文研1972(表)No.422/初出高田1935,永享10年
/法隆寺資財帳1992	銘文集成689	(表)p506	斑鳩町	奈文研1972(表)No.423/初出高田1935,永享10年
/法隆寺資財帳1992	銘文集成690	(表)p506	斑鳩町	奈文研1972(表)No.424/初出高田1935,永享10年
/法隆寺資財帳1992	銘文集成691	(表)p506	斑鳩町	奈文研1972(表)No.425/初出高田1935,永享10年
/法隆寺資財帳1992	銘文集成692,図版1178	(表)p506,(図版)p315-316	斑鳩町	奈文研1972(表)No.426「同種が他に1点」693か/初出高田1935,永享10年
/法隆寺資財帳1992	銘文集成693	(表)p506	斑鳩町	初出高田1935,永享10年
/法隆寺資財帳1992	銘文集成694	(表)p506	斑鳩町	奈文研1972(表)No.427/初出高田1935,永享10年
/法隆寺資財帳1992	銘文集成704	(表)p507	斑鳩町	奈文研1972(表)No.278/初出法隆寺1935/高田1935,室町時代
/法隆寺資財帳1992	銘文集成705	(表)p507	斑鳩町	奈文研1972(表)No.279/初出法隆寺1935/高田1935,室町時代
/法隆寺資財帳1992	銘文集成706	(表)p507	斑鳩町	奈文研1972(表)No.277/初出法隆寺1935,室町時代/高田1935,江戸後
/法隆寺資財帳1992	銘文集成711,図版705	(表)p507,(図版)p216-217	斑鳩町	県1980c
/法隆寺資財帳1992	銘文集成714,図版195	(表)p507,(図版)p94-95	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成716,図版315	(表)p508,(図版)p120-121	斑鳩町	
奈文研・檀考研/法隆寺資財帳1992	銘文集成720,図版960	(表)p508,(図版)p268	斑鳩町	図版は鎌倉-室町後とする/法隆寺1985
/法隆寺資財帳1992	銘文集成722,図版1043	(表)p508,(図版)p289-290	斑鳩町	奈良県1978e
/法隆寺資財帳1992	銘文集成724	(表)p508	斑鳩町	奈文研1972(表)No.373/初出高田1935/応永13年以前
/法隆寺資財帳1992	銘文集成725	(表)p508	斑鳩町	奈良県1976c/室町中期
/法隆寺資財帳1992	銘文集成726	(表)p508	斑鳩町	奈良県1976c/室町中期
/法隆寺資財帳1992	銘文集成727,図版1041	(表)p508,(図版)p289	斑鳩町	奈良県1976c/室町中期
/法隆寺資財帳1992	銘文集成728,図版1040	(表)p508,(図版)p288-289	斑鳩町	奈良県1976c/室町中期
/法隆寺資財帳1992	銘文集成729,図版1174	(表)p508,(図版)p312-314	斑鳩町	奈良県1976c
/法隆寺資財帳1992	銘文集成731,図版1322	(表)p508,(図版)p350-352	斑鳩町	出土
/法隆寺資財帳1992	銘文集成745	(表)p509	斑鳩町	奈文研1972(表)No.353/初出高田1935,嘉吉2年
/法隆寺資財帳1992	銘文集成746,図版855	(表)p509,(図版)p248-249	斑鳩町	奈文研1972(表)No.354/初出法隆寺1943a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成747	(表)p509	斑鳩町	奈文研1972(表)No.356/初出法隆寺1943a
/法隆寺資財帳1992	銘文集成753	(表)p509	斑鳩町	奈文研1972(表)No.347/初出高田1935,嘉吉2年
/法隆寺資財帳1992	銘文集成757,図版855	(表)p509,(図版)p248-249	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成765,図版343	(表)p510,(図版)p128-130	斑鳩町	奈文研1972(表)No.290/初出高田1935/法隆寺1937
/法隆寺資財帳1992	銘文集成771,図版1065	(表)p510,(図版)p292	斑鳩町	出土
/法隆寺資財帳1992	銘文集成781,図版1216	(表)p511,(図版)p326-329	斑鳩町	法隆寺1942
/法隆寺資財帳1992	銘文集成782	(表)p511	斑鳩町	奈文研1972(表)No.326/初出高田1935,長祿3年/法隆寺1942
/法隆寺資財帳1992	銘文集成791,図版527	(表)p511,(図版)p178-180	斑鳩町	奈文研1972(表)No.366/初出法隆寺1943b
/法隆寺資財帳1992	銘文集成792,図版527	(表)p511,(図版)p178-179	斑鳩町	法隆寺1943b

NO.	釈文	遺跡名	出土遺構	器質	器種等	記銘部	種類	時期
9725	イロハニホヘト/チリヌルヲワカ	法隆寺東院廻廊		軒平瓦	255A	凸狭端	簞描	室町前 I
9726	瓦大工サエモ太郎	法隆寺	不明	丸瓦		凸	簞描	
9727	瓦大工吉重ヒコ次郎		不明	丸瓦		凸	簞描	
9728	〈凹面〉(国重㊸花押)/百廿マイノウチ/(国重㊸花押)/七月六日〈狭端〉(三日月㊸刻印)		不明	平瓦	89	凹・狭端	簞描・刻印	室町中 I
9729	大工 吉重(半分欠失)		不明	平瓦		凹	簞描	
9730	瓦(文字の左に鎌様の絵)		不明	平瓦	23	凸	簞描	白鳳前-後
9731	御□[覚]/一八十枚丸/一十枚平/一卅貳枚からくさ/一卅枚色/一卅貳枚めんと/九月六日		不明	平瓦	83	凹	簞描	室町前 I - II
9732	□□□[六カ]年 三月二十一日		不明	平瓦	64	凹	簞描	鎌倉前
9733	〈凹面〉□□(へラ記号×)/瓦坊 上宮太子□〈狭端〉(四菱㊸刻印)		不明	平瓦	103	凹・狭端	簞描・刻印	室町後 I
9734	大工(叩き板)		不明	平瓦		凸	簞描	鎌倉前-後
9735	二		不明	軒丸瓦	89M	横棧	簞描	室町後 I
9736	三		不明	軒丸瓦	89V	凸	簞描	室町後 II
9737	彦次郎		不明	鳥衾瓦	89S	凸	簞描	室町中 I
9738	□		不明	塼	4Bカ	下	簞描	奈良後 I
9739	四百枚之内□□□[彦二郎カ]		不明	塼	14	下	簞描	室町中 II
9740	(吉重花押)			平瓦		凹	へらがき	
9741	(簞書)			丸瓦			簞書	
9742	(正重カ㊸の花押)(不明㊸の花押)	法隆寺綱封蔵		平瓦	81	凹	簞描	室町前 II
9743	(正重カ㊸の花押)(国重㊸の花押)			平瓦	82	凹	簞描	室町前 I - II
9744	(吉重㊸の花押)	法隆寺	不明	平瓦	88	凹	簞描	室町中 I
9745	(吉重㊸の花押)	法隆寺(東室北)		鬼瓦	52系	脚	簞描	室町中 II
9746	(不明㊸の花押)	法隆寺西院経蔵		雁振	9	凹	簞描	室町中-後
9747	(火炎宝珠文の簞描き)	法隆寺(若草伽藍2次金堂)	KC45瓦溜	軒平瓦	208B	顎	簞描	飛鳥中
9748	(火炎文の簞描き)	法隆寺	不明	軒平瓦	215A	顎	簞描	飛鳥中
9749	(均整忍冬唐草文の簞描き)	法隆寺(大宝蔵殿西)		軒平瓦	215A	顎	簞描	飛鳥中
9750	(均整忍冬唐草文の簞描き)	法隆寺(三経院西方)		軒平瓦	215A	顎	簞描	飛鳥中
9751	(均整忍冬唐草文の簞描き)	法隆寺(収蔵庫)		軒平瓦	215A	顎	簞描	飛鳥中
9752	(草花の絵)	法隆寺	不明	平瓦	94	凹	簞描	室町中 II
9753	(草花の絵カ)		不明	平瓦	94	凸	簞描	室町中 II
9754	(人物の絵)		不明	平瓦	27	凹	簞描	白鳳
9755	(人物の絵)	法隆寺(西院経蔵東南)		平瓦	27		簞描	白鳳前
9756	(花と人物の絵)	法隆寺細殿		丸瓦	26	凸	簞描	奈良前 II - 後 I
9757	(扇の絵)	法隆寺	不明	平瓦	100	凸	簞描	室町中 II
9758	(宝珠の絵)	法隆寺綱封蔵		平瓦	84	凸	簞描	室町前 I - II
9759	(家の絵)	法隆寺東院大垣		平瓦	94	凸	簞描	室町中 II
9760	(家の絵)	法隆寺食堂		平瓦	21	凸	簞描	白鳳前-後
9761	(魚の絵)	法隆寺(大湯屋表門東方)		平瓦	27	凸	簞描	白鳳
9762	(兎の絵)	法隆寺西院廻廊西		平瓦	94	凹	簞描	室町中 II
9763	(不明の絵)	法隆寺(西院廻廊西)		平瓦	27	凸	簞描	白鳳
9764	(不明の絵)	法隆寺(西室西)		平瓦	4	凸	簞描	飛鳥前-中
9765	(不明の絵)	法隆寺	不明	平瓦	22	凸	簞描	白鳳前-後
9766	(不明の絵)	法隆寺(若草伽藍1次塔)		鷗尾	4	頭部	簞描	飛鳥中
9767	(不明の絵)	法隆寺中門		平瓦	H-1		墨書	室町前
9768	廿八			平瓦	H-8		へら書	室町前
9769	ヲウエノ十五/四月廿一日/ニシノカウノ/ス王ウ三フ/ラウトノ/シテノヒトニ/フカサシテ			平瓦	H-8		へら書	室町前
9770	文永三年三月八日			熨斗瓦		凸	へら書	鎌倉後
9771	シモ	法隆寺中門妻降棟(東妻北方)		鳥衾瓦	J-1	顎	へら書	室町後
9772	…ツ尔佐久□[夜カ]□…	中宮寺跡		平瓦		側端	刻書	7中頃-後頃
9773	□□[有カ]			平瓦		凸	刻書	7前
9774	□/□[日カ]月/□[月カ]			平瓦		凸	刻書	7前頃
9775	□十三/□[月カ]日			平瓦		凸	簞書	7c
9776	西/寺	法起寺		軒丸瓦	複製八弁蓮華文	珠文帯	—	平安前
9777	□[大カ]	法起寺旧境内7次		須恵器	杯	底外	墨書	
9778	(重層の建物の画)	法輪寺旧境内13次	講堂基壇北側	丸瓦		凸	線刻	白鳳
9779	(相輪の画カ)		講堂基壇北側	丸瓦		側端部凸	線刻	白鳳
9780	(ハスの花びらとつぼみ側面の画)		講堂基壇北側	平瓦		広端凸	線刻	白鳳
9781	享徳二年(癸/酉)卯月吉日竜田伝燈寺/時之奉行聖存賢祐/瓦大工左衛門大夫橘吉重	廃伝燈寺		鳥衾				享徳2(1453)
9782	当院瓦銘(橘吉重寿王大夫/寛正三年八月日)	三宝院		瓦				寛正3(1462)
9783	封	落戸遺跡	2トレ	石製品	石印	—	陰刻	
9784	目[あるいは司カ]	下永東方遺跡1次	SE05	土師器	皿	底	刻書	奈良-平安
9785	(墨書の可能性)	下永東方遺跡3次	II区SE050上層	瓦器	椀	高台内	墨書	12後
9786	(墨書)		II・IV区SE051西半	瓦器	椀		墨書	12後古
9787	□[土カ]□	下永東城遺跡	1・2号溝	土師器	皿	底内	墨書	奈良
9788	□[庄または長の略字カ]		調査区外壁	土師器	杯	底内	墨書	奈良
9789	(判読不能)	三河遺跡1次	B区SX12	黒色土器A	椀	底	墨書	9c
9790	工	三河遺跡2次	SX-031 F区中層	須恵器	皿	底	墨書	
9791	文	伴堂東遺跡2次	SK1070d4	土師器	杯	底	墨書	飛鳥Ⅲ期
9792	合		SE2430	土師器	杯	底	墨書	平城Ⅵ期

調査主体/報告書	遺物番号	掲載頁	所在地	備考
/法隆寺資財帳1992	銘文集成793,図版483	(表)p511,(図版)p168・169	斑鳩町	奈文研1972(表)No.365/初出法隆寺1943b
/法隆寺資財帳1992	銘文集成808	(表)p512	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成809	(表)p512	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成816,図版848	(表)p513,(図版)p248・249	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成819	(表)p513	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成822,図版784	(表)p513,(図版)p236	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成823,図版844	(表)p513,(図版)p247	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成825,図版825	(表)p513,(図版)p243・244	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成826,図版864	(表)p513,(図版)p250・252	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成829,図版835	(表)p513,(図版)p246	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成838A,図版178	(表)p514,(図版)p90・91	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成838B,図版184	(表)p514,(図版)p92・93	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成857,図版1177	(表)p515,(図版)p312・315	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成858,図版1287	(表)p515,(図版)p346・347	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成859,図版1301	(表)p515,(図版)p348・349	斑鳩町	
/奈文研1972	(表)No.355		斑鳩町	初出法隆寺1943a
/檀考研博1977		(表)p129	斑鳩町	(保管)黒川古文化研究所
/法隆寺資財帳1992	銘文集成1009,図版842	(表)p523,(図版)p247・248	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成1010,図版843	(表)p523,(図版)p247・248	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成1011,図版849	(表)p523,(図版)p248	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成1014,図版1053	(表)p523,(図版)p290・291	斑鳩町	出土
/法隆寺資財帳1992	銘文集成1016,図版1217	(表)p523,(図版)p328・329	斑鳩町	奈良県1983c(図版のみ)
国営発掘/法隆寺資財帳1992	銘文集成1017,図版358	(表)p523,(図版)p134・135	斑鳩町	出土/奈文研2007c-Fig104-15
/法隆寺資財帳1992	銘文集成1018,図版371	(表)p523,(図版)p136・137	斑鳩町	
奈文研・檀考研/法隆寺資財帳1992	銘文集成1019,図版371	(表)p523,(図版)p136・137	斑鳩町	法隆寺1985,計2点
/法隆寺資財帳1992	銘文集成1020	(表)p523	斑鳩町	出土
/法隆寺資財帳1992	銘文集成1021	(表)p523	斑鳩町	出土
/法隆寺資財帳1992	銘文集成1022,図版855	(表)p523,(図版)p248・250	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成1024,図版855	(表)p524,(図版)p248・250	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成1027,図版788	(表)p524,(図版)p236	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成1029,図版788	(表)p524,(図版)p236	斑鳩町	出土
/法隆寺資財帳1992	銘文集成1030A,図版709	(表)p524,(図版)p216・218・219	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成1030B,図版	(表)p524,(図版)p250	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成1031,図版845	(表)p524,(図版)p247	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成1033,図版855	(表)p524,(図版)p248・249	斑鳩町	
/法隆寺資財帳1992	銘文集成1034,図版782	(表)p524,(図版)p236	斑鳩町	
奈文研・檀考研/法隆寺資財帳1992	銘文集成1042,図版788	(表)p524,(図版)p236	斑鳩町	法隆寺1984-p31(7)
/法隆寺資財帳1992	銘文集成1044,図版855	(表)p525,(図版)p248・250	斑鳩町	奈良県1983c
/法隆寺資財帳1992	銘文集成1051B,図版788	(表)p525,(図版)p236	斑鳩町	出土
/法隆寺資財帳1992	銘文集成1052,図版765	(表)p525,(図版)p232・233	斑鳩町	出土
/法隆寺資財帳1992	銘文集成1053,図版783	(表)p525,(図版)p235・236	斑鳩町	
国営発掘/法隆寺資財帳1992	銘文集成1054,図版970	(表)p525,(図版)p273	斑鳩町	出土/奈文研2007c-Fig48-49
奈良県/2017i		(表)p88	斑鳩町	
奈良県/2017i		(本文)p89,(表)p68・88,(図版)第229図	斑鳩町	
奈良県/2017i	至宝平瓦七三	(本文)p89,(図版)第230図	斑鳩町	
奈良県/2017i		(本文)p81・89,(表)p86,(図版)第165・230図	斑鳩町	
—/斑鳩町2013	図171-1	(本文)p252,(図)p253,(図版)PL.152	斑鳩町	次数毎に調査主体が異なるが、次数不明
—/斑鳩町2013	図171-2	(本文)p252,(図)p253,(図版)PL.152	斑鳩町	次数毎に調査主体が異なるが、次数不明
—/斑鳩町2013	図171-3	(本文)p252,(図)p253,(図版)PL.153	斑鳩町	次数毎に調査主体が異なるが、次数不明
—/斑鳩町2013	図171-4	(本文)p252,(図)p253,(図版)PL.153	斑鳩町	次数毎に調査主体が異なるが、次数不明
/檀考研博1978	883	(本文・写真)p109	斑鳩町	(保管)檀考研博
檀考研/県1994b	図5-2	(本文・図)p8	斑鳩町	
斑鳩町・檀考研/県埋文連協2004		(本文)p81,(図)p84	斑鳩町	斑鳩町2012(53)にも掲載
斑鳩町・檀考研/県埋文連協2004		(本文)p82,(図)p84	斑鳩町	斑鳩町2012(52)にも掲載
斑鳩町・檀考研/県埋文連協2004		(本文)p82・3,(図)p84	斑鳩町	斑鳩町2012(51)にも掲載
/土井1956		(本文)p274	斑鳩町	(所蔵)京都府宇治町法界寺
/土井1956		(本文)p286	斑鳩町	「一陽集」三宝院の条に掲載/現品亡失
檀考研/県1999e	図4・5	(本文)p2・4,(図)p4,(図版)PL.2	安堵町	奈良前?
檀考研/県2001a	図33-123	(本文)p49,(図)p51,(表)p63,(図版)PL.33	川西町	
檀考研/県2019b	図43-49	(本文)p58,(図)p59	川西町	
檀考研/県2019b	図46-20	(図)p62	川西町	本文中に言及なし
檀考研/県2003i	第58図-293	(本文)p136,(図)p120	川西町	2文字が1字に組み合わせられた可能性あり
檀考研/県2003i	第88図-675	(本文)p184,(図)p182	川西町	
檀考研/県2008a	図61-86	(本文)p59,(図)p61	三宅町	
檀考研/県2008a	図101-205	(本文)p146,(図)p144,(図版)PL.64	三宅町	
檀考研/県2002a	図215-22	(本文)p433,(図)p430,(表)p432,(図版)PL.319	三宅町	
檀考研/県2002a	図216-15	(本文)p433,(図)p434,(表)p435,(図版)PL.320	三宅町	

NO.	釈文	遺跡名	出土遺構	器質	器種等	記銘部	種類	時期
9793	□〔はカ〕	十六面・薬王寺遺跡21次	SK52	山茶椀	椀	高台内	墨書	平安末
9794	(判読不能)	笹鉾山古墳群	SD-4101上層	土師器	皿	底	墨書	8c
9795	(左手に弓をもつ人物の画)	佐味遺跡	中の橋川河川敷地区 P.4(採集)	土師器	杯	内	針書	7前-8前
9796	生日	多遺跡9次	河1	須恵器	杯	底外	墨書	7末力
9797	(記号)○	保津・宮古遺跡18次	SD101上層	土師器	椀	口縁	墨書	8後
9798	富女		SD101	土器			墨書	8後-末頃
9799	矢	阪手北遺跡3次	2トレ落ち込み	須恵器	杯蓋	つまみ	墨書	古代
9800	大		1トレ落ち込み下層	黒色土器A		底	墨書	古代
9801	(未判読)		1トレ落ち込み下層	土師器	杯	底	墨書	古代
9802	請国	東井上大日塚遺跡	盛土内	瓦			一	中世力
9803	田	東井上遺跡1次	SR-1101	土師器	椀	底外	墨書	6末-8前
9804	長尾	佐田遺跡群北ノ尾南遺跡	北西区	土器	杯	底	墨書	
9805	□□			土器			墨書	
9806	長尾		北西区	土器	杯	底	墨書	
9807	□〔西あるいは西カ〕		北西区	土器	杯	底内	針書	
9808	□	観覚寺遺跡9次						
-9811	□		土壌1	土師器	椀	底	墨書	平安初
9812	□		土壌1	土師器	椀	底	墨書	平安初
9813	□							
9814	□		土壌1	土師器	杯	底	墨書	平安初
9815	□							
9816	□		土壌1	土師器	皿	底	墨書	平安初
9817	□							
9818	□		土壌1	土師器	皿	底	墨書	平安初
9819	□		土壌1	土師器		底	墨書	平安初
-9822	□							
9823	□		土壌1	土師器		底	墨書	平安初
-9845	□							
9846	(記号) = (カタカナの「キ」状)	薩摩遺跡5次	SD1303下層5B区	須恵器	高台付杯	底外	墨書	奈良~平安
9847	(判読不能)	薩摩遺跡8次	下部青粘土	土師器	杯		墨書	奈良-平安
9848	五郎		下部青粘土	土師器	椀力		墨書	奈良-平安
9849	(線刻)		下部青粘土	土師器	椀力	底外	針書	奈良-平安
9850	(判読不能)	薩摩遺跡10次	下部青粘土	土師器	皿		墨書	奈良-平安
9851								
9852	(判読不能)		堤2次盛土	土師器	皿		墨書	9中-後
9853	□家小万呂	小墾田宮推定地2次	SK260	土師器		底	墨書	8前
9854	小治宮	雷丘東方遺跡3次	SE01石敷直上	土師器	皿	底外	墨書	平城宮VII
9855	小治田宮		SE01石敷直上	土師器	皿	底外	墨書	平城宮VII
9856	小治田宮		SE01石敷直上	土師器	皿	底外	墨書	平城宮VII
9857	小治田宮		SE01石敷直上	土師器	皿	底外	墨書	平城宮VII
9858	小治田宮		SE01石敷直上	土師器	皿	底外	墨書	平城宮VII
9859	小治田宮		SE01石敷直上	土師器	皿	底外	墨書	平城宮VII
9860	小治田宮		SE01石敷直上	土師器	皿	底外	墨書	平城宮VII
9861	小治田宮		SE01石敷直上	土師器	皿	底外	墨書	平城宮VII
9862	小治田宮		SE01石敷直上	土師器	皿	底外	墨書	平城宮VII
9863	小治田宮		SE01石敷直上	黒色土器	皿	底外	墨書	平城宮VII
9864	小治田宮		SE01石敷直上	土師器	皿	底外	墨書	平城宮VII
9865	小治田宮		SE01石敷直上	土師器	皿	底外	墨書	平城宮VII
9866	副		SE01石敷直上	土師器	皿	底外	墨書	平城宮VII
9867	福嗣		SE01石敷直上	土師器	杯	底外	墨書	平城宮VII
9868	□城下		SE01上層堆積土	土師器	皿	底外	墨書	平安初-9後
9869	大□寺		SE01上層堆積土	土師器	杯	底外	墨書	平安初-9後
9870	宮		SE01上層堆積土	黒色土器	杯	底外	墨書	平安初-9後
9871	□□		SE01上層堆積土	須恵器	杯	底外	墨書	平安初-9後
9872	宮		SE01下層堆積土	土器			墨書	平安初-9後
9873	宮		SE01下層堆積土	土師器			墨書	平安初-9後
9874	(墨書)		SE01下層堆積土	土器			墨書	平安初-9後
9875	(墨書)							
9876	(墨書)		SE01掘形	土器			墨書	平城宮VI
9877	(「私秤」とも読める)	飛鳥京跡10次	SD6612	須恵器			籀書	
9878	西□	飛鳥京跡96次	バラス層	土師器	杯	底	墨書	
9879	水	飛鳥京跡152次	SD0315最上層	須恵器	杯A	底外	墨書	飛鳥IV-V
9880	水		SD0315中層	須恵器	杯B蓋	内	墨書	飛鳥IV-V
9881	水		SD0315中層	須恵器	杯B蓋	内	墨書	飛鳥IV-V
9882	水		SD0315中層	須恵器	杯B蓋	内	墨書	飛鳥IV-V
9883	水取		SD0315中層	須恵器	杯B蓋	外	墨書	飛鳥IV-V
9884	(墨書)							
-9886			SD0315	土師器	杯	底外	墨書	飛鳥IV-V
9887	山□		SD0315最上層	土師器	皿B蓋	外	刻書	飛鳥IV-V
9888	(判読不能)		SD0315最上層	須恵器		内	刻書	飛鳥IV-V
9889	岡本		SD0315最上層	須恵器	甕類	外	刻書	飛鳥IV-V
9890	□〔廿または記号カ〕		SD0315最上層	須恵器	杯類	底外	刻書	飛鳥IV-V
9891	□〔赤カ〕		SD0315中層	土師器	杯B蓋	外	刻書	飛鳥IV-V
9892	四□	飛鳥京跡1998-20次	土坑9	須恵器	甕	体外	墨書	
9893	田村	飛鳥京跡苑池	SG9801敷石直上	土師器	杯A	底外	墨書	
-9896	林		SG9801有機質層中層	土師器	杯A	底外	墨書	11c-13c
9898	(「見」などの習字や記号)		SG9801有機質層下層	土師器	杯A	底外	墨書	平安京II-III期
9899	川原寺		SG9801敷石直上	土師器	杯A	底外	墨書	
9900	川原寺		SG98011有機質土より下層	土師器	杯A	底外	墨書	

調査主体/報告書	遺物番号	掲載頁	所在地	備考
田原本町/2006	22	(本文・図)p17	田原本町	
田原本町/2005	写真42-1(図6-6)	(本文・図)p21	田原本町	
採集/田原本町2015	第7図76	(本文)p164,(図)p166	田原本町	1974-77年河川敷採集
檀考研/県1985c	図20-138	(本文)p411,(図)p410,図版14	田原本町	
田原本町/1997	3	(本文・図)p23	田原本町	
田原本町/1997		(本文)p22	田原本町	
田原本町/2002	9	(本文・図)p15	田原本町	平城宮Ⅱカ
田原本町/2002	10	(本文・図)p15	田原本町	南都Ⅱ期新段階
田原本町/2002	11	(本文・図)p15	田原本町	南都Ⅱ期新段階
田原本町/1990		(本文)p10	田原本町	
檀考研/県2006g	図10-30,写真17-8	(本文)p328,(図)p329,(写真)p335	田原本町	
檀考研/県1984b		(本文)p558	高取町	(図版)檀考研博1987-36
檀考研/博1987	37	(図版)p2	高取町	県1984b「他に2-3片、墨付のある土師器片」とあるうちの1点か
檀考研/県1984b		(本文)p558	高取町	檀考研博1987-38
檀考研/県1984b		(本文)p558	高取町	檀考研博1987-39「西」
高取町/2014	図12-1・2・4・5	(本文)p31,(図)p14,(表)p22,(図版)写真図版12	高取町	計4点
高取町/2014	図12-3・6	(本文)p31,(図)p14,(表)p22,(図版)写真図版12	高取町	計2点/p31で「隅」と判読する土器カ
高取町/2014	図12-18・20	(本文)p31,(図)p14,(表)p22,(図版)写真図版12	高取町	計2点/p31で「隅」と判読する土器カ
高取町/2014	図13-24・26	(本文)p31,(図)p15,(表)p23,(図版)写真図版13	高取町	計2点/p31で「隅」と判読する土器カ
高取町/2014	図13-34	(本文)p31,(図)p15,(表)p23	高取町	
高取町/2014	図14-42・43・55・64	(本文)p31,(図)p16,(表)p23・24	高取町	計4点/p31で「隅」と判読する土器カ
高取町/2014	図14-44・54・56・63・65-68	(本文)p31,(図)p16,(表)p24・25	高取町	計23点
檀考研/県2015d	図52-787	(図)p76,(表)p131	高取町	
檀考研/県2020a	PL.92-412	(本文)p148,(図)p176,(表)p229,(図版)PL.92	高取町	
檀考研/県2020a	PL.92-418	(本文)p148,(図)p176,(表)p229,(図版)PL.92	高取町	
檀考研/県2020a	図110-419	(図)p176,(表)p229	高取町	
檀考研/県2020a	PL.92-461・462	(本文)p148,(図)p179,(表)p229,(図版)PL.92	高取町	計2点
檀考研/県2020a	PL.92-282	(本文)p146,(図)p173,(表)p223,(図版)PL.92	高取町	
奈文研/1974a		(本文)p12	明日香村	【加筆】器質記銘部
明日香村/1988	第14図-201	(本文)p9・10,(図)p17,図版13	明日香村	
明日香村/1988	第14図-202	(本文)p9・10,(図)p17,図版13	明日香村	
明日香村/1988	第14図-203	(本文)p9・10,(図)p17,図版12	明日香村	
明日香村/1988	第14図-204	(本文)p9・10,(図)p17,図版12	明日香村	
明日香村/1988	第15図-205	(本文)p9・10,(図)p18,図版11	明日香村	
明日香村/1988	第15図-206	(本文)p9・10,(図)p18,図版11	明日香村	
明日香村/1988	第15図-207	(本文)p9・10,(図)p18,図版14	明日香村	
明日香村/1988	第15図-208	(本文)p9・10,(図)p18,図版14	明日香村	
明日香村/1988	第16図-209	(本文)p9・10,(図)p19,図版15	明日香村	
明日香村/1988	第16図-210	(本文)p9・10,(図)p19,図版15	明日香村	
明日香村/1988	第16図-211	(本文)p9・10,(図)p19,図版16	明日香村	
明日香村/1988	第16図-212	(本文)p9・10,(図)p19,図版16	明日香村	
明日香村/1988	第17図-213	(本文)p9・10,(図)p20,図版17	明日香村	
明日香村/1988	第17図-214	(本文)p9・10,(図)p20,図版17	明日香村	
明日香村/1988	第19図-220	(本文)p10,(図)p21,図版18	明日香村	
明日香村/1988	第19図-221	(本文)p10,(図)p21,図版18	明日香村	
明日香村/1988	第19図-222	(本文)p10,(図)p21,図版19	明日香村	
明日香村/1988	第19図-223	(本文)p10,(図)p21	明日香村	
明日香村/1988	第18図-215	(本文)p10,(図)p20	明日香村	
明日香村/1988	第18図-216	(本文)p10,(図)p20	明日香村	
明日香村/1988	第18図-217・218	(本文)p10,(図)p20	明日香村	計2点
明日香村/1988	第18図-219	(本文)p10,(図)p20	明日香村	
檀考研/県1980b	第70図-378	(本文・図)p262	明日香村	
檀考研/県1983b	図34-1	(本文)p46,(図)p45	明日香村	
檀考研/県2011g	図47-1	(本文・図)p56,図版31	明日香村	
檀考研/県2011g	図47-2	(本文・図)p56,図版31	明日香村	
檀考研/県2011g	図47-3	(本文・図)p56,図版31	明日香村	
檀考研/県2011g	図版31上-①	(本文)p56,図版31	明日香村	
檀考研/県2011g	図47-4	(本文・図)p56,図版31	明日香村	
檀考研/県2011g	図版31上-②-④	(本文)p56,図版31	明日香村	計3点
檀考研/県2011g	図版31下-②	(本文)p56,図版31	明日香村	
檀考研/県2011g	図版31下-③	(本文)p56,図版31	明日香村	
檀考研/県2011g	図47-5	(本文・図)p56,図版31	明日香村	
檀考研/県2011g	図版31下-⑤	(本文)p56,図版31	明日香村	
檀考研/県2011g	図版31下-⑦	(本文)p56,図版31	明日香村	
明日香村/			明日香村	【未公表】
檀考研/県2012e	図95-292-295	(本文)p105,(図)p106,(表)p115,図版73	明日香村	計4点
檀考研/県2012e	図95-296	(本文)p105,(図)p106,(表)p115,図版73	明日香村	
檀考研/県2012e	図95-297	(本文)p105,(図)p106,(表)p115,図版74	明日香村	
檀考研/県2012e	図95-298	(本文)p105,(図)p106,(表)p115,図版73	明日香村	
檀考研/県2012e	図95-299	(本文)p105,(図)p106,(表)p115,図版74	明日香村	

NO.	釈文	遺跡名	出土遺構	器質	器種等	記銘部	種類	時期
9901	川□〔原カ〕	飛鳥京跡苑池	SG9801鳥状石積み直上	土師器	皿A	底外	墨書	
9902	(墨書)		SG9801	土師器	皿A	底外	墨書	
9903	福生		SG9801有機質層中層	灰釉	椀A	底外	墨書	11c-13c
9904	(墨書)		SG9801有機質層下層	土師器	皿A	底外	墨書	平安京Ⅱ-Ⅲ期
9905	岡寺		SD0003有機質層下層	土師器	椀	底外	墨書	平安京Ⅱ-Ⅲ期
9906	岡寺		SG9801有機質層上層	土師器			墨書	
9907	高		SG9801有機質層下層	土師器			墨書	平安京Ⅱ-Ⅲ期
9908	(墨書)		SG9801敷石直上	土師器			墨書	
9909	大		SG9801砂礫層	土師器		外	墨書	
9910	(墨書)		SG9801有機質層下層	須恵器		内	墨書	平安京Ⅱ-Ⅲ期
9911	(墨書)		SG9801敷石直上	土師器			墨書	
9912	(「嶋」などの習字)		SG9801有機質層下層	須恵器		内	墨書	
9913	寺		SG9801粗砂層	土師器		外	墨書	
9914	(「嵬」などの習字4字)		SD0003有機質層下層	須恵器		内	墨書	
9915	□里□		SD0003暗青灰色粘土中層	土師器	蓋	天井外	刻書	
9916	川原寺坏莫取若取事有者□□相而和豆良皮牟毛乃叙又母言久皮野□	飛鳥京跡苑池8次		土師器		外	刻書	飛鳥
9917	多く/多)多多名名	飛鳥寺2次中門		平瓦		凹	ヘラ描	創建期カ
9918	(判読不能)			平瓦		凸	ヘラ描	7後
9919	白髪部/□□〔髪部カ〕	飛鳥寺3次講堂		平瓦		凸	ヘラ描	7後カ
9920	女瓦□			平瓦		凹	ヘラ描	7後
9921	□□〔六口カ〕/□	飛鳥寺寺域西限付近1982年度C		平瓦		凸狭端側縁付近	ヘラ描	7後
9922	六十□			丸瓦	行基式	凸狭端16cm付近	ヘラ描	7後
9923	人□	飛鳥寺1987-1次		丸瓦		筒凸狭端寄	ヘラ描	7後or以降
9924	□/止僧都□□〔会少カ〕		瓦溜まり	平瓦		凸狭端側縁付近	ヘラ描	7後カ
9925	女瓦		瓦組	平瓦		凸	ヘラ描	
9926	飛	飛鳥寺1992-1次		平瓦		凸側縁寄	ヘラ描	創建期カ
9927	〈□□/□〉/□□			平瓦		凸	ヘラ描	創建期カ
9928	(建物カの絵)	飛鳥寺1993-2次		平瓦			篋書	
9929	□〔「飛」と同様の文字〕/飛□	飛鳥寺119-1次		土師器	甕	体	墨書	
9930	爵	史跡飛鳥寺跡1997-21次		硯	円面硯	裏	刻書	
9931	乍			平瓦			刻書	
9932	□〔余カ〕	飛鳥寺跡2002-6次		土師器	杯C	底	墨書	
9933	□/□〔アカ〕/□〔又カ〕/乙	飛鳥寺北方188-19次		平瓦		凸狭端近	ヘラ書	創建瓦
9934	□			平瓦			ヘラ書	7後カ
9935	日下アエ□□	飛鳥寺北方192-1次		平瓦		凸狭端近	ヘラ書	7後
9936	(戯画)	飛鳥寺北方188-19or192-1・9次		瓦			—	
9937	(記号)= (斜格子)			埴		片	ヘラ描	
9938	(斜格子の線刻)	飛鳥寺旧境内197-2次		埴		片	線刻	
9939	〈体外〉□(当あるいは多カ)〈底〉女(線刻)	飛鳥寺旧境内197-6次	SD2045	須恵器	壺	体外・底	墨書線刻	古代
9940	□□□〔少治田カ〕寺	奥山久米寺1977年度	SE150	土師器	杯	底外	墨書	平安初期
9941	九ノ八十一	奥山久米寺1987-1次		平瓦			篋書	
9942	(戯画)			瓦			篋書	
9943								
9944	奥	奥山久米寺1999-3次	SE380	土師器	椀A	底外	墨書	奈良末
9945	奥		SE380	土師器	皿A	底外	墨書	奈良末
9946	日月	橘寺1986-1次	大土坑	土師器		口縁	墨書	藤原宮期-奈良中頃
9947	山		大土坑	土師器		口縁	墨書	藤原宮期-奈良中頃
9948	山		大土坑	土師器		底	墨書	藤原宮期-奈良中頃
9949	山		大土坑	土師器		底	墨書	藤原宮期-奈良中頃
9950	西外四	橘寺1995-1次	調査区北部石敷	埴	緑釉水波文		ヘラ書	
9951	橘寺	橘寺		軒丸瓦	三巴文		篋書	
9952	橘寺			軒丸瓦	複弁蓮華文		篋書	奈良後
9953	文明十六年(甲/辰)五月日造之			鳥衾		胴上面	篋書	文明16(1484)
9954	法/優	伝橘寺出土		瓦経	一仏一字瓦経	表裏	刻書	
9955	川原寺	川原寺跡1-3次		平瓦		上	ヘラ書	平安後
9956	(戯画)			平瓦		上	ヘラ書	平安後
9957	□八		東廻廊南端東側	埴	緑釉波文	裏	篋描	
9958	師国寺	川原寺跡119-5次寺域北		平瓦			ヘラ描	平安
9959	及	川原寺跡133-12次		平瓦		凸	篋書	創建期
9960	□□壬			平瓦		凸	篋書	創建期
9961	□有			平瓦		凸	篋書	創建期
9962	(篋書)			平瓦		凸	篋書	創建期
9963	阿弥他(ママ)	川原寺裏山遺跡		埴			篋描	
9964	釋			埴			篋描	
9965	勒			埴			篋描	
9966	北大一			緑釉埴			篋描or墨書	
9967	第十一□三			緑釉埴			篋描or墨書	
9968	西方	岡寺		軒平瓦	忍冬唐草文	隅瓦裏	篋書	奈良後

調査主体/報告書	遺物番号	掲載頁	所在地	備考
檀考研/県2012e	図95-300	(本文)p105,(図)p106,(表)p115,図版74	明日香村	
檀考研/県2012e	図95-301	(本文)p105,(図)p106,(表)p115,図版74	明日香村	
檀考研/県2012e	図95-302	(本文)p105,(図)p106,(表)p115,図版74	明日香村	
檀考研/県2012e	図95-303	(本文)p105,(図)p106,(表)p115	明日香村	
檀考研/県2012e	図95-304	(本文)p105,(図)p106,(表)p115,図版74	明日香村	
檀考研/県2012e	図95-305	(本文)p105,(図)p106,(表)p115,図版74	明日香村	
檀考研/県2012e	図95-306	(本文)p105,(図)p106,(表)p115	明日香村	
檀考研/県2012e	図95-307	(本文)p105,(図)p106,(表)p115	明日香村	
檀考研/県2012e	図95-308	(本文)p105,(図)p106,(表)p115	明日香村	
檀考研/県2012e	図95-309	(本文)p105,(図)p106,(表)p115	明日香村	
檀考研/県2012e	図95-310	(本文)p105,(図)p106,(表)p115	明日香村	
檀考研/県2012e	図95-311	(本文)p105,(図)p106,(表)p115,図版74	明日香村	
檀考研/県2012e	図95-312	(本文)p105,(図)p106,(表)p115	明日香村	
檀考研/県2012e	図95-313	(本文)p105,(図)p106,(表)p115	明日香村	
檀考研/県2012e	図95-314	(本文)p105,(図)p106,(表)p115,図版74	明日香村	
檀考研/檀考研博2018	写真20	(本文)p17,(写真)p20,(表)p147	明日香村	
奈文研/2015	図70-1	(本文)p52・55,(図)p54	明日香村	初出1958/2015で再訳読
奈文研/2015	図70-11	(本文)p55,(図)p54	明日香村	初出1958/2015で再訳読
奈文研/2015	図70-3	(本文)p52・53・55,(図)p54	明日香村	初出1958/2015で再訳読
奈文研/2015	図70-4	(本文)p53・55,(図)p54	明日香村	
奈文研/2015	図70-9	(本文)p55,(図)p54	明日香村	
奈文研/2015	図70-10	(本文)p55,(図)p54	明日香村	
奈文研/2015	図70-8	(本文)p53・55,(図)p54	明日香村	
奈文研/2015	図70-2	(本文)p52・55,(図)p54	明日香村	初出1989c/2015で再訳読
奈文研/2015	図70-5	(本文)p53・55,(図)p54	明日香村	初出1989c
奈文研/2015	図70-6	(本文)p53・55,(図)p54	明日香村	
奈文研/2015	図70-7	(本文)p53・55,(図)p54	明日香村	6と同一個体か、「飛」の一部の可能性
奈文研/1994a	Fig38	(本文)p106,(図)p105,(表)p106	明日香村	
奈文研/2003e		(本文・図)p107	明日香村	
明日香村/1999		(本文)p46	明日香村	
明日香村/1999	第44図-5	(本文・図)p46	明日香村	
明日香村/2002		(本文)p32	明日香村	
奈文研/2018c	図141-1	(本文・図)p109	明日香村	□[部カ]/□[又カ]の2文字天地逆
奈文研/2018c	図141-3	(本文・図)p109	明日香村	
奈文研/2018c	図141-2	(本文・図)p109	明日香村	
奈文研/2018c		(表)p109	明日香村	
奈文研/2018c	図140-21	(本文・図)p108	明日香村	
奈文研/2019	図155-25	(本文)p105,(図)p104	明日香村	
奈文研/2020	図135-11	(本文・図)p112	明日香村	線刻は焼成前/漆容器
奈文研/2000a		(本文)p56	明日香村	初出1978c(本文)p59(図)p58-2
奈文研/1988a		(本文)p71	明日香村	
奈文研/1988a		(本文)p71	明日香村	計2点確認/平瓦凸・丸瓦凸各1点
奈文研/2000a	図51-2	(本文)p55・56,(図)p55	明日香村	
奈文研/2000a	図51-3	(本文)p55・56,(図)p55	明日香村	
奈文研/1987f		(本文)p68	明日香村	【加筆】遺構器質記銘部
奈文研/1987f		(本文)p68	明日香村	【加筆】遺構器質記銘部
奈文研/1987f		(本文)p68	明日香村	【加筆】遺構器質記銘部
奈文研/1987f		(本文)p68	明日香村	【加筆】遺構器質記銘部
奈文研/1997c	図64-6	(本文・図)p74	明日香村	へら書は焼成前
/檀考研博1977		(表)p127	明日香村	(保管)黒川古文化研究所
/檀考研博1977		(表)p127	明日香村	(保管)黒川古文化研究所
/土井1956		(本文)p306	明日香村	(所蔵)県立畷傍高等学校.鳥衾の胴の上面に一行 篋書銘あり
/立正大2013	32	(本文・図)p28	明日香村	(所蔵)立正大学
奈文研/1960	Fig.19左	(本文)p38,(図)p37	明日香村	
奈文研/1960	Fig.19右	(本文)p38,(図)p37	明日香村	
奈文研/1997c		(本文)p74	明日香村	初出奈文研1960(本文)p38,(図)p38,図版PL.52-97 「八字状の篋描」
奈文研/2004a	Fig.21-9	(本文)p30,(図)p31	明日香村	2004bにも記載あり
奈文研/2006c		(本文)p78	明日香村	
奈文研/2006c		(本文)p78	明日香村	
奈文研/2006c		(本文)p78	明日香村	
奈文研/2006c		(本文)p78	明日香村	
檀考研/京博1975			明日香村	
/檀考研博1977		(表)p126	明日香村	(保管)黒川古文化研究所

NO.	釈文	遺跡名	出土遺構	器質	器種等	記銘部	種類	時期
9969	□〔主カ〕/〔記号〕=〔カ〕状の文字を複数並べる	史跡岡寺跡5次	造成土(56層)	土師器	皿	体	墨書	14後-15前
9970	金	坂田寺1次	東西石溝	土師器		底	墨書	神亀頃
9971	金		灰褐色砂	土師器		底	墨書	神亀頃
9972	金		石溝かぶり	土師器		底	墨書	神亀頃
9973	金		灰褐色砂	土師器		底	墨書	神亀頃
9974	金		褐色土	土師器		底	墨書	神亀頃
9975	金		西北隅試掘坑	土師器		底	墨書	神亀頃
9976	金		暗青灰色粘土層	須恵器		頂	墨書	神亀頃
9977	□〔金カ〕		東西石組溝	土師器		底	墨書	神亀頃
9978	□〔金カ〕		暗灰褐色粘土	須恵器		端部	墨書	神亀頃
9979	□〔金カ〕		暗灰褐色粘土層	土師器		底	墨書	神亀頃
9980	□〔金カ〕□		東西石溝 北肩	土師器		底	墨書	神亀頃
9981	□〔金カ〕		南北溝 II層	土師器		底	墨書	神亀頃
9982	□〔金カ〕		池	土師器		底	墨書	7前
9983	和		大土坑埋土	土師器		底	墨書	神亀頃
9984	真		灰褐色(青砂)	土師器		底	墨書	神亀頃
9985	知識		灰褐色・石溝付近	土師器		底	墨書	神亀頃
9986	南			土器			墨書	神亀頃
9987	□之豆之□		石組溝周辺	土師器	杯	底外	墨書	8前
9988	太		暗褐色砂土 石敷部	土師器		底	墨書	神亀頃
9989	大		暗褐色砂土 石敷部	土師器		底	墨書	神亀頃
9990	太		南北溝	須恵器		底	墨書	神亀頃
9991	知識		南北石組溝	土師器		底	墨書	神亀頃
9992	成		石組溝	土師器		底	墨書	神亀頃
9993	新		東西石組溝(上層)	土師器		脚内	墨書	神亀頃
9994	酢□		石組溝周辺	土師器	杯	底外	墨書・ヘラ書	神亀頃
9995	大(漆書)/〔記号〕×		SG100	須恵器	杯H蓋	天井外	漆書・ヘラ書	飛鳥II
9996	卍(外面にヘラ記号あり)		SG100	須恵器	杯H蓋	天井外	墨書・ヘラ書	飛鳥II
9997	(墨書)		SG100	土師器	皿A	底外	墨書	飛鳥II
9998	恵妙		SG100	土師器	皿A	底内	刻書	飛鳥II
9999	知		SG100	土師器	杯C I	口縁外	刻書	飛鳥II
10000	卍		SG100	土師器	杯C I	底内	刻書	飛鳥II
10001	卍		SG100	土師器	杯C II	底内	刻書	飛鳥II
10002	大		SG100	土師器	杯C I	口縁外	線刻	飛鳥II
10003	□〔坂カ〕田寺	坂田寺2次	井戸周辺	土師器	杯B	底外	墨書	9c
10004	金		南北溝①	土師器		底	墨書	9c
10005	南上客(「上」は南客より上段)		井戸周辺	黒色土器A	杯B	底外	墨書	9c
10006	寺		井戸周辺	黒色土器	皿A	底外	墨書	9c
10007	新		石組溝周辺	土師器	高杯	底外	墨書	8前
10008	厨		SE110B	黒色土器A	杯A	底外	墨書	9c
10009	金		井戸	土師器		底	墨書	9c
10010	中	坂田寺6次	SD171	土師器	皿A	底外	墨書	
10011	廣万□		SD176B	土師器	杯皿A	底外	墨書	平城II or III
10012	金	坂田寺8次		土師器	杯A	底外	墨書	平城宮IV
10013	金			土師器	杯A	底外	墨書	平城宮IV
10014	金			土師器	杯A	底外	墨書	平城宮IV
10015	西廿六		基壇北端埋土	埴			ヘラ書	
10016	知識饗	坂田寺跡2002-13次	調査区北側灰色粘土	土師器	皿	底外	墨書	
10017	知識		調査区北側灰色粘土	土師器	椀	底外	墨書	
10018	金		調査区北側灰色粘土	土師器	椀A	底外	墨書	
10019	知		調査区北側灰色粘土	土師器	皿	底外	墨書	
10020	金		調査区北側灰色粘土	土師器	皿	底外	墨書	
10021	十	定林寺北方	1区大溝(古)最下層	須恵器	杯	底外	漆書	
10022	吳(異体字「吳」)	檜隈寺跡		丸瓦			ヘラ書	
10023	□□			土器			—	
10024	下□	檜隈寺1次		平瓦		凸	ヘラ書	
10025	□卍二長□			平瓦		凸	ヘラ書	
10026	□□〔瓦カ〕□□	檜隈寺2次	SB300基壇北辺	丸瓦		凸	ヘラ書	
10027	(戯画)	檜隈寺周辺155次	8区	丸瓦		凹広端	ヘラ描	
10028	吳(異体字「吳」)	檜隈寺周辺164次	2区③層	丸瓦		凸玉縁付近	刻書	
10029	吳(異体字「吳」)		2区③層	丸瓦		凸玉縁付近	刻書	
10030	吳(異体字「吳」)		2区③層	丸瓦		凸玉縁付近	刻書	
10031	吳(異体字「吳」)	檜隈寺周辺180次		軒丸瓦	II型C	瓦当裏	ヘラ描	
10032	□前寺	檜隈寺北方地区	SK09	灰釉	椀A	底	墨書	9後
10033	吳(異体字「吳」)		A-3区黄褐色土	軒丸瓦	椀限寺II型式C	瓦当裏	籀書	
10034	吳(異体字「吳」)		A-3区黄褐色土	軒丸瓦	椀限寺II型式C	瓦当裏	籀書	
10035	(判読不能)	竹田遺跡2007-4次	B区SB09	土師器	杯C	外	墨書	飛鳥IV-V
10036	本		A区断割	須恵器	杯H蓋		墨書	
10037	上		B区断割	須恵器	杯B		墨書	
10038	大寺		B区断割	須恵器	杯G	口縁外	墨書	
10039	元寺	飛鳥東垣内遺跡1998-24次	SD01	須恵器	杯B	底外	墨書	
10040	大□		SD01	須恵器	杯B	底外	墨書	
10041	(判読不能)		SD01	土器			墨書	
10042	(判読不能)		SD01	土器			墨書	
10043	石河宮/埴	飛鳥池遺跡(飛鳥寺1991-1次)		土師器	鍋	体外	墨書	7末頃
10044	養戸			土師器	甕	体外	墨書	7末頃
10045	斛			須恵器	杯A	底外	墨書	7末頃

調査主体/報告書	遺物番号	掲載頁	所在地	備考
樫考研/県2009f	図4-6	(本文)p213,(図)p214	明日香村	
奈文研/1973		(本文)p9	明日香村	【加筆】出土遺構器質記銘部/1次出土墨書土器30 数点とあり/岩本・西口1977は「金」9点、「□[金カ]」5 点
奈文研/1973		(本文)p9	明日香村	【加筆】出土遺構器質記銘部
奈文研/1973		(本文)p9	明日香村	【加筆】出土遺構器質記銘部
奈文研/1973		(本文)p9	明日香村	【加筆】出土遺構器質記銘部
奈文研/1973		(本文)p9	明日香村	【加筆】出土遺構器質記銘部
奈文研/1973		(本文)p9	明日香村	【加筆】出土遺構器質記銘部
奈文研/岩本・西口1977		(本文)p73・74	明日香村	【加筆】出土遺構器質記銘部
奈文研/岩本・西口1977		(本文)p73・74	明日香村	【加筆】出土遺構器質記銘部
奈文研/岩本・西口1977		(本文)p73・74	明日香村	【加筆】出土遺構器質記銘部
奈文研/岩本・西口1977		(本文)p73・74	明日香村	【加筆】出土遺構器質記銘部
奈文研/岩本・西口1977		(本文)p73・74	明日香村	【加筆】出土遺構器質記銘部
奈文研/岩本・西口1977		(本文)p73・74,(表)p73	明日香村	【加筆】出土遺構器質記銘部
奈文研/1973		(本文)p9	明日香村	【加筆】出土遺構器質記銘部
奈文研/1973		(本文)p9	明日香村	【加筆】出土遺構器質記銘部
奈文研/1973		(本文)p9	明日香村	【加筆】出土遺構器質記銘部/岩本・西口1977は「知 識」3点
奈文研/1973		(本文)p9	明日香村	
奈文研/岩本・西口1977		(本文)p73・74,(表)p73	明日香村	
奈文研/1973		(本文)p9	明日香村	【加筆】出土遺構器質記銘部
奈文研/1973		(本文)p9	明日香村	【加筆】出土遺構器質記銘部
奈文研/1973		(本文)p9	明日香村	【加筆】出土遺構器質記銘部
奈文研/岩本・西口1977		(本文)p73・74	明日香村	【加筆】出土遺構器質記銘部
奈文研/1973		(本文)p9	明日香村	【加筆】出土遺構器質記銘部
奈文研/1973		(本文)p9	明日香村	【加筆】出土遺構器質記銘部
奈文研/1973		(本文)p9	明日香村	【加筆】出土遺構器質記銘部
奈文研/1973		(本文)p9	明日香村	【加筆】出土遺構器質記銘部
奈文研/岩本・西口1977		(本文)p73・74,(表)p73	明日香村	
奈文研/2018c	図188-199	(本文)p155,(図)p161	明日香村	
奈文研/2018c	図188-194	(本文)p155,(図)p161	明日香村	初出1973
奈文研/2018c	図185-134	(本文)p155,(図)p158	明日香村	
奈文研/2018c	図185-130	(本文)p154・155・162,(図)p158	明日香村	刻書は焼成後
奈文研/2018c	図183-28	(本文)p154・162,(図)p156	明日香村	刻書は焼成後
奈文研/2018c	図183-12	(本文)p154・162,(図)p156	明日香村	刻書は焼成後
奈文研/2018c	図183-1	(本文)p154・162,(図)p156	明日香村	刻書は焼成後
奈文研/2018c	図183-31	(本文)p154,(図)p156	明日香村	
奈文研/岩本・西口1977		(本文)p73・75,(表)p73	明日香村	樫考研博1987-(1)
奈文研/岩本・西口1977		(本文)p73・74,(表)p73	明日香村	【加筆】出土遺構器質記銘部
奈文研/岩本・西口1977		(本文)p73・75,(表)p73	明日香村	
奈文研/岩本・西口1977		(表)p73	明日香村	
奈文研/岩本・西口1977		(本文)p74,(表)p73	明日香村	
奈文研/岩本・西口1977		(本文)p75,(表)p73	明日香村	奈文研2003fにも記載
奈文研/岩本・西口1977		(表)p73	明日香村	【加筆】出土遺構器質記銘部
奈文研/1991c		(本文)p70	明日香村	
奈文研/1991c		(本文)p70	明日香村	
奈文研/1993d		(本文)p73・74	明日香村	
奈文研/1993d		(本文)p73・74	明日香村	
奈文研/1993d		(本文)p73・74	明日香村	
奈文研/1993d		(本文)p73・74	明日香村	
奈文研/1993d		(本文・図)p73	明日香村	
明日香村/2002	第33図-1	(本文・図)p51	明日香村	
明日香村/2002	第33図-2	(本文・図)p51	明日香村	
明日香村/2002	第33図-3	(本文・図)p51	明日香村	
明日香村/2002	第33図-4	(本文・図)p51	明日香村	
明日香村/2002	第33図-5	(本文・図)p51	明日香村	
明日香村/ 表採・飛鳥資料館蔵/奈 文研1983e		(写真)p15	明日香村	2011b(p131)にも記載あり
/樫考研博1987	15	(図版)p2	明日香村	
奈文研/1980c		(本文)p53	明日香村	
奈文研/1980c		(本文)p53	明日香村	
奈文研/1981d		(本文)p50	明日香村	
奈文研/2009	図127	(本文)p106・108,(表)p107,(図)p108	明日香村	
奈文研/2011b		(本文)p130-133,(図)p131	明日香村	本文は文字瓦/軒丸瓦Ⅱ型式Cと同時期
奈文研/2011b		(本文)p130・132	明日香村	本文は文字瓦/軒丸瓦Ⅱ型式Cと同時期
奈文研/2011b		(本文)p130・132	明日香村	本文は文字瓦/軒丸瓦Ⅱ型式Cと同時期
奈文研/2015	図178-3	(本文・表・図)p132	明日香村	
明日香村/2013	第4-5図-88	(本文・図)p63,図版41	明日香村	キトラ公園内遺跡
明日香村/2013	第4-9図-1	(本文)p66,(図)p67,図版43	明日香村	キトラ公園内遺跡
明日香村/2013	第4-9図-2	(本文)p66,(図)p67,図版43	明日香村	キトラ公園内遺跡
明日香村/2012	第49図-17	(本文)p56,(図)p57,(表)p91	明日香村	
明日香村/2012	第54図-210	(本文)p71,(図)p68,(表)p99	明日香村	
明日香村/2012	第54図-212	(本文)p71,(図)p68,(表)p99	明日香村	
明日香村/2012	第54図-298	(本文)p73,(図)p71,(表)p102	明日香村	
明日香村/2006		(本文)p114	明日香村	
明日香村/2006		(本文)p114	明日香村	【釈文変更】報告書は「大」
明日香村/2006		(本文)p114	明日香村	
明日香村/2006		(本文)p114	明日香村	
奈文研/1992a		(本文)p99	明日香村	
奈文研/1992a		(本文)p99	明日香村	
奈文研/1992a		(本文)p99	明日香村	松村2003は「酢」

NO.	釈文	遺跡名	出土遺構	器質	器種等	記銘部	種類	時期
10046	大十(本カ)	飛鳥池遺跡(飛鳥寺1991-1次)	炭層	土製品	鞆羽口	外表	ヘラ書	
10047	(墨書)	飛鳥池遺跡84次	SG1100	土器			墨書	藤原宮期
10048	物部連□子/猷	飛鳥池遺跡					墨書	
10049	少子ア(部)殿						墨書	
10050	加良□□						墨書	
10051	(道の習書)						墨書	
10052	「□徳」						墨書	
10053	客人						墨書	
10054	□弁						墨書	
10055	院						墨書	
10056	(入の習書)						墨書	
10057	自刀児	飛鳥池遺跡93次		土師器	鍋	体外	墨書	
10058	道□師鉢			須恵器	鉢A	体外	墨書	
10059	寺			須恵器			墨書	
10060	□盆玉入			土師器	深鍋	体外	墨書	
10061	入寺	飛鳥池遺跡98次	炭層3	須恵器	杯B	底外	墨書	飛鳥IV V
10062	中院西方	酒船石遺跡12次	SX1210・1211直上	黒色土器	椀B	底外	墨書	
10063	<内>酒 <外>□□出		SX1210・1211直上	土師器		底内外	墨書	
10064	(判読不能)	酒船石遺跡14次	SX1402直上	土師器	蓋		墨書	
10065	(判読不能)		暗灰色粘土	土師器	杯		墨書	
10066	宮	酒船石遺跡15次		須恵器	杯B蓋	内	墨書	
10067	丈	酒船石遺跡19次	SD10C	須恵器	杯	底外	墨書	
10068	(籠書)	水落遺跡		土製品	鞆羽口	外	籠書	
10069	八月生/□日□□是皮□/□□也	水落遺跡1997-17次	遺構検出or重機掘削時	軒丸瓦	6201形式	筒部	ヘラ書	
10070	久	石神遺跡3次	UQ29南端東西溝	須恵器	杯A	底外	ヘラ書	
10071	大 □		UK23南北溝	須恵器	甕C	頸内	ヘラ書	
10072	□[伴カ]		UK30大土坑	須恵器	甕	頸内	ヘラ書	
10073	久	石神遺跡4次	UP22南北大溝	須恵器	皿A	底外	ヘラ書	
10074	盆五十戸	石神遺跡5次	SD640	須恵器	壺	底裏	ヘラ彫	浄御原宮期
10075	山寸		TB26含炭褐色土	須恵器	椀A	底外	ヘラ書	
10076	本		TD23赤褐砂質土	須恵器	杯	底外	ヘラ書	
10077	疋		TC26赤褐砂質土	須恵器	杯B	底外	ヘラ書	
10078	久		TD23赤褐砂質土	須恵器	杯A	底外	ヘラ書	
10079	尾山寸		TZ	須恵器	横瓶	体外	ヘラ書	
10080	久	石神遺跡7次	TS28赤褐土	須恵器	杯	底外	ヘラ書	
10081	疋		TR33赤褐土	須恵器	杯B	底外	ヘラ書	
10082	□		SE36大土坑2	須恵器	盤	底外	ヘラ書	
10083	黒見田		TU32大土坑	須恵器	盤	底外	ヘラ書	
10084	上	石神遺跡9次	SE1481	土師器	皿	口縁外	墨書	奈良初
10085	来田□司		SE1481	土師器	甕	体外	墨書	奈良初
10086	□[尔カ]		RK31灰褐土	須恵器	杯A	底外	ヘラ書	
10087	□		RK25茶褐土	須恵器	鉢F	底外	ヘラ書	
10088	□		RJ35茶褐土	須恵器	杯A	底外	ヘラ書	
10089	秦人部佐□/三野国加□	石神遺跡11次	UK36大土坑	須恵器	大型鉢	体側	ヘラ書	
10090	三野国加々牟評		UQ46円形土坑	須恵器	平瓶	体外	ヘラ書	
10091	岡本	石神遺跡12次	TB46含炭土坑	土師器	杯B	底外	籠書	
10092	□□□		US45南北溝	須恵器	盤	底外	ヘラ書	
10093	(判読不能)	石神遺跡13次(飛鳥藤原110次)		土器			刻書	
10094	(判読不能)			土器			墨書	
10095	(墨書)	石神遺跡14次(飛鳥藤原116次)	SD1347	土器			墨書	
10096	(墨書)	石神遺跡15次(飛鳥藤原122次)		土器			墨書	
10097	物ア連	石神遺跡16次(飛鳥藤原129次)	包含層QC74	須恵器	杯B	底外	墨書	飛鳥IV
10098	五十上		包含層QF72	土師器	皿A	底外	墨書	
10099	□□[佐カ]尔□□		SD4090堆積土	土師器	杯CⅢ	底外	墨書	飛鳥IV-V
10100	矢□			土師器	杯CⅡ	底外	墨書	飛鳥IV-V
10101	文		包含層QH79	須恵器	杯B	底外	墨書	飛鳥V
10102	文		木屑層QH79	須恵器	蓋		墨書	飛鳥IV-V
10103	文		包含層QE73	須恵器		外	墨書	時期不明
10104	間人内	石神遺跡18次(飛鳥藤原140次)	SD1347	須恵器	杯A	底外	墨書	7後
10105	寺/水		SD1347	土師器	杯皿類	底外	墨書	7後
10106	(文様風墨書)	甘櫻丘東麓遺跡177次	谷埋立土	須恵器	杯H	底外	墨書	
10107	小	西橘遺跡1992-1次	暗青灰色粘土質	土師器			墨書	藤原宮期頃
10108	乃	西橘遺跡(橘4区南坡5.5)	暗灰色or灰黒色有機質土	土師器	杯カ	底外	墨書	飛鳥Ⅱ
10109	魚刀		暗青灰色砂土	土師器	杯	底外	墨書	飛鳥Ⅱ
10110	十		暗青灰色砂質土	土師器	皿	底外	漆書	飛鳥Ⅱ
10111	下□	西橘遺跡(橘4区東)	暗青灰色粘質土	土師器	杯G	側外	墨書	飛鳥Ⅱ
10112	□		青灰色粘質土	須恵器	杯A	底外	墨書	
10113	富女		青灰色粘質土	土師器	皿	底外	墨書	飛鳥Ⅱ
10114	□		青灰色粘質土	土師器	杯	底外	墨書	
10115	田女	西橘遺跡(橘4区)	青灰色粘質土	土師器	杯A	底外	墨書	飛鳥Ⅱ
10116	寸	西橘遺跡		須恵器	杯B	底外	墨書	
10117	地万呂			土師器	杯G	底外	墨書	
10118	土□□直一升	阪田地内遺跡1994-8次	SX06	須恵器	壺L	胴	線刻	10c
10119	サ	ホラント遺跡	2区整地土(Ⅳ層)	土師器	杯G	底外	墨書	飛鳥Ⅲ-Ⅳ期
10120	大	県道野口平田線	11-3区	須恵器	杯B	底	ヘラ書	飛鳥Ⅳ期頃
10121	(判読不能)	檜隈上山遺跡		土器			墨書	
10122	蔵			土器			墨書	
10123	□	細川谷古墳群2002-14次	西区SK08	土師器	杯A	底外	墨書	平城Ⅱ
10124	上	片岡王寺跡・達磨寺旧境内	SK24	土師器	皿	外	墨書	中・近世
10125	(縦5本横11本の直線による箕子状)		17区重機掘削時	平瓦		凸	線刻	古代

調査主体/報告書	遺物番号	掲載頁	所在地	備考
奈文研/1992a		(本文)p99	明日香村	
奈文研/1998a		(本文)p38	明日香村	
奈文研/松村2003			明日香村	
奈文研/1999a		(本文)p40	明日香村	
奈文研/1999a		(本文)p40	明日香村	松村2003は「道宣師鉢」
奈文研/1999a		(本文)p40	明日香村	
奈文研/1999a		(本文)p40	明日香村	
奈文研/2000a	図35-25	(本文・図)p35	明日香村	【加筆】次数
明日香村/2006	第4-2図-75	(本文)p114,(図)p110	明日香村	
明日香村/2006		(本文)p114	明日香村	
明日香村/2006		(本文)p114	明日香村	
明日香村/2006		(本文)p114	明日香村	
明日香村/2006		(本文)p114	明日香村	
明日香村/			明日香村	【未公表】
奈文研/1995b	PL.43-12	(本文)p87,(図版)PL.43	明日香村	
明日香村/1999	第36図-4	(本文)p37,(図)p38	明日香村	へう書は焼成前
奈文研/巽2000	p26-8	(表)p25,(図)p26,(資料編・図版)p50	明日香村	
奈文研/巽2000	p26-13	(表)p25,(図)p26,(資料編・図版)p49	明日香村	
奈文研/巽2000	p26-14	(表)p25,(図)p26,(資料編・図版)p48	明日香村	
奈文研/巽2000	p26-17	(表)p25,(図)p27,(資料編・図版)p49	明日香村	
奈文研/2016b	図107-85	(本文)p98,(図)p97	明日香村	初出1986c/1987g/巽2000(p26-2)
奈文研/2004b		(本文)p84	明日香村	巽2000(p27-19)
奈文研/巽2000	p26-3	(表)p25,(図)p26,(資料編・図版)p47	明日香村	
奈文研/巽2000	p26-4	(表)p25,(図)p26,(資料編・図版)p47	明日香村	
奈文研/巽2000	p26-6	(表)p25,(図)p26,(資料編・図版)p50	明日香村	
奈文研/2004b		(本文)p84	明日香村	巽2000(p27-18)
奈文研/巽2000	p26-7	(表)p25,(図)p26	明日香村	
奈文研/巽2000	p26-5	(表)p25,(図)p26,(資料編・図版)p47	明日香村	
奈文研/巽2000	p26-11	(表)p25,(図)p26,(資料編・図版)p48	明日香村	8次の可能性もあり
奈文研/巽2000	p26-16	(表)p25,(図)p26,(資料編・図版)p49	明日香村	「田」は「太」の誤りカ
奈文研/1991c		(本文)p58	明日香村	
奈文研/1991c		(本文)p58	明日香村	
奈文研/巽2000	p26-12	(表)p25,(図)p26,(資料編・図版)p48	明日香村	
奈文研/巽2000	p26-15	(表)p25,(図)p26,(資料編・図版)p47	明日香村	
奈文研/巽2000	p26-9	(表)p25,(図)p26,(資料編・図版)p50	明日香村	
奈文研/巽2000	p27-20	(表)p25,(図)p27,(資料編・図版)p50	明日香村	初出奈文研1993d
奈文研/巽2000	p27-21	(表)p25,(図)p27,(資料編・図版)p48	明日香村	初出奈文研1993d
奈文研/巽2000	p26-1	(表)p25,(図)p26,(資料編・図版)p47	明日香村	初出奈文研1994a/釈文は初出による
奈文研/巽2000	p26-10	(表)p25,(図)p26,(資料編・図版)p47	明日香村	
奈文研/2001b		(本文)p75	明日香村	
奈文研/2001b		(本文)p75	明日香村	
奈文研/2002d		(本文)p69	明日香村	点数不明
奈文研/2003e		(本文)p130	明日香村	
奈文研/2004c	図117-2	(本文・図)p108	明日香村	石神16次墨書土器13点
奈文研/2004c	図117-3	(本文・図)p108	明日香村	
奈文研/2004c	図117-4	(本文・図)p108	明日香村	
奈文研/2004c	図117-5	(本文・図)p108	明日香村	
奈文研/2004c		(本文)p108	明日香村	
奈文研/2004c		(本文)p8	明日香村	
奈文研/2004c		(本文)p8	明日香村	
奈文研/2007d	図136-11	(本文・図)p94	明日香村	
奈文研/2007d	図136-10	(本文・図)p94	明日香村	
奈文研/2014b	図II-45-38	(本文)p108,(図)p109	明日香村	
明日香村/1993		(本文)p10	明日香村	
明日香村/松村2003		(本文)p133	明日香村	【加筆】釈文以外の情報
明日香村/松村2003		(本文)p133	明日香村	【加筆】釈文以外の情報/裏面転用硯か
明日香村/松村2003		(本文)p133	明日香村	【加筆】釈文以外の情報
明日香村/松村2003		(本文)p133	明日香村	【加筆】釈文以外の情報
明日香村/			明日香村	【未公表】人偏の文字
明日香村/松村2003		(本文)p133	明日香村	【加筆】釈文以外の情報
明日香村/			明日香村	【未公表】
明日香村/松村2003		(本文)p133	明日香村	【加筆】釈文以外の情報
明日香村/			明日香村	【未公表】あるいは「寺」「守」など
明日香村/			明日香村	【未公表】
明日香村/1996	第16図-4	(本文)p15-17,(図)p16,図版5	明日香村	線刻は焼成前
檀考研/県2005d	図24-74	(本文)p49,(図)p50,図版23	明日香村・高取町	
檀考研/県2000f	第7図-24	(本文)p9,(図)p10	明日香村	
/檀考研博1987	16	(図版)p2	明日香村	
/檀考研博1987	17	(図版)p2	明日香村	
明日香村/2002	第29図-5	(本文・図)p45	明日香村	
檀考研/県2013g	図71-127	(本文)p110,(図)p106	王寺町	
檀考研/県2013g	図53-1	(本文)p83,(図)p84	王寺町	魚の頭部側面を描いた可能性

NO.	釈文	遺跡名	出土遺構	器質	器種等	記銘部	種類	時期
10126	官(裏字)	達磨寺古墳群達磨寺3号墳	溝8(周濠)下層	須恵器	杯B	高台内側	刻印	7末-8初
10127	口束	箸尾遺跡7次	SE-2005	土師器	杯	裏	墨書	奈良
10128	十		SE-2005	土師器	杯	裏	墨書	奈良
10129	奈		SE-2005	土師器	杯	裏	墨書	奈良
10130	(判読不能)	箸尾遺跡14次	河道c	須恵器			墨書	奈良
10131	川	池上古墳周辺池上木棺墓	木棺痕跡中央(棺下)	土師器	椀A	底外	墨書	奈良末-平安初
10132	寛正三年三月五日彦次郎	百濟寺塔			丸瓦	上端中央	ヘラ書	寛正3(1462)
10133	百濟寺塔瓦土初/本者木瓦ニテ候処後代タメニテ/土瓦ナス寛正(二/二)年(癸/未)二月十二日初/右筆者東坊定弘金剛仏子一和将也	百濟寺塔			平瓦	表	ヘラ書	寛正4(1463)
10134	木瓦ニテソロ之ヲ土瓦ナスコト/寛正(二/二)年(癸/未)二月十二日吉日ナルヨニ□是初/同五月中ウチ納百濟寺之時ノ一和将東坊之金剛仏子定弘法師三十七歳					平瓦	表	ヘラ書
10135	東ニ(「国」の左下に「」)	長林寺			平瓦	凸	針描	
10136	(「長倉人寺瓦」or「長倉寺瓦」)	長林寺(1次)	金堂NW区3層		平瓦	凸	ヘラ描	
10137	堂	越部1号墳		土師器	皿	底	墨書	平安
10138	(記号)			羨道東半	黒色土器A	椀		墨書
10139	□[目または見カ]	宮の平遺跡	本殿基壇北東側(6区)	施釉陶器	皿	底外	墨書	
10140	□[組カ]カフ□[ムカ]		造成土	施釉陶器	皿	外	墨書	
10141	王	出土地不明		土師器	杯	外	刻書	
10142	(瓦経)	出土地不明			瓦経	両	刻書	
10143	(瓦経)	出土地不明			瓦経	両	刻書	
10144	(梵字)	出土地不明			土塔	表裏	刻書	

(上巻補遺)

NO.	釈文	遺跡名	出土遺構	器質	器種等	記銘部	種類	時期
6535 ~6539	(線刻)	平城京跡123-26次左2・2		土師器			線刻	奈良中-後
6540	(記号)+	平城京跡168次右8・1・13,14	SD1440	須恵器	杯	底外	漆書	平城宮Ⅱ-Ⅲ

出典一覧

奈文研、奈良県、市町村等(五十音順)、個人論文等(五十音順)でまとめ、同一機関の刊行物は発行年順に排列した。

本集成上下に収録した資料の出典のほか、掲載をみあわせた資料(文字として認識できない記号などを刻書ないしヘラ描きしたもの、近世近代の遺物)のみを掲載した報告書・図録なども含んでいる。

- (奈文研)1958 奈文研『飛鳥寺発掘調査報告』(学報第5冊)
(奈文研)1959 奈文研『興福寺食堂発掘調査報告』(学報第7冊)
(奈文研)1960 奈文研『川原寺発掘調査報告』(学報第9冊)
(奈文研)1961 奈文研『平城宮跡第一次伝飛鳥板蓋宮跡発掘調査報告 附尊勝寺跡発掘調査報告』(学報第10冊)
(奈文研)1962 奈文研『平城宮発掘調査報告Ⅱ 官衙地域の調査』(学報第15冊)
(奈文研)1966 奈文研『平城宮発掘調査報告Ⅳ 官衙地域の調査2』(学報第17冊)
(奈文研)1967 奈文研『平城宮第37.39.40.41次発掘調査概報』
(奈文研)1968 奈文研『奈良国立文化財研究所年報1968』
(奈文研)1969 奈文研『奈良バイパス路線敷地発掘調査概報 第54.55.56.57次調査』
(奈文研)1970 奈文研『平城宮第59.63.68次発掘調査概報 附第58.58補.60.61.62.64.65.66.67次』
(奈文研)1971a 奈文研『平城宮第69.70次発掘調査概報』
(奈文研)1971b 奈文研『平城宮跡第71.72.73次発掘調査概報』
(奈文研)1972 奈文研『法隆寺文字瓦銘文集』
(奈文研)1973 奈文研『飛鳥・藤原宮発掘調査概報3』
(奈文研)1974a 奈文研『飛鳥・藤原宮発掘調査概報4』
(奈文研)1974b 奈文研『昭和48年度平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』
(奈文研)1974c 奈文研・奈良市『平城京朱雀大路発掘調査報告』
(奈文研)1975a 奈文研『平城宮発掘調査報告Ⅵ 平城京左京一条三坊の調査』(学報第23冊)
(奈文研)1975b 奈文研『飛鳥・藤原宮発掘調査概報5』
(奈文研)1975c 奈文研『昭和49年度平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』
(奈文研)1975d 奈文研『平城京左京三条二坊』(学報第25冊)
(奈文研)1976a 奈文研・西隆寺跡調査委員会『西隆寺発掘調査報告書』
(奈文研)1976b 奈文研『平城宮発掘調査報告Ⅶ 内裏北外郭の調査』(学報第26冊)
(奈文研)1976c 奈文研『飛鳥・藤原宮発掘調査報告Ⅰ 一小墾田宮推定地・藤原宮の調査』(学報第27冊)
(奈文研)1976d 奈文研『平城京左京三条二坊六坪発掘調査概報』
(奈文研)1976e 奈文研・奈良県『平城京左京八条三坊発掘調査概報 東市周辺東北地域の調査』

調査主体/報告書	遺物番号	掲載頁	所在地	備考
王寺町/2001	図5-23	(本文)p9・10・18,(図)p10,(表)p15,図版13	王寺町	岡山からの搬入品
橿考研/県1991d		(本文)p20	広陵町	
橿考研/県1991d		(本文)p20	広陵町	
橿考研/県1991d		(本文)p20	広陵町	
橿考研/県1994c	図6-6,PL18-14	(本文)p14,(図)p13,(図版)PL.18	広陵町	
橿考研/県1991d	図5-6	(本文)p4,(図)p6,図版3	広陵町	
/土井1956		(本文)p286・287	広陵町	上端中央にヘラ書一行
/土井1956	其一	(本文)p287・288	広陵町	表面中央に三行と右よりに一行ヘラ書
/土井1956	其二	(本文)p287・288	広陵町	表面中央に四行ヘラ書
河合町/1990	第52図-1	(本文)p62,(図)p64,図版53	河合町	
河合町/1990	第52図-2	(本文)p62・73・74,(図)p64,図版53,カラー図版6	河合町	
橿考研/県1997b	図12-10	(本文)p16・23・24,(図)p15,(表)p32・33,図版13	大淀町	
橿考研/県1997b	図12-8	(本文・図)p15,(表)p30・31,図版12	大淀町	
橿考研/県2003d	第49図-22	(本文)p67,(図)p65,(図版)PL.82	川上村	灯明皿
橿考研/県2003d	第57図-187	(本文)p78,(図)p76,(図版)PL.82	川上村	灯明皿
表採/橿考研博1985	H1110	(本文・写真)p100		刻書は焼成前/(保管)橿考研
/橿考研博1975	439	(本文・写真)p140		(保管)橿考研
/橿考研博1975	440	(本文・写真)p140		(保管)橿考研
/橿考研博1975	448	(本文・写真)p141		(保管)橿考研

調査主体/報告書	遺物番号	掲載頁	所在地	備考
奈文研/1981e		(本文)p32	奈良市	計5点
奈文研/1989a	Tab.14-46	(本文)p125,(表)p126,(図版)PL.44	大和郡山市	PL.44-617

- (奈文研)1976f 奈文研『飛鳥・藤原宮発掘調査概報6』
(奈文研)1977a 奈文研『飛鳥・藤原宮発掘調査概報7』
(奈文研)1977b 奈文研『昭和51年度平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』
(奈文研)1978a 奈文研『飛鳥・藤原宮発掘調査報告Ⅱ—藤原宮西方官衙地域の調査』(学報第31冊)
(奈文研)1978b 奈文研『平城宮発掘調査報告Ⅸ 宮城門・大垣の調査』(学報第34冊)
(奈文研)1978c 奈文研『飛鳥・藤原宮発掘調査概報8』
(奈文研)1978d 奈文研『昭和52年度平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』
(奈文研)1979a 奈文研『飛鳥・藤原宮発掘調査概報9』
(奈文研)1979b 奈文研『昭和53年度平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』
(奈文研)1980a 奈文研『飛鳥・藤原宮発掘調査報告Ⅲ—藤原宮西辺地区・内裏東外郭の調査』(学報第37冊)
(奈文研)1980b 奈文研『平城京左京三条四坊七坪発掘調査概報』
(奈文研)1980c 奈文研『飛鳥・藤原宮発掘調査概報10』
(奈文研)1980d 奈文研『昭和54年度平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』
(奈文研)1981a 奈文研『平城宮発掘調査報告Ⅹ 古墳時代Ⅰ』(学報第39冊)
(奈文研)1981b 奈文研『平城宮北辺地域発掘調査報告書』
(奈文研)1981c 奈文研・奈良県教育委員会『平城京九条大路—県道城廻り線予定地発掘調査概報Ⅰ』
(奈文研)1981d 奈文研『飛鳥・藤原宮発掘調査概報11』
(奈文研)1981e 奈文研『昭和55年度平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』
(奈文研)1982a 奈文研『平城宮発掘調査報告Ⅺ 第1次大極殿地域の調査』(学報第40冊)
(奈文研)1982b 奈文研『平城京朱雀大路発掘調査報告—昭和57年度』
(奈文研)1982c 奈文研『飛鳥・藤原宮発掘調査概報12』
(奈文研)1982d 奈文研『平城京右京二条二坊十六坪発掘調査概報』
(奈文研)1982e 奈文研『昭和56年度平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』
(奈文研)1983a 奈文研『平城宮出土墨書土器集成Ⅰ』(史料第25冊)
(奈文研)1983b 奈文研『平城京左京四條四坊九坪発掘調査報告』
(奈文研)1983c 奈文研『平城京東堀河 左京九条三坊の発掘調査』

(奈文研)1983d 奈文研・奈良市教育委員会『市道九条線関係遺跡発掘調査概報(Ⅰ)』
(奈文研)1983e 奈文研飛鳥資料館『渡来人の寺—檜隈寺と坂田寺』(図録第10冊)
(奈文研)1983f 奈文研『飛鳥・藤原宮発掘調査概報13』
(奈文研)1983g 奈文研『昭和57年度平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』
(奈文研)1984a 奈文研『平城京右京八条一坊十一坪発掘調査報告書』
(奈文研)1984b 奈文研『平城京左京二条二坊十三坪の発掘調査』
(奈文研)1984c 奈文研『飛鳥・藤原宮発掘調査概報14』
(奈文研)1984d 奈文研『昭和58年度平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』
(奈文研)1984e 奈文研・奈良県教育委員会『平城京左京三条二坊三坪発掘調査報告』
(奈文研)1985a 奈文研『平城京左京四条二坊十五坪発掘報告 藤原仲麻呂田村第推定地の調査』
(奈文研)1985b 奈文研『平城宮発掘調査報告Ⅻ 馬寮地域の調査』(学報第42冊)
(奈文研)1985c 奈文研・奈良県教育委員会『平城京左京八条一坊三・六坪発掘調査報告書』
(奈文研)1985d 奈文研『飛鳥・藤原宮発掘調査概報15』
(奈文研)1985e 奈文研『昭和59年度平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』
(奈文研)1986a 奈文研『平城京左京三条二坊六坪発掘調査報告書』(学報第44冊)
(奈文研)1986b 奈文研『平城京左京九条三坊十坪発掘調査報告』
(奈文研)1986c 奈文研『飛鳥・藤原宮発掘調査概報16』
(奈文研)1986d 奈文研『昭和60年度平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』
(奈文研)1987a 奈文研『奈良国立文化財研究所年報1986』
(奈文研)1987b 奈文研・藤原京右京七条一坊発掘調査『藤原京右京七条一坊西南坪発掘調査報告』
(奈文研)1987c 奈文研『薬師寺発掘調査報告』(学報第45冊)
(奈文研)1987d 奈文研・奈良県教育委員会『藤原京左京二条一坊・同二条二坊発掘調査報告』
(奈文研)1987e 奈文研『平城京左京四条二坊一坪』
(奈文研)1987f 奈文研『飛鳥・藤原宮発掘調査概報17』
(奈文研)1987g 奈文研『飛鳥・藤原宮発掘調査出土木簡概報8』
(奈文研)1987h 奈文研『昭和61年度平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』
(奈文研)1988a 奈文研『飛鳥・藤原宮発掘調査概報18』
(奈文研)1988b 奈文研『昭和62年度平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』
(奈文研)1989a 奈文研『平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告』(学報第46冊)
(奈文研)1989b 奈文研『平城宮出土墨書土器集成Ⅱ』(史料第31冊)
(奈文研)1989c 奈文研『飛鳥・藤原宮発掘調査概報19』
(奈文研)1989d 奈文研『昭和63年度平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』
(奈文研)1990a 奈文研『飛鳥・藤原宮発掘調査概報20』
(奈文研)1990b 奈文研『1989年度平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』
(奈文研)1991a 奈文研・奈良県教育委員会『平城京 長屋王邸宅と木簡』吉川弘文館
(奈文研)1991b 奈文研『平城宮発掘調査報告ⅫⅢ 内裏の調査Ⅱ』(学報第50冊)
(奈文研)1991c 奈文研『飛鳥・藤原宮発掘調査概報21』
(奈文研)1991d 奈文研『1990年度平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』
(奈文研)1991e 奈文研『藤原宮と京 展示案内』
(奈文研)1992a 奈文研『飛鳥・藤原宮発掘調査概報22』
(奈文研)1992b 奈文研『1991年度平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』
(奈文研)1993a 奈文研『平城宮発掘調査報告ⅫⅣ 平城宮第二次大極殿院の調査』(学報第51冊)
(奈文研)1993b 奈文研『西隆寺発掘調査報告書』(学報第52冊)
(奈文研)1993c 奈文研『平城京左京三条一坊七坪発掘調査報告』
(奈文研)1993d 奈文研『飛鳥・藤原宮発掘調査概報23』
(奈文研)1993e 奈文研『1992年度平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』
(奈文研)1994a 奈文研『飛鳥・藤原宮発掘調査概報24』
(奈文研)1994b 奈文研『1993年度平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』
(奈文研)1994c 奈文研『奈良国立文化財研究所年報1994』
(奈文研)1995a 奈文研『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告—長屋王邸・藤原麻呂邸の調査』(学報第54冊)
(奈文研)1995b 奈文研『飛鳥・藤原宮発掘調査報告ⅫⅤ—飛鳥水落遺跡の調査』(学報第55冊)
(奈文研)1995c 奈文研『平城京左京三条一坊十四坪発掘調査報告』
(奈文研)1995d 奈文研『飛鳥・藤原宮発掘調査概報25』
(奈文研)1995e 奈文研『1994年度平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』
(奈文研)1996a 奈文研『飛鳥・藤原宮発掘調査概報26』
(奈文研)1996b 奈文研『1995年度平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』
(奈文研)1997a 奈文研・奈良県教育委員会『藤原京右京一条一坊発掘調査報告』
(奈文研)1997b 奈文研『平城京左京七条一坊十五・十六坪発掘調査報告書』(学報第56冊)
(奈文研)1997c 奈文研『奈良国立文化財研究所年報1997-Ⅱ』
(奈文研)1997d 奈文研『奈良国立文化財研究所年報1997-Ⅲ』
(奈文研)1998a 奈文研『奈良国立文化財研究所年報1998-Ⅱ』
(奈文研)1998b 奈文研『奈良国立文化財研究所年報1998-Ⅲ』
(奈文研)1999a 奈文研『奈良国立文化財研究所年報1999-Ⅱ』
(奈文研)1999b 奈文研『奈良国立文化財研究所年報1999-Ⅲ』
(奈文研)2000a 奈文研『奈良国立文化財研究所年報2000-Ⅱ』
(奈文研)2000b 奈文研『奈良国立文化財研究所年報2000-Ⅲ』
(奈文研)2001a 奈文研・奈良市教育委員会『西隆寺跡発掘調査報告書』
(奈文研)2001b 奈文研『奈良文化財研究所紀要2001』
(奈文研)2001c 奈文研『平城宮発掘調査出土木簡概報36』
(奈文研)2002a 奈文研『法隆寺考古資料』(史料第56冊)
(奈文研)2002b 奈文研『山田寺発掘調査報告』(学報第63冊)
(奈文研)2002c 奈文研『興福寺 第1期境内整備事業にともなう発掘調査概報Ⅲ』
(奈文研)2002d 奈文研『奈良文化財研究所紀要2002』
(奈文研)2003a 奈文研『平城宮出土墨書土器集成Ⅲ』(史料第59冊)
(奈文研)2003b 奈文研『平城京左京二条二坊十四坪発掘調査報告 旧石器時代編〔法華寺南遺跡〕』(学報第67冊)
(奈文研)2003c 奈文研『吉備池廃寺発掘調査報告—百濟大寺跡の調査』(学報第68冊)
(奈文研)2003d 奈文研『平城宮発掘調査報告ⅫⅥ 東院庭園地区の調査』(学報第69冊)
(奈文研)2003e 奈文研『奈良文化財研究所紀要2003』
(奈文研)2003f 奈文研『飛鳥・藤原宮発掘調査出土木簡概報17』
(奈文研)2004a 奈文研『川原寺寺城北限の調査—飛鳥藤原119-5次発掘調査報告』
(奈文研)2004b 奈文研『奈良文化財研究所紀要2004』
(奈文研)2004c 奈文研『飛鳥・藤原宮発掘調査出土木簡概報18』
(奈文研)2005a 奈文研『平城宮発掘調査報告ⅫⅦ 兵部省地区の調査』(学報第70冊)
(奈文研)2005b 奈文研『奈良文化財研究所紀要2005』
(奈文研)2006a 奈文研『高所寺池発掘調査報告—藤原宮および藤原京左京七条二坊の調査』

- (奈文研)2006b 奈文研『平城京出土陶硯集成 I—平城宮跡』(史料第77冊)
(奈文研)2006c 奈文研『奈良文化財研究所紀要2006』
(奈文研)2007a 奈文研『西大寺食堂院・右京北辺発掘調査報告』
(奈文研)2007b 奈文研『平城京出土陶硯集成 II—平城京・寺院』(史料第80冊)
(奈文研)2007c 奈文研『法隆寺若草伽藍跡発掘調査報告』(学報第76冊)
(奈文研)2007d 奈文研『奈良文化財研究所紀要2007』
(奈文研)2007e 奈文研『飛鳥・藤原宮発掘出土木簡概報21』
(奈文研)2008 奈文研『奈良文化財研究所紀要2008』
(奈文研)2009 奈文研『奈良文化財研究所紀要2009』
(奈文研)2010a 奈文研『平城京 奈良の都のまつりごとくらし』
(奈文研)2010b 奈文研『興福寺 第1期境内整備事業にともなう発掘調査概報 V』
(奈文研)2010c 奈文研『奈良文化財研究所紀要2010』
(奈文研)2011a 奈文研『平城宮発掘調査報告XVII 第一次大極殿地区の調査2』(学報第84冊)
(奈文研)2011b 奈文研『奈良文化財研究所紀要2011』
(奈文研)2012a 奈文研『藤原宮木簡三』(解説)(史料第88冊)
(奈文研)2012b 奈文研『奈良文化財研究所紀要2012』
(奈文研)2013 奈文研『奈良文化財研究所紀要2013』
(奈文研)2014a 奈文研『薬師寺 旧境内保存整備計画にともなう発掘調査概報 II』
(奈文研)2014b 奈文研『奈良文化財研究所紀要2014』
(奈文研)2014c 奈文研『奈良山発掘調査報告 II—歌姫西須恵器窯の調査』(学報第93冊)
(奈文研)2015 奈文研『奈良文化財研究所紀要2015』
(奈文研)2016a 奈文研『興福寺 第1期境内整備事業にともなう発掘調査概報 VII』
(奈文研)2016b 奈文研『奈良文化財研究所紀要2016』
(奈文研)2016c 奈文研・奈良県立橿原考古学研究所『薬師寺東塔基壇 国宝薬師寺東塔保存修理事業にともなう発掘調査概報』
(奈文研)2017a 奈文研・藤原宮発掘調査報告 V—藤原京左京六条三坊の調査』(学報第94冊)
(奈文研)2017b 奈文研『奈良文化財研究所紀要2017』
(奈文研)2018a 奈文研『名勝旧大乘院庭園発掘調査報告』(学報第97冊)
(奈文研)2018b 奈文研『興福寺 第1期境内整備事業にともなう発掘調査概報 VIII』
(奈文研)2018c 奈文研『奈良文化財研究所紀要2018』
(奈文研)2019 奈文研『奈良文化財研究所紀要2019』
(奈文研)2020 奈文研『奈良文化財研究所紀要2020』
- (奈良県)1917 奈良県『奈良県史蹟勝地調査会報告書 第二回』
(奈良県)1934 奈良県『生駒郡都跡村平城宮遺溝及遺物調査 北葛城郡浮孔村木棺出土の三倉堂遺蹟及遺物調査 北葛城郡馬見村大字三吉鴨山古墳調査』(奈良県史蹟名勝天然記念物調査報告第12冊)
(奈良県)1935 奈良県『磯城郡三宅村石見出土埴輪 生駒郡都跡村平城宮跡第二回発掘遺溝遺物調査 生駒郡富郷村三井窰趾調査 生駒郡平端村額田部窰趾調査』(奈良県史蹟名勝天然記念物調査報告第13冊)
- (奈良県)1944 奈良県『宮瀧の遺跡』(奈良県史蹟名勝天然記念物調査会報告第15冊)
(奈良県)1948 奈良県『奈良県史蹟名勝天然記念物調査抄報 第三輯』
(奈良県)1955 奈良県教育委員会『奈良県史蹟名勝天然記念物調査抄報 第五輯』
(奈良県)1956 奈良県教育委員会『大和国磯城郡大三輪町穴師 珠城山古墳』
(奈良県)1958 奈良県教育委員会『奈良県史蹟名勝天然記念物調査抄報 第十輯』
(奈良県)1960 奈良県教育委員会『奈良県文化財調査報告(埋蔵文化財編)第3集』
(奈良県)1961a 奈良県教育委員会『重要文化財法隆寺東室修理工事報告書』
(奈良県)1961b 奈良県教育委員会『橿原—橿原市畷傍町橿原神宮神苑施設事業による考古学遺跡の調査』(奈良県天然記念物調査報告第17冊)
- (奈良県)1962 奈良県教育委員会『大和二塚古墳』(奈良県史蹟名勝天然記念物調査報告第21冊)
(奈良県)1963 奈良県文化財保存事務所『重要文化財法隆寺妻室修理工事報告書』
(奈良県)1964 奈良県教育委員会『奈良県文化財調査報告書(埋蔵文化財・民俗資料)第7集』
(奈良県)1966a 奈良県文化財保存事務所『重要文化財法隆寺綱封蔵修理工事報告書』
(奈良県)1966b 奈良県『藤原宮跡 昭和41年度調査概要』
(奈良県)1966c 奈良県教育委員会『奈良県文化財調査報告書(埋蔵文化財編)第9集』
(奈良県)1967 奈良県教育委員会『飛鳥宮跡—昭和41年度発掘調査概報』
(奈良県)1968 奈良県文化財保存事務所『重要文化財法隆寺北室院太子殿他三棟修理工事報告書』
(奈良県)1969 奈良県教育委員会『藤原宮—国道165号線バイパスに伴う宮域調査』(奈良県史蹟名勝天然記念物調査報告第25冊)
(奈良県)1969カ 奈良県『藤原宮跡 昭和43年度調査概要』
(奈良県)1971 奈良県教育委員会『重要文化財宝珠院本堂他一棟修理工事報告書』
(奈良県)1972a 奈良県教育委員会『国宝唐招提寺講堂他二棟修理工事報告書』
(奈良県)1972b 奈良県教育委員会『宇陀福地の古墳発掘調査報告』(奈良県文化財調査報告第17集)
(奈良県)1972c 奈良県教育委員会『新庄町地光寺発掘調査概報』
(奈良県)1972d 奈良県教育委員会『国宝東大寺法華堂修理工事報告書』
(奈良県)1973 奈良県教育委員会『奈良山 平城ニュータウン予定地内遺跡調査概報』
(奈良県)1974a 奈良県教育委員会『馬見丘陵における古墳の調査』(奈良県史蹟名勝天然記念物調査報告第29冊)
(奈良県)1974b 奈良県教育委員会『重要文化財法隆寺西院大垣南面(南大門東方)修理工事報告書』
(奈良県)1974c 奈良県教育委員会『重要文化財法隆寺大湯屋・大湯屋表門・西南隅子院築垣修理工事報告書』
(奈良県)1975a 奈良県教育委員会『宇陀・丹切古墳群』(奈良県史蹟名勝天然記念物調査報告第30冊)
(奈良県)1975b 奈良県教育委員会『天理市 石上・豊田古墳群 I』(奈良県文化財調査報告第20集)
- (橿考研)県1976a 奈良県立橿原考古学研究所・奈良県教育委員会『天理市石上・豊田古墳群 II』(奈良県文化財調査報告書第27集)
(橿考研)県1976b 奈良県立橿原考古学研究所・奈良県教育委員会『奈良県古墳発掘調査集報 I』(奈良県文化財調査報告書第28集)
(奈良県)1976c 奈良県教育委員会『重要文化財法隆寺福園院本堂西院東南隅子院築垣西院西南隅子院築垣修理工事報告書』
(橿考研)県1977a 奈良県立橿原考古学研究所・奈良県教育委員会『奈良県遺跡調査概報 1976年度』
(橿考研)県1977b 奈良県立橿原考古学研究所・奈良県教育委員会『平群・三里古墳』(奈良県史蹟名勝天然記念物調査報告第33冊)
(橿考研)県1978a 奈良県立橿原考古学研究所・奈良県教育委員会『奈良県古墳発掘調査集報 II』(奈良県文化財調査報告書第30集)
(橿考研)県1978b 奈良県立橿原考古学研究所・奈良県教育委員会『桜井市外鎌山北麓古墳群』(奈良県史蹟名勝天然記念物調査報告第34冊)
(橿考研)県1978c 奈良県立橿原考古学研究所・奈良県教育委員会『北葛城郡当麻町 兵家古墳群』(奈良県史蹟名勝天然記念物調査報告第37冊)
(橿考研)県1978d 奈良県立橿原考古学研究所・奈良県教育委員会『奈良県遺跡調査概報 1977年度』
(奈良県)1978e 奈良県教育委員会『重要文化財律学院本堂修理工事報告書』
(橿考研)県1979a 奈良県立橿原考古学研究所・奈良県教育委員会『奈良県遺跡調査概報 1978年度』
(奈良県)1979b 奈良県教育委員会『重要文化財法隆寺上御堂修理工事報告書』
(橿考研)県1980a 奈良県立橿原考古学研究所・奈良県教育委員会『大和郡山市 発志院遺跡』(奈良県史蹟名勝天然記念物調査報告第41冊)
(橿考研)県1980b 奈良県立橿原考古学研究所・奈良県教育委員会『飛鳥京跡二』(奈良県史蹟名勝天然記念物調査報告第40冊)
(奈良県)1980c 奈良県教育委員会『重要文化財法隆寺西院大垣(東面・南面西方・西面)修理工事報告書』

- (樞考研) 県1981a 奈良県立橿原考古学研究所・奈良県教育委員会『新沢千塚古墳群』（奈良県史跡名勝天然記念物調査報告第39冊）
- (樞考研) 県1981b 奈良県立橿原考古学研究所・奈良県教育委員会『奈良県遺跡調査概報 1979年度（第一分冊）』
- (樞考研) 県1981c 奈良県立橿原考古学研究所・奈良県教育委員会『奈良県遺跡調査概報 1979年度（第二分冊）』
- (樞考研) 県1982 奈良県立橿原考古学研究所・奈良県教育委員会『奈良県遺跡調査概報 1980年度（第二分冊）』
- (樞考研) 県1983a 奈良県立橿原考古学研究所・奈良県教育委員会『橿原市院上遺跡』（奈良県文化財調査報告書第40集）
- (樞考研) 県1983b 奈良県立橿原考古学研究所『奈良県遺跡調査概報 1982年度（第1分冊）』
- (奈良県) 1983c 奈良県教育委員会『国宝法隆寺回廊他五棟修理工事報告書』
- (奈良県) 1983d 奈良県教育委員会『重要文化財法隆寺西院東南隅子院西南隅子院築垣修理工事報告書』
- (樞考研) 県1984a 奈良県立橿原考古学研究所『奈良県遺跡調査概報 1983年度（第1分冊）』
- (樞考研) 県1984b 奈良県立橿原考古学研究所『奈良県遺跡調査概報 1983年度（第2分冊）』
- (樞考研) 県1984c 奈良県教育委員会『重要文化財東大寺二月堂仏餉屋修理工事報告書』
- (樞考研) 県1985a 奈良県立橿原考古学研究所『沼山古墳・益田池堤』（奈良県文化財調査報告書第48集）
- (樞考研) 県1985b 奈良県立橿原考古学研究所『榛原町栗谷遺跡群』（奈良県文化財調査報告書第58集）
- (樞考研) 県1985c 奈良県立橿原考古学研究所『奈良県遺跡調査概報 1984年度（第2分冊）』
- (樞考研) 県1985d 奈良県立橿原考古学研究所『石田1号墳』（奈良県文化財調査報告書第44集）
- (奈良県) 1985e 奈良県教育委員会『重要文化財法隆寺東院大垣修理工事報告書』
- (樞考研) 県1986a 奈良県立橿原考古学研究所『能峠遺跡群Ⅰ（南山編）』（奈良県史跡名勝天然記念物調査報告第48冊）
- (樞考研) 県1986b 奈良県立橿原考古学研究所『矢部遺跡 国道24号線橿原バイパス建設に伴う遺跡調査報告（Ⅱ）』（奈良県史跡名勝天然記念物調査報告第49冊）
- (樞考研) 県1986c 奈良県立橿原考古学研究所『橿原市 小槻遺跡』（奈良県史跡名勝天然記念物調査報告第50冊）
- (樞考研) 県1986d 奈良県立橿原考古学研究所『奈良県遺跡調査概報 1985年度（第1分冊）』
- (樞考研) 県1986e 奈良県立橿原考古学研究所『奈良県遺跡調査概報 1985年度（第2分冊）』
- (樞考研) 県1987a 奈良県立橿原考古学研究所『平城京左京三条四坊十二坪』（奈良県文化財調査報告書第52集）
- (樞考研) 県1987b 奈良県立橿原考古学研究所『高取町 与楽古墳群』（奈良県文化財調査報告書第56集）
- (樞考研) 県1988 奈良県立橿原考古学研究所『野山遺跡群Ⅰ』（奈良県史跡名勝天然記念物調査報告第56冊）
- (樞考研) 県1989a 奈良県立橿原考古学研究所『野山遺跡群Ⅱ』（奈良県史跡名勝天然記念物調査報告第59冊）
- (樞考研) 県1989b 奈良県立橿原考古学研究所『奈良県遺跡調査概報 1988年度（第1分冊）』
- (樞考研) 県1989c 奈良県立橿原考古学研究所『奈良県遺跡調査概報 1988年度（第2分冊）』
- (樞考研) 県1990a 奈良県立橿原考古学研究所『松林苑跡Ⅰ』（奈良県史跡名勝天然記念物調査報告第64冊）
- (樞考研) 県1990b 奈良県立橿原考古学研究所『保津・宮古遺跡 第4次発掘調査報告』（奈良県文化財調査報告書第59集）
- (樞考研) 県1990c 奈良県立橿原考古学研究所『奈良県遺跡調査概報 1989年度（第1分冊）』
- (樞考研) 県1990d 奈良県立橿原考古学研究所『奈良県遺跡調査概報 1989年度（第2分冊）』
- (樞考研) 県1990e 奈良県立橿原考古学研究所『奈良県遺跡調査概報 1987年度（第2分冊）』
- (樞考研) 県1991a 奈良県立橿原考古学研究所『寺口千塚古墳群』（奈良県史跡名勝天然記念物調査報告第62冊）
- (樞考研) 県1991b 奈良県立橿原考古学研究所『高田垣内古墳群』（奈良県史跡名勝天然記念物調査報告第63冊）
- (樞考研) 県1991c 奈良県立橿原考古学研究所『奈良県遺跡調査概報 1990年度（第1分冊）』
- (樞考研) 県1991d 奈良県立橿原考古学研究所『奈良県遺跡調査概報 1990年度（第2分冊）』
- (樞考研) 県1992a 奈良県立橿原考古学研究所・山添村教育委員会『山添村毛原周辺遺跡—第6次発掘調査概報』
- (樞考研) 県1992b 奈良県立橿原考古学研究所『奈良県遺跡調査概報 1991年度（第1分冊）』
- (樞考研) 県1993a 奈良県立橿原考古学研究所『龍王山古墳群』（奈良県史跡名勝天然記念物調査報告第68冊）
- (樞考研) 県1993b 奈良県立橿原考古学研究所『奈良県遺跡調査概報 1992年度（第1分冊）』
- (樞考研) 県1993c 奈良県立橿原考古学研究所『奈良県遺跡調査概報 1992年度（第2分冊）』
- (樞考研) 県1993d 奈良県立橿原考古学研究所『新庄町南藤井和田古墳群 付二塚古墳出土の須恵器』（奈良県文化財調査報告書第68集）
- (樞考研) 県1994a 奈良県立橿原考古学研究所『平城京右京一条北辺二坊三坪・四坪』（奈良県史跡名勝天然記念物調査報告第67冊）
- (樞考研) 県1994b 奈良県立橿原考古学研究所『奈良県遺跡調査概報 1993年度（第1分冊）』
- (樞考研) 県1994c 奈良県立橿原考古学研究所『奈良県遺跡調査概報 1993年度（第2分冊）』
- (樞考研) 県1995a 奈良県立橿原考古学研究所『奈良県遺跡調査概報 1994年度（第1分冊）』
- (樞考研) 県1995b 奈良県立橿原考古学研究所『奈良県遺跡調査概報 1994年度（第2分冊）』
- (樞考研) 県1996a 奈良県立橿原考古学研究所『東大寺三社池一史跡東大寺旧境内の発掘調査』（奈良県文化財調査報告書第71集）
- (樞考研) 県1996b 奈良県立橿原考古学研究所『高家遺跡群Ⅰ』（奈良県文化財調査報告書第72集）
- (樞考研) 県1996c 奈良県立橿原考古学研究所『奈良県遺跡調査概報 1995年度（第1分冊）』
- (樞考研) 県1996d 奈良県立橿原考古学研究所『奈良県遺跡調査概報 1995年度（第2分冊）』
- (樞考研) 県1996e 奈良県立橿原考古学研究所『南郷遺跡群Ⅰ』（奈良県史跡名勝天然記念物調査報告第69冊）
- (樞考研) 県1997a 奈良県立橿原考古学研究所『石榴垣内遺跡』（奈良県史跡名勝天然記念物調査報告第70冊）
- (樞考研) 県1997b 奈良県立橿原考古学研究所『越部古墳』（奈良県文化財調査報告書第82集）
- (樞考研) 県1997c 奈良県立橿原考古学研究所『奈良県遺跡調査概報 1996年度（第1分冊）』
- (樞考研) 県1998a 奈良県立橿原考古学研究所『山口遺跡群 宮之平遺跡 琴屋敷遺跡』（奈良県史跡名勝天然記念物調査報告第72冊）
- (樞考研) 県1998b 奈良県立橿原考古学研究所『平城京左京三条三坊八坪—東三坊坊間路西側溝の調査』（奈良県文化財調査報告書第76集）
- (樞考研) 県1998c 奈良県立橿原考古学研究所『平城京右京二条二坊七・八・九・十坪』（奈良県文化財調査報告書第79集）
- (樞考研) 県1998d 奈良県立橿原考古学研究所『奈良県遺跡調査概報 1997年度（第1分冊）』
- (樞考研) 県1998e 奈良県立橿原考古学研究所『奈良県遺跡調査概報 1997年度（第2分冊）』
- (樞考研) 県1998f 奈良県立橿原考古学研究所『奈良県遺跡調査概報 1997年度（第3分冊）』
- (樞考研) 県1999a 奈良県立橿原考古学研究所『能峠遺跡群Ⅲ（中島編）』（奈良県史跡名勝天然記念物調査報告第60冊）
- (樞考研) 県1999b 奈良県立橿原考古学研究所『南郷遺跡群Ⅱ』（奈良県史跡名勝天然記念物調査報告第73冊）
- (樞考研) 県1999c 奈良県立橿原考古学研究所『長谷寺』（奈良県文化財調査報告書第84集）
- (樞考研) 県1999d 奈良県立橿原考古学研究所『奈良県遺跡調査概報 1998年度（第一分冊）』
- (樞考研) 県1999e 奈良県立橿原考古学研究所『奈良県遺跡調査概報 1998年度（第二分冊）』
- (樞考研) 県1999f 奈良県立橿原考古学研究所『奈良県遺跡調査概報 1998年度（第三分冊）』
- (樞考研) 県2000a 奈良県立橿原考古学研究所『南郷遺跡群Ⅳ』（奈良県立橿原考古学研究所調査報告第76冊）
- (樞考研) 県2000b 奈良県立橿原考古学研究所『南郷遺跡群Ⅴ』（奈良県立橿原考古学研究所調査報告第77冊）
- (樞考研) 県2000c 奈良県立橿原考古学研究所『菅田遺跡—大和の中世城館・近世集落』（奈良県立橿原考古学研究所調査報告第78冊）
- (樞考研) 県2000d 奈良県立橿原考古学研究所『居伝遺跡』（奈良県立橿原考古学研究所調査報告第79冊）
- (樞考研) 県2000e 奈良県立橿原考古学研究所『奈良県遺跡調査概報 1999年度（第一分冊）』
- (樞考研) 県2000f 奈良県立橿原考古学研究所『奈良県遺跡調査概報 1999年度（第二分冊）』
- (樞考研) 県2000g 奈良県立橿原考古学研究所『奈良県遺跡調査概報 1999年度（第三分冊）』
- (樞考研) 県2001a 奈良県立橿原考古学研究所『下永東方遺跡—京奈和自動車道「大和区間」の建設に伴う発掘調査報告Ⅲ』（奈良県文化財調査報告書第86集）
- (樞考研) 県2001b 奈良県立橿原考古学研究所『水木古墳発掘調査報告書』（奈良県文化財調査報告書第88集）
- (樞考研) 県2001c 奈良県立橿原考古学研究所『奈良県遺跡調査概報 2000年度（第一分冊）』
- (樞考研) 県2001d 奈良県立橿原考古学研究所『奈良県遺跡調査概報 2000年度（第三分冊）』
- (樞考研) 県2002a 奈良県立橿原考古学研究所『伴堂東遺跡』（奈良県立橿原考古学研究所調査報告第80冊）
- (樞考研) 県2002b 奈良県立橿原考古学研究所『三ツ塚古墳群』（奈良県立橿原考古学研究所調査報告第81冊）
- (樞考研) 県2002c 奈良県立橿原考古学研究所『地光寺—第3次・第4次調査』（奈良県文化財調査報告書第87集）
- (樞考研) 県2002d 奈良県立橿原考古学研究所『棚機神社東古墳—附 棚機神社古墳測量調査報告』（奈良県文化財調査報告書第98集）

- (樞考研) 県2002e 奈良県立橿原考古学研究所 『奈良県遺跡調査概報 2001年度 (第一分冊)』
- (樞考研) 県2002f 奈良県立橿原考古学研究所 『奈良県遺跡調査概報 2001年度 (第三分冊)』
- (樞考研) 県2002g 奈良県立橿原考古学研究所 『箸墓古墳周辺の調査—国営農地防災溜池工事に伴う箸墓古墳周辺第7・9・10次発掘調査報告書』 (奈良県文化財調査報告書第89集)
- (樞考研) 県2003a 奈良県立橿原考古学研究所 『保津・宮古遺跡 第3次発掘調査報告』 (奈良県文化財調査報告書第100集)
- (樞考研) 県2003b 奈良県立橿原考古学研究所 『只塚廃寺・首子遺跡』 (奈良県史跡名勝天然記念物調査報告第57冊)
- (樞考研) 県2003c 奈良県立橿原考古学研究所 『上5号墳』 (奈良県文化財調査報告書第92集)
- (樞考研) 県2003d 奈良県立橿原考古学研究所 『宮の平遺跡 I—式内社丹生川上神社旧境内地内調査編』 (奈良県立橿原考古学研究所調査報告第84冊)
- (樞考研) 県2003e 奈良県立橿原考古学研究所 『後出古墳群』 (奈良県史跡名勝天然記念物調査報告第61冊)
- (樞考研) 県2003f 奈良県立橿原考古学研究所 『栗原カタソバ遺跡群』 (奈良県史跡名勝天然記念物調査報告書第65冊)
- (樞考研) 県2003g 奈良県立橿原考古学研究所 『南郷遺跡群Ⅲ』 (奈良県立橿原考古学研究所調査報告第74冊)
- (樞考研) 県2003h 奈良県立橿原考古学研究所 『中町西遺跡』 (奈良県立橿原考古学研究所調査報告第85冊)
- (樞考研) 県2003i 奈良県立橿原考古学研究所 『興福寺旧境内—県分庁舎建設に伴う調査』 (奈良県文化財調査報告書第78集)
- (樞考研) 県2003j 奈良県立橿原考古学研究所 『久米石橋遺跡 (藤原京右京十二条五坊)』 (奈良県文化財調査報告書第96集)
- (樞考研) 県2003k 奈良県立橿原考古学研究所 『三吉2号墳・ダダオン古墳 付 三吉3号墳・佐味田狐塚』 (奈良県文化財調査報告書第97集)
- (樞考研) 県2003l 奈良県立橿原考古学研究所 『下永東城遺跡—京奈和自動車道「大和区間」建設に伴う埋蔵文化財発掘調査』 (奈良県文化財調査報告書第103集)
- (樞考研) 県2004a 奈良県立橿原考古学研究所 『巨勢寺』 (奈良県立橿原考古学研究所調査報告第87冊)
- (樞考研) 県2004b 奈良県立橿原考古学研究所 『兵家清水・菰谷古墳群』 (奈良県文化財調査報告書第108集)
- (樞考研) 県2004c 奈良県立橿原考古学研究所 『荒坂遺跡 第5次調査』 (奈良県文化財調査報告書第109集)
- (樞考研) 県2004d 奈良県立橿原考古学研究所 『東竹田遺跡』 (奈良県文化財調査報告書第111集)
- (樞考研) 県2004e 奈良県立橿原考古学研究所 『奈良県遺跡調査概報 2003年 (第二分冊)』
- (樞考研) 県2005a 奈良県立橿原考古学研究所 『小泉堂遺跡』 (奈良県立橿原考古学研究所調査報告第88冊)
- (樞考研) 県2005b 奈良県立橿原考古学研究所 『曲川遺跡』 (奈良県立橿原考古学研究所調査報告第90冊)
- (樞考研) 県2005c 奈良県立橿原考古学研究所 『乙木・佐保庄遺跡』 (奈良県立橿原考古学研究所調査報告第92冊)
- (樞考研) 県2005d 奈良県立橿原考古学研究所 『ホラント遺跡—ふるさと農道緊急整備事業高市地区に伴う発掘調査』 (奈良県文化財調査報告書第112集)
- (樞考研) 県2005e 奈良県立橿原考古学研究所 『奈良県遺跡調査概報 2004年 (第一分冊)』
- (樞考研) 県2005f 奈良県立橿原考古学研究所 『奈良県遺跡調査概報 2004年 (第二分冊)』
- (樞考研) 県2006a 奈良県立橿原考古学研究所 『ノムギ古墳』 (奈良県立橿原考古学研究所調査報告第93冊)
- (樞考研) 県2006b 奈良県立橿原考古学研究所 『八条遺跡』 (奈良県立橿原考古学研究所調査報告第94冊)
- (樞考研) 県2006c 奈良県立橿原考古学研究所 『平城京左京五条二坊十五・十六坪』 (奈良県立橿原考古学研究所調査報告第98冊)
- (樞考研) 県2006d 奈良県立橿原考古学研究所 『東大寺旧境内—唐禅院跡推定地の発掘調査』 (奈良県文化財調査報告書第114集)
- (樞考研) 県2006e 奈良県立橿原考古学研究所 『横田矢田野遺跡』 (奈良県文化財調査報告書第116集)
- (樞考研) 県2006f 奈良県立橿原考古学研究所 『越町遺跡・小切山遺跡』 (奈良県文化財調査報告書第117集)
- (樞考研) 県2006g 奈良県立橿原考古学研究所 『奈良県遺跡調査概報 2005年 (第一分冊)』
- (樞考研) 県2006h 奈良県立橿原考古学研究所 『奈良県遺跡調査概報 2005年 (第二分冊)』
- (樞考研) 県2007a 奈良県立橿原考古学研究所 『マバカ古墳周辺の調査—県道「天理環状線」建設に伴う発掘調査報告』 (奈良県立橿原考古学研究所調査報告第99冊)
- (樞考研) 県2007b 奈良県立橿原考古学研究所 『四条シナノ遺跡—大和高田バイパス建設にともなう発掘調査報告書』 (奈良県立橿原考古学研究所調査報告第100冊)
- (樞考研) 県2007c 奈良県立橿原考古学研究所 『平城京左京四条四坊・四条五坊—附 左京四条三坊九坪 (東堀河)』 (奈良県立橿原考古学研究所調査報告第101冊)
- (樞考研) 県2007d 奈良県立橿原考古学研究所 『ドンド垣内古墳群』 (奈良県文化財調査報告書第119集)
- (樞考研) 県2007e 奈良県立橿原考古学研究所 『横田アンバ遺跡』 (奈良県文化財調査報告書第121集)
- (樞考研) 県2007f 奈良県立橿原考古学研究所 『奈良県遺跡調査概報 2006年 (第一分冊)』
- (樞考研) 県2007g 奈良県立橿原考古学研究所 『奈良県遺跡調査概報 2006年 (第二分冊)』
- (樞考研) 県2008a 奈良県立橿原考古学研究所 『三河遺跡—京奈和自動車道「大和区間」建設に伴う発掘調査報告ⅩⅠ』 (奈良県立橿原考古学研究所調査報告第103冊)
- (樞考研) 県2008b 奈良県立橿原考古学研究所 『大西塚ノ本遺跡』 (奈良県文化財調査報告書第123集)
- (樞考研) 県2008c 奈良県立橿原考古学研究所 『下永東方遺跡Ⅱ—京奈和自動車道「大和区間」建設に伴う発掘調査報告ⅩⅡ』 (奈良県文化財調査報告書第124集)
- (樞考研) 県2008d 奈良県立橿原考古学研究所 『平城京左京三条一坊五・十二・十三坪発掘調査報告書』 (奈良県文化財調査報告書第126集)
- (樞考研) 県2008e 奈良県立橿原考古学研究所 『向山遺跡—京奈和自動車道「五條道路」建設に伴う発掘調査』 (奈良県文化財調査報告書第127集)
- (樞考研) 県2008f 奈良県立橿原考古学研究所 『奈良県遺跡調査概報 2007年 (第一分冊)』
- (樞考研) 県2008g 奈良県立橿原考古学研究所 『奈良県遺跡調査概報 2007年 (第二分冊)』
- (樞考研) 県2008h 奈良県立橿原考古学研究所 『此瀬五反田遺跡』 (奈良県文化財調査報告書第130集)
- (樞考研) 県2008i 奈良県立橿原考古学研究所 『平城京左京三条三坊五・十二坪』 (奈良県文化財調査報告書第131集)
- (樞考研) 県2009a 奈良県立橿原考古学研究所 『松山遺跡—高取バイパス建設に伴う調査報告書1』 (奈良県文化財調査報告書第134集)
- (樞考研) 県2009b 奈良県立橿原考古学研究所 『釜達大谷東原古墳—京奈和自動車道「五條道路」建設にともなう発掘調査』 (奈良県文化財調査報告書第135集)
- (樞考研) 県2009c 奈良県立橿原考古学研究所 『保津・宮古遺跡第10・11次発掘調査報告—京奈和自動車道「大和区間」建設に伴う発掘調査報告書ⅩⅢ』 (奈良県立橿原考古学研究所調査報告第104冊)
- (樞考研) 県2009d 奈良県立橿原考古学研究所 『四条遺跡 I—大和高田バイパス建設にともなう発掘調査報告(Ⅲ)』 (奈良県立橿原考古学研究所調査報告第105冊)
- (樞考研) 県2009e 奈良県立橿原考古学研究所 『日笠花刈遺跡』 (奈良県文化財調査報告書第133集)
- (樞考研) 県2009f 奈良県立橿原考古学研究所 『奈良県遺跡調査概報 2008年 (第二分冊)』
- (樞考研) 県2010a 奈良県立橿原考古学研究所 『四条遺跡Ⅱ』 (奈良県立橿原考古学研究所調査報告第106冊)
- (樞考研) 県2010b 奈良県立橿原考古学研究所 『平城京朱雀大路・下ッ道—国道308号線整備事業に伴う発掘調査報告書』 (奈良県文化財調査報告書第136集)
- (樞考研) 県2010c 奈良県立橿原考古学研究所 『奈良県遺跡調査概報 2009年度 (第一分冊)』
- (樞考研) 県2011a 奈良県立橿原考古学研究所 『平城京三条大路 I—国道308号整備事業に伴う発掘調査報告書(Ⅲ)』 (奈良県文化財調査報告書第139集)
- (樞考研) 県2011b 奈良県立橿原考古学研究所 『平城京右京三条三坊・四坊—国道308号整備事業に伴う発掘調査報告書(Ⅳ)』 (奈良県文化財調査報告書第141集)
- (樞考研) 県2011c 奈良県立橿原考古学研究所 『平城京三条大路Ⅱ—JR奈良駅連続立体交差・街路整備事業に係る発掘調査報告書(Ⅲ)』 (奈良県文化財調査報告書第140集)
- (樞考研) 県2011d 奈良県立橿原考古学研究所 『巢山古墳・寺戸遺跡』 (奈良県文化財調査報告書第142集)
- (樞考研) 県2011e 奈良県立橿原考古学研究所 『横田堂垣内遺跡—郡山ジャンクション建設に伴う発掘調査報告書 I』 (奈良県文化財調査報告書第143集)
- (樞考研) 県2011f 奈良県立橿原考古学研究所 『日笠フシダ遺跡 附載 中貫柿ノ木遺跡』 (奈良県文化財調査報告書第144集)
- (樞考研) 県2011g 奈良県立橿原考古学研究所 『飛鳥京跡Ⅳ—外郭北部域の調査』 (奈良県立橿原考古学研究所調査報告第108冊)

- (樞考研) 県2011h 奈良県立橿原考古学研究所『脇本遺跡Ⅰ』（奈良県立橿原考古学研究所調査報告第109冊）
- (樞考研) 県2011i 奈良県立橿原考古学研究所『平城京右京三条二・三坊、菅原東遺跡』（奈良県文化財調査報告書第149集）
- (樞考研) 県2011j 奈良県立橿原考古学研究所『奈良県遺跡調査概報 2010年度（第一分冊）』
- (樞考研) 県2011k 奈良県立橿原考古学研究所・東大寺『史跡東大寺旧境内—西南院跡の発掘調査』（奈良県文化財調査報告書第150集）
- (樞考研) 県2011l 奈良県立橿原考古学研究所『奈良県遺跡調査概報 2010年度（第二分冊）』
- (樞考研) 県2012a 奈良県立橿原考古学研究所『一町西遺跡Ⅰ』（奈良県立橿原考古学研究所調査報告第110冊）
- (樞考研) 県2012b 奈良県立橿原考古学研究所『平城京左京四・五条四坊、五条五坊—J R奈良駅連続立体交差・街路整備事業に係る発掘調査報告書(Ⅳ)』（奈良県文化財調査報告書第153集）
- (樞考研) 県2012c 奈良県立橿原考古学研究所『馬見古墳群 一本松2号墳』（奈良県文化財調査報告書第156集）
- (樞考研) 県2012d 奈良県立橿原考古学研究所『奈良県遺跡調査概報 2011年（第一分冊）』
- (樞考研) 県2012e 奈良県立橿原考古学研究所『飛鳥京跡Ⅴ—史跡・名勝飛鳥京跡苑池(1)』（奈良県立橿原考古学研究所調査報告第111冊）
- (樞考研) 県2012f 奈良県立橿原考古学研究所『奈良県遺跡調査概報 2011年（第二分冊）』
- (樞考研) 県2013a 奈良県立橿原考古学研究所『一町西遺跡Ⅱ』（奈良県立橿原考古学研究所調査報告第112冊）
- (樞考研) 県2013b 奈良県立橿原考古学研究所『奈良県遺跡調査概報 2012年度（第一分冊）』
- (樞考研) 県2013c 奈良県立橿原考古学研究所『観音寺本馬遺跡Ⅰ（観音寺Ⅲ区）』（奈良県立橿原考古学研究所調査報告第113冊）
- (樞考研) 県2013d 奈良県立橿原考古学研究所『平城京左京二・三・五条五坊—J R奈良駅連続立体交差・街路整備事業に係る発掘調査報告書(Ⅴ)』（奈良県文化財調査報告書第160集）
- (樞考研) 県2013e 奈良県立橿原考古学研究所『藤原京右京十一条三坊—県道橿原神宮東口停車場飛鳥線建設事業に伴う発掘調査報告書Ⅱ』（奈良県文化財調査報告書第161集）
- (樞考研) 県2013f 奈良県立橿原考古学研究所『馬司寺山遺跡・馬司遺跡—大和郡山ジャンクション建設に伴う発掘調査報告書Ⅱ』（奈良県文化財調査報告書第162集）
- (樞考研) 県2013g 奈良県立橿原考古学研究所『片岡王寺跡・達磨寺旧境内』（奈良県文化財調査報告書第159集）
- (樞考研) 県2014a 奈良県立橿原考古学研究所『奈良県遺跡調査概報 2012年度（第二分冊）』
- (樞考研) 県2014b 奈良県立橿原考古学研究所『奈良県遺跡調査概報 2013年度（第一分冊）』
- (樞考研) 県2014c 奈良県立橿原考古学研究所『脇本遺跡Ⅱ』（奈良県立橿原考古学研究所調査報告第115冊）
- (樞考研) 県2014d 奈良県立橿原考古学研究所『薩摩遺跡Ⅰ—高取バイパス建設に伴う調査報告書4』（奈良県立橿原考古学研究所調査報告第116冊）
- (樞考研) 県2015a 奈良県立橿原考古学研究所『平城京左京五条五坊二坪—奈良警察署庁舎建設に伴う発掘調査報告書』（奈良県文化財調査報告書第165集）
- (樞考研) 県2015b 奈良県立橿原考古学研究所『脇本遺跡Ⅲ』（奈良県立橿原考古学研究所調査報告第118冊）
- (樞考研) 県2015c 奈良県立橿原考古学研究所『奈良県遺跡調査概報 2013年度（第二分冊）』
- (樞考研) 県2015d 奈良県立橿原考古学研究所『薩摩遺跡Ⅱ—高取バイパス建設に伴う調査報告書5』（奈良県立橿原考古学研究所調査報告第119冊）
- (樞考研) 県2015e 奈良県立橿原考古学研究所『平城京左京三条二坊十一・十二・十三・十四坪』（奈良県立橿原考古学研究所調査報告第120冊）
- (樞考研) 県2015f 奈良県立橿原考古学研究所『藤原京右京十一条二坊—県道橿原神宮東口停車場飛鳥線建設事業に伴う発掘調査報告書Ⅲ』（奈良県文化財調査報告書第166集）
- (奈良県) 2015g 奈良県教育委員会『重要文化財當麻廂院本堂及び方丈修理工事報告書』
- (樞考研) 県2016a 奈良県立橿原考古学研究所『四条遺跡Ⅲ—奈良県立医科大学附属病院中央手術棟整備工事に伴う発掘調査報告書』（奈良県文化財調査報告書第168集）
- (樞考研) 県2016b 奈良県立橿原考古学研究所『稲葉車瀬遺跡—斑鳩パークウェイ建設に伴う発掘調査報告書(2)』（奈良県文化財調査報告書第170集）
- (樞考研) 県2017a 奈良県立橿原考古学研究所『名勝奈良公園・興福寺跡—興福寺子院観音院跡の調査』（奈良県立橿原考古学研究所調査報告第122冊）
- (樞考研) 県2017b 奈良県立橿原考古学研究所『藤原京右京十一条三坊・四坊—県道橿原神宮東口停車場飛鳥線建設に伴う発掘調査報告書Ⅴ』（奈良県文化財調査報告書第172集）
- (樞考研) 県2017c 奈良県立橿原考古学研究所『立花遺跡—近畿農政局大和紀伊平野農業水利事務所吉野川分水農業用水路改修工事に伴う発掘調査報告書』（奈良県文化財調査報告書第175集）
- (樞考研) 県2017d 奈良県立橿原考古学研究所『藤原京左京八条二坊・九条三坊、紀寺跡—近畿農政局大和紀伊平野農業水利事務所吉野川分水農業用水路改修工事に伴う発掘調査報告書』（奈良県文化財調査報告書第176集）
- (樞考研) 県2017e 奈良県立橿原考古学研究所・唐招提寺『史跡唐招提寺旧境内 緊急防災施設改修事業に伴う発掘調査報告書』（奈良県文化財調査報告書第177集）
- (樞考研) 県2017f 奈良県立橿原考古学研究所『藤原京右京十一条一坊・左京十一条一坊』（奈良県立橿原考古学研究所調査報告第124冊）
- (樞考研) 県2017g 奈良県立橿原考古学研究所『中西遺跡Ⅰ—京奈和自動車道「御所区間」建設に伴う調査報告書(8)』（奈良県立橿原考古学研究所調査報告第123冊）
- (奈良県) 2017h 奈良県教育委員会『重要文化財 長福寺本堂修理工事報告書』
- (奈良県) 2017i 奈良県教育委員会『国宝 法隆寺中門ほか二棟修理工事報告書』
- (樞考研) 県2019a 奈良県立橿原考古学研究所『奈良県遺跡調査概報 2017年度（第二分冊）』
- (樞考研) 県2019b 奈良県立橿原考古学研究所『下永東方遺跡Ⅲ—京奈和自動車道「大和区間」建設に伴う発掘調査報告ⅩⅦ』（奈良県文化財調査報告書第181集）
- (樞考研) 県2020a 奈良県立橿原考古学研究所『薩摩遺跡Ⅲ—高取バイパス建設に伴う調査報告書7』（奈良県立橿原考古学研究所調査報告第126冊）
- (樞考研) 県2020b 奈良県立橿原考古学研究所『京奈和自動車道 郡山下ッ道ジャンクション建設に伴う遺跡調査報告書—大和郡山市伊豆七条町・八条町・横田町、天理市南六条町所在』（奈良県文化財調査報告書第179集）
- (樞考研) 県2020c 奈良県立橿原考古学研究所『平城京左京三条二坊十四坪』（奈良県文化財調査報告書第186集）
- (樞考研) 県2020d 奈良県立橿原考古学研究所『奈良県遺跡調査概報 2019年度（第一分冊）』
- (奈良県) 2020e 奈良県『奈良県中近世城跡跡調査報告書—第一分冊』
- (樞考研) 博1975 奈良県立考古博物館『大和考古資料目録第3集』
- (樞考研) 博1977 奈良県立橿原考古学研究所附属考古博物館『大和考古資料目録第5集』
- (樞考研) 博1978 奈良県立橿原考古学研究所附属考古博物館『大和考古資料目録第6集』
- (樞考研) 博1981 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館『大和考古資料目録第8集』
- (樞考研) 博1982 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館『大和考古資料目録第9集』
- (樞考研) 博1983 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館『大和考古資料目録第10集』
- (樞考研) 博1985 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館『大和考古資料目録第12集』
- (樞考研) 博1986 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館『大和を掘る 1985年度発掘調査速報Ⅵ』
- (樞考研) 博1987 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館『古代大和の土器の文字 1』（1987Vol. 5）
- (樞考研) 博1988 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館『石舞台から藤ノ木古墳』（特別展図録第30冊）
- (樞考研) 博1993a 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館『大和考古資料目録第20集』
- (樞考研) 博1993b 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館『大和を掘る 1992年度発掘調査速報Ⅼ』
- (樞考研) 博1998 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館『大和考古資料目録第21集』
- (樞考研) 博2000 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館『大仏開眼—東大寺の考古学 平成12年度秋季特別展』
- (樞考研) 博2005 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館『大和を掘る 23—2004年度発掘調査速報Ⅼ』
- (樞考研) 博2007 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館『山の神と山の仏—山岳信仰の起源を探る』（特別展図録第67冊）
- (樞考研) 博2008 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館『藤原京の実態—持統・文武・元明 三代の都』（特別展図録第13冊）

- (樞考研)博2009 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館『吉野川紀行—吉野・宇智をめぐる交流と信仰』（特別展図録第71冊）
- (樞考研)博2010a 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館『平城京発掘—ここまでわかった奈良の都』（特別陳列図録第15冊）
- (樞考研)博2010b 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館『大和を掘る28—2009年度発掘調査速報展』
- (樞考研)博2010c 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館『大和考古資料目録第28集』
- (樞考研)博2013 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館『美酒発掘』（特別展図録第80冊）
- (樞考研)博2016 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館『大和を掘る34—2015年度発掘調査速報展』
- (樞考研)博2018 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館『古代の輝き—日本考古学と樞考研80年の軌跡II』（特別展図録第90冊）
- (明日香村)1988 明日香村教育委員会『昭和62年度 雷丘東方遺跡 第3次発掘調査概報—村道耳成線道路改良事業に伴う調査』
- (明日香村)1993 明日香村教育委員会『明日香村遺跡調査概報 平成4年度』
- (明日香村)1996 明日香村教育委員会『明日香村遺跡調査概報 平成6年度』
- (明日香村)1998 明日香村教育委員会『明日香村遺跡調査概報 平成8年度』
- (明日香村)1999 明日香村教育委員会『明日香村遺跡調査概報 平成9年度』
- (明日香村)2002 明日香村教育委員会『明日香村遺跡調査概報 平成14年度』
- (明日香村)2006 明日香村教育委員会『酒船石遺跡発掘調査報告書—付. 飛鳥東垣内遺跡・飛鳥宮ノ下遺跡』（明日香村文化財調査報告書第4集）
- (明日香村)2010a 明日香村教育委員会文化財課『真弓鐘子塚古墳発掘調査報告書—飛鳥の穹窿状横穴式石室墳の調査』（明日香村文化財調査報告書第7集）
- (明日香村)2010b 明日香村教育委員会『明日香村遺跡調査概報 平成20年度』
- (明日香村)2012 明日香村教育委員会文化財課『竹田遺跡発掘調査報告書』（明日香村文化財調査報告書第8集）
- (明日香村)2013 明日香村教育委員会『キトラ公園内遺跡発掘調査報告書—国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区発掘調査報告書』（明日香村文化財調査報告書第9集）
- (明日香村)2019 明日香村教育委員会『明日香村遺跡調査概報 平成29年度』
- (明日香村)2020 明日香村教育委員会『飛鳥寺西方遺跡発掘調査報告書—飛鳥寺西櫓の広場の調査』（明日香村文化財調査報告書第14集）
- 一乗院1964 (財)旧一乗院保存会・奈良県教育委員会『重要文化財 旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』
- (斑鳩町)2012 斑鳩町教育委員会・斑鳩町文化財活用センター『飛鳥時代の斑鳩と小田原 展示図録』（平成23年度斑鳩町・小田原市交流展）
- (斑鳩町)2013 斑鳩町教育委員会・斑鳩町文化財活用センター『史跡中宮寺跡発掘調査報告書』（斑鳩町文化財調査報告第11集）
- (斑鳩町)2015 斑鳩町教育委員会・斑鳩町文化財活用センター『斑鳩町内遺跡発掘調査概報 平成10年度』（斑鳩町文化財調査報告第14集）
- (斑鳩町)2017 斑鳩町教育委員会・斑鳩町文化財活用センター『史跡三井瓦窯跡発掘調査報告書』（斑鳩町文化財調査報告第16集）
- (生駒市)2009 生駒市教育委員会『生駒古窯跡群資料集成1 金比羅窯跡』（生駒市文化財調査報告書第28集）
- (生駒市)2011 生駒市教育委員会『生駒古窯跡群資料集成2 生駒山北方窯跡』（生駒市文化財調査報告書第31集）
- (宇陀市)2016 宇陀市教育委員会『史跡 宇陀松山城跡（遺物編I）』（宇陀市文化財調査報告書第7集）
- (榛原町)1977 榛原町教育委員会・奈良県立橿原考古学研究所『奈良県宇陀郡榛原町大王山遺跡』
- (榛原町)1990 榛原町教育委員会『大貝古墳群発掘調査概要報告書』（榛原町文化財調査概要4）
- (榛原町)1992 榛原町教育委員会『榛原町内遺跡発掘調査概要報告書 1991年度』（榛原町文化財調査概要7）
- (榛原町)1999 榛原町教育委員会『榛原町内遺跡発掘調査概要報告書 1997年度』（榛原町文化財調査概要20）
- (榛原町)2001 榛原町教育委員会『丹切遺跡第6・9次発掘調査概要報告書』
- (王寺町)2001 王寺町教育委員会『達磨寺3号墳 範囲確認調査報告書』（王寺町文化財調査報告書第2集）
- (王寺町)2018 王寺町教育委員会『西安寺跡第5次・第6次発掘調査報告書』（王寺町文化財調査報告書第13集）
- (橿原市)1993 橿原市教育委員会『橿原市埋蔵文化財発掘調査概報 平成4年度（田中廃寺・藤原京跡）』（橿原市埋蔵文化財調査概要10）
- (橿原市)2001 橿原市教育委員会『橿原市埋蔵文化財発掘調査概報 平成12年度（大藤原京跡・植山古墳）』（橿原市埋蔵文化財調査概要18）
- (橿原市)2005 奈良県橿原市教育委員会『橿原市埋蔵文化財発掘調査調査概報 平成16年度（藤原宮跡、藤原京跡、大藤原京跡、国分寺跡）』（橿原市埋蔵文化財調査概要22）
- (橿原市)2006 奈良県橿原市教育委員会『平成16（2004）年度 橿原市文化財調査年報』2006年
- (橿原市)2012a 奈良県橿原市教育委員会『藤原京跡—右京十一・十二条三坊、右京十二条三・四坊』（橿原市埋蔵文化財調査報告第4冊）
- (橿原市)2012b 奈良県橿原市教育委員会『平成22（2010）年度 橿原市文化財調査年報』
- (橿原市)2013 奈良県橿原市教育委員会『藤原京跡Ⅲ—左京一・二条六・七坊、黒田池遺跡』（橿原市埋蔵文化財調査報告第7冊）
- (橿原市)2014 奈良県橿原市教育委員会『史跡植山古墳』（橿原市埋蔵文化財調査報告第9冊）
- (橿原市)2015 奈良県橿原市教育委員会『新堂遺跡—京奈和自動車道「御所区間」建設に伴う発掘調査報告書』（橿原市埋蔵文化財調査報告第12冊）
- (橿原市)2017 奈良県橿原市教育委員会『平成29（2017）年度橿原市文化財調査年報』
- (橿原市)2018 奈良県橿原市教育委員会『新堂遺跡Ⅱ—京奈和自動車道「御所区間」建設に伴う発掘調査報告書』（橿原市埋蔵文化財調査報告第14冊）
- (橿原市)2019 奈良県橿原市教育委員会『新堂遺跡Ⅲ—京奈和自動車道「御所区間」建設に伴う発掘調査報告書』（橿原市埋蔵文化財調査報告第15冊）
- (橿原市)千塚1993 橿原市千塚資料館『かしはらの歴史をさぐる 平成4年度埋蔵文化財発掘調査速報展』
- (橿原市)千塚1998 橿原市千塚資料館『かしはらの歴史をさぐる6 平成9年度埋蔵文化財発掘調査速報展』
- (香芝市)1994 香芝市教育委員会『香芝市埋蔵文化財発掘調査概報2 平成5年度』
- (香芝市)2003 香芝市教育委員会・香芝市二上山博物館『尼寺廃寺I—北廃寺の調査』（香芝市文化財調査報告書第4集）
- (香芝市)2011 香芝市教育委員会『下田東遺跡』（香芝市文化財調査報告書第12集）
- 春日顕彰会1977 (財)春日顕彰会『春日大社奈良朝築地遺構発掘調査報告書』
- 葛城市歴博2009 葛城市歴史博物館『竹内遺跡、古殿遺跡の奈良・平安時代資料』（葛城市歴史博物館資料目録第3集）
- 葛城市歴博2012 葛城市歴史博物館『只塚廃寺 石光寺旧境内 當麻寺 加守廃寺』（葛城市歴史博物館資料目録第4集）
- (新庄)町1984 新庄町教育委員会『平岡（西方）古墳群』（新庄町埋蔵文化財調査概報第1集）
- (新庄)町1986 新庄町教育委員会『平岡（西方）古墳群 第3次発掘調査概報』（新庄町埋蔵文化財調査概報第3集）
- (新庄)町1988 新庄町教育委員会・奈良県立橿原考古学研究所『寺口忍海古墳群』（新庄町文化財調査報告第1冊）
- (當麻町)1986 當麻町教育委員会・奈良県立橿原考古学研究所『奈良県北葛城郡當麻町 首子遺跡群発掘調査報告—當麻園場整備事業にともなう発掘調査』（當麻町埋蔵文化財調査報告第2集）
- (當麻町)1994 當麻町教育委員会・奈良県立橿原考古学研究所『平林古墳』（當麻町埋蔵文化財調査報告第3集）
- 唐古・鍵 → 田原本町
- (河合町)1990 河合町教育委員会・奈良県立橿原考古学研究所『長林寺』（河合町文化財調査報告第3集）
- 元興寺1974 (財)元興寺仏教民俗資料研究所『元興寺古瓦調査報告書』
- (調査会)2002 元興寺境内遺跡調査会『元興寺 国宝元興寺極楽坊本堂ほか防災施設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』
- (元文研)2005 (財)元興寺文化財研究所『平城京右京北辺』
- (元文研)2006 (財)元興寺文化財研究所『曲川遺跡発掘調査報告書 2004年度調査』
- (元文研)2008a (財)元興寺文化財研究所『平城京右京一条三坊一坪 平成18年度発掘調査報告書』
- (元文研)2008b (財)元興寺文化財研究所『平城京左京三条五坊三坪 平成19年度発掘調査報告書』
- (元文研)2009a (財)元興寺文化財研究所『平城京左京二条六坊三・四・五・六坪及び奈良町遺跡—平成19年度発掘調査報告書（外京条坊交差点の調査）』
- (元文研)2009b (財)元興寺文化財研究所『平城京左京四条二坊九坪（田村第跡）—平成19年度発掘調査報告書』
- (元文研)2018 (公財)元興寺文化財研究所『藤原京右京十二条三坊・石川廃寺—平成28年度発掘調査報告書』

- (上牧町)2015 上牧町教育委員会『上牧久渡古墳群発掘調査報告書』(上牧町文化財調査報告第2集)
- 京博1975 京都国立博物館『特別陳列 川原寺裏山遺跡出土品』
- (広陵町)1975 広陵町・奈良県立橿原考古学研究所『奈良県北葛城郡広陵町 寺戸遺跡発掘調査概報』
- (広陵町)1989 広陵町教育委員会『広陵町遺跡分布調査概報』(広陵町埋蔵文化財調査概報2)
- (広陵町)2010 広陵町教育委員会文化財保存センター『新木山古墳外堤第2次範囲確認調査概報 ノノワ古墳群発掘調査概報』(広陵町埋蔵文化財調査概報8)
- (五條市)2019 五條市教育委員会『栄山寺』(市立五條文化博物館令和元年度秋季特別展)
- (御所市)1980 御所市教育委員会『御所市樋野古墳群』(御所市埋蔵文化財調査報告第1集)
- (御所市)1985 御所市教育委員会『奈良県御所市 巨勢山境谷10号墳発掘調査報告』(御所市埋蔵文化財調査報告第4集)
- (御所市)1987 御所市教育委員会『奈良県御所市 巨勢山古墳群Ⅱ—御所市みどり台総合開発事業に伴う発掘調査1』(御所市文化財調査報告書第6集)
- (御所市)1990 御所市教育委員会・奈良県立橿原考古学研究所『奈良県御所市鴨神遺跡発掘調査報告』(御所市文化財調査報告書第8集)
- (御所市)2008 御所市教育委員会『京奈和自動車道関連遺跡発掘調査概報Ⅰ 平成19年度調査の概要』(御所市文化財調査報告書第33集)
- (御所市)2015a 御所市教育委員会『巨勢山古墳群Ⅶ—京奈和自動車道建設に係る巨勢山773号墳の発掘調査』(御所市文化財調査報告書第47集)
- (御所市)2015b 御所市教育委員会『観音寺本馬遺跡—京奈和自動車道建設に係る発掘調査報告』(御所市文化財調査報告書第48集)
- (御所市)2016 御所市教育委員会『奈良県御所市 麻ノ谷2・3号墳』(御所市文化財調査報告書第51集)
- (御所市)2017 御所市教育委員会『中西遺跡—第12次発掘調査報告—京奈和自動車道建設に係る発掘調査成果』(御所市文化財調査報告書第54集)
- 桜井市1991 (財)桜井市文化財協会『桜井市内埋蔵文化財 1990年度発掘調査報告書2』
- 桜井市1996 (財)桜井市文化財協会『桜井市内埋蔵文化財 1995年度発掘調査報告書1』
- 桜井市1997 (財)桜井市文化財協会『桜井市内埋蔵文化財 1996年度発掘調査報告書2』
- 桜井市2000 (財)桜井市文化財協会『カタハラ古墳群発掘調査報告書』(桜井市内埋蔵文化財1999年度発掘調査報告書2)
- 桜井市2007 (財)桜井市文化財協会『桜井公園遺跡群—双葉古墳群と安倍山遺跡の発掘調査』(桜井市内埋蔵文化財2002年度発掘調査報告書4)
- 桜井市2012 (財)桜井市文化財協会『風呂坊古墳群 第4次発掘調査報告書』(桜井市内埋蔵文化財2008年度発掘調査報告書)
- 桜井市2013 (財)桜井市文化財協会『桜井市内遺跡発掘調査報告書—2011年度』
- 桜井市2016 (公財)桜井市文化財協会『桜井市内遺跡発掘調査報告書—2013年度』
- 桜井市2017 (公財)桜井市文化財協会『桜井市内埋蔵文化財 2005年度発掘調査報告書1』
- 桜井市2018 (公財)桜井市文化財協会『平成30年度企画展「桜井の墨書土器」』
- (桜井市)教委1976 桜井市教育委員会『纏向』
- (桜井市)教委1987 桜井市教育委員会『桜井市芝 芝遺跡大三輪中学校改築にとまう発掘調査報告書』
- (桜井市)教委1989 桜井市教育委員会『奈良県桜井市阿部丘陵遺跡群 桜井南部特定土地地区画整備事業にかかわる埋蔵文化財発掘調査報告書』
- (桜井市)教委2001 桜井市教育委員会『桜井市 平成12年度国庫補助による発掘調査報告書』(桜井市立埋蔵文化財センター発掘調査報告書22集)
- (桜井市)教委2004 桜井市教育委員会文化財課『桜井市 平成15年度国庫補助による発掘調査報告書』(桜井市立埋蔵文化財センター発掘調査報告書第25集)
- (桜井市)教委2008 桜井市教育委員会文化財課『桜井市 平成18年度国庫補助による発掘調査報告書』(桜井市立埋蔵文化財センター発掘調査報告書第30集)
- (桜井市)教委2012 桜井市教育委員会文化財課『奈良県桜井市史跡纏向古墳群 纏向石塚古墳 発掘調査報告書』(桜井市埋蔵文化財発掘調査報告書第38集)
- (桜井市)教委2015 桜井市教育委員会『奈良県桜井市 纏向遺跡発掘調査報告書3—第35次・63次・72次調査』(桜井市埋蔵文化財発掘調査報告書第44集)
- 正倉院1971 正倉院事務所『正倉院の陶器』日本経済新聞社
- 新庄町 → 葛城市
- 當麻町 → 葛城市
- 高取町1987 高取町教育委員会・奈良県立橿原考古学研究所『坂ノ山古墳群』(高取町文化財調査報告第6冊)
- 高取町1988 高取町教育委員会・奈良県立橿原考古学研究所『市尾・新洲古墳群発掘調査報告』(高取町文化財調査報告第7冊)
- 高取町1989 高取町教育委員会・奈良県立橿原考古学研究所『高取町藤井 イノラク古墳群発掘調査報告』(高取町文化財調査報告第8冊)
- (高取町)1992 高取町教育委員会『平成3年度 イノラク古墳群 第4次発掘調査報告』(高取町文化財調査報告第12冊)
- (高取町)1995 高取町教育委員会『平成6年度 高取町内遺跡発掘調査報告』(高取町文化財調査報告第16冊)
- (高取町)2014 高取町教育委員会『観音寺遺跡発掘調査報告書V(第9次調査)』(高取町文化財調査報告第40冊)
- (高取町)2019 高取町教育委員会『清水谷ナルミ遺跡発掘調査報告書』(高取町文化財調査報告第44冊)
- (田原本町)1990 田原本町教育委員会『田原本町埋蔵文化財調査年報1 1988・1989年度』
- (田原本町)1992 田原本町教育委員会『小阪里中遺跡第2・3次発掘調査概報・千代遺跡第1次発掘調査概報』(田原本町埋蔵文化財調査概要12)
- (田原本町)1997 田原本町教育委員会『田原本町埋蔵文化財調査年報6 1996年度』
- (田原本町)2002 田原本町教育委員会『田原本町埋蔵文化財調査年報11 2001年度』
- (田原本町)2005 田原本町教育委員会『笹鉾山古墳群 第1～5次発掘調査概報』(田原本町文化財調査概要19)
- (田原本町)2006 田原本町教育委員会『田原本町文化財調査年報14 2004年度』
- (田原本町)2013 田原本町教育委員会『保津・宮古遺跡 第1次発掘調査報告書』(田原本町文化財調査報告書第6集)
- (田原本町)2015 田原本町教育委員会『田原本町文化財調査年報23 2013年度』
- 唐古・鍵2008 唐古・鍵ミュージアム『瓦に込めた願い 田原本の瓦づくりと民間信仰』(平成20年度春季企画展)
- 帝室博物館1937 帝室博物館『天平地宝』
- 天理教1981 布留遺跡天理教発掘調査団・天理大学附属天理参考館分室『布留遺跡之内木堂方地区発掘調査概要』(布留遺跡中間報告2)
- 天理教1989 埋蔵文化財天理教調査団・天理大学附属天理参考館分室『奈良県天理市布留遺跡三島(木寺)地区・豊田(三反田)地区発掘調査報告』(考古学調査研究中間報告16)
- 天理教1991 埋蔵文化財天理教調査団・天理大学附属天理参考館分室『奈良県天理市平等坊町所在 平等坊松ノ木遺跡発掘調査報告』(考古学調査研究中間報告17)
- 天理教1995 埋蔵文化財天理教調査団・天理大学附属天理参考館分室『布留遺跡三島(里中)地区発掘調査報告書—天理教神殿東・西礼拝場地区の発掘調査』
- 天理教1996 埋蔵文化財天理教調査団・天理大学附属天理参考館分室『布留遺跡布留(西小路)地区 古墳時代の遺構と遺物』(考古学調査研究中間報告19)
- 天理教2006 埋蔵文化財天理教調査団・天理大学附属天理参考館分室『奈良県天理市布留遺跡豊井(宇久保)地区発掘調査報告書』(考古学調査研究中間報告24)
- 天理教2007 埋蔵文化財天理教調査団・天理大学附属天理参考館分室『奈良県天理市岩屋町 西山地区発掘調査報告書』(考古学調査研究中間報告23)
- 天理教2010 埋蔵文化財天理教調査団・天理大学附属天理参考館分室『奈良県天理市平等坊・岩室遺跡第15・16次発掘調査報告書』(考古学調査研究中間報告27)
- 天理教2012 埋蔵文化財天理教調査団・天理大学附属天理参考館分室『奈良県天理市布留遺跡之内(樋ノ下・ドウドウ)地区発掘調査報告書』(考古学調査研究中間報告26)
- (天理市)1985 天理市教育委員会『天理市埋蔵文化財調査概報(1985) 天理市埋蔵文化財調査概報昭和58・59年度』

- (天理市)1987 天理市教育委員会『前栽遺跡(第2次)一弥生時代から鎌倉時代遺跡の調査』(天理市埋蔵文化財調査報告第3集)
- (天理市)1990 天理市教育委員会『星塚・小路遺跡の調査』(天理市埋蔵文化財調査報告第4集)
- (天理市)1992 天理市教育委員会『天理市埋蔵文化財調査概報 昭和63・平成元年度』
- (天理市)1998 天理市教育委員会『石上・豊田古墳群狐ヶ尾8号、9号墳』(天理市埋蔵文化財調査報告第6集)
- (天理市)2001 天理市教育委員会『天理市埋蔵文化財調査概報(平成12年度・国庫補助事業)柳本立花遺跡 ヲカタ塚古墳』
- (天理市)2003 天理市教育委員会『天理市埋蔵文化財調査概報 平成8・9年度』
- (天理市)2011 天理市教育委員会『天理市埋蔵文化財調査概報 平成18(2006)年度』
- (天理市)2013 天理市教育委員会『天理市埋蔵文化財調査概報 平成19・20(2007・2008)年度』
- 唐招提寺1995 唐招提寺・奈良県教育委員会『唐招提寺防災施設工事・発掘調査報告書』
- 東大寺2000 東大寺・奈良県教育委員会『東大寺防災施設工事・発掘調査報告書 発掘調査篇』
- 東大寺2015 宗教法人東大寺『東大寺東塔院跡一境内史跡整備事業に係る発掘調査概報1』(東大寺境内整備事業調査報告第1冊)
- 東大寺2020 宗教法人東大寺『東大寺東塔院跡一境内史跡整備事業に係る発掘調査概報2』(東大寺境内整備事業調査報告第2冊)
- (奈良教大)2012 国立大学法人奈良教育大学『新薬師寺旧境内 奈良教育大学構内遺跡の埋蔵文化財発掘調査報告書』
- (奈良)県埋文連協1993 奈良県内市町村埋蔵文化財技術担当者連絡協議会『平成4年度 奈良県内市町村埋蔵文化財発掘調査報告会資料』
- (奈良)県埋文連協1995 奈良県内市町村埋蔵文化財技術担当者連絡協議会『平成6年度 奈良県内市町村埋蔵文化財発掘調査報告会資料』
- (奈良)県埋文連協1996 奈良県内市町村埋蔵文化財技術担当者連絡協議会『平成7年度 奈良県内市町村埋蔵文化財発掘調査報告会資料』
- (奈良)県埋文連協2002 奈良県内市町村埋蔵文化財技術担当者連絡協議会『平成13年度 奈良県内市町村埋蔵文化財発掘調査報告会資料』
- (奈良)県埋文連協2004 奈良県内市町村埋蔵文化財技術担当者連絡協議会『平成15年度 奈良県内市町村埋蔵文化財発掘調査報告会資料』
- (奈良)県埋文連協2013 奈良県内市町村埋蔵文化財技術担当者連絡協議会『奈良県内市町村埋蔵文化財技術担当者連絡協議会年報一平成24年度』
- (奈良)県埋文連協2017 奈良県内市町村埋蔵文化財技術担当者連絡協議会『奈良県内市町村埋蔵文化財技術担当者連絡協議会年報一平成28年度』
- (奈良市)教委1980 奈良市教育委員会『奈良市埋蔵文化財調査報告書 昭和54年度』
- (奈良市)教委1981 奈良市教育委員会『奈良市埋蔵文化財調査報告書 昭和55年度』
- (奈良市)教委1982a 奈良市教育委員会『平城京左京(外京)五条五坊七・十坪発掘調査概要報告』
- (奈良市)教委1982b 奈良市教育委員会『奈良市埋蔵文化財調査報告書 昭和56年度』
- (奈良市)教委1983 奈良市教育委員会『平城京東市跡推定地の調査Ⅰ 第1・2・3次発掘調査概報』
- (奈良市)教委1984a 奈良市教育委員会『平城京東市跡推定地の調査Ⅱ 第4次発掘調査概報』
- (奈良市)教委1984b 奈良市教育委員会『奈良市埋蔵文化財調査報告書 昭和58年度』
- (奈良市)教委1984c 奈良市教育委員会『平城京左京二条二坊十二坪 奈良市水道局庁舎建設地発掘調査概要報告』
- (奈良市)教委1985 奈良市教育委員会『奈良市埋蔵文化財調査報告書 昭和59年度』
- (奈良市)教委1986a 奈良市教育委員会『平城京東市跡推定地の調査Ⅳ 第6次発掘調査概報』
- (奈良市)教委1986b 奈良市教育委員会『奈良市埋蔵文化財調査報告書 昭和60年度』
- (奈良市)教委1987 奈良市教育委員会『奈良市埋蔵文化財調査概要報告 昭和61年度』
- (奈良市)教委1988 奈良市教育委員会『奈良市埋蔵文化財調査概要報告書 昭和62年度』
- (奈良市)教委1989 奈良市教育委員会『奈良市埋蔵文化財調査概要報告書 昭和63年度』
- (奈良市)教委1990 奈良市教育委員会『奈良市埋蔵文化財調査概要報告書 平成元年度』
- (奈良市)教委1991 奈良市教育委員会『奈良市埋蔵文化財調査概要報告書 平成2年度』
- (奈良市)教委1992a 奈良市教育委員会『平城京東市跡推定地の調査Ⅹ 第12次発掘調査概報』
- (奈良市)教委1992b 奈良市教育委員会『奈良市埋蔵文化財調査概要報告書 平成3年度』
- (奈良市)教委1993 奈良市教育委員会『奈良市埋蔵文化財調査概要報告書 平成4年度』
- (奈良市)教委1994 奈良市教育委員会『奈良市埋蔵文化財調査概要報告書 平成5年度』
- (奈良市)教委1995 奈良市教育委員会『奈良市埋蔵文化財調査概要報告書 平成6年度』
- (奈良市)教委1996 奈良市教育委員会『奈良市埋蔵文化財調査概要報告書 平成7年度』
- (奈良市)教委1997a 奈良市教育委員会『平城京左京二条二坊十二坪一発掘調査の概要』
- (奈良市)教委1997b 奈良市教育委員会『史跡大安寺旧境内Ⅰ一杉山古墳地区の発掘調査・整備事業報告』(奈良市埋蔵文化財調査研究報告第1冊)
- (奈良市)教委1997c 奈良市教育委員会『平城京東市跡推定地の調査ⅩⅤ 第19次発掘調査概報』
- (奈良市)教委1997d 奈良市教育委員会『奈良市埋蔵文化財調査概要報告書 平成8年度』
- (奈良市)教委1998a 奈良市教育委員会『奈良市埋蔵文化財調査概要報告書 平成9年度(第一分冊)』
- (奈良市)教委1998b 奈良市教育委員会『奈良市埋蔵文化財調査概要報告書 平成9年度(第二分冊)』
- (奈良市)教委1999 奈良市教育委員会『史跡平城京朱雀大路跡一発掘調査・整備事業報告』(奈良市埋蔵文化財調査研究報告第2冊)
- (奈良市)教委2000 奈良市教育委員会『奈良市埋蔵文化財調査概要報告書 平成10年度』
- (奈良市)教委2001 奈良市教育委員会『奈良市埋蔵文化財調査概要報告書 平成11年度』
- (奈良市)教委2002a 奈良市教育委員会『平城京跡出土墨書土器資料Ⅰ(第一分冊)(第二分冊)』(奈良市埋蔵文化財調査センター資料No.3、No.4)
- (奈良市)教委2002b 奈良市教育委員会『奈良市埋蔵文化財調査概要報告書 平成12年度』
- (奈良市)教委2005 奈良市教育委員会『奈良市埋蔵文化財調査概要報告書 平成13年度』
- (奈良市)教委2006a 奈良市教育委員会『奈良市埋蔵文化財調査概要報告書 平成15年度』
- (奈良市)教委2006b 奈良市教育委員会『奈良市埋蔵文化財調査概要報告書 平成14年度』
- (奈良市)教委2007a 奈良市教育委員会『県営園場整備事業田原東地区における埋蔵文化財発掘調査概要報告書Ⅱ 別所下ノ前・辻堂・大谷口遺跡 水間遺跡』
- (奈良市)教委2007b 奈良市教育委員会『奈良市埋蔵文化財調査概要報告書 平成16年度』
- (奈良市)教委2008 奈良市教育委員会『奈良市埋蔵文化財調査年報 平成17(2005)年度』
- (奈良市)教委2009 奈良市教育委員会『奈良市埋蔵文化財調査年報 平成18(2006)年度』
- (奈良市)教委2010 奈良市教育委員会『奈良市埋蔵文化財調査年報 平成19(2007)年度』
- (奈良市)教委2011 奈良市教育委員会『奈良市埋蔵文化財調査年報 平成20(2008)年度』
- (奈良市)教委2012 奈良市教育委員会『奈良市埋蔵文化財調査年報 平成21(2009)年度』
- (奈良市)埋文2012 奈良市埋蔵文化財調査センター『「奈良町」の考古学一発掘された近世・近代の奈良』(平成24年度秋季特別展)
- (奈良市)教委2013a 奈良市教育委員会・奈良市埋蔵文化財調査センター『西大寺旧境内発掘調査報告書1 西大寺旧境内第25次調査』(奈良市埋蔵文化財調査研究報告第3冊)
- (奈良市)教委2013b 奈良市教育委員会『奈良市埋蔵文化財調査年報 平成22(2010)年度』
- (奈良市)教委2014a 奈良市教育委員会『南都出土中近世土器資料集』(奈良市埋蔵文化財調査センター資料No.5)
- (奈良市)教委2014b 奈良市教育委員会『奈良市埋蔵文化財調査年報 平成23(2011)年度』
- (奈良市)教委2015 奈良市教育委員会『奈良市埋蔵文化財調査年報 平成24(2012)年度』
- (奈良市)教委2016 奈良市教育委員会『赤田横穴墓群・赤田1号墳』(奈良市埋蔵文化財調査研究報告第4冊)
- (奈良市)教委2017 奈良市教育委員会『奈良市埋蔵文化財調査年報 平成27(2014)年度』
- (奈良市)教委2018 奈良市教育委員会『奈良市埋蔵文化財調査年報 平成27(2015)年度』
- (奈良市)教委2019 奈良市教育委員会『奈良市埋蔵文化財調査年報 平成28(2016)年度』
- (奈良市)教委2020 奈良市教育委員会『奈良市埋蔵文化財調査年報 平成29(2017)年度』
- 奈良女1983 奈良女子大学『奈良女子大学構内遺跡 発掘調査概報Ⅰ』
- 奈良女1984 奈良女子大学『奈良女子大学構内遺跡 発掘調査概報Ⅱ』
- 奈良女1986 奈良女子大学『奈良女子大学構内遺跡 発掘調査概報Ⅲ』
- 奈良女1989 奈良女子大学『奈良女子大学構内遺跡 発掘調査概報Ⅳ』
- 奈良女1999 奈良女子大学『奈良女子大学構内遺跡 発掘調査概報Ⅵ』

- 奈良女2004 奈良女子大学『奈良女子大学構内遺跡 発掘調査概報Ⅶ』
 奈良女2008 奈良女子大学『奈良女子大学構内遺跡 発掘調査概報Ⅷ』
 奈良大1991 平城京左京四条三坊十一坪発掘調査会・奈良大学考古学研究室『平城京左京四条三坊十一坪発掘調査報告書 平城京跡および下層縄文遺跡の調査』（奈良大学平城京発掘調査報告書第2集）
 奈良大1998 奈良大学文学部考古学研究室『秋篠・山陵遺跡—奈良大学附属高等学校建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』（奈良大学文学部考古学研究室発掘調査報告書17）
 奈良博2018 奈良国立博物館『創建1250年記念特別展 国宝 春日大社のすべて』
 奈良博2019 奈良国立博物館『特別陳列覚盛上人770年御忌 鎌倉時代の唐招提寺と戒律復興』
 榛原町 → 宇陀市
 (平群町)1987 平群町教育委員会・奈良県立樫原考古学研究所『平群 椿井・西宮遺跡概報』
 (平群町)2007 平群町教育委員会『平群町 町内遺跡発掘調査概報 平成11～13.17年度』
 法隆寺1935 法隆寺国宝保存事業部『国宝建造物東大門修理工事報告』（法隆寺国宝保存工事報告書第1冊）
 法隆寺1936 法隆寺国宝保存事業部『国宝建造物食堂及び細殿修理工事報告』（法隆寺国宝保存工事報告書第2冊）
 法隆寺1937 法隆寺国宝保存事業部『国宝建造物東院礼堂及び東院鐘楼修理工事報告』（法隆寺国宝保存工事報告書第3冊）
 法隆寺1938 法隆寺国宝保存事業部『国宝建造物法隆寺西門堂修理工事報告』（法隆寺国宝保存工事報告書第4冊）
 法隆寺1939 法隆寺国宝保存事業部『国宝建造物法隆寺地蔵堂修理工事報告』（法隆寺国宝保存工事報告書第5冊）
 法隆寺1941 法隆寺国宝保存事業部『国宝建造物法隆寺大講堂修理工事報告』（法隆寺国宝保存工事報告書第6冊）
 法隆寺1942 法隆寺国宝保存事業部『国宝建造物法隆寺東院南門及び四脚門修理工事報告』（法隆寺国宝保存工事報告書第7冊）
 法隆寺1943a 法隆寺国宝保存事業部『国宝建造物法隆寺東院舍利殿及繪殿並伝法堂修理工事報告』（法隆寺国宝保存工事報告書第8冊）
 法隆寺1943b 法隆寺国宝保存事業部『国宝建造物法隆寺夢殿及東院回廊修理工事報告』（法隆寺国宝保存工事報告書第9冊）
 法隆寺1949 法隆寺国宝保存事業部『国宝建造物宗源寺四脚門修理工事報告』（法隆寺国宝保存工事報告書第10冊）
 法隆寺1955a 法隆寺国宝保存事業部『国宝建造物聖霊院修理工事報告』（法隆寺国宝保存工事報告書第12冊）
 法隆寺1955b 法隆寺国宝保存事業部『国宝法隆寺五重塔修理工事報告』（法隆寺国宝保存工事報告書第13冊）
 法隆寺1956a 法隆寺国宝保存事業部『国宝法隆寺金堂修理工事報告』（法隆寺国宝保存工事報告書第14冊）
 法隆寺1956b 法隆寺国宝保存事業部『国宝法隆寺新堂修理工事報告』（法隆寺国宝保存工事報告書第15冊）
 法隆寺1982 法隆寺発掘調査概報編集小委員会『法隆寺発掘調査概報Ⅰ—昭和56年度防災工事に伴う発掘調査』
 法隆寺1984 法隆寺発掘調査概報編集小委員会『法隆寺発掘調査概報Ⅲ—昭和58年度防災工事に伴う発掘調査及び収納庫建設工事に伴う発掘調査』
 法隆寺1985 法隆寺・奈文研・奈良県教育委員会『法隆寺防災施設工事・発掘調査報告書』
 法隆寺1995 法隆寺『法隆寺元禄秘宝展—江戸の出開帳から』
 法隆寺資財帳1992 法隆寺昭和資財帳編集委員会『法隆寺の至宝—昭和資財帳第15巻一瓦』小学館
 (三宅町)2002 三宅町教育委員会・奈良県立樫原考古学研究所『伴堂古田遺跡』（三宅町文化財調査報告書第1集）
 木簡研究15 木簡学会『木簡研究』第15号、1993年
 木簡研究16 木簡学会『木簡研究』第16号、1994年
 木簡研究18 木簡学会『木簡研究』第18号、1996年
 木簡研究26 木簡学会『木簡研究』第26号、2004年
 木簡研究33 木簡学会『木簡研究』第33号、2011年
 (大和郡山市)1972 大和郡山市教育委員会『平城京羅城門跡発掘調査報告』
 (大和郡山市)1987 大和郡山市教育委員会『平城京西一坊大路(右京八条一坊)—発掘調査概要報告』（大和郡山市文化財調査概要7）
 (大和郡山市)1988 大和郡山市教育委員会『美濃庄遺跡(四反田地区)発掘調査概要報告書』（大和郡山市文化財調査概要9）
 (大和郡山市)1990a 大和郡山市教育委員会『平城京右京八条二坊十一坪(西市跡推定地)発掘調査概要報告書』（大和郡山市文化財調査概要15）
 (大和郡山市)1990b 奈文研・大和郡山市教育委員会『平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告書』
 (大和郡山市)1990c 大和郡山市教育委員会『平城京右京8条1坊10坪発掘調査概報』（大和郡山市文化財調査概要19）
 (大和郡山市)1992a 大和郡山市教育委員会『原田遺跡 第3次調査報告』（大和郡山市埋蔵文化財発掘調査報告書第2集）
 (大和郡山市)1992b 大和郡山市教育委員会『来光遺跡第1次発掘調査概報』（大和郡山市文化財調査概要24）
 (大和郡山市)1994 大和郡山市教育委員会『郡山城第36次大職冠地区発掘調査概報(近世墓の調査)』（大和郡山市文化財調査概要30）
 (大和郡山市)1995a 大和郡山市教育委員会『来光遺跡第2次発掘調査概報』（大和郡山市文化財調査概要32）
 (大和郡山市)1995b 大和郡山市教育委員会『内山瓦窯1号窯発掘調査概報』（大和郡山市文化財調査概要33）
 (大和郡山市)1996 大和郡山市教育委員会『内山瓦窯第4次発掘調査概報』（大和郡山市文化財調査概要35）
 (大和郡山市)1997 大和郡山市教育委員会『美濃庄遺跡 今倉地区発掘報告書』（大和郡山市埋蔵文化財発掘調査報告書第5集）
 (大和郡山市)1999 大和郡山市教育委員会『郡山城下町 旧奥野家(紺屋跡)発掘調査報告書』（大和郡山市埋蔵文化財発掘調査報告書第6集）
 (大和郡山市)2001 大和郡山市教育委員会『馬司遺跡第1次発掘調査報告書』（大和郡山市埋蔵文化財調査報告書第7集）
 (大和郡山市)2006 大和郡山市教育委員会『筒井城第7次発掘調査報告書』（大和郡山市埋蔵文化財調査報告書第10集）
 (大和郡山市)2014 大和郡山市教育委員会・(公財)元興寺文化財研究所『平城京十条(旧称:下三橋遺跡)発掘調査報告書』（大和郡山市文化財調査報告書第21集）
 (大和郡山市)2019 大和郡山市教育委員会『開古墳』（大和郡山市文化財調査報告書第24集）
 (大和高田市)2012 大和高田市教育委員会『藤森東遺跡1次発掘調査報告書』（大和高田市埋蔵文化財調査報告書第11集）
 由良1993 (財)由良大和古代文化研究協会・宇陀古墳文化研究会『大和宇陀地域における古墳の研究』
 由良1994 (財)由良大和古代文化研究協会・磚柳墳研究会『舞谷古墳群の研究』
 立正大2013 立正大学博物館『泥塔と瓦経』（第8回特別展）
 芦田2017 芦田淳一「大和の近世瓦—編年と瓦生産」『幕藩体制下の瓦—近世都市遺跡における生産と流通』（第66回埋蔵文化財研究集会）
 天沼1937 天沼俊一『日本建築史図録 室町』思文閣出版
 岩本・西口1977 岩本正二・西口寿生「飛鳥・藤原地域の出土遺物」『考古学雑誌』63巻1号
 梅原1944 梅原末治「初代橘吉重所作瓦の新例」『史迹と美術』161号
 柴原ほか2016 柴原永遠男・佐藤信・吉川真司編『東大寺の新研究Ⅰ 東大寺の美術と考古』法蔵館
 鈴木1954 鈴木嘉吉「奈良高等学校校庭に於ける掘立柱建物遺跡」『大和文化研究』第2巻第5号(通巻7号)
 高田1935 高田十郎「法隆寺金石文集」『夢殿』13
 高田1977 高田良信『法隆寺銘文集成』上、国書刊行会
 立木1983 立木修「平城宮の大膳職・大炊寮・内膳司」奈文研『文化財論叢—奈良国立文化財研究所30周年記念論文集』同朋舎
 巽2000 巽淳一郎「記号・文字・印を刻した須恵器の集成」(平成9～11年度科学研究費補助金(基盤研究C2)研究成果報告書)
 巽2003 巽淳一郎「都城出土墨書土器の性格」奈文研『古代官衙・集落と墨書土器—墨書土器の機能と性格をめぐって』
 田中1955 田中一郎「奈良高等学校校庭発見のⅠ号丸井戸調査概報」奈文研『文化史論叢』（学報第3冊）
 中公美術1976 辻村泰圓ほか『日本仏教民俗基礎資料集第一巻 元興寺極楽坊 蔵骨器』中央公論美術出版
 土井1956 土井實『奈良県銘文集成』大和歴史館研究会
 西口1993 西口寿生「飛鳥・藤原宮跡の墨書土器」『月刊文化財』362号
 松嶋1978 松嶋順正『正倉院宝物銘文集成』吉川弘文館
 松村2003 松村恵司「墨書土器の出現と展開—飛鳥・藤原地域を中心に」『駿台史学』117号
 森1980 森都夫「平城宮の文字瓦」奈文研『研究論叢Ⅵ』（学報第38冊）
 山崎2002 山崎信二「平城宮・京の文字瓦からみた瓦生産」奈文研『文化財論叢Ⅲ—奈良文化財研究所創立50周年論文集』（学報第65冊）

概説 大和の墨書・刻書土器

はじめに 本書は、『奈良県出土墨書刻書土器・文字瓦集成』と名づけた上下2冊の小冊子に、奈良県内の出土文字資料を集成したものである。掲載資料は、古代中世とみられるものを選び、硯・陶磁器を含む土器類が8918点、瓦埴類1099点、その他127点の、都合1万144点におよぶ（以下、墨書土器等と総称する）。この点数をいかに評価するか、にわかに断案はもたない。現在までに31万9千点を超えるとみられる県内の木簡出土点数と比較するとき、墨書土器等の出土点数は思いの外少ないように思う。ただこの比較は、あまりに単純に過ぎるであろう。元来、木簡と墨書土器は整理や集計の方法が異なる。木簡の点数には、24万点以上の削屑が含まれ、1文字も釈読できない木簡は、経験的に6割を超える。これに対して、墨書土器等の点数は、未見の報告書掲載資料や未公表の資料などが加わることにより今後さらに増えることは確実で、両者は点数の上でも、概ね均衡した資料群になるのかもしれない。

ここでは、土器類、とくに墨書・刻書のある土器（以下、墨書土器と総称する）について概観する。墨書土器の全体的な把握は、出土地（遺跡）の性格、出土遺構や出土状況をふまえた上で、各遺跡あるいは遺構ごとの出土量（点数）、遺跡の面積あたりの出土点数、遺跡ないし遺構から出土した土器の総量あるいは総個体数における墨書土器の比率、などについて統計的な把握をおこなうことが望ましい。また、個別の墨書土器は、土器の種類と器種、文字の記載位置と方向、記載方法、土器の年代（時期）を整理し、その上で記載内容（文字）へと分析を進める必要がある。記載内容は、人名、地名、官司名、吉祥句、1文字墨書などの分類が可能であろうし、同一遺跡や、あるいは近接する遺跡から同一文字を記した資料が複数出土している場合、同筆（別筆）異筆関係、字体、書風などの検討がその性格を見極める上で有効であろう¹⁾。

しかしながら、今回の事業は、県全域の出土資料を対象とした集成を企図するもので、できる限り精確な情報を一覧表示することに主眼をおいたこともあり、採録した個々の墨書土器等の記載内容や、それらの全体的な分析はなしえなかった。了とされたい。

都城とその周辺の墨書土器 大和における古代中世の墨書土器等の出土点数は、「北高南低」の傾向が著しい。一般に文字資料は、都城や官衙、寺院遺跡などから多く出土し、県内では、平城宮・京跡、藤原宮・京跡、飛鳥地域からの出土が過半を占めることは容易に推測される。上巻の対象となる6540点はすべて平城宮・京跡出土資料で占められており、加えて、下巻のおよそ約4割にあたる1409点は平城京とその周辺の寺院等の出土資料である（図2）。これらの平城宮・京跡出土資料で、県内全体の約8割を占める。当該資料の一部は、すでに集成が試みられており、本集成も大いに参照した²⁾。ただし、平城京跡の発掘調査は、複数の調査機関が分担して進めており、その出土遺物も調査機関ごとに保管されているため、全体的な検討には課題を残している。また、比較的多くの資料が出土した調査の場合、報告書未掲載のものも生じざるをえないし、既刊の集成からすでに20年近い年月が過ぎており、その後の調査事例も蓄積されていることなどにより、さらなる集成が望まれていた。

飛鳥・藤原地域の出土資料は、これまで網羅的な集成はおこなわれず³⁾、その全体像の把握は困難といわざるをえなかった。本集成に収めた資料は、藤原宮・京跡の出土資料が337点（図3・4）、藤原京跡周辺（一部の桜井市を含む）と飛鳥地域で681点に過ぎず（図5）、いまだ全貌

を把握するにはほど遠いと思うが、ひとまず公表資料をほぼ網羅した点は、斯界に益すること大なるものと思われる。近時刊行された長岡京跡の墨書土器集成⁴をあわせ検討することにより、古代都城遺跡出土墨書土器の通時的な把握が可能になろう。

飛鳥藤原地域の墨書土器は、出現期の資料を含む点で注目される。田中遺跡出土の飛鳥Ⅰに属する須恵器蓋の墨書(8498)、飛鳥Ⅱの特徴をもち、近年の編年では660年代と推測される坂田寺SG100(9982, 9995~10002)や西橋遺跡谷(10107~10117)の土器群は⁵、記号を墨書・刻書あるいは赤色色料で記した7世紀前半から半ば頃までとみられる資料とともに出現期資料として注目される。墨書土器は、630~640年代に登場するとみられる木簡に比してわずかに遅れるものの、7世紀半ば頃、王宮がおかれた飛鳥地域を中心に、寺院やその隣接地、あるいは寺院にゆかりの深い地で出現したとみられる⁶。

飛鳥京跡苑池から出土した、「川原寺坏莫取若取事有者□□相而和豆良皮牟毛乃叙又毋言久皮野□」と記した土師器(9916)は、万葉仮名を用いた口頭表現に近い散文である点、刻書である点など、注目すべき資料の一つといえる⁷。「川原寺の坏、取ることなかれ。若し取らば・」の文言は、土器を奪うことへの警告とその行為を起こした場合の罰文と読める。時代は降るようであるが、苑池からは、「川原寺」(9899・9900)、「川□〔原カ〕」(9901)のほか、「岡寺」(9905・9906)、「寺」(9913)と記された墨書土器も出土している。これらの寺名は、苑地で催された行事に、周辺の複数の寺院から集った僧が、持参した土器の所管を示すために記したものと推測される。

県内墨書土器出土遺跡の分布 次に、都城とその周辺以外の墨書土器出土遺跡を概観する。墨書土器の出土遺跡は、地勢からみると、統一条里の施工された盆地部分に広く分布しており、加えて、その周辺部の小谷筋盆地にもおよんでいる。これに対して、県域の77%におよぶ山間部からの出土はきわめて少ない。

県内最北端の墨書土器は、奈良市の阪原阪戸遺跡から出土した「□〔俣カ〕頼之」と記した高杯で(8006)、ここからおよそ9キロ東にあたる奈良市(旧月ヶ瀬村)の尾山代遺跡では、「安」などと記された篋描の須恵器が出土している(8017~8023)。これらの遺跡は、平城京からみてはるか東方山中の小盆地にあり、前者は山城、後者は伊賀との国境にほど近い地にあたる。

他方、最南端の墨書土器は、吉野郡川上村の宮の平遺跡から出土した、古代もしくは中世とみられる施釉陶器である(10139・10140)。ただし、確実に古代に属するものは、吉野郡大淀町の越部1号墳から出土した「堂」と記した土師器皿と記号を記した黒色土器碗である(10137・10138)。古代の墨書土器は、現在のところ吉野川の右岸(北岸)地域にとどまり、川を越えては分布しない。古代吉野郡の地理的性格を考える上で、示唆的といえよう。

官衙遺跡の比定と出土文字資料 大和国内の古代官衙遺跡にかかわる先行研究を確認する。大和国府の推定地は、和田萃氏の整理が通説の位置を占める。それによれば、最初に設置された地は葛上郡掖上(葛城市掖上付近)で、葛上国府は藤原京の時代まで存続した。平城遷都にともない藤原京南西域の軽(橿原市久米町付近)に移転し、11世紀初頭まで軽国府と称された。その後平群郡に移転し、今(新)国府(大和郡山市今国府)と称された、という⁸。これらのうち、軽国府の推定地の一つである橿原市の橿原遺跡からは、「館」「治」「大」などと記された平安時代前期の土師器が出土しており(8480~8482)、国府やその関連施設とのかかわりが推測される⁹。

また、大和国内の郡家推定地は、千田稔氏が整理している¹⁰。ここでは、ミヤケ・コオリな

表 奈良県の木簡出土遺跡(古代中世)

ゴシックは墨書土器等出土遺跡

遺跡名	所在地	遺跡名	所在地	遺跡名	所在地
平城宮跡	奈良市	開古墳	大和郡山市	上宮遺跡	斑鳩町
平城京跡		吉備池廃寺	桜井市	稲葉車瀬遺跡	
元興寺		山田寺跡		下永東方遺跡	川西町
大安寺旧境内		安倍寺跡		法貴寺遺跡	田原本町
薬師寺・薬師寺旧境内		吉備遺跡		金剛寺遺跡	
興福寺旧境内		上之宮遺跡		薩摩遺跡	高取町
一乗院跡		谷遺跡		飛鳥宮(京)跡	明日香村
東大寺		藤原宮跡	橿原市	飛鳥京跡苑池	
正倉院(伝世)		藤原京跡		酒船石遺跡	
法華寺・阿弥陀浄土院跡		四条遺跡		飛鳥寺・旧境内	
唐招提寺		大官大寺跡		飛鳥寺南方遺跡	
西大寺・旧境内		本薬師寺跡		川原寺跡	
西隆寺跡		和田廃寺		橋寺	
青野遺跡(右2・3)		一町西遺跡		紀寺跡(小山廃寺)	
秋篠・山陵遺跡		新堂遺跡		定林寺北方遺跡	
八王子神社		曲川遺跡		坂田寺跡	
白毫寺遺跡		下茶屋地蔵谷遺跡	御所市	山田道跡	
阪原阪戸遺跡		玉手遺跡		県立明日香養護学校遺跡	
日笠フシダ遺跡		下田東遺跡	香芝市	石神遺跡	
大中遺跡		太田遺跡	葛城市	飛鳥池遺跡	
稗田遺跡		古殿遺跡		飛鳥池東方遺跡	
八条北遺跡		丹切遺跡	宇陀市	飛鳥東垣内遺跡	
南六条北ミノ遺跡		高安城関連遺跡	三郷町	西橋遺跡	

どの郡家関連地名を一覧整理した上で、葛下郡家を大和高田市の「郡ノ町」(路西二十四条二里三十三坪)周辺、十市郡家を橿原市葛本の「西郡」「東郡」(路東二十一条一・八里)、添下郡家を正倉院文書にみえる「村国郷郡里」を参考に大和郡山市野垣内の「宮ヶ」(京南二条一・二里)に比定するほか、山辺郡家を小治田安万侶墓誌にみえる「都家郷郡里」、先行研究によりながら広瀬郡、宇智郡、宇陀郡などの郡家推定地を示した。ただし、大和における国府や郡家の比定地は、古代史料や遺存地名による研究が着実に進められているものの、正庁や倉庫群のような明確な遺構に乏しく、なお課題を残している。

現在のところ、奈良県内の木簡出土遺跡は82遺跡知られている。このうち古代中世の木簡が出土した遺跡は69遺跡あり、51遺跡が墨書土器出土遺跡と重なる。一見して、墨書土器は木簡とともに出土することが多く、これらの遺跡が官衙・寺院あるいは庄所など地域の拠点施設とかかわることは想像に難くない。今回の基礎作業をふまえた出土文字資料の記載内容の精査により、官衙比定や遺跡の性格解明に資するものと期待される。

大和の古道と墨書土器 以下、墨書土器の出土地分布について検討する。古代の大和盆地には、直線道路が敷設されていた^{*11}。諸説あるが、その敷設時期は、6世紀末頃まで以降7世紀にかけて段階的に整備されたとみられ^{*12}、『日本書紀』にみえる「自難波至京置大道」(推古天皇21年〈613〉11月条)、「修治処々大道」(白雉4年〈653〉6月条)がその過程を伝えている。墨書土器の出土地は、大局的にみると、盆地の古道に沿って分布する傾向がある^{*13}。ここでは、120頁から125頁までに掲載した分割図(図6~12)をもとに、古道と墨書土器出土遺跡との関係を検討したい。

まず、上ツ道・中ツ道・下ツ道との関係である。巨視的にみた場合、3道の周辺にいずれも分布が認められるものの、下ツ道沿いにやや出土事例が多い傾向がある。ただし、南北の基幹道路でありながら、道路側溝からの出土事例は、平城京・藤原京の京域内に集中する。道路の維持管理との関係も考慮しておく必要がある。

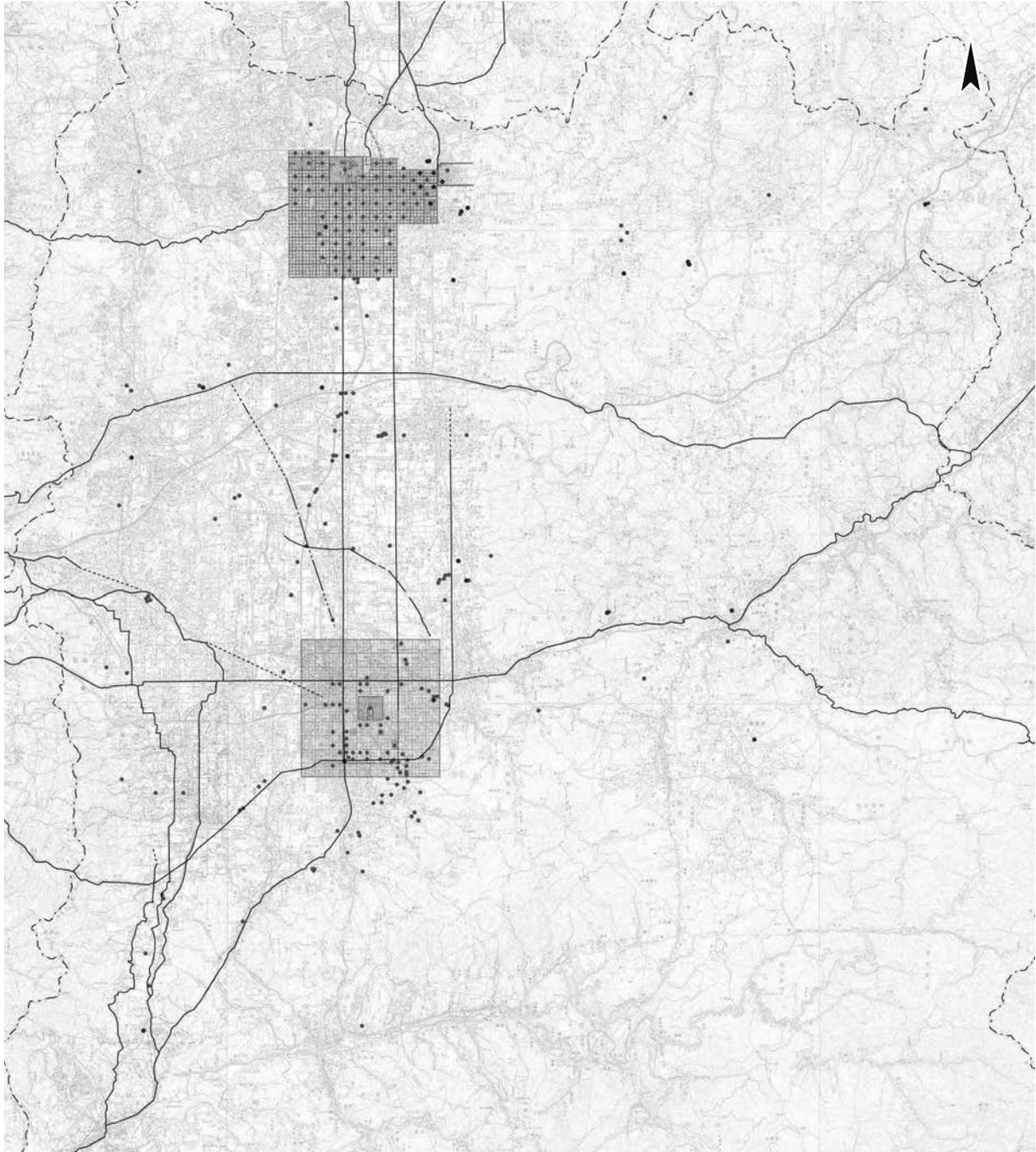


図 大和の古道と墨書土器・刻書土器出土地 1 : 250000

これに加え、下ツ道の西方では、南北に線上に連なる出土地を認めることができる。大和盆地では、盆地を縦貫する京奈和自動車道建設にともなう事前調査が各所で継続しており、その予定ルート上から、墨書土器が多数出土しているのである。古代の七道駅路は、現代の高速道路と著しい類似性があると指摘されて久しく^{*14}、道路開発と文字資料の出土地の関係は、奈良県においても例外ではないのであろう。とくに、西名阪自動車道と京奈和自動車道が接続する郡山ジャンクションは、北の横大路と下ツ道との交差点にほど近い地に建設され、この周辺の調査において、多くの墨書土器が出土している。

奈良市東郊の墨書土器 奈良市の東部、平城京のはるか東方山中の小盆地からも、墨書土器

は出土している。一見すると局地的な分布に過ぎないかにみえるが、奈良市の大柳生ヒロタ遺跡(8005)、阪原阪戸遺跡(8006)は、柳生街道を越えて山城南部にいたる街道沿いに位置し、とくに後者の性格は峠を越える際の襖ぎの場とする理解がある¹⁵。いずれも同市の此瀬五反田遺跡(8007・8008)、日笠フシダ遺跡(8009・8010)、日笠花刈遺跡(8011)は、木材集積・加工の施設とみられている。尾山代遺跡(8016~8023)は、名張川—木津川水運を利用した寺領ないし官営の柚と推測される¹⁶。墨書土器は、これらの山間部遺跡における用益と密接に関連した資料とみられる。また、奈良市の横田アンバ遺跡(8012)は、奈良から三重県名張にいたる最短コースであり、東大寺領黒田荘から東大寺への道¹⁷として知られる近世の笠間越え奈良街道(笠間峠—一台峠—蜂伏峠)に沿う地に立地した遺跡とみられ、これまた交通路との関係で理解できる可能性がある。

葛城の古道と墨書土器 奈良盆地の西南部から北宇智をへて紀伊にいたるルートは、紀路と呼ばれている。この道筋は、大きく2つのルートが知られ、和田萃氏によると、5世紀には葛城金剛の山麓を通るルートが用いられていたが、6世紀以降には曾我川沿い、巨瀬谷から重阪峠を越える巨瀬道が主流になるという¹⁸。前者の葛城金剛山麓の古道にはいくつかのルートが知られ、西の山麓に近い方から、式内社の一言主神社、名柄神社、高鴨神社などが沿い荒坂峠を越える一言寺・小和道、風の森峠を越える高野街道、現在の国道24号線がほぼ踏襲する下街道と呼ばれている¹⁹。これらの道は、泊瀬におかれた雄略天皇の宮から山田道をへて雷丘、さらに軽衝へいたるルート²⁰に連なり、軽衝以西は、橿原市一町付近から室宮山古墳の北を通る、秋山日出雄氏が指摘したいわゆる葛上斜向道路に接続している。

紀路沿いの遺跡について、墨書土器は、官道にあたる巨瀬道沿いの、高市郡高取町佐田遺跡群北ノ尾南遺跡(9804~9807)、同町薩摩遺跡(9846~9852)、御所市の巨勢寺跡(9088)から出土している。他方、葛城山麓の諸道に沿う御所市の多田遺跡(9094)、同市下茶屋地蔵谷遺跡(9095)、同市朝妻廃寺(9097・9098)、同市鴨神遺跡(9099~9104)からも、墨書土器は出土している。すなわち、葛城地域の墨書土器は、官道として主要なルートであった巨勢道沿いのみならず、5世紀以来の旧道にもおよんでいるのである。なお、この地の出土資料の時期は、概して巨瀬道沿いのものが平安時代に属するのに対し、葛城山麓の諸道には7世紀ないし8世紀に属するやや古い時期のものを含む傾向がある。いまだ点数は少なく検討の余地は残るものの、交通路の変遷や利用状況がうかがわれる可能性もあろう。

葛城地域の北に目を転じると、葛上斜向道路の推定ルート沿いに位置する橿原市の萩之本遺跡(8509)、同市一町西遺跡(8510~8608)、御所市の観音寺本馬遺跡(9089~9092)からも墨書土器は出土している。一町西遺跡から出土した墨書土器は、1文字墨書が過半を占めるものの100点近い一大資料群であり、遺跡の性格を含めた検討が必要であろう。

横大路・初瀬街道と宇陀への道 横大路は、7世紀に敷設された大和盆地南部を東西に走るもっとも主要な直線道路である。しかしながら、墨書土器の出土はかならずしも多くはない。藤原京の京域内をのぞくと、その西端に近い葛城市の竹内遺跡(9194~9196)からの出土が知られる程度である。この傾向は、その東端、上ツ道との交差点にあたる海石榴市衢以東においても同様であり、初瀬街道(現在の国道165号線)沿いでは、やや北に逸れる長谷寺境内(9074~9082)をのぞいて、現在のところ出土は知られていない。

大和盆地から宇陀へといたるルートは、いわゆる初瀬街道のほかにも複数知られている。列挙すれば、初瀬街道から狛川をさかのぼり桜井市下岩坂、狛をへて宇陀市笠間にいたる道、粟

原川・笠間川沿いに女寄から笠間にいたる近世の笠間街道、粟原川沿いに小峠を越え宇陀市半坂にいたる近世の松山街道、大きく南に迂回し桜井市針道から大峠を越え宇陀市宮奥にいたる道などが知られる。現在の幹線ともいえる女寄峠越えは、近代に改修されて以降多用されたもので、近世以前には、笠間街道や松山街道にあたる道が主に用いられたという。柿本人麻呂が安騎野へいたる道を詠んだ「荒山道^{*21}」は、笠間街道の道筋とみられ、また、平安時代の東大寺領笠間庄の史料にみえる「大道^{*22}」も、同じ道筋を称したと指摘されている^{*23}。このうち、笠間街道沿いの遺跡から、墨書土器が出土している。桜井市のカタソバ6号墳(9072・9073)、宇陀市の石榴垣内遺跡(9201)、同市の丹切遺跡(9202~9205)であり、前2者の資料は、8世紀初頭ないし奈良時代前半に属している。笠間街道は、古代においても、とりわけ飛鳥・藤原地域から宇陀へいたるルートとして多用されたのであろう。

その他の道と墨書土器 上記以外の古道と墨書土器の分布について、まとめておきたい。いわゆる太子道(筋違道)^{*24}沿いの遺跡では、磯城郡田原本町の多遺跡(9796)と、同町保津・宮古遺跡(9797・9798)から出土が知られる。保津・宮古遺跡の墨書土器は、太子道と交わる保津・阪手道^{*25}の側溝から出土したもので、そのルート沿いにあたる同町阪手北遺跡(9799~9801)からも墨書土器が出土している。これらの斜向道路は、統一条里施工後にあるいは埋没し、あるいはその一部が小規模な小径や地塚として痕跡をとどめたものとみられる。出土した7世紀末から8世紀後半頃までの墨書土器は、道の機能した時期とこの地の性格がうかがわれる資料といえる。他方、橿原市の西曾我遺跡(8506~8508)や、香芝市の下田東遺跡(9127~9183)は、秋山日出雄氏が推測した葛下斜向道路の推定ルート上に位置している。ただし、出土遺物は奈良時代から平安時代までの土器を主体とするものであり、7世紀以前に由来するとみられる古道とはかかわらない要素を含め、さらなる検討の余地が残されている。

結 び この小稿は、奈良県の古代中世の墨書土器・刻書土器について概観したものである。以下、いたらぬ点を課題として列挙し、結びにかえたい。

ここでの記述は、7世紀半ば頃とみられる墨書土器の出現期から平安時代末までを古代ととらえたもので、およそ500年の時期差をまったく考慮できていない。また、出土分布に議論を限定し、出土地と古道との関係に着目したものの、関連する文献史料や、膨大な大和の交通路にかかわる研究の理解はまったく不十分であり、古代の出土文字資料が語る情報をどれだけ引き出すことができたのか、心許ない。学史や遺跡の性格をふまえた個々の資料の検討は、緊要の課題であると思う。

また、この集成には、文字の記された瓦罍類なども採録しているが、これらは土器とは性格を異にすることもあり、概説では論及の対象としていない。加えて、文字とは認定できない、いわゆる窯記号などに類する記号やヘラ記号などを記した土器や瓦、近世近代および時期不明の遺物は、本集成にともなう収集作業で奈良県内から約4800点出土していることを確認しているものの、紙幅の都合から掲載することはできなかった。時代や性格を異にする「文字資料」をいかに取り扱うか、これらの検討は、後日を期したい。

最後に、本集成は刊行物を典拠とした公表資料を対象としたもので、遺物そのものの調査はほとんどおこなえていない。この点はまことに残念なところであり、あらためて組織や体制を構築し、資料を実見した上での釈読、赤外線撮影による悉皆調査を進める必要があると強く自覚している。集成のさらなる増補と調査の進展のため、諸賢のご助言、ご協力を伏してお願いし、拙い概説を擲筆する。

(山本 崇)

- *1 山本「鳥居松遺跡出土墨書土器の概要」(浜松市教育委員会・浜松市編『鳥居松遺跡5次 伊場大溝編』(2009年)、同「墨書土器「香山」とその字形」(奈文研2017a)など。
- *2 奈文研1983a・1989b・2003a、奈良市教委2002a。
- *3 樞考研博1987が集成するほか、岩本・西口1977、西口1993などに、新出資料などの紹介がある。
- *4 向日市埋蔵文化財センター『長岡京墨書土器集成』(向日市埋蔵文化財調査報告書110、2019年)。
- *5 若杉智宏「坂田寺池SG100出土の土器群一坂田寺第1次」(奈文研2018c)、尾野善裕「飛鳥時代宮都土器編年の再編に向けて」(奈文研・歴史土器研究会『飛鳥時代の土器編年再考』2019年)など。
- *6 松村2003。
- *7 鈴木喬「国語学からみた飛鳥時代木簡」、荒木志伸「飛鳥・藤原地域における初源期の墨書土器」(『考古学ジャーナル』759、2021年)。
- *8 和田萃「大和国府について」(赤松俊秀教授退官記念事業会編『国史論集』1972年)。
- *9 平川南「古代国府関係史料集(その3)一国府跡および国府推定地出土墨書・刻書土器集成(稿)」(『国立歴史民俗博物館研究報告』63、1995年)。
- *10 千田稔「古代大和国の郡家と交通路」(『古代日本の歴史地理学的研究』岩波書店、1991年。初出1971年)。
- *11 岸俊男「古道の歴史」「大和の古道」(『日本古代宮都の研究』岩波書店、1988年。初出いずれも1970年)。
- *12 秋山日出雄「日本古代の道路と一步の制」(樞原考古学研究所編『樞原考古学研究所論集 創立35周年記念』吉川弘文館、1975年。以下、秋山氏の見解はこれによる)、中村太一「大和国における計画道路体系の形成過程」(『日本古代国家と計画道路』吉川弘文館、1996年。初出1995年)、山川均「大和における七世紀代の主要交通路に関する考古学的研究」(『ヒストリア』150、1996年)、安村俊史「推古21年設置の大道」(『古代学研究』196、2012年)、中村太一「倭王権の道路整備」(『日本古代の都城と交通』八木書店、2020年)など。
- *13 古道の経路は、島方洗一企画・編集統括、金田章裕ほか編集『地図でみる西日本の古代一律令制下の陸海交通・糸里・史跡』(平凡社、2009年)掲載図をもととし、倉本一宏『壬申の乱を歩く』吉川弘文館、2007年)、廣岡孝信「御所市西北窪遺跡と金剛山東麓の道」(『明日香風』107、2008年)、葛城市歴史博物館編集・発行『葛城山麓の古道』(2018年)掲載図などにより修正して作成した。理解の一助として作成したもので、諸説ある古道を精確に考証したものではない。
- *14 武部健一「日本幹線道路網の史的変遷と特質」(『土木学会論文集』359、1985年)。
- *15 近江俊秀「大和と河内の峠道」(鈴木靖民ほか編『古代山国の交通と社会』八木書店、2013年)。
- *16 今尾文昭「奈良時代「杣」について一奈良・尾山代遺跡の検討」(樞原考古学研究所編『樞原考古学研究所論集第九 創立50周年記念』吉川弘文館、1988年)。
- *17 鈴木景二「一台峠の古道と阿弥陀磨崖仏一黒田荘から東大寺への道」(『日本史研究』372、1993年)、同「奈良東山中の石仏と古道一統・黒田荘から東大寺への道」(『史迹と美術』723、2002年)。
- *18 和田萃「紀路と曾我川一建内宿祢後裔同族系譜の成立基盤」(亀田隆之編集『古代の地方史3 畿内編』朝倉書店、1979年)、同「紀路の再検討」(『明日香風』107、2008年)。
- *19 廣岡孝信「御所市 西北窪遺跡と金剛山東麓の道」(前掲)。
- *20 『日本霊異記』上巻第1縁。山田道の諸問題は、山本「官道の整備と外国使節の往来」(飛鳥資料館『飛鳥藤原京への道』飛鳥資料館図録第59冊、2013年)に整理した。
- *21 『万葉集』巻1-45番歌。
- *22 内閣文庫所蔵沢氏古文書久寿3年(1156)3月7日清原友次畠売券(『平安遺文』4749号)など。
- *23 和田萃「王権と宇陀」(『新訂大宇陀町史』1992年)の記述をもとに整理した。
- *24 太子道と斑鳩偏向条里の諸問題は、岩本次郎「斑鳩地域における地割の再検討」(奈文研創立30周年記念論文集刊行会編『文化財論叢』同朋舎、1983年)、山本ほか「斑鳩地域の発掘調査と地割」(奈文研2007c)を参照。
- *25 池田末則「田原本町の古代地名」(『田原本町史 本文編』1986年)、近江俊秀「古道と開発一保津・阪手道の検討を中心として」(『考古学雑誌』95-1、2011年)。

墨書土器・刻書土器出土分布図

凡例

1 以下の図は、本集成上下に掲載した墨書土器・刻書土器の出土分布を示したものである。出土地点は、調査区の中央などに便宜的に示しており、必ずしも厳密な位置を示すものではない。

2 図中の赤丸は古代(飛鳥時代～平安時代)、青丸は中世(鎌倉時代～戦国時代)、黄丸は時期不明(古代もしくは中世か)を示す。

3 ベースマップは以下のものを用い、いずれも大幅に加筆した。

図1・図6～12 国土地理院発行5万分1地形図「大阪東北部」「奈良」「大阪東南部」「桜井」「五條」「吉野山」「高野山」「山上ヶ岳」「上野」「名張」「高見山」「大台ヶ原」。

図2～4 『奈良文化財研究所紀要2021』掲載、図100・図125・図195をもとに大幅に加筆。

図5 1万分1都市計画図(橿原市・桜井市・明日香村作成)。

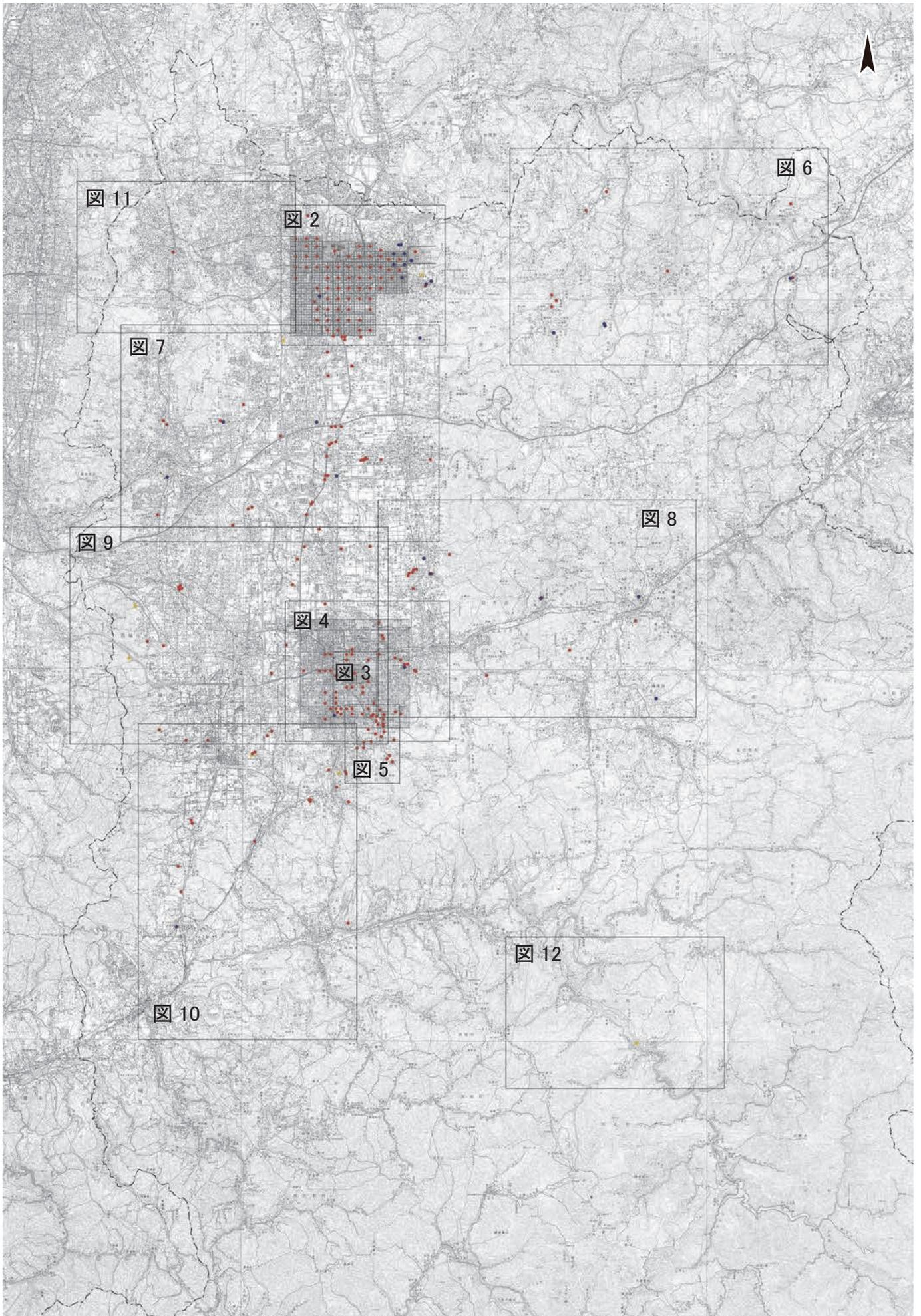


图1 奈良県墨書土器・刻書土器出土地 1 : 250000

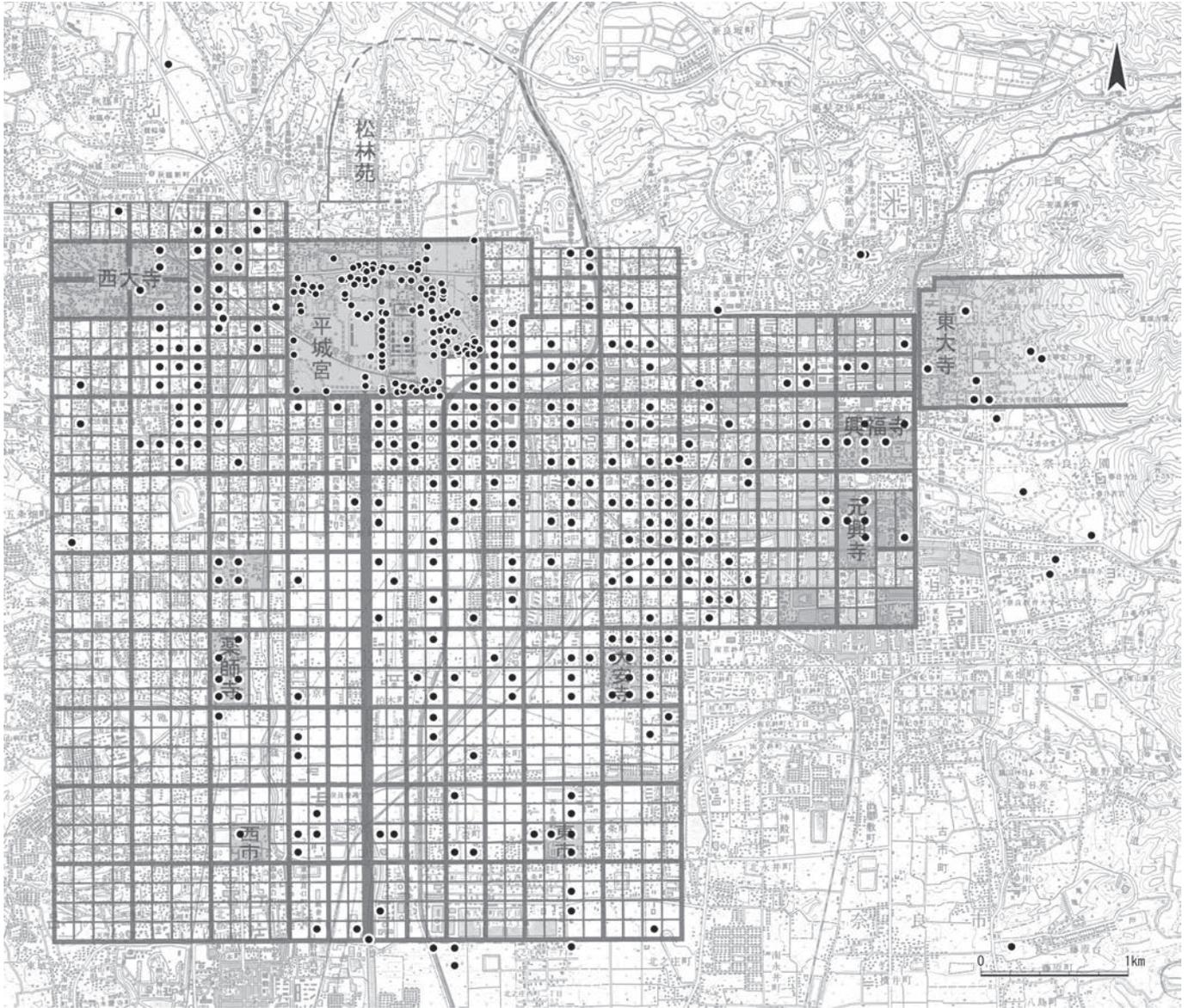


图2 平城京墨書土器·刻書土器出土地 1 : 45000



図3 藤原宮墨書土器・刻書土器出土地 1 : 8000

数字は発掘調査次数

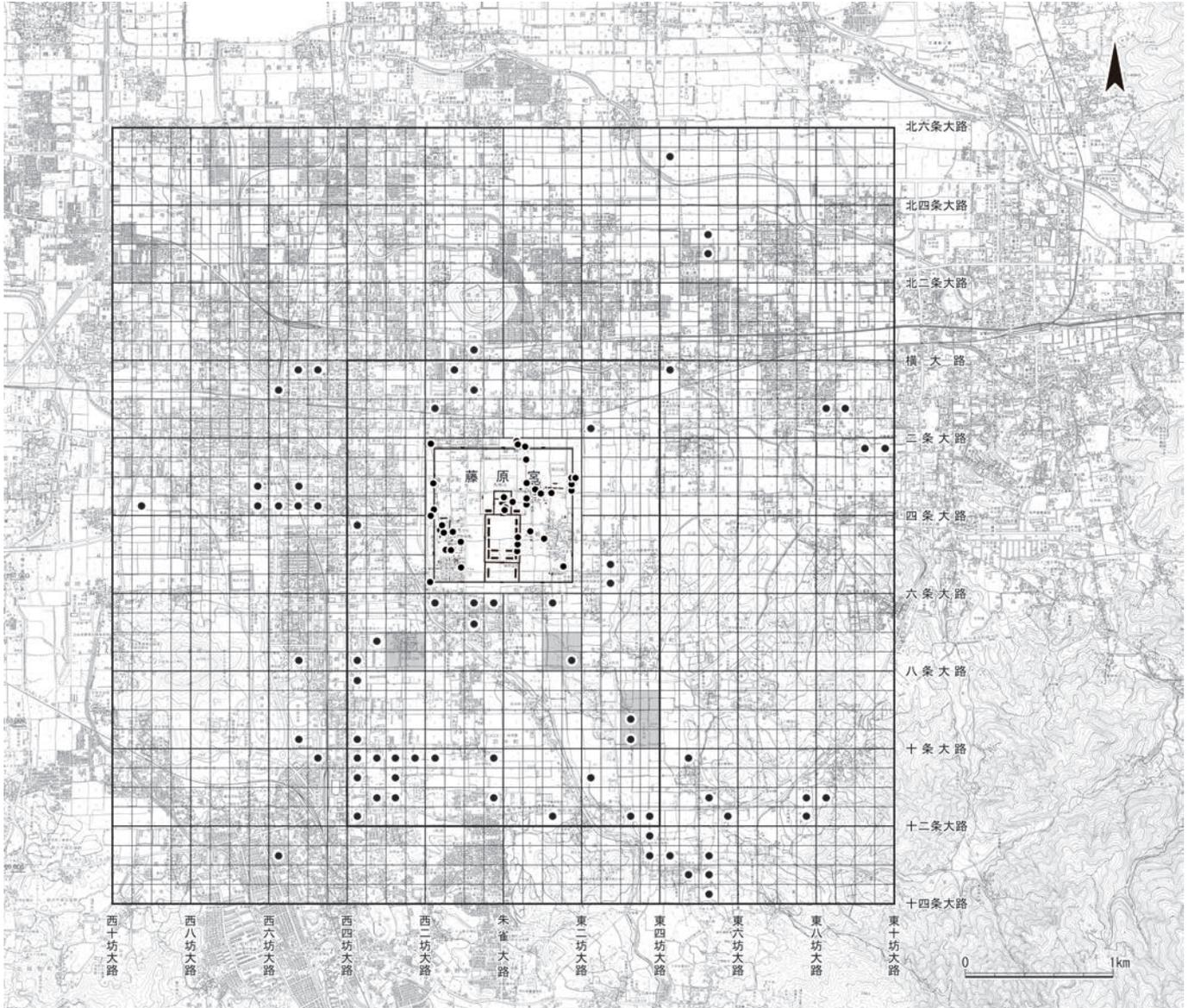


図4 藤原京墨書土器・刻書土器出土地 1 : 45000

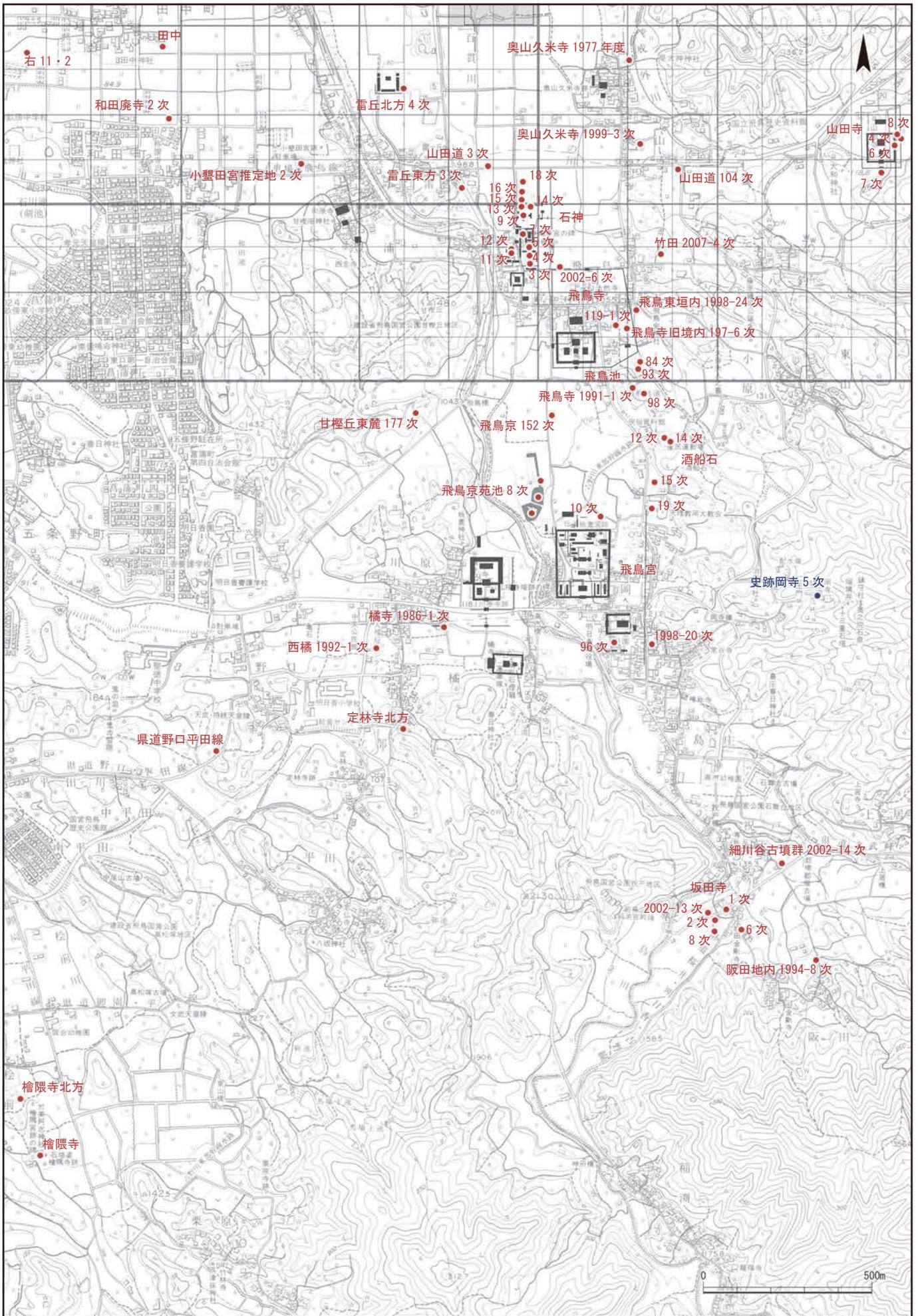


図5 飛鳥地域墨書土器・刻書土器出土地 1 : 15000

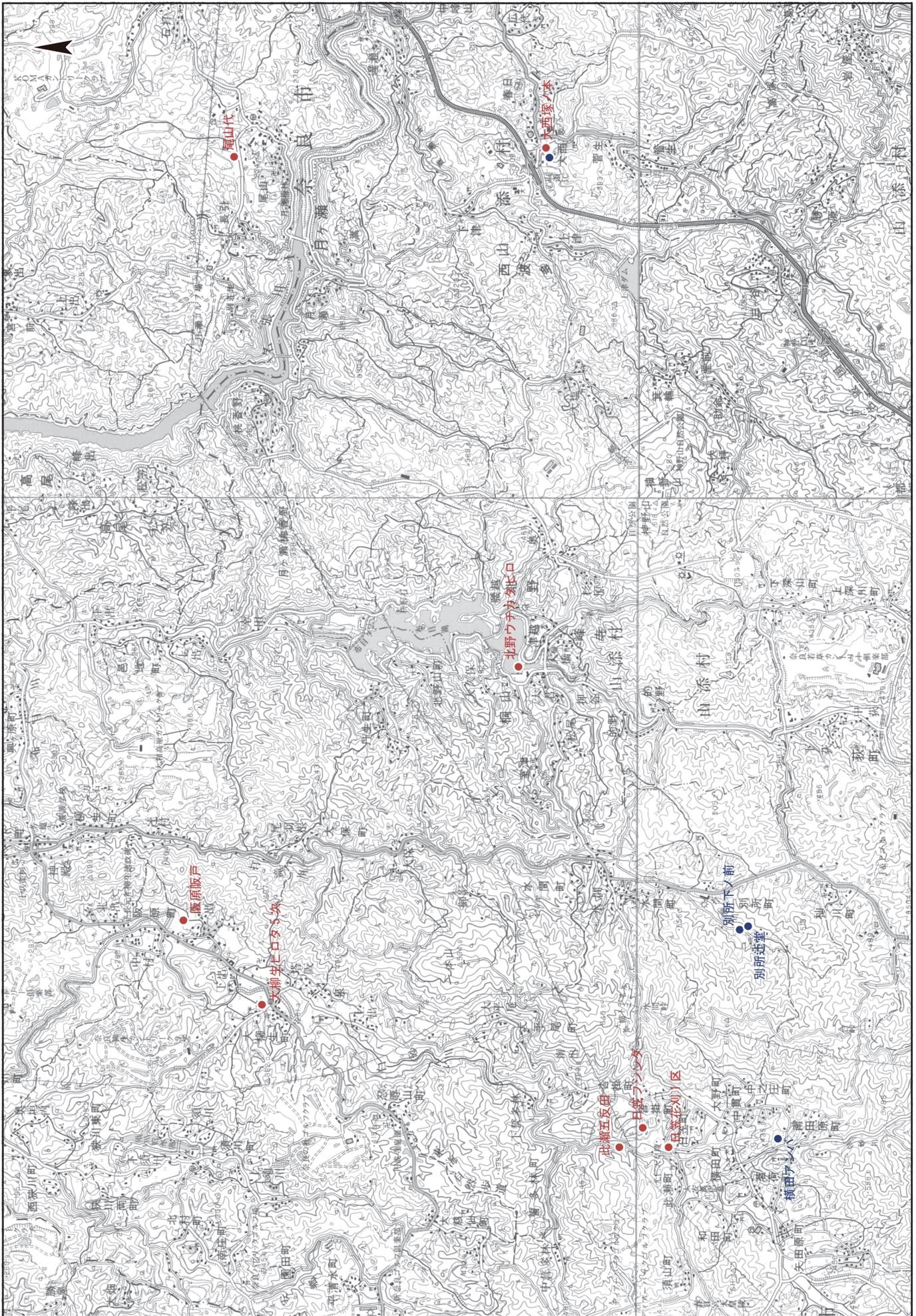


図6 奈良県墨書土器・刻書土器出土地分割図 1:60000



図8 奈良県墨書土器・刻書土器出土地分割図 1: 60000

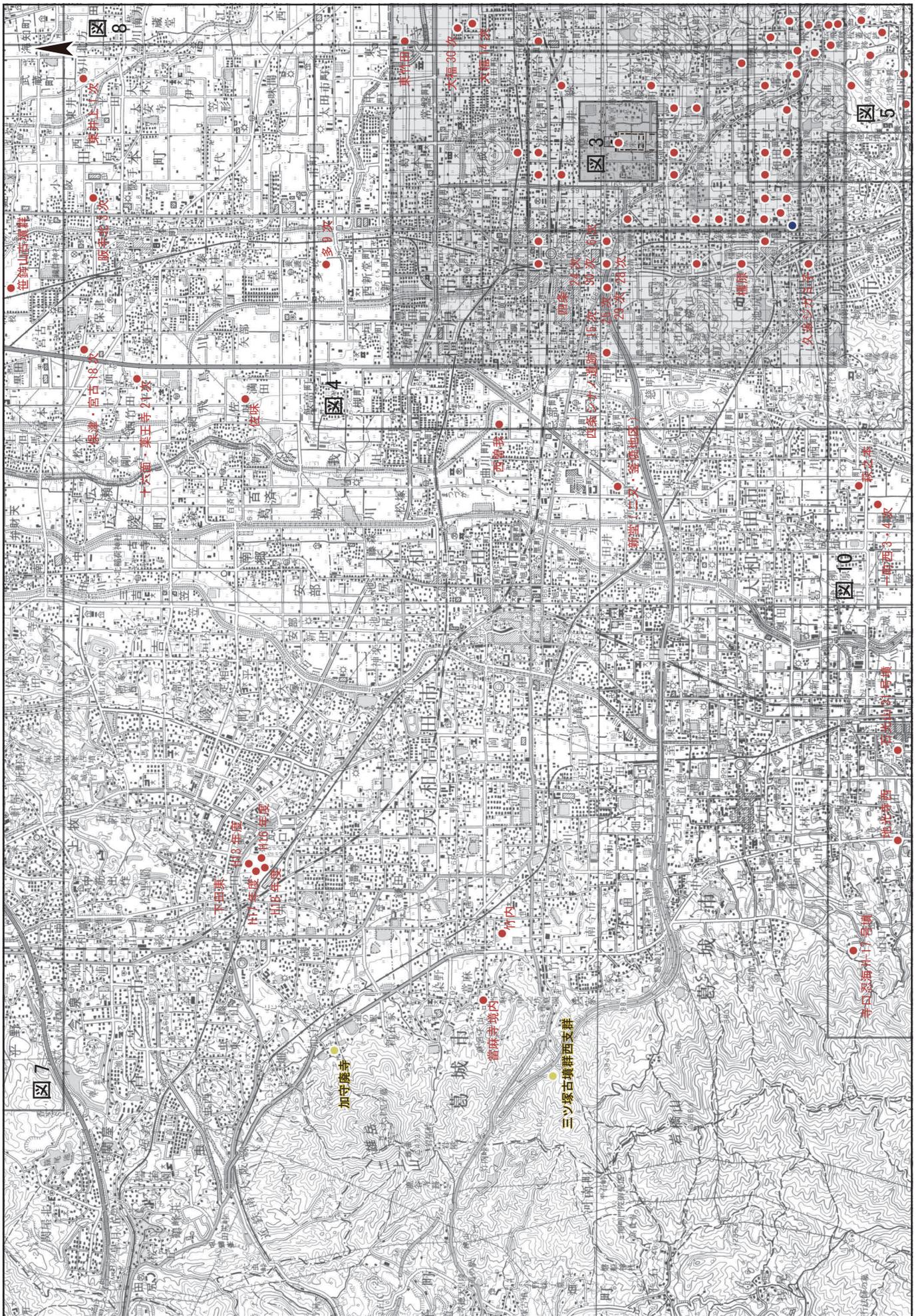


図9 奈良県墨書土器・刻書土器出土地分割図 1 : 60000



図10 奈良県墨書土器・刻書土器出土地分割図 1:60000

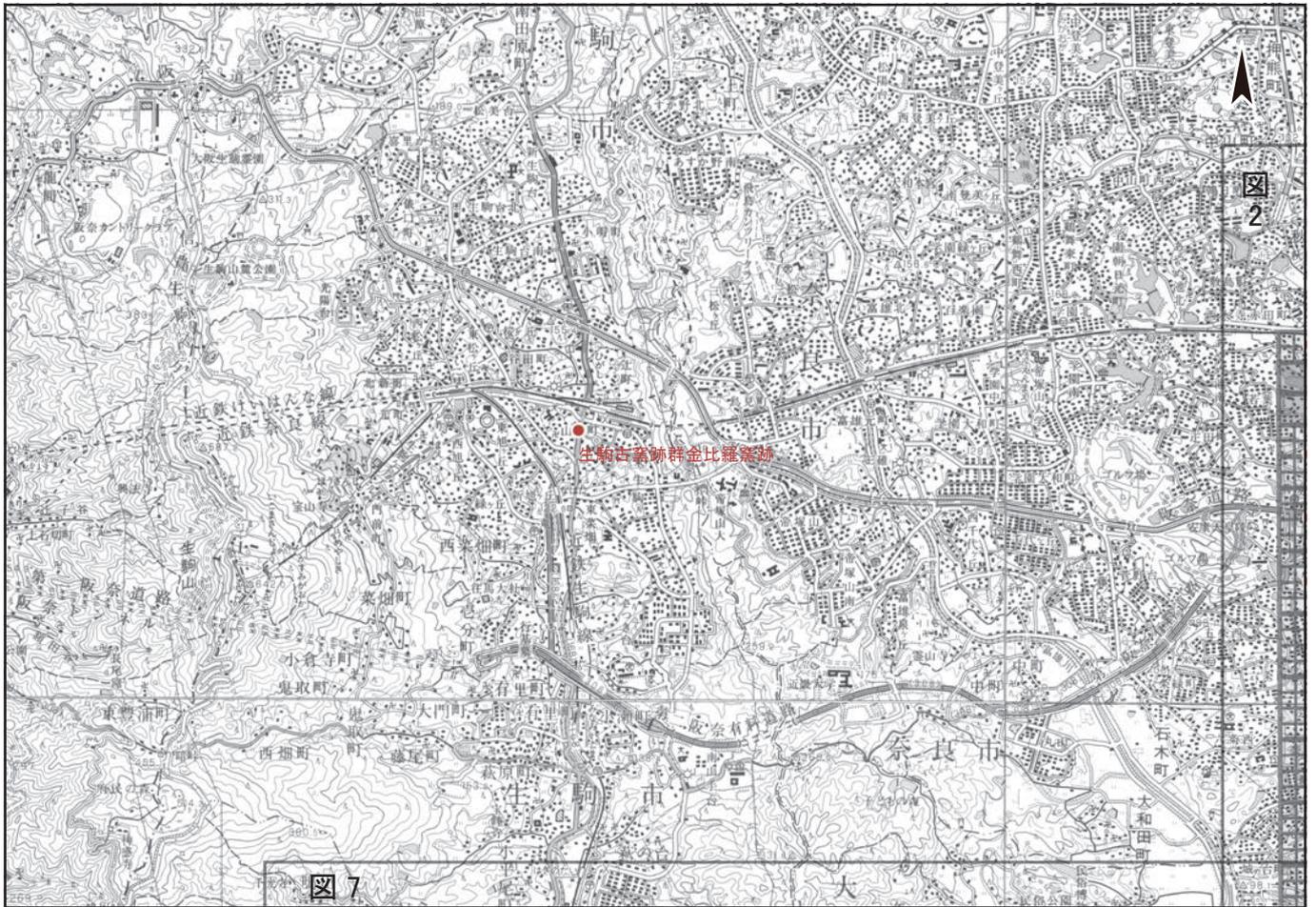


図 11 奈良県墨書土器・刻書土器出土地分割図 1 : 60000

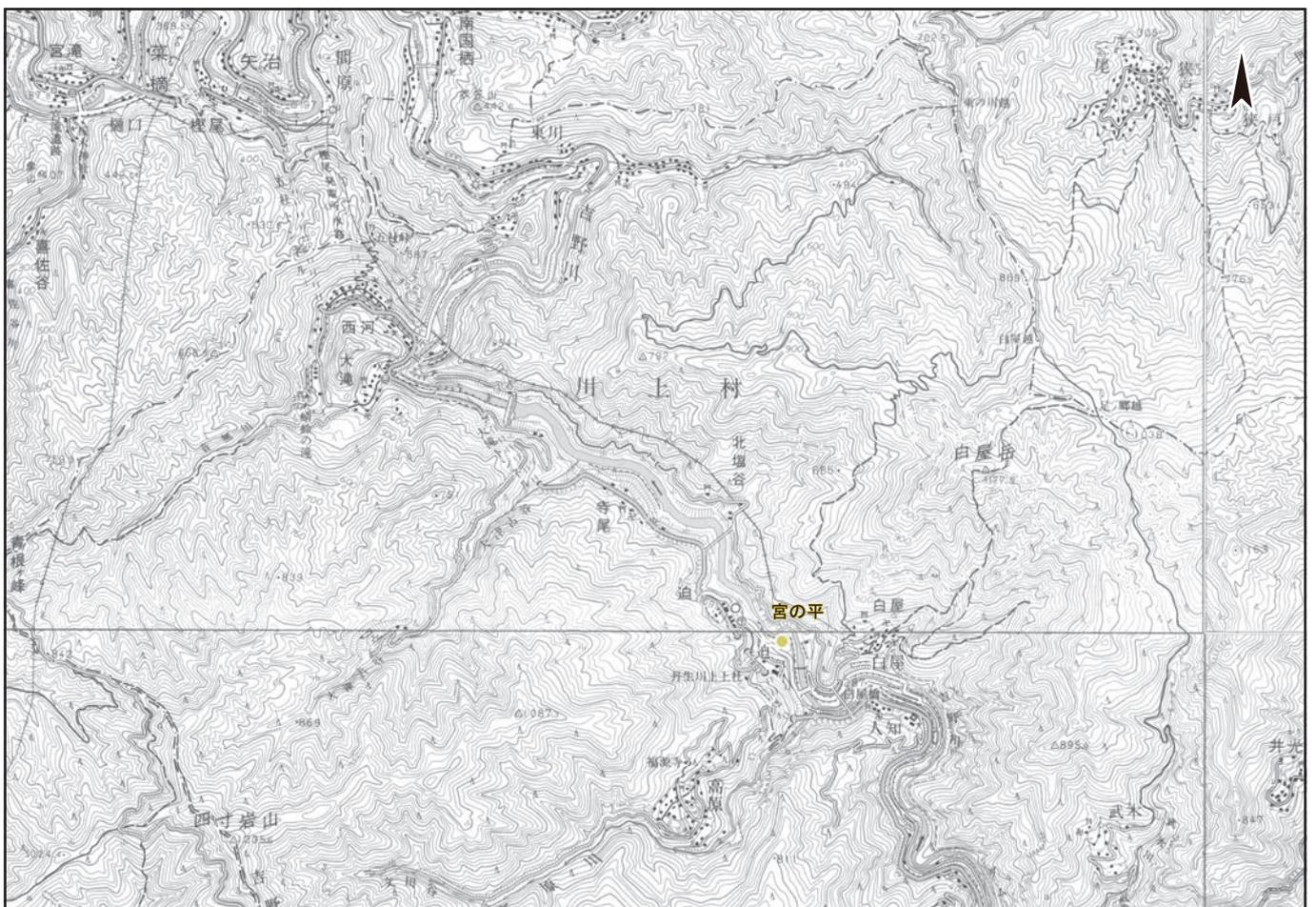


図 12 奈良県墨書土器・刻書土器出土地分割図 1 : 60000

索引

遺跡名索引

あ		百濟寺	下94	立花遺跡	下42
青木山(青木廃寺)	下60	久米ジガミ子遺跡	下52	橋寺	下88
秋篠・山陵遺跡	下32	県道野口平田線	下92	田中遺跡	下52
朝妻廃寺	下62	興福寺(旧境内)	下16	珠城山古墳	下60
飛鳥池遺跡	下90・92	一乗院	下16・18	多聞城跡	下32
飛鳥宮(京)跡	下86	旧大乘院	下18	達磨寺3号墳	下94
飛鳥京跡苑池	下86・88	越部1号墳	下94	丹切遺跡	下64
飛鳥寺(旧境内・北方)	下88	巨勢寺	下62	中宮寺跡	下84
飛鳥東垣内遺跡	下90	木殿南方	下50	長弓寺	下62
安倍寺跡	下60	此瀬五反田遺跡	下36	長林寺	下94
安倍寺周辺地区	下60	さ		椿井寺跡(廃椿井寺)	下66
甘樫丘東麓遺跡	下92	西大寺(旧境内)	下22~30	椿井西宮遺跡	下64
荒坂瓦窯群	下62	西隆寺(旧境内)	下30・32	寺口忍海古墳群	下64
雷丘東方遺跡	下86	阪田地内遺跡	下92	伝燈寺跡(廃伝燈寺)	下84
池上古墳周辺池上木棺墓	下94	坂田寺	下90	唐招提寺(旧境内)	下20・22
生駒古窯跡群金比羅窯跡	下62	阪手北遺跡	下86	東大寺(旧境内)	下18
石神遺跡	下92	阪原阪戸遺跡	下36	伴堂東遺跡	下84
居伝遺跡	下62	酒船石遺跡	下92	な	
栄山寺	下62	石榴垣内遺跡	下64	中西遺跡	下62
円融寺	下38	笹鉾山古墳群	下84	中町西遺跡	下42
多田遺跡	下62	佐田遺跡群北ノ尾南遺跡	下86	奈良女子大学構内遺跡	下32
多遺跡	下84	薩摩遺跡	下86	奈良町遺跡	下32
大西塚ノ本遺跡	下64	佐味遺跡	下84	奈良町高天町遺跡	下32
栗原カタソバ遺跡群	下60	三宝院	下84	奈良山歌姬西瓦窯	下32
大柳生ヒロタ遺跡	下36	地光寺西遺跡	下64	二光寺廃寺	下62
岡寺	下88・90	四条遺跡	下50	西首我遺跡	下52
奥山久米寺	下88	四条シナノ遺跡	下50	西橋遺跡	下92
落戸遺跡	下84	下田東遺跡	下62・64	尼寺廃寺跡	下62
小墾田宮推定地	下86	下茶屋地蔵谷遺跡	下62	野山遺跡群	下64
帯解寺	下36	下永東方遺跡	下84	は	
尾山代遺跡	下38	下永東城遺跡	下84	萩之本遺跡	下52
か		十六所神社拜殿	下36	箸尾遺跡	下94
樺原遺跡	下50	十六面・薬王寺遺跡	下84	長谷寺	下62
春日大社	下18	正倉院	下18	八条遺跡	下38
一町西遺跡	下52・54	松林苑跡	下6	八条北遺跡	下38・40
片岡王寺跡・達磨寺旧境内	下92	定林寺北方遺跡	下90	稗田遺跡	下38
嘉幡遺跡	下42	新堂遺跡	下52	日笠花刈遺跡	下38
鴨神遺跡	下62	新薬師寺旧境内	下20	日笠フシダ遺跡	下36・38
加守廃寺	下64	菅田遺跡	下42	東井上遺跡	下86
川原寺	下88	菅原寺旧境内	下20	東井上大日塚遺跡	下86
観覚寺遺跡	下86	石光山古墳群	下62	東城遺跡	下38
元興寺(旧境内)	下10~16	前栽遺跡	下42	東竹田遺跡	下50
観音寺本馬遺跡	下62	た		檜隈上山遺跡	下92
北野ウチカタビロ遺跡	下64	大安寺旧境内	下6・8	檜隈寺(周辺)	下90
吉楽寺	下54・56	大官大寺跡	下52	平等坊・岩室遺跡	下42
紀寺跡	下52	大福遺跡	下50	開古墳	下38
吉備遺跡	下50	當麻寺	下64	福地城跡	下64
吉備池遺跡	下50	竹田遺跡	下90	藤原宮跡	下42・44
吉備池廃寺	下50・52	竹内遺跡	下64	藤原京跡	下44~50
		只塚廃寺・首子遺跡	下64	左1,2・4,5	下44

左2・3	下44	左6・4	上130・132
左6・3	下44～48	左7・1	上132
左7・2	下48	左7・2	上132
左9・4	下48	左7・4	上132
左11・1	下48	左8・1	上132・134
左11・3	下48	左8・2	上134
右1・1	下48	左8・3	上134・136
右1・2	下48	東市跡	上134～138
右1・5	下48	左9・1(前川遺跡)	上138
右1・6	下48	左9・3	上138・140
右2・2	下48	京外(左9・3南方)	上140
右2・3	下48	左9・4	上140
右5・4	下48	左10・1,2(下三橋遺跡)	上140
右7・1(朱雀大路)	下48	右1北辺・2	上140
右7・2	下48	右1北辺・4	上140
右7・4(下ツ道)	下48	右1・2(西一坊大路)	上140・142
右8・4	下48	右1・3	上142
右9・4	下48	右2・2	上142
右10・4(十条大路)	下48	右2・3	上142～152
右11・2	下48	右2・4	上152
右11・3	下48	右3・1(朱雀大路・二条大路)	上152
右11・3,4	下48		上152
右11,12・4	下48	右3・2	上152
右12・3	下50	右3・3	上152
右12・3,4	下50	右3・4	上152
右12・4	下50	右4・1(三条大路・四条間路)	上154
布留遺跡	下42		上154
古市城跡	下32～36	右4・4	上154
平城宮跡	上6～86	右5・1	上154
平城京跡	上86～158	右6・1	上154
左1・2	上86	右7・1	上154
左1・3	上86～92	右8・1	上154～158,下94
左1・4(東三坊大路)	上92	右8・2	上158
左2・1(二条大路)	上92	右9・1	上158
左2・2	上92～96,下94	羅城門跡	上158
左2・3	上96	京跡不明	上158
左2・4	上96・98	別所下ノ前遺跡	下38
左2・5北郊	上98	別所辻堂遺跡	下38
左2・5	上98・100	別對遺跡	下38
左3・1	上100	法隆寺	下66～84
左3・2	上100～114	法輪寺	下84
左3・3	上114・116	細川谷古墳群	下92
左3・4(東四坊大路)	上116・118	法起寺	下84
左3・5	上118	法華寺(旧境内)	下18・20
左4・1(三条大路)	上118	保津・宮古遺跡	下86
左4・2	上118	ホラント遺跡	下92
左4・3	上118・120		
左4・4	上120・122		
左4・4,4・5	上122		
左4・5	上122・124		
左4・6	上124		
左5・1	上124		
左5・2	上124		
左5・3	上124		
左5・4(東四坊大路)	上124～128		
左5・5	上128		
左5・7(東七坊大路)	上124		
左6・1	上128		
左6・2	上128・130		
左6・3	上130		

や

薬師寺(旧境内)	下10
山田寺跡	下56～60
山田道跡	下50
横田アンバ遺跡	下38
横田堂垣内遺跡	下38

ら・わ

龍王山古墳群	下42
靈山寺	下36
和田麿寺	下52
出土地不明	下94

所在地索引

あ

明日香村	下49～53,87～93
安堵町	下39,85
斑鳩町	下67～85
生駒市	下63
宇陀市	下65
王寺町	下93・95
大淀町	下95

か

橿原市	下43～57,63
香芝市	下63・65
葛城市	下65
河合町	下95
川上村	下95
川西町	下85
広陵町	下95
五條市	下63
御所市	下63

さ・た

桜井市	下51・53,57～63
高取町	下87,93
田原本町	下87
天理市	下39～43

な・は・ま・や

奈良市	上7～155,159,下7～39,95
平群町	下65
三宅町	下85
山添村	下65
大和郡山市	上141,155～159,下39～43,95
出土地不明	下95

ま

纏向遺跡	下60
馬司遺跡	下38
三河遺跡	下84
水落遺跡	下92
三ツ池遺跡	下64
三ツ塚古墳群	下64
南六条北ミノ遺跡	下40・42
美濃庄遺跡	下38
宮の平遺跡	下94
三輪寺(廃三輪寺)	下60
本薬師寺跡	下52

埋蔵文化財ニュース186号
奈良県出土墨書刻書土器・文字瓦集成 下

2021年11月25日 印刷

2021年11月30日 発行

発行

独立行政法人国立文化財機構

奈良文化財研究所埋蔵文化財センター

〒630-8577 奈良市二条町2丁目9-1

TEL 0742-30-6733 FAX 0742-30-6730

印刷

株式会社 明新社

〒630-8141 奈良市南京終町3丁目464番地

TEL 0742-63-0661 FAX 0742-63-0660

